資料2-2-5

令和2年5月13日提出の資料と同じ

敦賀発電所2号炉

ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答

補足説明資料5

総点検結果（2）

②ボーリング柱状図記事欄以外の比較

令和2年6月4日

日本原子力発電株式会社

本資料は，ボーリング柱状図の記事欄以外について比較を行い，記載が変更されている箇所を抽出し，その内容，変更理由を確認したものである。

記事欄以外とは，孔口標高，掘削長，標尺，標高，深度，柱状図欄の模様，岩種区分，色調，岩級区分，コア採取率とそのグラフ表示，最大コア長とそのグラフ表示及びRQDとそのグラフ表示である。

比較対象としたのは以下の資料である。

・調査会社からの報告書（以下「報告書」という。）
　平成19年，平成20年，平成25年，平成27年，平成30年
・平成27年11月5日 原子炉設置変更許可申請書（以下「申請書」という。）
・審査会合資料
　・平成29年12月22日審査資料（第536回審査会合）
　・平成30年11月30日審査資料（第657回審査会合）
　・令和2年2月7日審査資料（第833回審査会合）

比較は，以下の資料毎で行った。

・報告書と平成29年12月22日審査資料
・報告書と平成30年11月30日審査資料
・報告書と申請書
・申請書と平成29年12月22日審査資料
・平成29年12月22日審査資料と平成30年11月30日審査資料
・平成30年11月30日審査資料と令和2年2月7日審査資料

なお，確認の結果，平成29年12月22日審査資料と平成30年11月30日審査資料の記事欄以外の記載は同一であることが確認できたため，本資料の以降には含めていない。

記載が変更されている場合は，変更理由を確認し，四つの分類に整理した。

分類a：誤記
分類b：誤記修正　…誤記を正しく修正したもの
分類c：記載の適正化
分類d：記事欄の記載変更に伴う変更　…補足説明資料2で確認した記事欄の記載の変更に伴い記事欄以外の記載を変更しているもの

敦賀発電所2号炉　ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答　補足説明資料5
ボーリング柱状図記事欄以外の比較
比較資料名：報告書，平成29年12月22日審査資料

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容			分類	変更理由
			対象箇所	報告書	審査資料		
1-1	補足5- 12,13	H19-No.16	柱状図	模様あり	模様なし	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-2	補足5- 12,13	H19-No.16	色調	記載なし	オリーブ黒	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-3	補足5- 12～37	H19-No.16	コア採取率（%）	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-4	補足5- 14,15	H19-No.16	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-5	補足5- 16,17	H19-No.16	標高（m）	記載なし	17.73	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-6	補足5- 16,17	H19-No.16	標高（m）	記載なし	17.63	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-7	補足5- 16,17	H19-No.16	深度（m）	記載なし	56.75	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-8	補足5- 16,17	H19-No.16	深度（m）	記載なし	56.85	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-9	補足5- 16,17	H19-No.16	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-10	補足5- 16,17	H19-No.16	柱状図	模様なし	模様あり	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-11	補足5- 16,17	H19-No.16	岩種区分	アプライト	ペグマタイト	c	報告書の記事にあった"ペグマタイト"を反映させたため。
1-12	補足5- 18,19	H19-No.16	標高（m）	記載なし	8.06	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-13	補足5- 18,19	H19-No.16	標高（m）	記載なし	7.91	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-14	補足5- 18,19	H19-No.16	標高（m）	記載なし	7.75	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-15	補足5- 18,19	H19-No.16	標高（m）	記載なし	7.58	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-16	補足5- 18,19	H19-No.16	深度（m）	記載なし	66.42	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-17	補足5- 18,19	H19-No.16	深度（m）	記載なし	66.57	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-18	補足5- 18,19	H19-No.16	深度（m）	記載なし	66.73	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-19	補足5- 18,19	H19-No.16	深度（m）	記載なし	66.90	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-20	補足5- 18,19	H19-No.16	柱状図	模様なし	模様あり	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-21	補足5- 18,19	H19-No.16	岩種区分	アプライト	ペグマタイト	c	報告書の記事にあった"ペグマタイト"を反映させたため。
1-22	補足5- 18,19	H19-No.16	岩種区分	アプライト	ペグマタイト	c	報告書の記事にあった"ペグマタイト"を反映させたため。
1-23	補足5- 20,21	H19-No.16	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-24	補足5- 20,21	H19-No.16	柱状図	模様の位置が異なる。		b	誤記の修正。
1-25	補足5- 24,25	H19-No.16	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-26	補足5- 24,25	H19-No.16	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-27	補足5- 24～27	H19-No.16	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-28	補足5- 28,29	H19-No.16	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-29	補足5- 28,29	H19-No.16	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-30	補足5- 32,33	H19-No.16	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-31	補足5- 36,37	H19-No.16	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-32	補足5- 38,39	H19-No.17	標高（m）	73.91	記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-33	補足5- 38,39,42,43,46,47,52～57,60,61	H19-No.17	標高（m）	66.30～-106.80	65.46～-125.54	a	誤記。
1-34	補足5- 38,39	H19-No.17	深度（m）	0.61	記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-35	補足5- 38～61	H19-No.17	コア採取率（%）	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-36	補足5- 38,39	H19-No.17	最大コア長（cm）	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
1-37	補足5- 38,39	H19-No.17	RQD（%）	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
1-38	補足5- 40,41	H19-No.17	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-39	補足5- 42,43	H19-No.17	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-40	補足5- 42,43	H19-No.17	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-41	補足5- 46,47	H19-No.17	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-42	補足5- 46,47	H19-No.17	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-43	補足5- 46,47	H19-No.17	岩種区分	黒雲母花崗岩	花崗岩	a	誤記。
1-44	補足5- 48,49	H19-No.17	標高（m）	-14.83	記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-45	補足5- 48,49	H19-No.17	深度（m）	98.52	記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-46	補足5- 50,51	H19-No.17	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）

分類ａ：誤記
分類ｂ：誤記修正
分類ｃ：記載の適正化
分類ｄ：記事欄の記載変更に伴う変更

敦賀発電所2号炉　ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答　補足説明資料5
ボーリング柱状図記事欄以外の比較
比較資料名：報告書，平成30年11月30日審査資料

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容			分類	変更理由
			対象箇所	報告書	審査資料		
1-47	補足5- 62,63	H19-No.19	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-48	補足5- 62～67	H19-No.19	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-49	補足5- 62～79	H19-No.19	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-50	補足5- 78,79	H19-No.19	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-51	補足5- 78,79	H19-No.19	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-52	補足5- 80,81	H19-No.8	標高(m)	19.07	記載なし	c	幅8cmの表土区間は，柱状図で表示すると見づらくなることから，下位層と一括表示することとしたのに伴い，表土下端の標高の表示がなくなったもの。
1-53	補足5- 80,81	H19-No.8	標高(m)	18.62	記載なし	c	岩種区分の"中砂"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-54	補足5- 80,81	H19-No.8	標高(m)	17.98	記載なし	c	岩種区分の"細砂有機質土混り砂質シルト互層"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-55	補足5- 80,81	H19-No.8	標高(m)	15.68	記載なし	c	岩種区分の"粗砂"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-56	補足5- 80,81	H19-No.8	深度(m)	0.08	記載なし	c	幅8cmの表土区間は，柱状図で表示すると見づらくなることから，下位層と一括表示することとしたのに伴い，表土下端の深度の表示がなくなったもの。
1-57	補足5- 80,81	H19-No.8	深度(m)	0.60	記載なし	c	岩種区分の"中砂"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-58	補足5- 80,81	H19-No.8	深度(m)	1.34	記載なし	c	岩種区分の"細砂有機質土混り砂質シルト互層"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-59	補足5- 80,81	H19-No.8	深度(m)	4.00	記載なし	c	岩種区分の"粗砂"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-60	補足5- 80,81	H19-No.8	柱状図	斜線の記載	記載なし	c	幅8cmの表土区間は，柱状図で表示すると見づらくなることから，下位層と一括表示することとしたのに伴い，表土区間の図模様の表示がなくなったもの。
1-61	補足5- 80,81	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-62	補足5- 80,81	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。		c	性状が近いものを丸めたため。
1-63	補足5- 80,81	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。		c	性状が近いものを丸めたため。
1-64	補足5- 80,81	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。		c	性状が近いものを丸めたため。
1-65	補足5- 80,81	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-66	補足5- 80,81	H19-No.8	岩種区分	表土	有機質土混じり砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-67	補足5- 80,81	H19-No.8	岩種区分	有機質土混り中砂	有機質土混じり砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-68	補足5- 80,81	H19-No.8	岩種区分	中砂	砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-69	補足5- 80,81	H19-No.8	岩種区分	細砂有機質土混り砂質シルト互層	砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-70	補足5- 80,81	H19-No.8	岩種区分	中砂	砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-71	補足5- 80,81	H19-No.8	岩種区分	粗砂	砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-72	補足5- 80,81	H19-No.8	岩種区分	細砂	砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-73	補足5- 80,81	H19-No.8	岩種区分	礫混り・砂利混り中砂	礫混じり砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-74	補足5- 80～101	H19-No.8	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-75	補足5- 84,85	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-76	補足5- 88,89	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-77	補足5- 92,93	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-78	補足5- 92,93	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-79	補足5- 96,97	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-80	補足5- 96,97	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-81	補足5- 102,103	H20-①-2	標高(m)	66.08	記載なし	c	岩種区分の"腐植土"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-82	補足5- 102,103	H20-①-2	深度(m)	0.08	記載なし	c	岩種区分の"腐植土"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-83	補足5- 102,103	H20-①-2	柱状図	模様が異なる。		c	性状が近いものを丸めたため。
1-84	補足5- 102,103	H20-①-2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(柱状図模様の変更)
1-85	補足5- 102,103	H20-①-2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-86	補足5- 102,103	H20-①-2	岩種区分	腐植土	有機質混じり砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-87	補足5- 102,103	H20-①-2	岩種区分	腐植混じり砂	有機質混じり砂	c	表現を統一したため。
1-88	補足5- 102,103	H20-①-2	岩種区分	シルト質砂	花崗斑岩	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(岩種区分の変更)
1-89	補足5- 102,103	H20-①-2	岩級区分	D´間に空欄	D´	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(岩級区分の変更)
1-90	補足5- 102～115	H20-①-2	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-91	補足5- 106,107	H20-①-2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-92	補足5- 110,111	H20-①-2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-93	補足5- 116,117	H20-①-1	標高(m)	66.60	記載なし	c	岩種区分の"腐植土"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-94	補足5- 116,117	H20-①-1	深度(m)	0.04	記載なし	c	岩種区分の"腐植土"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-95	補足5- 116,117	H20-①-1	柱状図	模様が異なる。		c	岩種区分の"腐植土"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-96	補足5- 116,117	H20-①-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-97	補足5- 116,117	H20-①-1	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-98	補足5- 116,117	H20-①-1	岩種区分	腐植土，シルト混じり砂	シルト混じり砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-99	補足5- 116,117	H20-①-1	色調	黄灰	灰黄	b	誤記の修正。
1-100	補足5- 116～125	H20-①-1	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-101	補足5- 124,125	H20-①-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-102	補足5- 126,127	H20-①-3	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-103	補足5- 126,127	H20-①-3	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-104	補足5- 126,127	H20-①-3	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-105	補足5- 126～135	H20-①-3	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-106	補足5- 134,135	H20-①-3	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-107	補足5- 134,135	H20-①-3	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-108	補足5- 136,137	H20-①-4	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-109	補足5- 136,137	H20-①-4	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-110	補足5- 136,137	H20-①-4	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-111	補足5- 136～145	H20-①-4	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-112	補足5- 140,141	H20-①-4	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-113	補足5- 140,141	H20-①-4	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-114	補足5- 142,143	H20-①-4	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-115	補足5- 146～159	H19-No.11	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-116	補足5- 146,147	H19-No.11	最大コア長(cm)	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
1-117	補足5- 146,147	H19-No.11	RQD(%)	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
1-118	補足5- 154,155	H19-No.11	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-119	補足5- 160,161	H19-No.13	標高(m)	記載なし	20.66	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-120	補足5- 160,161	H19-No.13	標高(m)	記載なし	20.37	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-121	補足5- 160,161	H19-No.13	深度(m)	記載なし	20.10	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-122	補足5- 160,161	H19-No.13	深度(m)	記載なし	20.42	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-123	補足5- 160,161	H19-No.13	柱状図	模様なし	模様あり	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-124	補足5- 160,161	H19-No.13	岩種区分	アプライト	ペグマタイト	c	報告書の記事にあった"ペグマタイト"を反映させたため。
1-125	補足5- 160～171	H19-No.13	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-126	補足5- 164,165	H19-No.13	標高(m)	記載なし	-0.36	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-127	補足5- 164,165	H19-No.13	標高(m)	記載なし	-0.45	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-128	補足5- 164,165	H19-No.13	深度(m)	記載なし	43.30	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-129	補足5- 164,165	H19-No.13	深度(m)	記載なし	43.40	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。
1-130	補足5- 164,165	H19-No.13	柱状図	模様なし	模様あり	c	岩種区分に"ペグマタイト"が追加されたため。

分類ａ：誤記
分類ｂ：誤記修正
分類ｃ：記載の適正化
分類ｄ：記事欄の記載変更に伴う変更

敦賀発電所2号炉　ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答　補足説明資料5
ボーリング柱状図記事欄以外の比較
比較資料名：報告書，平成30年11月30日審査資料

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容			分類	変更理由
			対象箇所	報告書	審査資料		
1-131	補足5- 164,165	H19-No.13	岩種区分	アブライト	ペグマタイト	c	報告書の記事にあった"ペグマタイト"を反映させたため。
1-132	補足5- 168,169	H19-No.13	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-133	補足5- 172,173	H20-③-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-134	補足5- 174,175	H20-③-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-135	補足5- 176,177	H19-No.3	孔口標高	37.31	37.36	b	誤記の修正。
1-136	補足5- 176,177, 180,181, 184,185, 198,199	H19-No.3	標高(m)	37.19～-162.69	37.24～-162.64	b	孔口標高を正しい値にしたため。
1-137	補足5- 176,177	H19-No.3	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-138	補足5- 176,177	H19-No.3	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-139	補足5- 176,177	H19-No.3	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混じりシルト質砂	c	表現を統一したため。
1-140	補足5- 176,177	H19-No.3	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混じりシルト質砂	c	表現を統一したため。
1-141	補足5- 176～199	H19-No.3	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-142	補足5- 178,179	H19-No.3	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-143	補足5- 180,181	H19-No.3	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-144	補足5- 180,181	H19-No.3	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-145	補足5- 200～213	H27-Br-1	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-146	補足5- 200～213	H27-Br-1	コア採取率(%)	標尺0～1mの範囲のみ数値，グラフの記載あり，その他なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-147	補足5- 202～205	H27-Br-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-148	補足5- 206～209	H27-Br-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-149	補足5- 208,209	H27-Br-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-150	補足5- 212,213	H27-Br-1	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-151	補足5- 214,215	H20-①-8	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-152	補足5- 214,215	H20-①-8	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-153	補足5- 214～217	H20-①-8	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-154	補足5- 214,215	H20-①-8	岩種区分	腐植土	有機質土	c	表現を統一したため。
1-155	補足5- 214～217	H20-①-8	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-156	補足5- 218～227	H27-Br-2	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-157	補足5- 218,219	H27-Br-2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-158	補足5- 218～227	H27-Br-2	コア採取率(%)	標尺0～1mの範囲のみ数値，グラフの記載あり，その他なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-159	補足5- 228～231	H27-Br-8	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-160	補足5- 228～239	H27-Br-8	コア採取率(%)	標尺0～1mの範囲のみ数値，グラフの記載あり，その他なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-161	補足5- 230,231	H27-Br-8	標高(m)	記載なし	37.56	c	コア欠を反映させたため。
1-162	補足5- 230,231	H27-Br-8	深度(m)	記載なし	34.78	c	コア欠を反映させたため。
1-163	補足5- 230,231	H27-Br-8	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-164	補足5- 232,233	H27-Br-8	標高(m)	記載なし	36.00	c	コア欠を反映させたため。
1-165	補足5- 232,233	H27-Br-8	深度(m)	記載なし	36.34	c	コア欠を反映させたため。
1-166	補足5- 232,233	H27-Br-8	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-167	補足5- 232,233	H27-Br-8	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-168	補足5- 232～235	H27-Br-8	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-169	補足5- 232,233	H27-Br-8	色調	コア欠	記載なし	c	表現を統一したため。
1-170	補足5- 232,233	H27-Br-8	色調	コア欠	記載なし	c	表現を統一したため。
1-171	補足5- 236～239	H27-Br-8	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-172	補足5- 240～243	H24-B14-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-173	補足5- 244,245	H20-④-2	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-174	補足5- 244,245	H20-④-2	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-175	補足5- 244,245	H20-④-2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-176	補足5- 244,245	H20-④-2	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-177	補足5- 244,245	H20-④-2	岩種区分	シルト質細砂	シルト質砂	c	表現を統一したため。
1-178	補足5- 244～257	H20-④-2	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-179	補足5- 252,253	H20-④-2	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-180	補足5- 252,253	H20-④-2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-181	補足5- 258,259	H20-④-1	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-182	補足5- 258,259	H20-④-1	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-183	補足5- 258,259	H20-④-1	岩種区分	腐植質シルト	有機質シルト	c	表現を統一したため。
1-184	補足5- 258259, 262～269	H20-④-1	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-185	補足5- 258,259	H20-④-1	柱状図	模様が異なる。		a	誤記。記事欄の記載変更の反映漏れ。(破砕部模様の削除)
1-186	補足5- 264,265	H20-④-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-187	補足5- 264,265	H20-④-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-188	補足5- 268,269	H20-④-1	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-189	補足5- 270,271	H20-④-5	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-190	補足5- 270,271	H20-④-5	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-191	補足5- 270～277	H20-④-5	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-192	補足5- 274,275	H20-④-5	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-193	補足5- 274,275	H20-④-5	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-194	補足5- 278,279	H19-No.7	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-195	補足5- 278,279	H19-No.7	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-196	補足5- 278,279	H19-No.7	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-197	補足5- 278,279	H19-No.7	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-198	補足5- 278～281	H19-No.7	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-199	補足5- 278,279	H19-No.7	岩種区分	有機質土混りシルト	有機質土混じりシルト	c	表現を統一したため。
1-200	補足5- 278,279	H19-No.7	岩種区分	有機質土混り粗砂	有機質土混じり粗砂	c	表現を統一したため。
1-201	補足5- 278,279	H19-No.7	岩種区分	有機質土混り砂	有機質土混じり砂	c	表現を統一したため。
1-202	補足5- 278～281	H19-No.7	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
1-203	補足5- 278～295	H19-No.7	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-204	補足5- 280～283	H19-No.7	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-205	補足5- 280,281	H19-No.7	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混じり砂礫	c	表現を統一したため。
1-206	補足5- 280～283	H19-No.7	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
1-207	補足5- 282,283	H19-No.7	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混じり砂礫	c	表現を統一したため。
1-208	補足5- 282,283	H19-No.7	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混じり砂礫	c	表現を統一したため。
1-209	補足5- 282,283	H19-No.7	岩種区分	有機質土混り砂	有機質土混じり砂	c	表現を統一したため。
1-210	補足5- 282,283	H19-No.7	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混じり砂礫	c	表現を統一したため。
1-211	補足5- 282,283	H19-No.7	最大コア長(cm)	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
1-212	補足5- 282,283	H19-No.7	RQD(%)	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
1-213	補足5- 294,295	H19-No.7	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-214	補足5- 296,297	H24-B8-23	標高(m)	-15.84	数値記載なし	c	岩種区分の"スライム"を消去したため。 (当該のスライムの幅が狭く，審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見にくいことから，記事のみに表現を留めたため)

分類ａ：誤記
分類ｂ：誤記修正
分類ｃ：記載の適正化
分類ｄ：記事欄の記載変更に伴う変更

敦賀発電所2号炉　ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答　補足説明資料5
ボーリング柱状図記事欄以外の比較
比較資料名：報告書，平成30年11月30日審査資料

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容			分類	変更理由
			対象箇所	報告書	審査資料		
1-215	補足5- 296,297	H24-B8-23	標高(m)	-15.91	数値記載なし	c	岩種区分の"スライム"を消去したため。 (当該のスライムの幅が狭く，審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見にくいことから，記事のみに表現を留めたため)
1-216	補足5- 296,297	H24-B8-23	深度(m)	25.52	数値記載なし	c	岩種区分の"スライム"を消去したため。 (当該のスライムの幅が狭く，審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見にくいことから，記事のみに表現を留めたため)
1-217	補足5- 296,297	H24-B8-23	深度(m)	25.60	数値記載なし	c	岩種区分の"スライム"を消去したため。 (当該のスライムの幅が狭く，審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見にくいことから，記事のみに表現を留めたため)
1-218	補足5- 296,297	H24-B8-23	柱状図	模様が異なる。		c	岩種区分の"スライム"を消去したため。 (当該のスライムの幅が狭く，審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見にくいことから，記事のみに表現を留めたため)
1-219	補足5- 296,297	H24-B8-23	岩種区分	花崗斑岩間にスライム	花崗斑岩	c	岩種区分の"スライム"を消去したため。 (当該のスライムの幅が狭く，審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見にくいことから，記事のみに表現を留めたため)
1-220	補足5- 298,299	H24-B8-29	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-221	補足5- 298,299	H24-B8-29	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-222	補足5- 300,301	H24-B8-30	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-223	補足5- 300,301	H24-B8-30	岩種区分	礫混じりシルト質砂	礫・シルト混じり砂	c	表現を統一したため。
1-224	補足5- 302,303	H19-No.6	標高(m)	-5.49	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-225	補足5- 302,303	H19-No.6	標高(m)	-7.72	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-226	補足5- 302,303	H19-No.6	標高(m)	-8.03	数値記載なし	c	性状が近いものを丸めたため。
1-227	補足5- 302,303	H19-No.6	標高(m)	-8.07	数値記載なし	c	性状が近いものを丸めたため。
1-228	補足5- 302,303	H19-No.6	標高(m)	-10.84	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-229	補足5- 302,303	H19-No.6	標高(m)	-11.41	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-230	補足5- 302,303	H19-No.6	標高(m)	-12.79	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-231	補足5- 302,303	H19-No.6	深度(m)	11.49	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-232	補足5- 302,303	H19-No.6	深度(m)	14.40	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-233	補足5- 302,303	H19-No.6	深度(m)	14.80	数値記載なし	c	性状が近いものを丸めたため。
1-234	補足5- 302,303	H19-No.6	深度(m)	14.85	数値記載なし	c	性状が近いものを丸めたため。
1-235	補足5- 302,303	H19-No.6	深度(m)	18.47	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-236	補足5- 302,303	H19-No.6	深度(m)	19.22	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-237	補足5- 302,303	H19-No.6	深度(m)	21.02	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-238	補足5- 302,303	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-239	補足5- 302,303	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-240	補足5- 302,303	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-241	補足5- 302,303	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-242	補足5- 302,303	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-243	補足5- 302,303	H19-No.6	岩種区分	礫混り高有機質土	礫混じり高有機質土	c	表現を統一したため。
1-244	補足5- 302,303	H19-No.6	岩種区分	有機質土混り砂	有機質土混じり砂	c	表現を統一したため。
1-245	補足5- 302,303	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
1-246	補足5- 302,303	H19-No.6	岩種区分	砂	礫混じり砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-247	補足5- 302,303	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混じり砂質シルト	c	表現を統一したため。
1-248	補足5- 302,303	H19-No.6	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混じり砂礫	c	表現を統一したため。
1-249	補足5- 302～305	H19-No.6	岩種区分	有機質土混り砂	有機質土混じり砂	c	表現を統一したため。
1-250	補足5- 302～323	H19-No.6	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-251	補足5- 306,307	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-252	補足5- 306,307	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-253	補足5- 306,307	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-254	補足5- 306,307	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-255	補足5- 306,307	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-256	補足5- 306,307	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-257	補足5- 306,307	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-258	補足5- 306,307	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-259	補足5- 306,307	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
1-260	補足5- 306,307	H19-No.6	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混じりシルト質砂	c	表現を統一したため。
1-261	補足5- 306,307	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
1-262	補足5- 306,307	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混じり砂質シルト	c	表現を統一したため。
1-263	補足5- 306,307	H19-No.6	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	c	表現を統一したため。
1-264	補足5- 306,307	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混じり砂質シルト	c	表現を統一したため。
1-265	補足5- 306,307	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
1-266	補足5- 306,307	H19-No.6	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混じり砂礫	c	表現を統一したため。
1-267	補足5- 306,307	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混じり砂質シルト	c	表現を統一したため。
1-268	補足5- 306,307	H19-No.6	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混じり砂礫	c	表現を統一したため。
1-269	補足5- 320,321	H19-No.6	標高(m)	記載なし	-125.07	c	コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-270	補足5- 320,321	H19-No.6	標高(m)	記載なし	-125.76	c	コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-271	補足5- 320,321	H19-No.6	深度(m)	記載なし	167.59	c	コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-272	補足5- 320,321	H19-No.6	深度(m)	記載なし	168.49	c	コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-273	補足5- 320,321	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-274	補足5- 320,321	H19-No.6	岩種区分	花崗斑岩	記載なし	c	コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-275	補足5- 320,321	H19-No.6	色調	灰白	記載なし	c	コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-276	補足5- 320,321	H19-No.6	岩級区分	D'	記載なし	c	コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-277	補足5- 324,325	H19-No.18	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-278	補足5- 324,325	H19-No.18	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-279	補足5- 324,325	H19-No.18	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-280	補足5- 324,325	H19-No.18	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-281	補足5- 324,325	H19-No.18	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混じり砂礫	c	表現を統一したため。
1-282	補足5- 324,325	H19-No.18	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	c	表現を統一したため。
1-283	補足5- 324,325	H19-No.18	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混じりシルト質砂	c	表現を統一したため。
1-284	補足5- 324,325	H19-No.18	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	c	表現を統一したため。
1-285	補足5- 324,325	H19-No.18	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
1-286	補足5- 324～343	H19-No.18	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-287	補足5- 340,341	H19-No.18	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-288	補足5- 344～347	H20-①-5	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-289	補足5- 346,347	H20-①-5	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-290	補足5- 346,347	H20-①-5	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-291	補足5- 348,349	H20-①-6	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-292	補足5- 348～357	H20-①-6	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-293	補足5- 358～367	H27-Br-3	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-294	補足5- 358～367	H27-Br-3	コア採取率(%)	標尺0～1mの範囲のみ数値， グラフの記載あり，その他なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-295	補足5- 362,363	H27-Br-3	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-296	補足5- 368,369	H19-No.15	標高(m)	記載なし	86.21	c	岩種区分に"ドレライト"が追加されたため。

分類ａ：誤記
分類ｂ：誤記修正
分類ｃ：記載の適正化
分類ｄ：記事欄の記載変更に伴う変更

敦賀発電所2号炉　ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答　補足説明資料5
ボーリング柱状図記事欄以外の比較
比較資料名：報告書，平成30年11月30日審査資料

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容			分類	変更理由
			対象箇所	報告書	審査資料		
1-297	補足5- 368,369	H19-No.15	標高(m)	記載なし	86.13	c	岩種区分に"ドレライト"が追加されたため。
1-298	補足5- 368,369	H19-No.15	深度(m)	記載なし	9.57	c	岩種区分に"ドレライト"が追加されたため。
1-299	補足5- 368,369	H19-No.15	深度(m)	記載なし	9.69	c	岩種区分に"ドレライト"が追加されたため。
1-300	補足5- 368,369	H19-No.15	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-301	補足5- 368,369	H19-No.15	柱状図	模様が異なる。		c	岩種区分に"ドレライト"が追加されたため。
1-302	補足5- 368,369	H19-No.15	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-303	補足5- 368,369	H19-No.15	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-304	補足5- 368,369	H19-No.15	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-305	補足5- 368,369	H19-No.15	岩種区分	有機質土混りシルト質砂	有機質土混じりシルト質砂	c	表現を統一したため。
1-306	補足5- 368,369	H19-No.15	岩種区分	記載なし	ドレライト	c	報告書の記事にあった"ドレライト"を反映させたため。
1-307	補足5- 368～385	H19-No.15	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-308	補足5- 372,373	H19-No.15	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-309	補足5- 378,379	H19-No.15	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-310	補足5- 386,387	H20-④-3	孔口標高	112.50	112.47	b	誤記の修正。
1-311	補足5- 386,387, 390～395, 398,399	H20-④-3	標高(m)	110.33～-2.50	110.30～-2.53	b	孔口標高を正しい値にしたため。
1-312	補足5- 386,387	H20-④-3	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-313	補足5- 386～399	H20-④-3	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-314	補足5- 400,401	H20-④-6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-315	補足5- 400,401	H20-④-6	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-316	補足5- 400,401	H20-④-6	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-317	補足5- 400～403	H20-④-6	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-318	補足5- 400,401	H20-④-6	岩種区分	細砂	砂	c	表現を統一したため。
1-319	補足5- 400～405	H20-④-6	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-320	補足5- 406,407	H20-④-7	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-321	補足5- 406,407	H20-④-7	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-322	補足5- 406～411	H20-④-7	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-323	補足5- 412,413	H24-B8-34	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-324	補足5- 414～423	H27-Br-5	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-325	補足5- 414～423	H27-Br-5	コア採取率(%)	標尺0～1mの範囲のみ数値，グラフの記載あり，その他なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-326	補足5- 418,419	H27-Br-5	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-327	補足5- 418,419	H27-Br-5	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-328	補足5- 424～435	H27-Br-6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-329	補足5- 424～435	H27-Br-6	コア採取率(%)	標尺0～1mの範囲のみ数値，グラフの記載あり，その他なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-330	補足5- 436～447	H27-Br-12	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-331	補足5- 436,437	H27-Br-12	岩種区分	礫混じりシルト質砂	礫・シルト混じり砂	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(岩種区分の変更)
1-332	補足5- 436～447	H27-Br-12	コア採取率(%)	標尺0～1mの範囲のみ数値，グラフの記載あり，その他なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-333	補足5- 448,449	H19-No.10	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	c	表現を統一したため。
1-334	補足5- 448,449	H19-No.10	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混じり砂礫	c	表現を統一したため。
1-335	補足5- 448,449	H19-No.10	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混じり砂礫	c	表現を統一したため。
1-336	補足5- 450,451	H19-No.10	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-337	補足5- 452,453	H19-No.5	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-338	補足5- 452,453	H19-No.5	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-339	補足5- 452,453	H19-No.5	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-340	補足5- 452,453	H19-No.5	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-341	補足5- 452,453	H19-No.5	岩種区分	腐植土	有機質土	c	表現を統一したため。
1-342	補足5- 452,453	H19-No.5	岩種区分	粘土混り砂	粘土混じり砂	c	表現を統一したため。
1-343	補足5- 452,453	H19-No.5	岩種区分	腐植混り砂	有機質混じり砂	c	表現を統一したため。
1-344	補足5- 452,453	H19-No.5	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	c	表現を統一したため。
1-345	補足5- 452,453	H19-No.5	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
1-346	補足5- 452,453	H19-No.5	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
1-347	補足5- 452～455	H19-No.5	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混じり砂礫	c	表現を統一したため。
1-348	補足5- 454～457	H19-No.5	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-349	補足5- 454～457	H19-No.5	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
1-350	補足5- 456,457	H19-No.5	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-351	補足5- 456,457	H19-No.5	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-352	補足5- 456,457	H19-No.5	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混じりシルト質砂	c	表現を統一したため。
1-353	補足5- 456,457	H19-No.5	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混じり砂礫	c	表現を統一したため。
1-354	補足5- 456,457	H19-No.5	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混じり砂質シルト	c	表現を統一したため。
1-355	補足5- 456,457	H19-No.5	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混じり砂礫	c	表現を統一したため。
1-356	補足5- 458,459	H19-No.5	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-357	補足5- 460,461	H20-④-4	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-358	補足5- 460～463	H20-④-4	コア採取率(%)	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-359	補足5- 464,465	H24-B8-15	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(柱状図模様の変更)
1-360	補足5- 464,465	H24-B8-15	岩種区分	有機質シルト	礫・砂混じり有機質シルト	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(岩種区分の変更)
1-361	補足5- 466,467	H24-B8-35	岩種区分	埋土	埋戻し土	c	表現を統一したため。
1-362	補足5- 466,467	H24-B8-35	岩種区分	有機質土混じり砂	有機物混じり砂	c	表現を統一したため。
1-363	補足5- 468,469	H24-B8-35	標高(m)他	コア欠の情報記載あり	コア欠の情報記載なし	a	コア欠の反映を忘れたため。
1-364	補足5- 470,471	H24-B8-36	岩種区分	埋土	埋戻し土	c	表現を統一したため。
1-365	補足5- 470,471	H24-B8-36	岩種区分	有機質土混じり砂	有機物混じり砂	c	表現を統一したため。
1-366	補足5- 472～481	H27-Br-4	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-367	補足5- 472,473	H27-Br-4	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-368	補足5- 482～491	H27-Br-9	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。

分類ａ：誤記
分類ｂ：誤記修正
分類ｃ：記載の適正化
分類ｄ：記事欄の記載変更に伴う変更

敦賀発電所2号炉　ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答　補足説明資料5
ボーリング柱状図記事欄以外の比較
比較資料名：報告書，申請書

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容			分類	変更理由
			対象箇所	報告書	申請書		
2-1	補足5- 492～495	H24-D1-2	柱状図	模様が異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-2	補足5- 492,493	H24-D1-2	最大コア長（cm）	3	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-3	補足5- 492,493	H24-D1-2	RQD（%）	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-4	補足5- 496～501	H24-D1-3	柱状図	模様が異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-5	補足5- 496,497	H24-D1-3	岩種区分	埋戻し土	埋土	c	表現を統一したため。
2-6	補足5- 496,497	H24-D1-3	最大コア長（cm）	1	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-7	補足5- 496,497	H24-D1-3	RQD（%）	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-8	補足5- 502～509	H24-D1-4	柱状図	模様が異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-9	補足5- 502,503	H24-D1-4	岩種区分	埋戻し土	埋土	c	表現を統一したため。
2-10	補足5- 502,503	H24-D1-4	最大コア長（cm）	6	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-11	補足5- 502,503	H24-D1-4	RQD（%）	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-12	補足5- 510～515	H24-D1-5	柱状図	模様が異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-13	補足5- 510,511	H24-D1-5	岩種区分	埋戻し土	埋土	c	表現を統一したため。
2-14	補足5- 510,511	H24-D1-5	最大コア長（cm）	2	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-15	補足5- 510,511	H24-D1-5	RQD（%）	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-16	補足5- 516,517	H19-No.2	色調	なし	灰黄	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-17	補足5- 516,517	H19-No.2	色調	なし	明赤灰	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-18	補足5- 516～539	H19-No.2	コア採取率（%）	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-19	補足5- 540～555	H19-No.14	コア採取率（%）	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-20	補足5- 540,541	H19-No.14	最大コア長（cm）	18	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-21	補足5- 540,541	H19-No.14	RQD（%）	18	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-22	補足5- 556～563	H20-②-1	コア採取率（%）	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-23	補足5- 564～575	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-24	補足5- 568,569	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。		c	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
2-25	補足5- 576,577	H19-No.4	柱状図	模様が異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-26	補足5- 576～601	H19-No.4	コア採取率（%）	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-27	補足5- 576,577	H19-No.4	最大コア長（cm）	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-28	補足5- 576,577	H19-No.4	最大コア長（cm）	11	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-29	補足5- 576,577	H19-No.4	RQD（%）	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-30	補足5- 576,577	H19-No.4	RQD（%）	11	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-31	補足5- 602,603	H19-No.12	柱状図	模様が異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-32	補足5- 602,603	H19-No.12	柱状図	模様が異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-33	補足5- 602～629	H19-No.12	コア採取率（%）	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-34	補足5- 602,603	H19-No.12	最大コア長（cm）	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-35	補足5- 602,603	H19-No.12	RQD（%）	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-36	補足5- 630,631	H20-①-9	柱状図	模様が異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-37	補足5- 630,631	H20-①-9	柱状図	模様が異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-38	補足5- 630,631	H20-①-9	柱状図	模様が異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-39	補足5- 630～639	H20-①-9	コア採取率（%）	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-40	補足5- 630,631	H20-①-9	最大コア長（cm）	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-41	補足5- 630,631	H20-①-9	RQD（%）	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-42	補足5- 640,641	H20-①-10	柱状図	模様が異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-43	補足5- 640,641	H20-①-10	柱状図	模様が異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-44	補足5- 640～645	H20-①-10	コア採取率（%）	数値，グラフ記載なし	数値，グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-45	補足5- 640,641	H20-①-10	最大コア長（cm）	20	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-46	補足5- 640,641	H20-①-10	RQD（%）	28	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。

分類ａ：誤記
分類ｂ：誤記修正
分類ｃ：記載の適正化
分類ｄ：記事欄の記載変更に伴う変更

敦賀発電所2号炉　ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答　補足説明資料5
ボーリング柱状図記事欄以外の比較
比較資料名：申請書，平成29年12月22日審査資料

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容			分類	変更理由
			対象箇所	申請書	審査資料		
3-1	補足5- 646,647	H24-D1-4	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-2	補足5- 646,647	H24-D1-4	岩種区分	花崗岩	黒雲母花崗岩	c	敦賀サイトの岩種名と整合するように記載を適正化したもの。
3-3	補足5- 648,649	H24-D1-4	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-4	補足5- 650,651	H24-D1-4	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-5	補足5- 650,651	H24-D1-4	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-6	補足5- 650,651	H24-D1-4	色調	明褐灰の下端深度が異なる。		b	誤記の修正。
3-7	補足5- 650,651	H24-D1-4	色調	灰褐の下端深度が異なる。		b	誤記の修正。
3-8	補足5- 652,653	H24-D1-5	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-9	補足5- 654,655	H24-D1-5	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-10	補足5- 656,657	H27-B-3	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-11	補足5- 656,657	H27-B-3	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-12	補足5- 656,657	H27-B-3	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-13	補足5- 658,659	H27-B-3	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-14	補足5- 658,659	H27-B-3	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-15	補足5- 658,659	H27-B-3	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-16	補足5- 658,659	H27-B-3	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-17	補足5- 660,661	H27-B-3	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-18	補足5- 662,663	H27-B-3	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-19	補足5- 662,663	H27-B-3	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-20	補足5- 664,665	H27-B-4	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-21	補足5- 664,665	H27-B-4	色調	淡橙	空白	c	コア欠区間を反映させたため。
3-22	補足5- 666,667	H27-B-4	柱状図	模様及び位置が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-23	補足5- 668,669	H27-B-4	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-24	補足5- 668,669	H27-B-4	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-25	補足5- 670,671	H27-B-4	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-26	補足5- 672,673	H19-No.2	孔口標高	127.40	127.38	b	誤記の修正。
3-27	補足5- 672,673, 678～687, 690～693	H19-No.2	標高（m）	124.26～-19.81	124.24～-19.83	b	孔口標高を正しい値にしたため。
3-28	補足5- 672,673	H19-No.2	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-29	補足5- 672,673	H19-No.2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-30	補足5- 674,675	H19-No.2	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-31	補足5- 676,677	H19-No.2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-32	補足5- 676,677	H19-No.2	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-33	補足5- 684,685	H19-No.2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-34	補足5- 688,689	H19-No.2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-35	補足5- 690,691	H19-No.2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-36	補足5- 690,691	H19-No.2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-37	補足5- 692,693	H19-No.2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-38	補足5- 694,695	H19-No.14	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-39	補足5- 694,695	H19-No.14	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-40	補足5- 694,695	H19-No.14	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-41	補足5- 696,697	H19-No.14	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-42	補足5- 698,699	H19-No.14	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-43	補足5- 700,701	H20-②-1	岩種区分	腐植土	有機質土	c	表現を統一したため。
3-44	補足5- 702,703	H20-②-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-45	補足5- 702,703	H20-②-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-46	補足5- 704,705	H24-B14-2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-47	補足5- 704,705	H24-B14-2	岩種区分	砂混り有機質シルト	砂混じり有機質シルト	c	表現を統一したため。
3-48	補足5- 704,705	H24-B14-2	岩種区分	有機物混り砂	有機物混じり砂	c	表現を統一したため。
3-49	補足5- 704,705	H24-B14-2	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-50	補足5- 704,705	H24-B14-2	岩種区分	有機物混り砂	有機物混じり砂	c	表現を統一したため。
3-51	補足5- 704,705	H24-B14-2	岩種区分	有機物混り砂質シルト	有機物混じり砂質シルト	c	表現を統一したため。
3-52	補足5- 704,705	H24-B14-2	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	c	表現を統一したため。
3-53	補足5- 706,707	H24-B14-2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-54	補足5- 706,707	H24-B14-2	柱状図	模様あり	模様なし	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-55	補足5- 708,709	H24-B14-2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-56	補足5- 710,711	H24-B14-2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-57	補足5- 712,713	H24-B14-2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-58	補足5- 714,715	H24-D1-1	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	c	表現を統一したため。
3-59	補足5- 716,717	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-60	補足5- 716,717	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-61	補足5- 716,717	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-62	補足5- 718,719	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-63	補足5- 718,719	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-64	補足5- 718,719	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-65	補足5- 720,721	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-66	補足5- 720,721	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-67	補足5- 720,721	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-68	補足5- 720,721	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-69	補足5- 722,723	H24-D1-2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-70	補足5- 724,725	H24-D1-3	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-71	補足5- 726,727	H24-D1-3	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-72	補足5- 726,727	H24-D1-3	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-73	補足5- 728,729	H27-B-1	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-74	補足5- 728,729	H27-B-1	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-75	補足5- 728,729	H27-B-1	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-76	補足5- 730,731	H27-B-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-77	補足5- 732,733	H27-B-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-78	補足5- 732,733	H27-B-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-79	補足5- 732,733	H27-B-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-80	補足5- 732,733	H27-B-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-81	補足5- 734,735	H27-B-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）

分類ａ：誤記
分類ｂ：誤記修正
分類ｃ：記載の適正化
分類ｄ：記事欄の記載変更に伴う変更

敦賀発電所2号炉　ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答　補足説明資料5
ボーリング柱状図記事欄以外の比較
比較資料名：申請書，平成29年12月22日審査資料

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容			分類	変更理由
			対象箇所	申請書	審査資料		
3-82	補足5- 736,737	H27-B-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-83	補足5- 738～741	H27-B-1	全項目	標尺80m-120mの頁なし	標尺80m-120mの頁あり	b	申請書での該当深度の掲載漏れ。
3-84	補足5- 742,743	H27-B-2	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-85	補足5- 745～747	H27-B-2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-86	補足5- 748,749	H27-B-2	柱状図	模様の位置が異なる。		b	誤記の修正。
3-87	補足5- 748,749	H27-B-2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-88	補足5- 750,751	H27-B-2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-89	補足5- 752,753	H27-B-2	柱状図	模様及び位置が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-90	補足5- 754,755	H27-B-2	柱状図	模様の位置が異なる。		b	申請書に記されていた破砕部の深度が間違っており，それを審査資料で修正したため。
3-91	補足5- 756,757	H27-B-2	標高（m），深度（m）	標高，深度記載あり	標高，深度記載なし	a	記載漏れ。
3-92	補足5- 758,759	H19-No.4	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-93	補足5- 758,759	H19-No.4	柱状図	模様が異なる。		c	表現を統一したため。
3-94	補足5- 758,759	H19-No.4	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-95	補足5- 758,759	H19-No.4	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-96	補足5- 758,759	H19-No.4	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-97	補足5- 758,759	H19-No.4	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混じり砂質シルト	c	表現を統一したため。
3-98	補足5- 760,761	H19-No.4	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-99	補足5- 762,763	H19-No.4	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-100	補足5- 764,765	H19-No.4	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-101	補足5- 766,767	H19-No.4	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-102	補足5- 768,769	H19-No.4	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-103	補足5- 770,771	H19-No.4	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-104	補足5- 772,773	H19-No.12	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混じりシルト質砂	c	表現を統一したため。
3-105	補足5- 774,775	H19-No.12	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-106	補足5- 776,777	H19-No.12	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-107	補足5- 778,779	H19-No.12	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-108	補足5- 780,781	H19-No.12	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-109	補足5- 782,783	H19-No.12	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-110	補足5- 782,783	H19-No.12	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-111	補足5- 782,783	H19-No.12	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-112	補足5- 784,785	H24-B11-2	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-113	補足5- 784,785	H24-B11-2	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-114	補足5- 784,785	H24-B11-2	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-115	補足5- 784,785	H24-B11-2	岩種区分	有機質土混り砂	有機質土混じり砂	c	表現を統一したため。
3-116	補足5- 784,785	H24-B11-2	岩種区分	シルト・礫混り砂/砂礫互層	シルト・礫混じり砂/砂礫互層	c	表現を統一したため。
3-117	補足5- 784,785	H24-B11-2	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混じりシルト質砂	c	表現を統一したため。
3-118	補足5- 786,787	H24-B11-2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-119	補足5- 788,789	H24-B11-2	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-120	補足5- 790,791	H24-B11-2	コア採取率（%）	標尺123m以下数値，グラフ記載あり	標尺123m以下数値，グラフ記載なし	a	記載漏れ。
3-121	補足5- 792,793	H24-B8-22	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-122	補足5- 792,793	H24-B8-22	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	c	表現を統一したため。
3-123	補足5- 792,793	H24-B8-22	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混じりシルト質砂	c	表現を統一したため。
3-124	補足5- 792,793	H24-B8-22	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混じりシルト質砂	c	表現を統一したため。
3-125	補足5- 792,793	H24-B8-22	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混じり砂質シルト	c	表現を統一したため。
3-126	補足5- 794,795	H24-B8-22	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-127	補足5- 796,797	H24-B8-22	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-128	補足5- 796,797	H24-B8-22	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	c	表現を統一したため。
3-129	補足5- 798,799	H24-B8-22	岩種区分	粘土・礫混り砂	粘土・礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-130	補足5- 798,799	H24-B8-22	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	c	表現を統一したため。
3-131	補足5- 800,801	H24-B8-22	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-132	補足5- 802,803	H24-B8-22	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-133	補足5- 804,805	H24-B8-22	柱状図	模様あり	模様なし	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-134	補足5- 804,805	H24-B8-22	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-135	補足5- 806,807	H20-①-9	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-136	補足5- 806,807	H20-①-9	岩種区分	腐植土	有機質土	c	表現を統一したため。
3-137	補足5- 808,809	H20-①-9	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-138	補足5- 808,809	H20-①-9	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-139	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	礫・砂混り有機質シルト	礫・砂混じり有機質シルト	c	表現を統一したため。
3-140	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-141	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-142	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	礫混り有機質砂	礫混じり有機質砂	c	表現を統一したため。
3-143	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	有機質土混り砂	有機質土混じり砂	c	表現を統一したため。
3-144	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	礫混りシルト質砂	細礫混じりシルト質砂	c	表現を統一したため。
3-145	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-146	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混じり砂礫	c	表現を統一したため。
3-147	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	c	表現を統一したため。
3-148	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混じり砂礫	c	表現を統一したため。
3-149	補足5- 812,813	H24-B11-1	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混じり砂礫	c	表現を統一したため。
3-150	補足5- 814,815	H24-B11-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-151	補足5- 814,815	H24-B11-1	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-152	補足5- 816,817	H24-B11-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-153	補足5- 818,819	H24-B11-1	柱状図	模様あり	模様なし	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-154	補足5- 818,819	H24-B11-1	柱状図	模様あり	模様なし	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-155	補足5- 820,821	H24-B11-1	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-156	補足5- 822,823	H24-B8-21	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-157	補足5- 822,823	H24-B8-21	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混じり砂質シルト	c	表現を統一したため。
3-158	補足5- 822,823	H24-B8-21	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混じりシルト質砂	c	表現を統一したため。
3-159	補足5- 822,823	H24-B8-21	岩種区分	有機物・礫混り砂	有機物・礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-160	補足5- 822,823	H24-B8-21	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-161	補足5- 824,825	H24-B8-21	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-162	補足5- 824,825	H24-B8-21	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-163	補足5- 826,827	H24-B8-21	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）

分類ａ：誤記
分類ｂ：誤記修正
分類ｃ：記載の適正化
分類ｄ：記事欄の記載変更に伴う変更

敦賀発電所2号炉　ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答　補足説明資料5
ボーリング柱状図記事欄以外の比較
比較資料名：申請書，平成29年12月22日審査資料

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容			分類	変更理由
			対象箇所	申請書	審査資料		
3-164	補足5- 828～831	H24-B8-21	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-165	補足5- 830,831	H24-B8-21	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-166	補足5- 830,831	H24-B8-21	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-167	補足5- 832,833	H24-B8-21	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-168	補足5- 834,835	H27-D5-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-169	補足5- 834,835	H27-D5-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-170	補足5- 834,835	H27-D5-1	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-171	補足5- 834,835	H27-D5-1	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	c	表現を統一したため。
3-172	補足5- 834,835	H27-D5-1	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
3-173	補足5- 834,835	H27-D5-1	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	c	表現を統一したため。
3-174	補足5- 834,835	H27-D5-1	最大コア長（cm）	標尺3m地点の線ずれ		c	岩盤上限の2.84mと3.00mの間が16cmと狭いため，2.84～4.00mで最大コア長を求めたもの。
3-175	補足5- 834,835	H27-D5-1	RQD（%）	標尺3m地点の線ずれ		c	岩盤上限の2.84mと3.00mの間が16cmと狭いため，2.84～4.00mで最大コア長を求めたもの。
3-176	補足5- 836,837	H27-D5-1	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-177	補足5- 838,839	H20-①-10	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
3-178	補足5- 840,841	H20-①-10	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）

比較資料名：平成30年11月30日審査資料，令和2年2月7日審査資料

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容			分類	変更理由
			対象箇所	審査資料 平成30年11月30日	審査資料 令和2年2月7日		
4-1	補足5- 842,843	H27-B-2	標高（m），深度（m）	標高，深度記載なし	標高，深度記載あり	b	誤記の修正。

分類ａ：誤記
分類ｂ：誤記修正
分類ｃ：記載の適正化
分類ｄ：記事欄の記載変更に伴う変更

ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNo.										

ボーリング名	No.16	調査位置		北緯	
発注機関		調査期間		東経	
調査業者名		主任技師	現場代理人 / コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	+ 74.48 m	角度 180° 上 90° 下 0° 0° / 方向 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0° / 地盤勾配 水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種 試錐機	ハンマー落下用具	
総掘削長	220.00 m		エンジン	ポンプ	

標高 (m)	深度 (m)	岩種区分	色調	記事
64.67	9.81	盛土	浅黄 / にぶい黄褐 / 灰	深度0.40～2.00m：盛土，径0.5～3.0cmの砕石，砂。 深度2.00～9.63m：盛土，シルト混じり砂礫。 深度9.63～9.81m：コンクリート片。
61.75	12.73	花崗斑岩	明赤灰	深度9.81～12.73m：花崗斑岩。径5～15mmの長石，黒雲母の斑晶，径3mmの石英の斑晶を30～40%程度含み，石基は径0.5～1mm程度である。全体に風化著しく，岩芯まで褐色を帯び脆い。傾斜40～70度の節理が発達するが不明瞭。酸化鉄が付着し密着する。
60.37	14.11	アプライト	明赤灰	アプライト，上位との境界傾斜7度。深度12.73～72.17m:アプライト。石基は径0.1mm以下であり，斑晶は径3～5mmの石英，長石の斑晶が点在する。下部では黒雲母が多くなる。
60.15	14.33	ペグマタイト	明赤灰	ペグマタイト傾斜25度。
		アプライト	明赤灰 / にぶい黄橙 / 明赤灰 / にぶい黄橙 / 灰白 / 明褐灰	深度16.01～16.12m：破砕帯(Hj)。上盤50度，下盤75度。節理密集部。岩質脆い。 深度16.12～16.30m：破砕帯(Hj)。上盤75度，下盤60度。灰白色礫混じり砂状。深度16.29m，厚さ1～4mm程度の桃白色粘土を挟む。下盤側65度のシームを上盤側60度のシームが切る。逆断層的センス。 深度16.30～17.42m：破砕帯(Hj)。上盤60度，下盤70度。灰白色節理密集部。16.85mシーム。傾斜70度の節理を傾斜80～90度のシームが数mmずらしている。 深度17.70～17.82m：破砕帯(Hj)。上盤35度，下盤50度。幅80mm，礫混じりシルト質砂状。 深度17.82～20.00m：岩質は比較的硬いが，密着した節理が数cm間隔で発達。 深度21.28～24.43m：10～20cm間隔で傾斜55～70度の節理が発達する。面は褐色を帯びる。

硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質
Eg	Ⅱg	bg	δ	
Dg / Cg / Dg	Ⅳg	cg	γ	2
Cg / Dg / Cg / Dg	Ⅴg / Ⅳg / Ⅲg	bg	γ	2
Eg	Ⅴg / Ⅵg / Ⅴg / Ⅵg	dg / cg / dg	γ	3
Dg / Eg	Ⅳg / Ⅵg	bg / dg	γ	2
Cg / Dg / Cg / Dg	Ⅲg / Ⅱg / Ⅳg	bg	γ	2
Eg	Ⅴg	cg	γ	2
Cg / Dg / Cg / Dg / Cg / Bg / Cg	Ⅲg / Ⅳg / Ⅲg / Ⅳg / Ⅲg / Ⅰg / Ⅲg / Ⅱg	bg	γ	2

コア採取率 (%)	RQD [%]	岩級区分	岩盤分類
94	[94]	D'	[D]
81	[81]	D'	[D]
75	[85]	D'	[D]
17	[29]	CL'	[CL]
20	[20]	CM'	
35	[79]	CM'	
0	[0]		
17	[17]	CM'	
24	[40]	CM'	
16	[57]	CL'	[CM]
31	[42]	CL'	[CM]
30	[55]	CM'	[CM]
22	[35]	CM'	
22	[52]	CM'	
55	[84]	CM'	
18	[70]	CM'	
35	[68]	CM'	

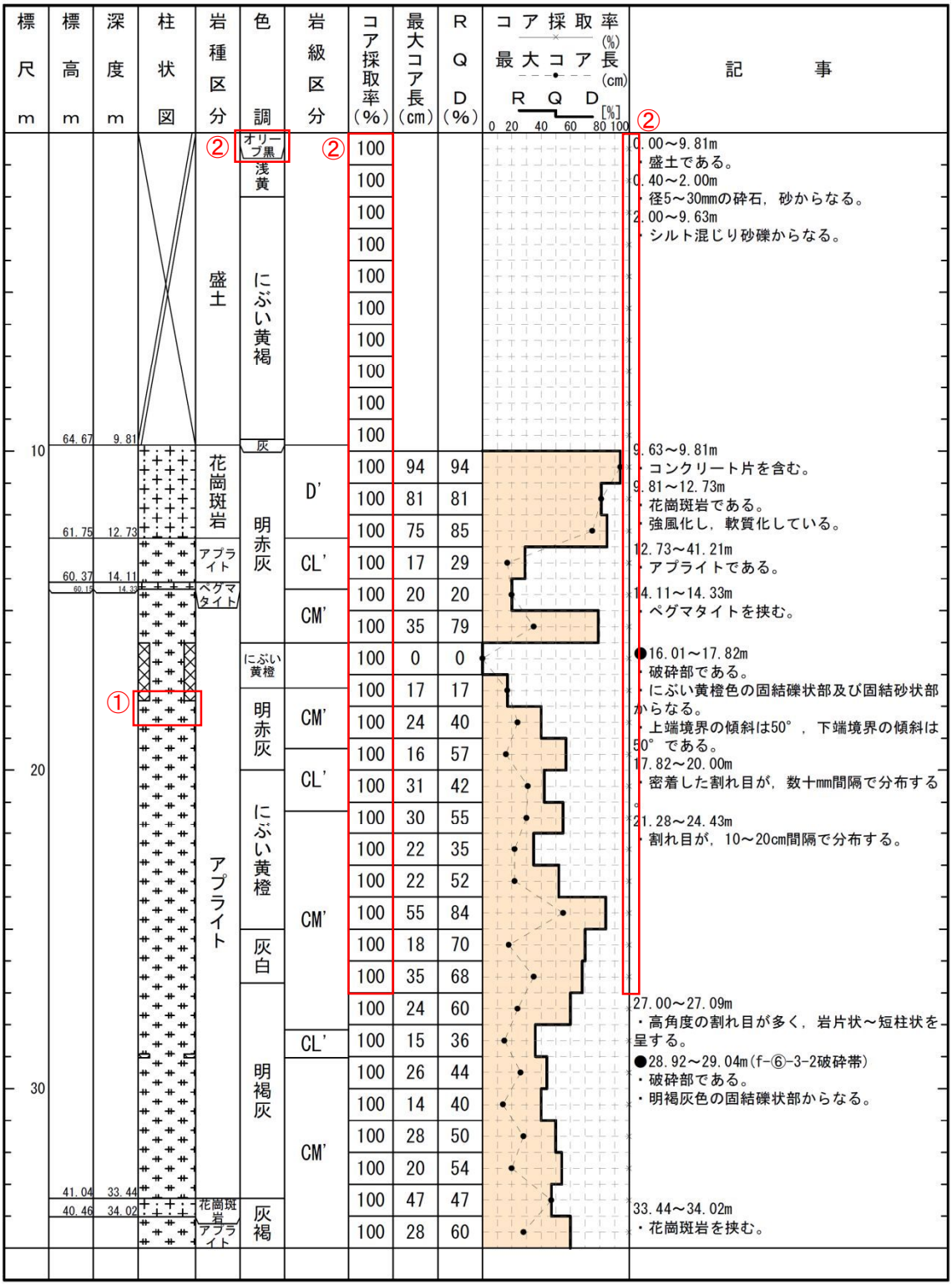
掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
	207	140/ケーシング, 114/ケーシング	シングルコアチューブ/メタルビット	15.0	110	0.0	その他(不明含む) 0	0
9/13, 9/14 10.00	240	114/ケーシング		10.0	150	0.0	泥水	10
10.20			ダブルコアチューブ/ダイヤビット			0.0	泥水12	12
	250	99/ケーシング	ダブルコアチューブ/ダイヤビット	60.0	190	0.0	泥水5	0
9/15 19.35	240	99/ケーシング	ダブルコアチューブ/ダイヤビット	40.0	180	0.0	泥水5	3
9/16 22.15	183	99/ケーシング	ダブルコアチューブ/ダイヤビット	35.0	190	0.0	泥水7	3

標準貫入試験：（N値～深度）0 10 20 30 40 50

H19-No.16

柱状図(0.00m～35.00m)

H19-No. 16	孔口標高	T.P. 74.48m	掘削長	220.00m



1-1(分類d)①
　記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-2,1-3(分類b)②
　報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
30	41.04	33.44		アプライト	明褐灰	Cg, Bg, Cg	IVg, IIIg, IVg, IVg, IIg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	bg, cg			深度27.00～27.09m：節理密集部，高角度の節理多い。 深度28.82～29.04m：節理密集部。節理面は黒褐色を帯びる。 深度31.00m：幅10mmシルト混じり礫状。上盤に幅1mmの黄灰～暗褐色シルトを挟む。鏡肌あり。
	40.46	34.02		花崗斑岩	灰褐	Cg	IIg, IIIg				花崗斑岩，上位との境界傾斜60度。径0.5～2.0cmの捕獲岩が点在する。下位との境界傾斜40度。
40	33.27	41.21		アプライト	明褐灰	Dg, Cg	IVg, IIIg, IIg, IIIg, IVg, IIIg				深度35.35m：シーム。傾斜60度。幅7～10mmの暗褐色粘土状。 深度35.62～35.77m，36.21～36.34m：径0.3～1.0cmの暗緑色を帯びた捕獲岩を多く含む。 深度39.16m：傾斜50度，幅6～10mmの礫・シルト混じり砂を挟む。
	31.01	43.47		花崗斑岩			IVg		γ	2	花崗斑岩，上位との境界不明瞭。 深度41.21～50.70m：花崗斑岩。 径3mm程度の石英，長石の斑晶を1～3%程度含み，石基は径0.1mm以下である。 深度41.39～43.76m：傾斜45～50度の節理が10cm以下の間隔で発達。節理面は褐色を帯びる。
	30.68	43.80		アプライト							アプライト，上位との境界凹凸あり，傾斜65度。 全体に短柱～柱状コア主体。
50	23.78	50.70		花崗斑岩	灰褐	Cg	IIIg, IVg, Vg, IVg, IIIg, IIg, IVg, IIg, IVg, IIg, IIIg	bg			深度46.36～46.43m：節理密集部。 深度46.36m，傾斜80度，下盤側節理0.3～1.0cm間隔。 深度46.43m，傾斜40度，上盤側砂状2mm，細礫状1cm。 深度47.70～47.89m：主として傾斜50～65度の密着した節理が，1～2cm間隔で発達。
	17.31	57.17		アプライト	灰黄褐, にぶい黄, にぶい黄橙, 明褐灰	Bg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg	IIg, IIIg, Vg, IVg, Vg, IVg, IIIg				アプライト，上位との境界傾斜60度。 深度52.53～52.90m：節理が密集する。 深度52.68m，傾斜55度の節理の上・下盤に傾斜70度以上の高角度な節理が0.5～2.0cm間隔で発達。 全体に0.5～1.0cm間隔で密着した節理が発達。 深度54.48～54.89m：節理密集部，一部角礫状。 深度54.68m：シーム。傾斜50度。幅3～10mm，礫混じり暗褐色粘土状。 深度56.75～56.85m：ペグマタイトを挟む。
60				花崗斑岩	灰褐, にぶい褐	Cg, Bg, Cg	Vg, IVg, IIIg, IVg, IIg, IVg, Vg, IVg, IIIg		β, γ		花崗斑岩，上位との境界傾斜30度。 深度57.17～63.47m:花崗斑岩。 径3～5mmの石英，長石及び黒雲母の斑晶を3～10%程度含み，石基は径0.1mm以下である。石基は流理が認められる。 深度61.08～63.03m：密着及び開口した節理が1～3cm間隔で発達。

コア採取率（%）／最大コア長 cm／RQD［%］（0 50 100）：
24 [60], 15 [36], 26 [44], 14 [40], 28 [50], 20 [54], 47 [47], 28 [60], 10 [20], 37 [49], 36 [80], 14 [49], 16 [16], 23 [35], 18 [28], 14 [14], 21 [36], 18 [29], 23 [49], 19 [19], 29 [46], 30 [45], 46 [84], 30 [84], 30 [76], 16 [33], 20 [20], 7 [0], 9 [0], 28 [43], 16 [28], 20 [49], 29 [51], 48 [78], 6 [0], 20 [40]

岩級区分：CM'，CL'，CM'，CH'，CM'，CH'，CM'
岩盤分類：[CM]

孔内水位(m)／測定月日：（記載なし）

（ 標準貫入試験 ）試験：（N値）、N値～深度 0 10 20 30 40 50：（記載なし）

原位置試験（孔内水平載荷）：（記載なし）
室内試験：（記載なし）

掘進月日：9/19 35.25，9/20 46.95，9/21 53.25

掘進速度（cm/時）：183，176，126，144

孔径(mm)／孔壁保護：99／ケーシング，76，76／セメンティング

コアチューブ／ビット：ダブルコアチューブ／ダイヤビット

給圧（kN・MPa）：35.0，45.0

回転数（rpm）：190，170

送水圧（MPa）：0.0，0.0，0.0

送水量（l/分）：泥水7，泥水12，泥水11

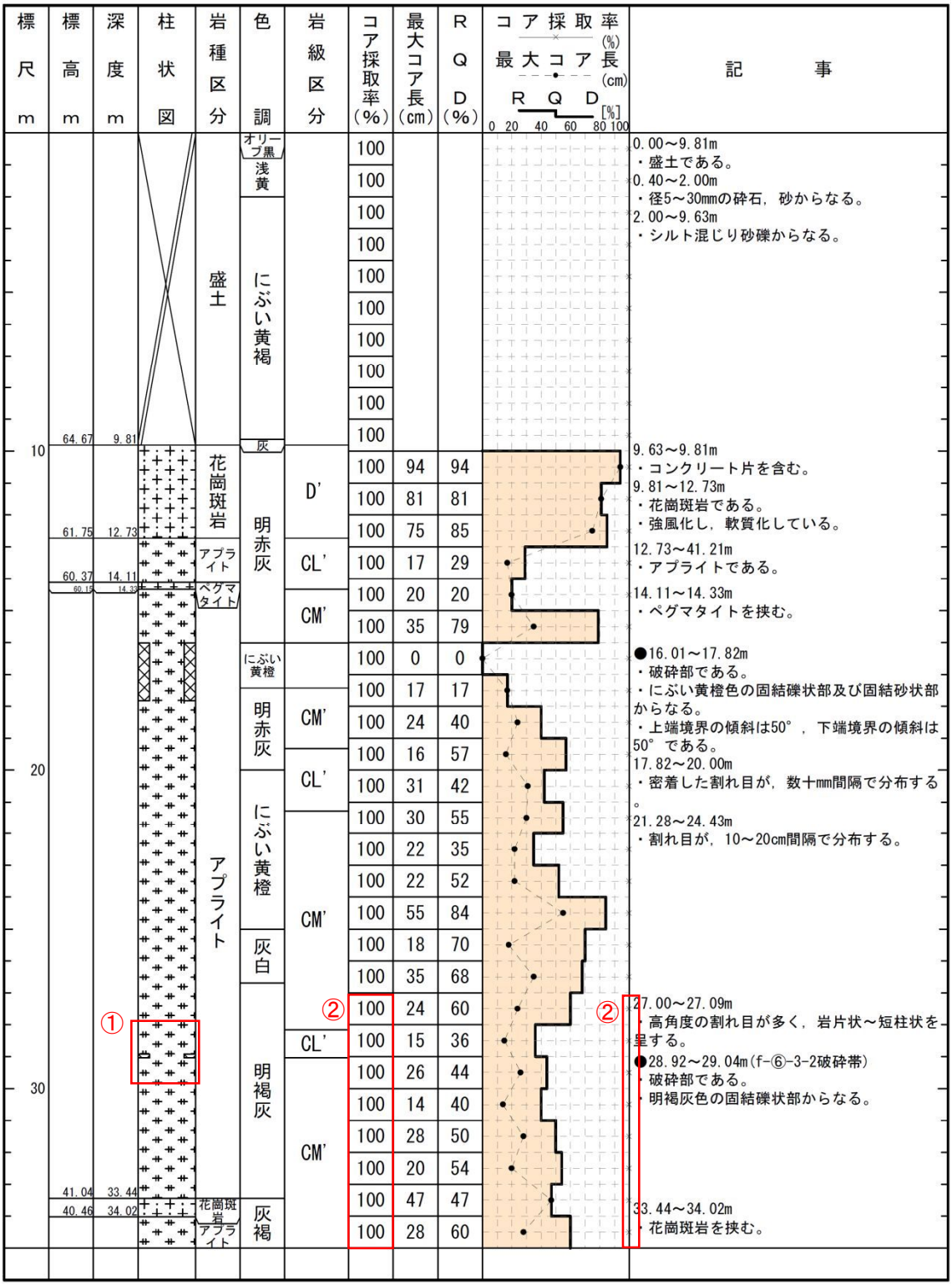
排水量（l/分）：3，0，0

H19-No.16

柱状図(0.00m～35.00m)

H19-No. 16

孔口標高	T.P. 74.48m	掘削長	220.00m



1-4(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-3(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺(m) / 標高(m) / 深度(m) / 柱状図 / 岩種区分 / 色調 / 硬軟 / コア形状 / 割れ目の状態 / 風化 / 変質 / 記事 / コア採取率(%)・最大コア長 cm・RQD[%] / 岩級区分 / 岩盤分類 / 孔内水位(m)/測定月日 / (標準貫入試験)試験 (N)値・(N値～深度) 0 10 20 30 40 50 / 原位置試験(孔内水平載荷) / 室内試験 / 掘進月日 / 掘進速度(cm/時) / 孔径(mm)/孔壁保護 / コアチューブ/ビット / 給圧(kN・MPa) / 回転数(rpm) / 送水圧(MPa) / 送水量(l/分) / 排水量(l/分)

標尺: 30, 40, 50, 60

標高(m)	深度(m)	岩種区分	色調
	～33.44	アプライト	明褐灰
41.04	33.44	花崗斑岩	灰褐
40.46	34.02	アプライト	明褐灰
33.27	41.21	花崗斑岩	明褐灰
31.01	43.47	アプライト	
30.68	43.80	花崗斑岩	灰褐
23.78	50.70	アプライト	灰黄褐 / にぶい黄 / にぶい黄橙 / 明褐灰
17.31	57.17	花崗斑岩	灰褐 / にぶい褐

硬軟: Cg, Dg, Bg, Cg, Dg, Cg, Bg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Bg, Cg

コア形状: Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅱg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅲg, Ⅱg, Ⅲg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅲg

割れ目の状態: bg, cg, bg

風化: γ, β, γ

変質: 2

記事:

深度27.00～27.09m：節理密集部，高角度の節理多い。

深度28.82～29.04m：節理密集部。節理面は黒褐色を帯びる。

深度31.00m：幅10mmシルト混じり礫状。上盤に幅1mmの黄灰～暗褐色シルトを挟む。鏡肌あり。

花崗斑岩，上位との境界傾斜60度。径0.5～2.0cmの捕獲岩が点在する。下位との境界傾斜40度。

深度35.35m：シーム。傾斜60度。幅7～10mmの暗褐色粘土状。
深度35.62～35.77m，36.21～36.34m：径0.3～1.0cmの暗緑色を帯びた捕獲岩を多く含む。

深度39.16m：傾斜50度，幅6～10mmの礫・シルト混じり砂を挟む。

花崗斑岩，上位との境界不明瞭。
深度41.21～50.70m：花崗斑岩。
径3mm程度の石英，長石の斑晶を1～3%程度含み，石基は径0.1mm以下である。
深度41.39～43.76m：傾斜45～50度の節理が10cm以下の間隔で発達。節理面は褐色を帯びる。
アプライト，上位との境界凹凸あり，傾斜65度。
全体に短柱～柱状コア主体。

深度46.36～46.43m：節理密集部。
深度46.36m，傾斜80度，下盤側節理0.3～1.0cm間隔。
深度46.43m，傾斜40度，上盤側砂状2mm，細礫状1cm。
深度47.70～47.89m：主として傾斜50～65度の密着した節理が，1～2cm間隔で発達。

アプライト，上位との境界傾斜60度。

深度52.53～52.90m：節理が密集する。
深度52.68m，傾斜55度の節理の上・下盤に傾斜70度以上の高角度な節理が0.5～2.0cm間隔で発達。
全体に0.5～1.0cm間隔で密着した節理が発達。

深度54.48～54.89m：節理密集部，一部角礫状。
深度54.68m：シーム。傾斜50度。幅3～10mm，礫混じり暗褐色粘土状。

深度56.75～56.85m：ペグマタイトを挟む。
花崗斑岩，上位との境界傾斜30度。
深度57.17～63.47m:花崗斑岩。
径3～5mmの石英，長石及び黒雲母の斑晶を3～10%程度含み，石基は径0.1mm以下である。石基は流理が認められる。

深度61.08～63.03m：密着及び開口した節理が1～3cm間隔で発達。

コア採取率・最大コア長 (cm) [RQD %]: 24 [60], 15 [36], 26 [44], 14 [40], 28 [50], 20 [54], 47 [47], 28 [60], 10 [20], 37 [49], 36 [80], 14 [49], 16 [16], 23 [35], 18 [28], 14 [14], 21 [36], 18 [29], 23 [49], 19 [19], 29 [46], 30 [45], 46 [84], 30 [84], 30 [76], 16 [33], 20 [20], 7 [0], 9 [0], 28 [43], 16 [28], 20 [49], 29 [51], 48 [78], 6 [0], 20 [40]

岩級区分: CM', CL', CM', CH', CM', CH', CM'

岩盤分類: [CM]

掘進月日: 9/19 (35.25), 9/20 (46.95), 9/21 (53.25)

掘進速度(cm/時): 183, 176, 126, 144

孔径(mm)/孔壁保護: 99/ケーシング, 76, 76/セメンティング

コアチューブ/ビット: ダブルコアチューブ/ダイヤビット

給圧: 35.0, 45.0

回転数(rpm): 190, 170

送水圧(MPa): 0.0, 0.0, 0.0

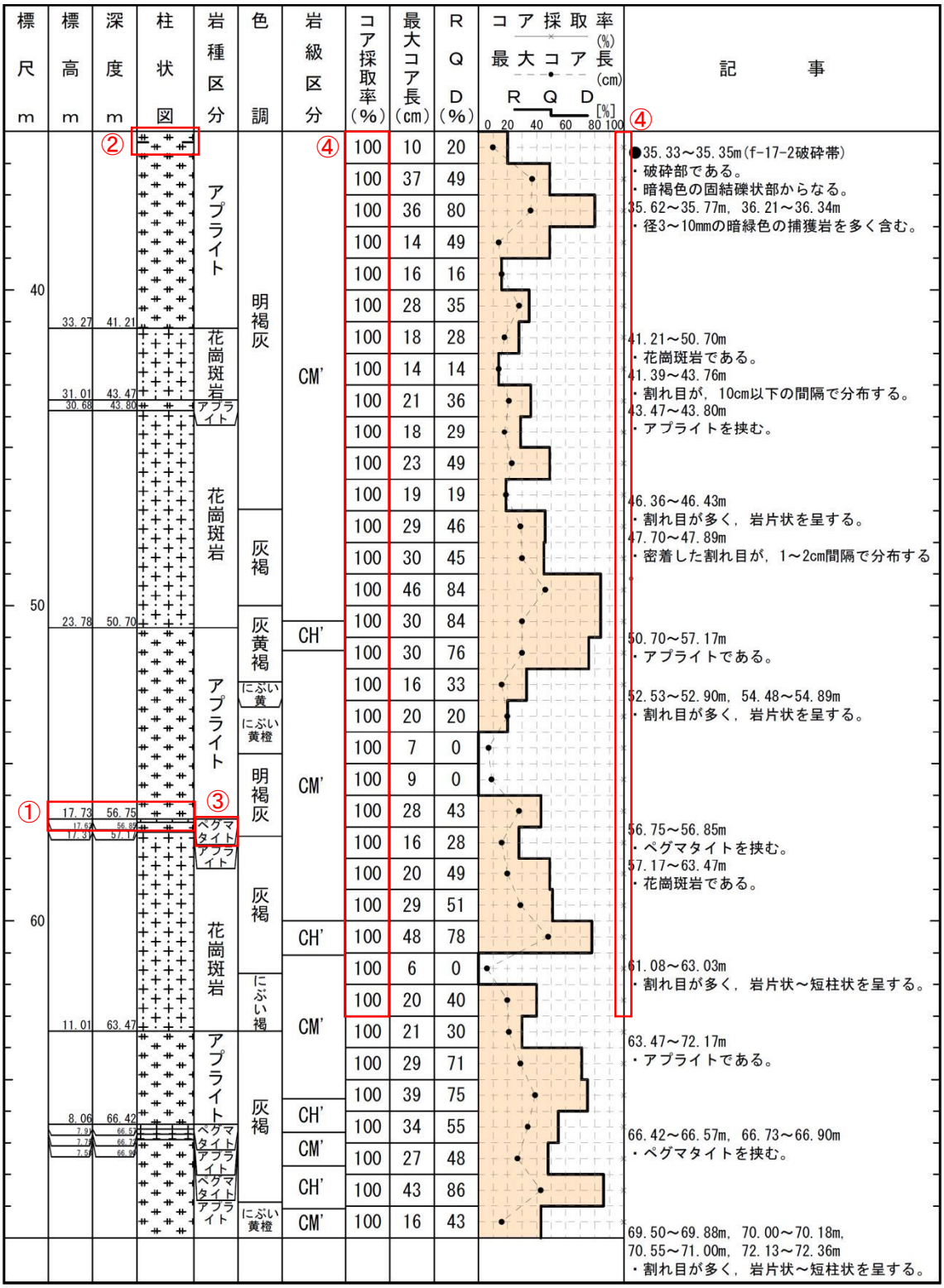
送水量(l/分): 泥水 7, 泥水 12, 泥水 11

排水量(l/分): 3, 0, 0

No.16(2/7)

H19-No.16

柱状図(35.00m～70.00m)



1-5～1-8, 1-10(分類c)①
　岩種区分に”ペグマタイト”が追加されたため。
1-9(分類d)②
　記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-11(分類c)③
　報告書の記事にあった”ペグマタイト”を反映させたため。
1-3(分類b)④
　報告書の記載漏れを修正したため。

参考3-352

標高 (m)	深度 (m)	岩種区分
11.01	63.47	花崗斑岩 (にぶい褐)
2.31	72.17	アプライト
0.40	74.08	花崗斑岩
0.16	74.32	アプライト
-1.24	75.72	花崗斑岩
-1.74	76.22	アプライト
-7.17	81.65	花崗斑岩
-7.62	82.10	アプライト
-11.56	86.04	花崗斑岩
		アプライト

標尺: 70, 80, 90

色調: 灰褐, にぶい黄橙, 灰褐, にぶい黄橙, 褐灰, 灰オリーブ, 灰黄褐, 灰, にぶい黄橙, 灰, にぶい黄橙, 浅黄, にぶい黄橙, 灰黄褐, にぶい黄褐, 灰黄, にぶい黄橙, 灰褐, にぶい黄橙, 灰白, にぶい橙, 淡黄, にぶい黄橙, 褐灰, 浅黄橙, にぶい黄橙, 橙, 明オリーブ灰, にぶい黄橙, 灰黄褐, 明オリーブ灰

硬軟: Cg, Bg, Dg, Eg　コア形状: Ⅰg, Ⅱg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅵg　割れ目の状態: bg, cg, dg　風化: γ, β, γ　変質: 2, 3, 2, 4, 2

記事

アプライト，上位との境界傾斜13度。全体に細粒，わずかに径1～4mmの石英斑晶を含む。

深度64.60m：傾斜70度の節理の周辺に幅6cm間酸化マンガン濃集。

深度66.42～66.57m，66.73～66.90m：ペグマタイトを挟む。
深度67.00～68.42m：わずかにカリ長石，斜長石の斑晶が点在する。

深度69.50～69.88m：節理密集部，0.5～1.0cm間隔。
深度69.77～69.88m：傾斜50度，70度の節理に挟まれた部分に0.3～0.7cm間隔で傾斜40度程度の節理が密集する。
深度70.00～70.18m，70.55～71.00m，72.13～72.36m：傾斜35～60度の節理発達。岩片～短柱状コア。

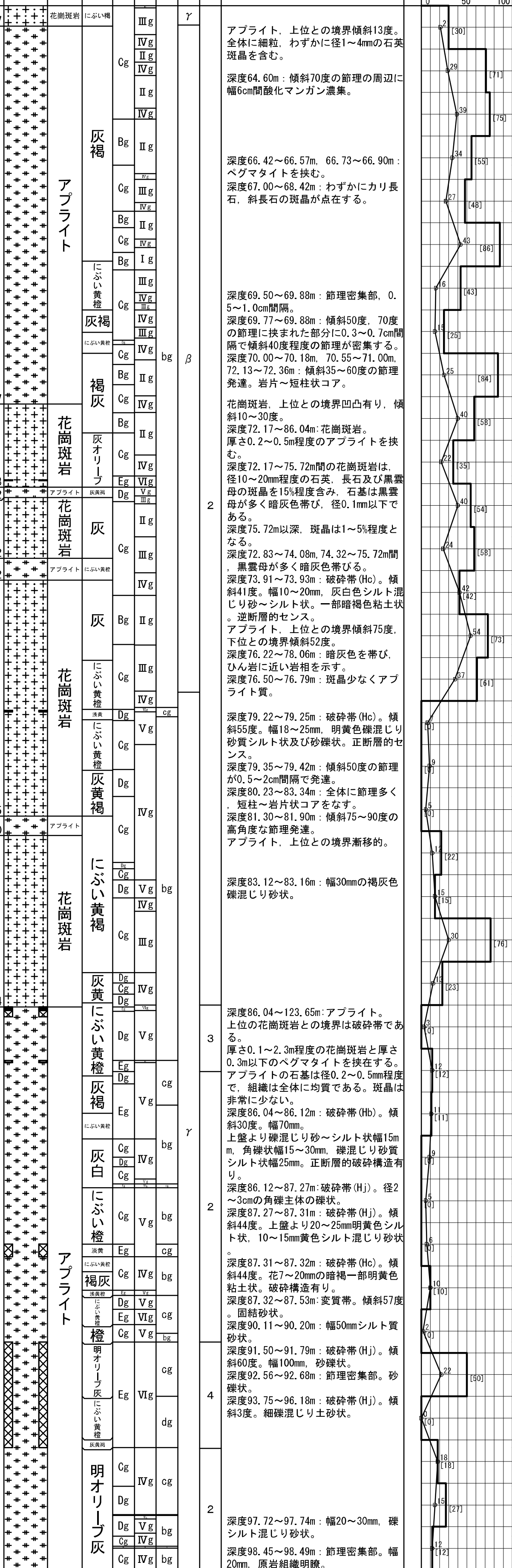
花崗斑岩，上位との境界凹凸有り，傾斜10～30度。
深度72.17～86.04m:花崗斑岩。
厚さ0.2～0.5m程度のアプライトを挟む。
深度72.17～75.72m間の花崗斑岩は，径10～20mm程度の石英，長石及び黒雲母の斑晶を15%程度含み，石基は黒雲母が多く暗灰色帯び，径0.1mm以下である。
深度75.72m以深，斑晶は1～5%程度となる。
深度72.83～74.08m,74.32～75.72m間，黒雲母が多く暗灰色帯びる。
深度73.91～73.93m：破砕帯(Hc)。傾斜41度。幅10～20mm，灰白色シルト混じり砂～シルト状。一部暗褐色粘土状。逆断層的センス。
アプライト，上位との境界傾斜75度，下位との境界傾斜52度。
深度76.22～78.06m：暗灰色を帯び，ひん岩に近い岩相を示す。
深度76.50～76.79m：斑晶少なくアプライト質。

深度79.22～79.25m：破砕帯(Hc)。傾斜55度。幅18～25mm，明黄色礫混じり砂質シルト状及び砂礫状。正断層的センス。
深度79.35～79.42m：傾斜50度の節理が0.5～2cm間隔で発達。
深度80.23～83.34m：全体に節理多く，短柱～岩片状コアをなす。
深度81.30～81.90m：傾斜75～90度の高角度な節理発達。
アプライト，上位との境界漸移的。

深度83.12～83.16m：幅30mmの褐灰色礫混じり砂状。

深度86.04～123.65m:アプライト。
上位の花崗斑岩との境界は破砕帯である。
厚さ0.1～2.3m程度の花崗斑岩と厚さ0.3m以下のペグマタイトを挟在する。
アプライトの石基は径0.2～0.5mm程度で，組織は全体に均質である。斑晶は非常に少ない。
深度86.04～86.12m：破砕帯(Hb)。傾斜30度。幅70mm。
上盤より礫混じり砂～シルト状幅15mm，角礫状幅15～30mm，礫混じり砂質シルト状幅25mm。正断層的破砕構造有り。
深度86.12～87.27m:破砕帯(Hj)。径2～3cmの角礫主体の礫状。
深度87.27～87.31m：破砕帯(Hj)。傾斜44度。上盤より20～25mm明黄色シルト状，10～15mm黄色シルト混じり砂状。
深度87.31～87.32m：破砕帯(Hc)。傾斜44度。花7～20mmの暗褐一部明黄色粘土状。破砕構造有り。
深度87.32～87.53m:変質帯。傾斜57度。固結砂状。
深度90.11～90.20m：幅50mmシルト質砂状。
深度91.50～91.79m：破砕帯(Hj)。傾斜60度。幅100mm，砂礫状。
深度92.56～92.68m：節理密集部。砂礫状。
深度93.75～96.18m：破砕帯(Hj)。傾斜3度。細礫混じり土砂状。

深度97.72～97.74m：幅20～30mm，礫シルト混じり砂状。
深度98.45～98.49m：節理密集部。幅20mm，原岩組織明瞭。



岩級区分: CM', CH', CM', CH', CM', CL', CM', CM', CH', CM', CL', CM', CL', CM', CL', CM', CL', D', CM', CL', CM', CL', CM', CL', CM'

岩盤分類: [CM], [CH], [CM], [CL], [CM]

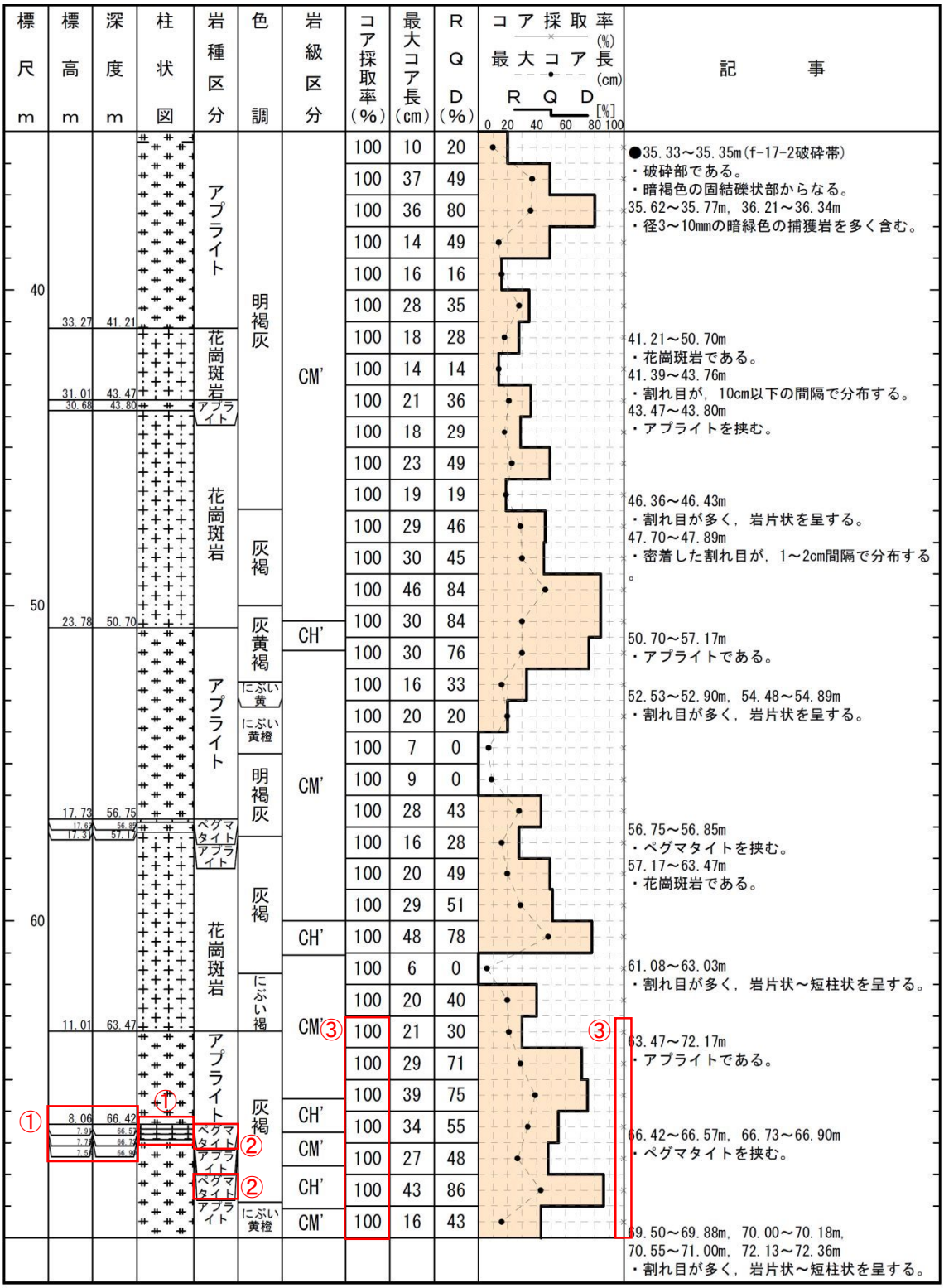
標準貫入試験 (N値～深度 0 10 20 30 40 50): 記録なし

掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
9/22 63.70	144	76/セメンティング	ダブルコアチューブ/ダイヤビット			0.0	泥水11	0
9/23 65.70	150				170	0.0	泥水10	0
9/26 70.65	114					0.0	泥水13	6
9/27 78.75	130			45.0	150	0.0	泥水10	0
9/28 83.70	138					0.0	泥水8	0
9/29 87.45	145			35.0		0.0	泥水6	0
9/30 88.80	81	76		45.0				
10/2 93.35	124			40.0	165	0.0	泥水7	0
10/3 95.00	66			15.0	135	0.0	泥水6	0
	127			30.0	190	0.0	泥水1	0

No.16(3/7)

H19-No.16

柱状図(35.00m～70.00m)



1-12～1-20(分類c)①
　岩種区分に”ペグマタイト”が追加されたため。
1-21,1-22(分類c)②
　報告書の記事にあった”ペグマタイト”を反映させたため。
1-3(分類b)③
　報告書の記載漏れを修正したため。

参考3-352

標高 (m)	深度 (m)	岩種区分	色調
11.01	63.47	花崗斑岩	にぶい褐
2.31	72.17	アプライト	灰褐, にぶい黄橙, 灰褐, にぶい黄橙, 褐灰
0.40	74.08	花崗斑岩	灰オリーブ
0.16	74.32	アプライト	灰黄褐
-1.24	75.72	花崗斑岩	灰
-1.74	76.22	アプライト	にぶい黄橙
-7.17	81.65	花崗斑岩	灰, にぶい黄橙, 浅黄, にぶい黄橙, 灰黄褐
-7.62	82.10	アプライト	
-11.56	86.04	花崗斑岩	にぶい黄褐, 灰黄
		アプライト	にぶい黄橙, 灰褐, にぶい黄橙, 灰白, にぶい橙, 淡黄, にぶい黄橙, 褐灰, 浅黄橙, にぶい黄橙, 橙, 明オリーブ灰, にぶい黄橙, 灰黄褐, 明オリーブ灰

硬軟: Cg, Bg, Cg, Bg, Cg, Bg, Cg, Dg, Cg, Bg, Cg, Bg, Cg, Eg, Dg, Cg, Bg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Dg, Eg, Dg, Eg, Cg, Dg, Cg, Cg, Eg, Cg, Dg, Eg, Cg, Eg, Cg, Dg, Dg, Cg, Cg
コア形状: Ⅲg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅰg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅵg, Ⅴg, Ⅲg, Ⅱg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅵg, Ⅴg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅴg, Ⅵg, Ⅴg, Ⅵg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅳg
割れ目の状態: bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, dg, cg, bg, bg
風化: γ, β, γ
変質: 2, 3, 2, 4, 2

記事:

アプライト, 上位との境界傾斜13度。全体に細粒, わずかに径1～4mmの石英斑晶を含む。

深度64.60m：傾斜70度の節理の周辺に幅6cm間酸化マンガン濃集。

深度66.42～66.57m, 66.73～66.90m：ペグマタイトを挟む。
深度67.00～68.42m：わずかにカリ長石, 斜長石の斑晶が点在する。

深度69.50～69.88m：節理密集部, 0.5～1.0cm間隔。
深度69.77～69.88m：傾斜50度, 70度の節理に挟まれた部分に0.3～0.7cm間隔で傾斜40度程度の節理が密集する。
深度70.00～70.18m, 70.55～71.00m, 72.13～72.36m：傾斜35～60度の節理発達。岩片～短柱状コア。

花崗斑岩, 上位との境界凹凸有り, 傾斜10～30度。
深度72.17～86.04m:花崗斑岩。
厚さ0.2～0.5m程度のアプライトを挟む。
深度72.17～75.72m間の花崗斑岩は, 径10～20mm程度の石英, 長石及び黒雲母の斑晶を15%程度含み, 石基は黒雲母が多く暗灰色帯び, 径0.1mm以下である。
深度75.72m以深, 斑晶は1～5%程度となる。
深度72.83～74.08m, 74.32～75.72m間, 黒雲母が多く暗灰色帯びる。
深度73.91～73.93m：破砕帯(Hc)。傾斜41度。幅10～20mm, 灰白色シルト混じり砂～シルト状。一部暗褐色粘土状。逆断層的センス。
アプライト, 上位との境界傾斜75度, 下位との境界傾斜52度。
深度76.22～78.06m：暗灰色を帯び, ひん岩に近い岩相を示す。
深度76.50～76.79m：斑晶少なくアプライト質。

深度79.22～79.25m：破砕帯(Hc)。傾斜55度。幅18～25mm, 明黄色礫混じり砂質シルト状及び砂礫状。正断層的センス。
深度79.35～79.42m：傾斜50度の節理が0.5～2cm間隔で発達。
深度80.23～83.34m：全体に節理多く, 短柱～岩片状コアをなす。
深度81.30～81.90m：傾斜75～90度の高角度な節理発達。
アプライト, 上位との境界漸移的。

深度83.12～83.16m：幅30mmの褐灰色礫混じり砂状。

深度86.04～123.65m:アプライト。
上位の花崗斑岩との境界は破砕帯である。
厚さ0.1～2.3m程度の花崗斑岩と厚さ0.3m以下のペグマタイトを挟在する。
アプライトの石基は径0.2～0.5mm程度で, 組織は全体に均質である。斑晶は非常に少ない。
深度86.04～86.12m：破砕帯(Hb)。傾斜30度。幅70mm。
上盤より礫混じり砂～シルト状幅15mm, 角礫状幅15～30mm, 礫混じり砂質シルト状幅25mm。正断層的破砕構造有り。
深度86.12～87.27m:破砕帯(Hj)。径2～3cmの角礫主体の礫状。
深度87.27～87.31m：破砕帯(Hj)。傾斜44度。上盤より20～25mm明黄色シルト状, 10～15mm黄色シルト混じり砂状。
深度87.31～87.32m：破砕帯(Hc)。傾斜44度。花7～20mmの暗褐一部明黄色粘土状。破砕構造有り。
深度87.32～87.53m:変質帯。傾斜57度。固結砂状。
深度90.11～90.20m：幅50mmシルト質砂状。
深度91.50～91.79m：破砕帯(Hj)。傾斜60度。幅100mm, 砂礫状。
深度92.56～92.68m：節理密集部。砂礫状。
深度93.75～96.18m：破砕帯(Hj)。傾斜3度。細礫混じり土砂状。

深度97.72～97.74m：幅20～30mm, 礫シルト混じり砂状。

深度98.45～98.49m：節理密集部。幅20mm, 原岩組織明瞭。

コア採取率 (%) 最大コア長 cm / RQD [%]: 21 [30], 29 [71], 39 [75], 34 [55], 27 [48], 43 [86], 16 [43], 15 [25], 25 [84], 40 [58], 22 [35], 40 [54], 24 [58], 42 [42], 54 [73], 37 [61], 7 [0], 9 [0], 5 [0], 12 [22], 15 [15], 30 [76], 13 [23], 3 [0], 12 [12], 11 [11], 9 [0], 5 [0], 6 [0], 10 [10], 2 [0], 22 [50], 0 [0], 18 [18], 15 [27], 12 [12]

岩級区分: CM', CH', CM', CH', CM', CL', CM', CM', CH', CM', CL', CM', CL', CM', CL', CM', CL', D', CM', CL', CM', CL', CM', CL', CM'
岩盤分類: [CM], [CH], [CM], [CL], [CM]

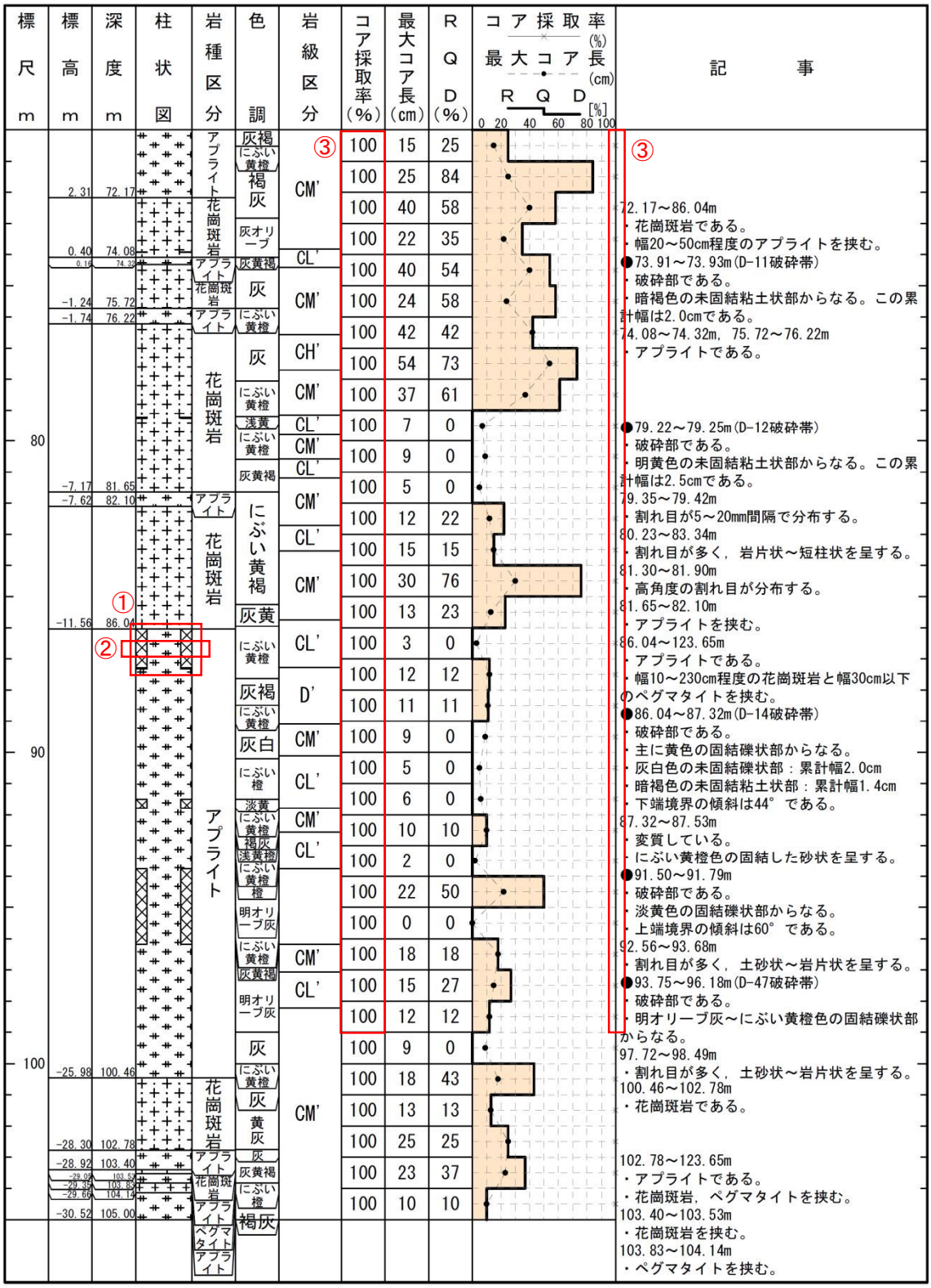
標準貫入試験 (N値～深度): 0 10 20 30 40 50

掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
9/22 63.70	144					0.0	泥水11	0
9/23 65.70	150				170	0.0	泥水10	0
9/26 70.65	114					0.0	泥水13	6
9/27 78.75	130	76/セメンティング	ダブルコアチューブ/ダイヤビット	45.0	150	0.0	泥水10	0
9/28 83.70	138					0.0	泥水8	0
9/29 87.45	145			35.0		0.0	泥水6	0
9/30 88.80	81			45.0				
10/2 93.35	124	76		40.0	165	0.0	泥水7	0
10/3 95.00	66			15.0	135	0.0	泥水6	0
	127			30.0	190	0.0	泥水1	0

No.16(3/7)

H19-No.16

柱状図(70.00m～105.00m)



1-23(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-24(分類b)②
誤記の修正。
1-3(分類b)③
報告書の記載漏れを修正したため。

参考3-353

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	岩種区分
100	-25.98	100.46	アプライト
	-28.30	102.78	花崗斑岩
	-28.92	103.40	アプライト
	-29.05	103.53	花崗斑岩
	-29.35	103.83	アプライト
	-29.66	104.14	ペグマタイト
	-30.52	105.00	アプライト
	-31.87	106.35	花崗斑岩
	-34.35	108.83	アプライト
	-35.17	109.65	花崗斑岩
110	-36.55	111.03	アプライト
	-37.04	111.52	花崗斑岩
	-37.66	112.14	アプライト
	-38.47	112.95	花崗斑岩
120	-47.26	121.74	アプライト
	-47.56	122.04	ペグマタイト
	-49.17	123.65	アプライト
130	-60.52	135.00	花崗斑岩

色調: 灰, にぶい黄橙, 灰, 黄灰, 灰, 灰黄褐, にぶい橙, 褐灰, 灰黄褐, にぶい褐, 灰黄褐, 黄灰, 灰黄褐, にぶい黄橙, 灰白, 褐灰, 灰黄褐, 灰, 黄灰, にぶい黄橙, にぶい橙, 灰白, にぶい橙, 灰白, にぶい橙, 明褐灰, 灰褐, 灰褐, 灰白, にぶい橙, 明褐灰, 灰白, 灰褐, 灰白, にぶい橙, 灰白, 明褐灰, 灰白, 褐灰, 灰白, にぶい黄橙

硬軟: Bg, Cg, Bg, Cg, Bg, Cg, Dg, Cg, Dg, Eg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Eg, Dg, Eg, Dg, Eg, Dg, Eg, Dg, Eg, Dg

コア形状: Ⅳg, Ⅴg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅵg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅵg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅵg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅰg, Ⅵg, Ⅱg, Ⅵg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅰg, Ⅵg, Ⅲg, Ⅳg

割れ目の状態: bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg

風化: γ, α, γ, β

変質: 2, 3, 2, 3, 2, 3, 2, 3, 2, 3, 2, 3

記事:

花崗斑岩，上位との境界不明瞭。
深度100.46～102.78mおよび105.00～112.95m間の花崗斑岩は，径3mmの石英，長石を主とする斑晶を50%程度含み，石基は径0.1～0.5mmで黒雲母を多く含む。

アプライト，上位との境界傾斜45度，下位との境界傾斜29度。

アプライト，上位との境界傾斜40度，下位との境界傾斜64度。

アプライト，上位との境界傾斜33度。

花崗斑岩，上位との境界傾斜30度，下位との境界不明瞭。

アプライト，下位との傾斜漸移的。

アプライト，上位，下位との境界漸移的。

深度113.66m：破砕帯(Hc)，傾斜74度，幅10～24mm，灰白色粘土状。
深度113.77m：破砕帯(Hc)，傾斜62度，幅10～15mm，灰白色粘土状。
深度114.30～114.86m：変質帯。上盤23度，下盤65度。緑灰色粘土を挟む。

深度115.52～115.58m：傾斜65～68度，変質強い。
深度116.07～116.16m，116.50～116.64m：傾斜50～60度，変質強い。

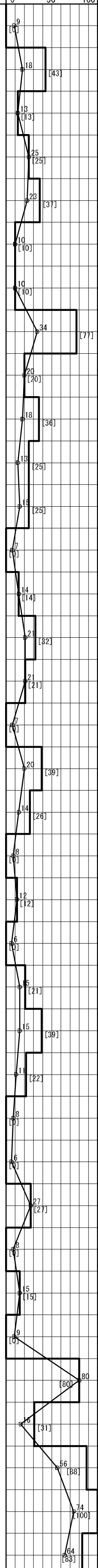
深度117.16～117.31m：変質帯。上盤55度，下盤66度。

深度119.52m：変質強く雲母粘土鉱物を伴う。
深度120.00～121.52m：低角度な節理が多い。

深度121.36～123.65m：変質帯。上盤66度，下盤40度。
深度121.85～121.86m：破砕帯(Hc)。:傾斜44度,幅5～10mmの砂混じりシルト状。見かけ正断層のずれあり。
深度121.86～122.21m:破砕帯(Hj)。上盤44度,下盤0度。固結砂礫状。高角度の面発達。
深度122.96～123.00m：幅20mm，灰白色砂質シルト状。
深度123.65～154.63m:花崗斑岩。
上位のアプライトとの境界は割れ目密集部。
深度131.95mまで褐色化が顕著。
径3～10mmの石英，長石及び黒雲母の斑晶を40～60%程度含み，石基は径0.1mm程度である。
深度135.20～136.36m間はアプライトを挟む。
深度126.73～127.02m：石英細脈多い。傾斜41～58度。

深度129.19～129.37m：変質帯。上盤50度，下盤56度。砂礫状。明褐色帯びる。
深度130.20～131.28m：破砕帯(Hj)。上盤57度。下盤18度。灰白色固結礫混じり砂状。
深度131.94～132.05m：破砕帯(Hc)。上盤0度,固結シルト状。
深度132.05～132.25m：破砕帯(Hc)。下盤49度，礫混じりシルト質砂状。
深度132.25～132.28m：破砕帯(Hc)。傾斜49度。幅20mmの緑灰色砂質シルト状
深度132.28～132.47m：破砕帯(Hj)。上盤49度,下盤66度。原岩組織残す。
深度132.47～133.26m：破砕帯(Hj)，上盤66度，下盤43度。深度132.87mに傾斜53度，幅10mmの緑灰色シルト(Hc)を挟む。
深度133.70～134.00m：破砕帯(Hj)。節理密集。

コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]



岩級区分: CM', CL', CM', CL', CM', CL', CM', CL', CL', CL', CL'

岩盤分類: [CM], [CL], [CM], [CL]

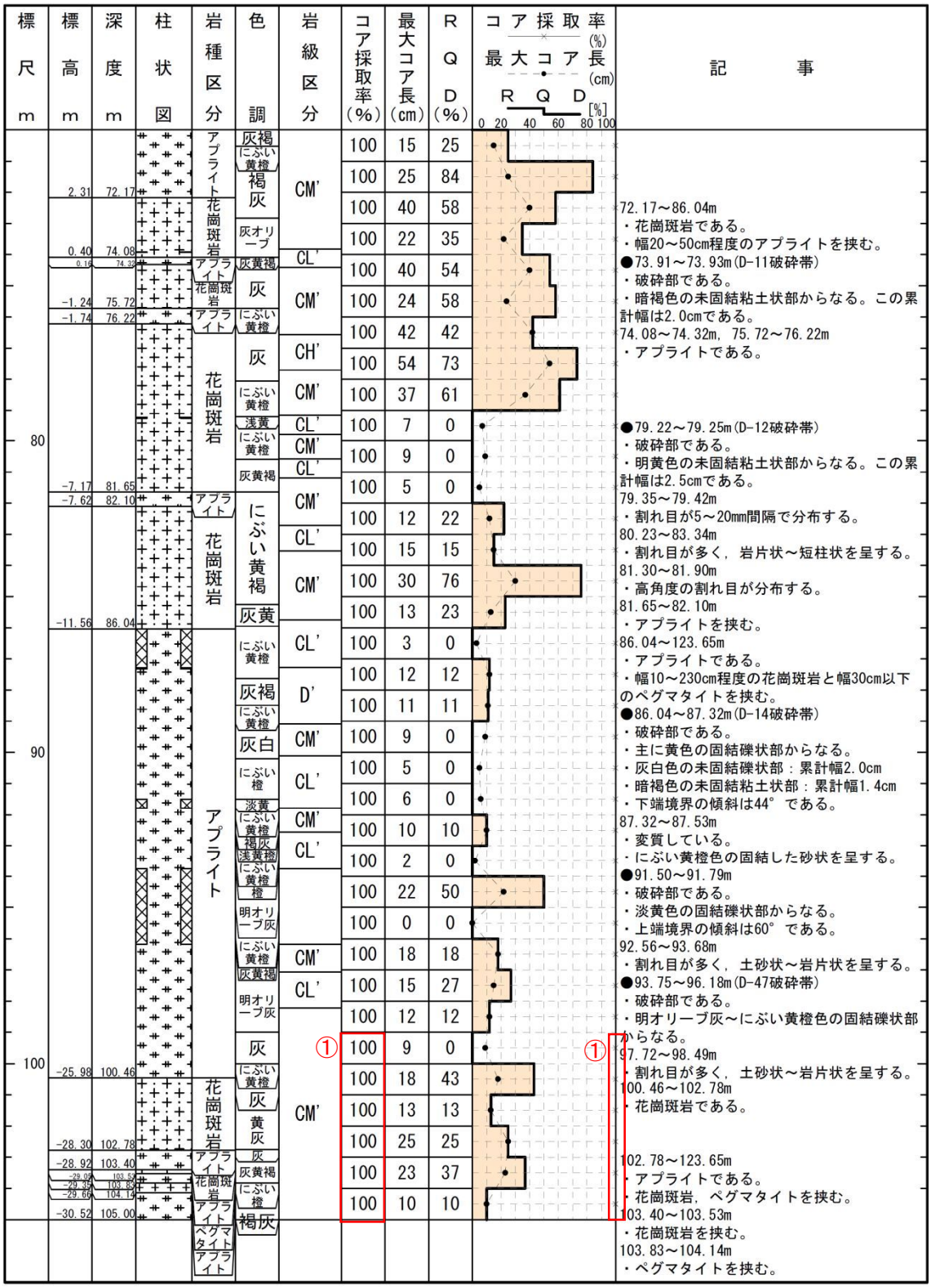
(標準貫入試験) 試験 (N値～深度) 0 10 20 30 40 50

掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
10/10 (100.30)	127			30.0	190	0.0	泥水1	0
	155			35.0				
10/11 (107.90)	110			50.0		0.0	泥水2	0
10/12 (114.70)	155	76	ダブルコアチューブ/ダイヤビット	45.0	165			
10/13 (122.20)	155			35.0		0.0	泥水2	1
10/14 (131.00)	122					0.0	泥水3	2

No.16(4/7)

H19-No.16

柱状図(70.00m～105.00m)



1-3(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標高 (m)	深度 (m)	岩種区分
	〜100.46	アプライト
-25.98	100.46	花崗斑岩
-28.30	102.78	アプライト
-28.92	103.40	花崗斑岩
-29.05	103.53	アプライト
-29.35	103.83	ペグマタイト
-29.66	104.14	アプライト
-30.52	105.00	花崗斑岩
-31.87	106.35	アプライト
-34.35	108.83	花崗斑岩
-35.17	109.65	アプライト
-36.55	111.03	花崗斑岩
-37.04	111.52	アプライト
-37.66	112.14	花崗斑岩
-38.47	112.95	アプライト
-47.26	121.74	ペグマタイト
-47.56	122.04	アプライト
-49.17	123.65	花崗斑岩
-60.52	135.00	

記事

花崗斑岩，上位との境界不明瞭。
深度100.46～102.78mおよび105.00～112.95m間の花崗斑岩は，径3mmの石英，長石を主とする斑晶を50%程度含み，石基は径0.1～0.5mmで黒雲母を多く含む。

アプライト，上位との境界傾斜45度，下位との境界傾斜29度。

アプライト，上位との境界傾斜40度，下位との境界傾斜64度。

アプライト，上位との境界傾斜33度。

花崗斑岩，上位との境界傾斜30度，下位との境界不明瞭。

アプライト，下位との傾斜漸移的。

アプライト，上位，下位との境界漸移的。

深度113.66m：破砕帯(Hc)，傾斜74度，幅10～24mm，灰白色粘土状。
深度113.77m：破砕帯(Hc)，傾斜62度，幅10～15mm，灰白色粘土状。
深度114.30～114.86m：変質帯。上盤23度，下盤65度。緑灰色粘土を挟む。

深度115.52～115.58m：傾斜65～68度，変質強い。
深度116.07～116.16m，116.50～116.64m：傾斜50～60度，変質強い。

深度117.16～117.31m：変質帯。上盤55度，下盤66度。

深度119.52m：変質強く雲母粘土鉱物を伴う。
深度120.00～121.52m：低角度な節理が多い。

深度121.36～123.65m：変質帯。上盤66度，下盤40度。
深度121.85～121.86m：破砕帯(Hc)。:傾斜44度,幅5～10mmの砂混じりシルト状。見かけ正断層のずれあり。
深度121.86～122.21m:破砕帯(Hj)。上盤44度,下盤0度。固結砂礫状。高角度の面発達。
深度122.96～123.00m：幅20mm，灰白色砂質シルト状。
深度123.65～154.63m:花崗斑岩。
上位のアプライトとの境界は割れ目密集部。
深度131.95mまで褐色化が顕著。
径3～10mmの石英，長石及び黒雲母の斑晶を40～60%程度含み，石基は径0.1mm程度である。
深度135.20～136.36m間はアプライトを挟む。
深度126.73～127.02m：石英細脈多い。傾斜41～58度。

深度129.19～129.37m：変質帯。上盤50度，下盤56度。砂礫状。明褐色帯びる。
深度130.20～131.28m：破砕帯(Hj)。上盤57度。下盤18度。灰白色固結礫混じり砂状。
深度131.94～132.05m：破砕帯(Hc)。上盤0度,固結シルト状。
深度132.05～132.25m：破砕帯(Hc)。下盤49度，礫混じりシルト質砂状。
深度132.25～132.28m：破砕帯(Hc)。傾斜49度。幅20mmの緑灰色砂質シルト状
深度132.28～132.47m：破砕帯(Hj)。上盤49度,下盤66度。原岩組織残す。
深度132.47～133.26m：破砕帯(Hj)，上盤66度，下盤43度。深度132.87mに傾斜53度，幅10mmの緑灰色シルト(Hc)を挟む。
深度133.70～134.00m：破砕帯(Hj)。節理密集。

コア採取率(%)〔RQD(%)〕

9[0], 18[43], 13[13], 25[25], 23[37], 10[10], 10[10], 34[77], 20[20], 18[36], 13[25], 15[25], 7[0], 14[14], 21[32], 21[21], 7[0], 20[39], 14[26], 8[0], 12[12], 6[0], 15[21], 15[39], 11[22], 8[0], 6[0], 27[27], 8[0], 15[15], 9[0], 80[80], 16[31], 56[88], 74[100], 64[83]

岩級区分：CM'，CL'，CM'，CL'，CM'，CL'，CM'，CL'，CL'，CL'，CL'
岩盤分類：[CM]，[CL]，[CM]，[CL]

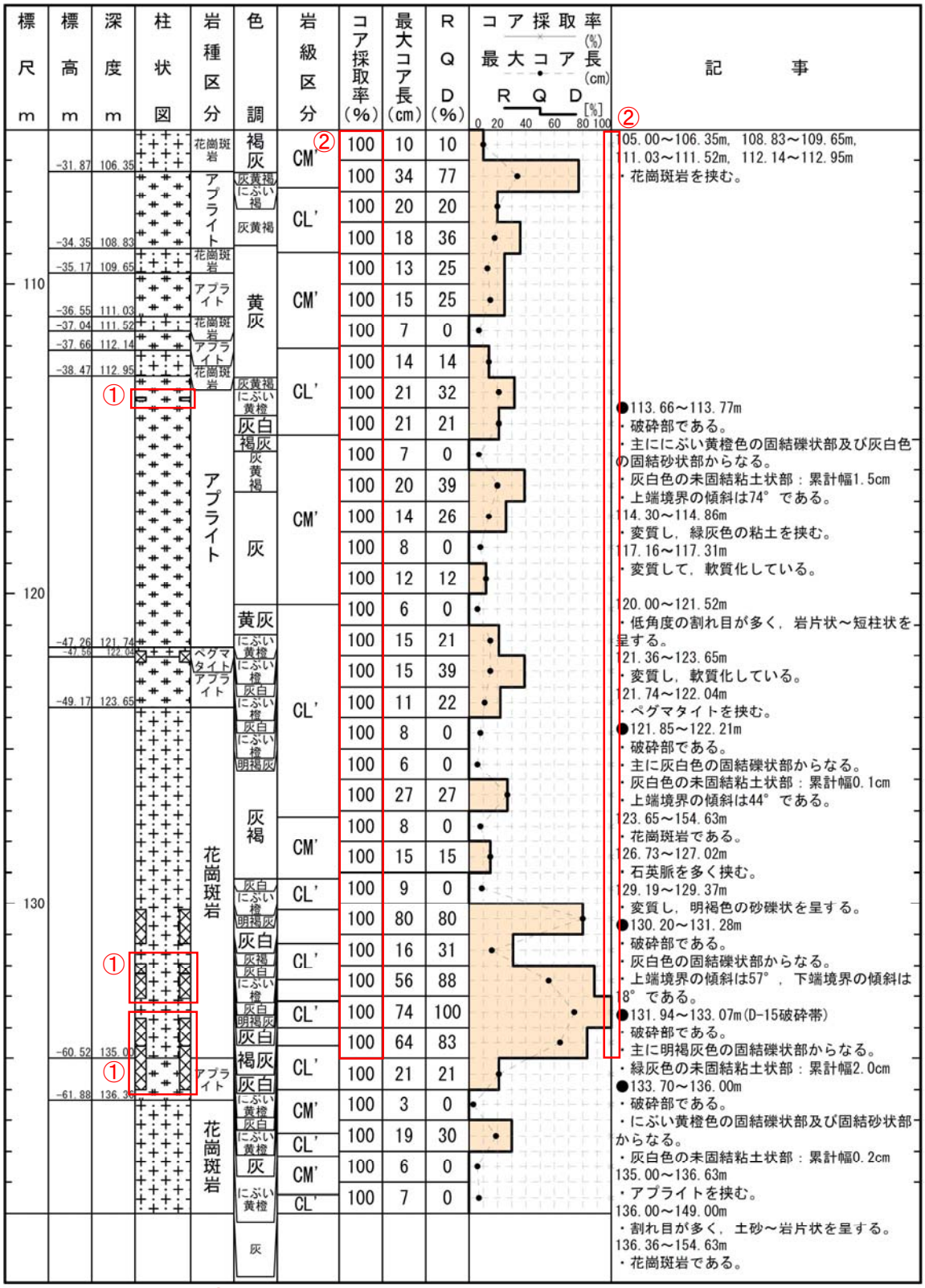
掘進データ

掘進月日	掘進速度(cm/時)	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
10/10 (100.30)	127	30.0	190	0.0	泥水1	0
	155	35.0				
10/11 (107.90)	110	50.0	165	0.0	泥水2	0
10/12 (114.70)	155	45.0				
10/13 (122.20)	155	35.0		0.0	泥水2	1
10/14 (131.00)	122			0.0	泥水3	2

孔径(mm)：76
コアチューブ/ビット：ダブルコアチューブ/ダイヤビット

H19-No.16

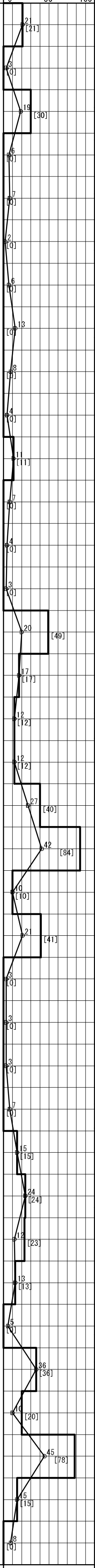
柱状図(105.00m～140.00m)



1-25～1-27(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-3(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

参考3-354

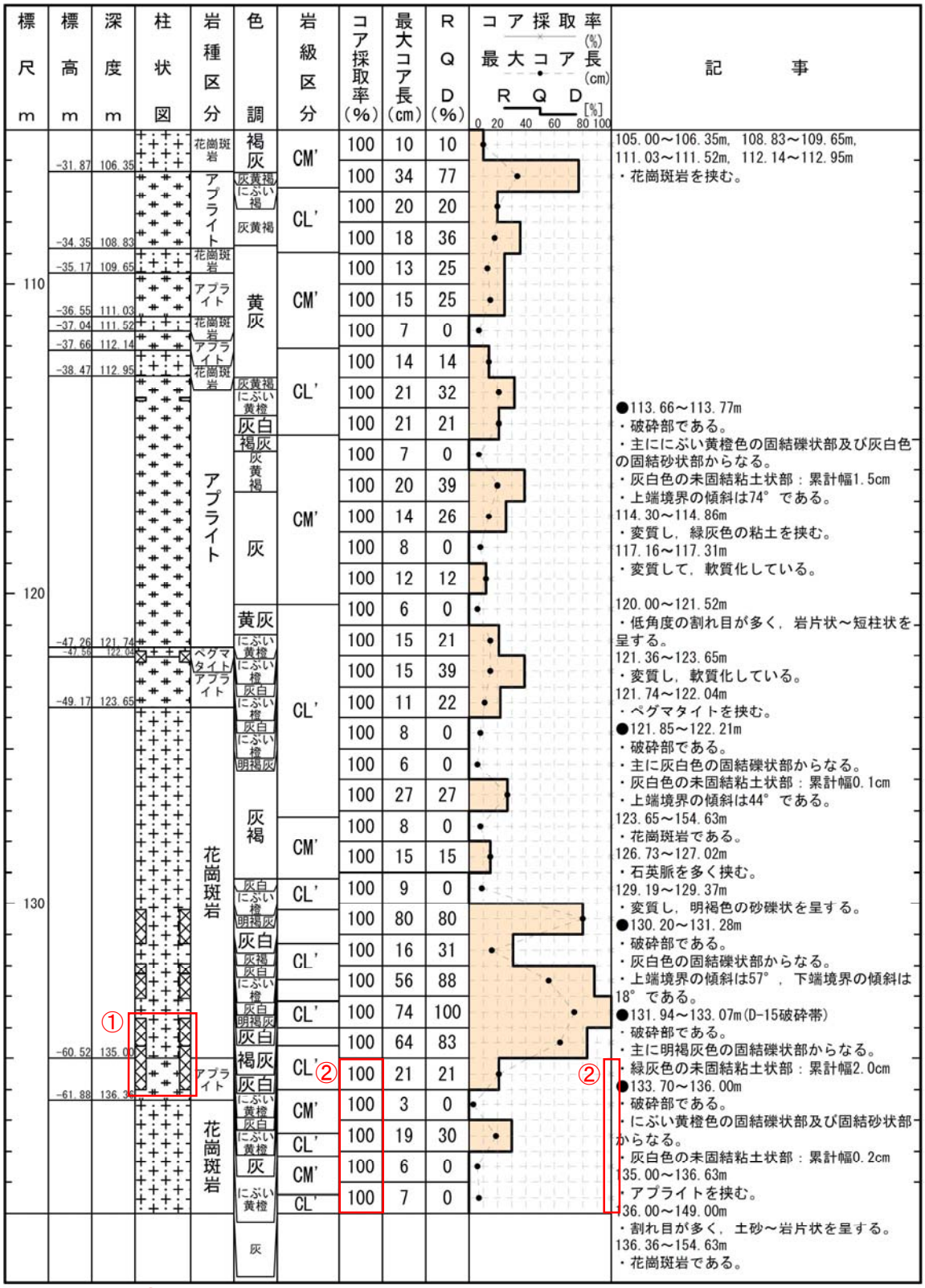
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)/測定月日	(N)値	(標準貫入試験)試験 (N値～深度) 0 10 20 30 40 50	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
	-61.88	136.36		アプライト	にぶい黄橙 / 灰白 / にぶい黄橙	Dg	Ⅲg / Ⅴg	cg		3	深度134.00～134.58m：破砕帯(Hb)。傾斜58度。礫状。 深度134.58～134.60m：破砕帯(Hc)。傾斜60度。幅10～20mmの緑灰色砂質シルト状。 深度134.60～135.00m：破砕帯(Hj)。傾斜60度。節理密集部。高角度。 深度135.00～136.00m：破砕帯(Hb)。砂礫状。 花崗斑岩，上位との境界傾斜20度。	21 [21] / 3 [0] / 19 [30]	CL' / CM' / CL'							10/16 137.40	122			35.0	165	0.0	泥水3	2
				花崗斑岩	灰 / にぶい黄橙 / 灰	Cg / Dg / Cg / Dg / Cg / Dg	Ⅳg / Ⅴg / Ⅳg / Ⅲg Ⅳg Ⅴg / Ⅳg / Ⅴg	bg / cg / bg	β			6 [0] / 7 [0]	CM' / CL'															
140					褐灰	Eg / Dg / Cg / Dg / Eg / Dg / Cg / Dg / Cg	Ⅵg / Ⅴg / Ⅵg / Ⅴg / Ⅵg / Ⅴg	ag / cg / ag / cg / ag / bg			深度140.70～142.23m：傾斜70～85度の湾曲した節理と傾斜14～23度の節理が発達。 深度142.23m：シーム。傾斜52度。幅1～10mmの褐灰～灰白色砂質シルト状。 深度142.71m：シーム。傾斜47度。幅7～10mm，緑灰色砂質シルト状。正断層的構造有り。 深度143.07～143.12m：幅45mm，細礫～砂状。 深度143.88m：シーム。傾斜49度。幅0～7mm，緑灰色砂混じりシルト状。	2 [0] / 6 [0] / 13 [0] / 8 [0] / 4 [0]	D' / CL' / D'	[CL]						10/17 143.65	134			40.0	175			
					灰褐 / 褐灰 / 灰	Dg / Cg / Dg / Cg / Dg / Cg	Ⅳg / Ⅴg / Ⅳg	cg / cg / bg	γ / α	2	深度145.25～145.35m：破砕帯(Hj)。上盤81度，下盤85度。幅30mm，細片状。暗緑灰色シルトを挟む。	11 [11] / 7 [0]	CL'								126				190			
					にぶい褐	Dg / Cg / Dg / Eg	Ⅴg / Ⅳg / Ⅴg / Ⅵg	cg / cg / cg	γ		深度147.34m：傾斜58度，厚さ1mm以下の緑灰色シルト及び厚さ5～8mmの砂を挟む。	4 [0] / 3 [0]																
150					灰褐 / 褐灰 / 灰褐	Cg	Ⅳg / Ⅲg / Ⅳg / Ⅲg / Ⅳg / Ⅲg / Ⅳg / Ⅱg	bg / cg / ag / bg / ag / bg	β		深度148.91m：シーム。傾斜68度。幅0～3mmの緑灰色シルト状。 深度150.07～150.73m：主として傾斜50～70度の節理発達。 深度151.73～151.77m：厚さ1cm以下の礫状部を伴う。 深度153.18～153.73m：傾斜65～75度の平行した節理が発達。	20 [49] / 17 [17] / 12 [12] / 12 [12] / 27 [40]	CM' / CL' / CM'	[CM]						10/18 150.70	120	76	ダブルコアチューブ/ダイヤビット			0.0	泥水2	1
	-80.15	154.63		アプライト		Bg / Cg / Dg / Eg / Dg / Cg / Dg	Ⅳg / Ⅲg / Ⅳg / Ⅴg / Ⅳg / Ⅴg / Ⅳg / Ⅴg / Ⅵg	ag / cg / ag / cg / bg / cg / dg		3	深度154.63～160.57m:アプライト。上位の花崗斑岩との境界は明瞭，傾斜40度程度。深度158.00mまで褐色化が見られ，それ以深は褐色化していない。アプライトの石基は径0.1mm程度であり，全体に黒雲母を含む。 深度154.74～154.81m：破砕帯(Hb)。上盤60度，下盤62度。上盤より幅50～60mmの固結した砂礫状，幅1～3mmの褐灰色シルト状。下盤条線方向70右。 深度157.47～157.80m：傾斜85～87度の連続した節理が3cm程度の間隔で発達。 深度158.45～158.51m：破砕帯(Hj)。上盤68度，下盤60度。幅25mm，細片状。暗緑灰色シルトを挟む。 深度159.23～159.62m：破砕帯(Hb)。傾斜55度。シルト混じり礫・砂状。	42 [84] / 10 [10] / 21 [41] / 3 [0] / 3 [0] / 3 [0]	CL'						10/19 158.10								
160	-86.09	160.57		花崗斑岩	褐灰	Cg / Dg / Cg / Dg / Cg / Dg / Cg / Dg	Ⅴg / Ⅳg / Ⅴg / Ⅳg / Ⅲg / Ⅳg	ag / cg / bg / cg / ag / cg / bg	α	2	花崗斑岩，上位との境界不明瞭。 深度160.57～220.00m:花崗斑岩。径3～15mmの石英，カリ長石，黒雲母の斑晶を15～60%程度含む。石基は径0.5～1.0mm程度である。 深度160.72～161.09m：砂～礫状部を伴う傾斜50～60度の節理が2～5cm間隔で発達。 深度161.09～162.50m：傾斜70～90度の湾曲した高角度節理が連続する。 深度163.64～164.30m：傾斜50～65度の節理が10～15cm間隔で発達。 深度164.30～164.88m：傾斜70～85度の節理及び密着した節理が0.5～1.0cm間隔で発達する。 深度165.30～165.42m：径0.3～3.0cmの礫状コア，礫の表面には水平方向の不明瞭な条線あり。	7 [0] / 15 [15] / 24 [24] / 12 [23] / 13 [13] / 5 [0] / 36 [36]	[CL] CM' / CL' / CM' / CL' / CM' / CL'	[CL] / [CM]						10/20 163.40	125			45.0	170			
						Cg / Dg / Cg	Ⅳg / Ⅲg / Ⅳg / Ⅲg / Ⅱg / Ⅲg / Ⅳg / Ⅱg / Ⅳg / Ⅴg	ag / ag / cg			深度169.60m：シーム。傾斜61度，幅3～7mm，緑灰色シルト状及び砂状。正断層的構造有り。	10 [20] / 45 [78] / 15 [15]	CM'	[CM]							142					0.0	泥水3	1
170					灰	Cg / Dg / Cg	Ⅳg	bg			深度170.95～172.78m：傾斜11～30度程度の平行した節理が2～数cm間隔で発達。一部に80度以上で黄鉄鉱を挟む節理が発達する。	8 [0]																



No.16(5/7)

H19-No.16

柱状図(105.00m～140.00m)

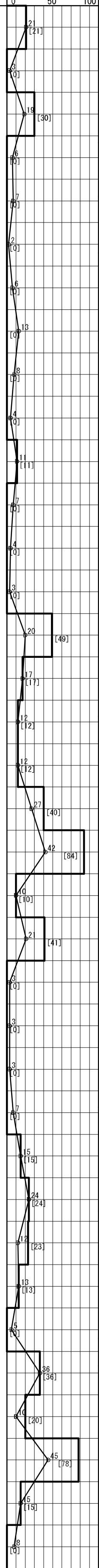


1-27(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-3(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

参考3-354

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	岩種区分	記事
			アプライト	深度134.00～134.58m：破砕帯(Hb)。傾斜58度。礫状。 深度134.58～134.60m：破砕帯(Hc)。傾斜60度。幅10～20mmの緑灰色砂質シルト状。 深度134.60～135.00m：破砕帯(Hj)。傾斜60度。節理密集部。高角度。 深度135.00～136.00m：破砕帯(Hb)。砂礫状。
	-61.88	136.36	花崗斑岩	花崗斑岩，上位との境界傾斜20度。
140				深度140.70～142.23m：傾斜70～85度の湾曲した節理と傾斜14～23度の節理が発達。 深度142.23m：シーム。傾斜52度。幅1～10mmの褐灰～灰白色砂質シルト状。 深度142.71m：シーム。傾斜47度。幅7～10mm，緑灰色砂質シルト状。正断層的構造有り。 深度143.07～143.12m：幅45mm，細礫～砂状。 深度143.88m：シーム。傾斜49度。幅0～7mm，緑灰色砂混じりシルト状。 深度145.25～145.35m：破砕帯(Hj)。上盤81度，下盤85度。幅30mm，細片状。暗緑灰色シルトを挟む。 深度147.34m：傾斜58度，厚さ1mm以下の緑灰色シルト及び厚さ5～8mmの砂を挟む。 深度148.91m：シーム。傾斜68度。幅0～3mmの緑灰色シルト状。
150				深度150.07～150.73m：主として傾斜50～70度の節理発達。 深度151.73～151.77m：厚さ1cm以下の礫状部を伴う。 深度153.18～153.73m：傾斜65～75度の平行した節理が発達。
	-80.15	154.63	アプライト	深度154.63～160.57m:アプライト。上位の花崗斑岩との境界は明瞭，傾斜40度程度。深度158.00mまで褐色化が見られ，それ以深は褐色化していない。アプライトの石基は径0.1mm程度であり，全体に黒雲母を含む。 深度154.74～154.81m：破砕帯(Hb)。上盤60度，下盤62度。上盤より幅50～60mmの固結した砂礫状，幅1～3mmの褐灰色シルト状。下盤条線方向70右。 深度157.47～157.80m：傾斜85～87度の連続した節理が3cm程度の間隔で発達。 深度158.45～158.51m：破砕帯(Hj)。上盤68度，下盤60度。幅25mm，細片状。暗緑灰色シルトを挟む。 深度159.23～159.62m：破砕帯(Hb)。傾斜55度。シルト混じり礫・砂状。
160	-86.09	160.57	花崗斑岩	花崗斑岩，上位との境界不明瞭。 深度160.57～220.00m:花崗斑岩。径3～15mmの石英，カリ長石，黒雲母の斑晶を15～60%程度含む。石基は径0.5～1.0mm程度である。 深度160.72～161.09m：砂～礫状部を伴う傾斜50～60度の節理が2～5cm間隔で発達。 深度161.09～162.50m：傾斜70～90度の湾曲した高角度節理が連続する。 深度163.64～164.30m：傾斜50～65度の節理が10～15cm間隔で発達。 深度164.30～164.88m：傾斜70～85度の節理及び密着した節理が0.5～1.0cm間隔で発達する。 深度165.30～165.42m：径0.3～3.0cmの礫状コア，礫の表面には水平方向の不明瞭な条線あり。
170				深度169.60m：シーム。傾斜61度，幅3～7mm，緑灰色シルト状及び砂状。正断層的構造有り。 深度170.95～172.78m：傾斜11～30度程度の平行した節理が2～数cm間隔で発達。一部に80度以上で黄鉄鉱を挟む節理が発達する。

色調：にぶい黄橙・灰白・灰・にぶい黄橙・灰・褐灰・灰褐・褐灰・灰・にぶい褐・灰褐・褐灰・褐灰・灰

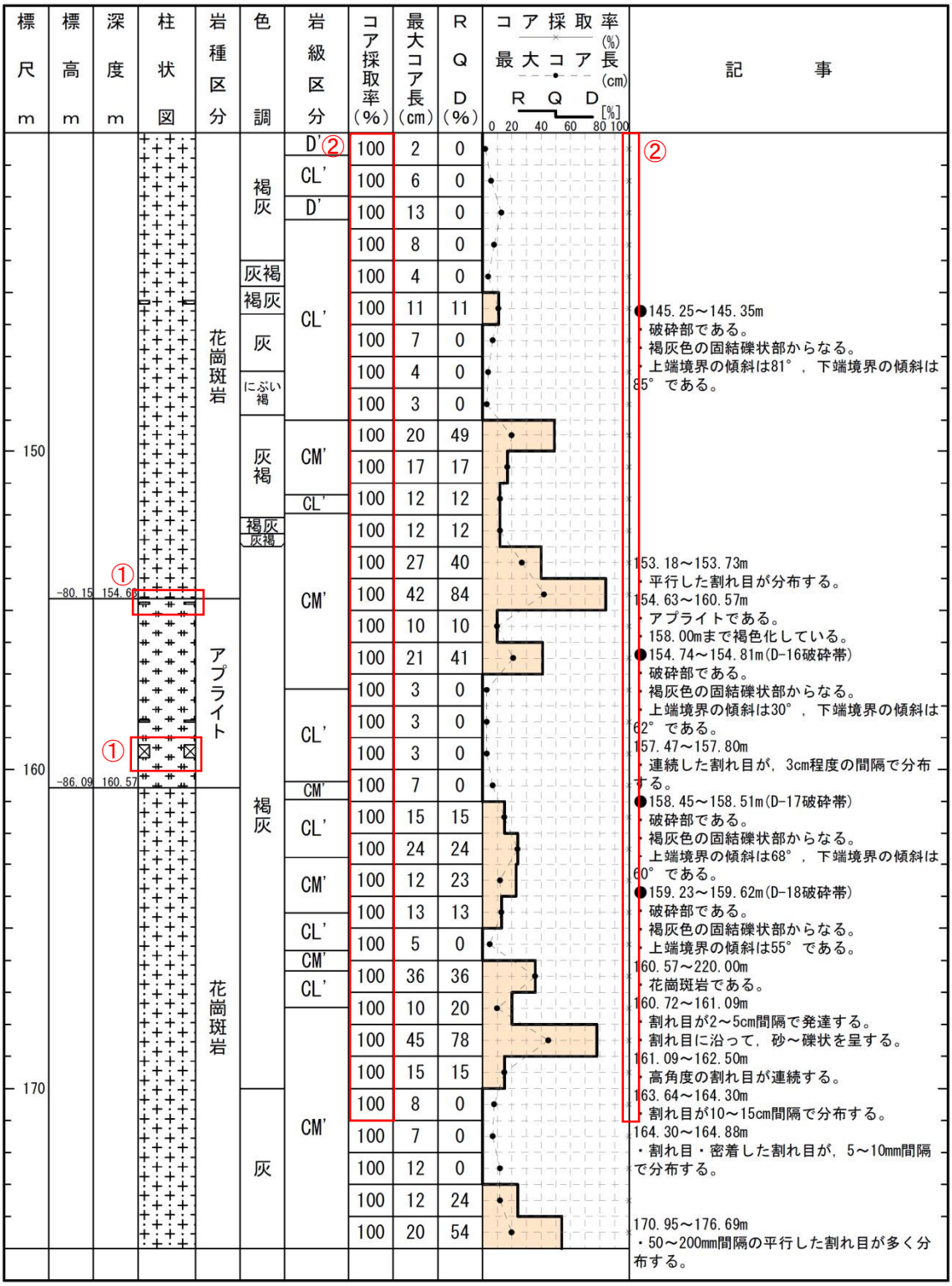


岩級区分：CL'、CM'、CL'、CM'、CL'、D'、CL'、D'、CL'、CM'、CL'、CM'、CL'、CM'、CL'、CM'、CL'、CM'、CL'、CM'
岩盤分類：[CL]、[CM]、[CL]、[CM]

掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
10/16 137.40	122			35.0	165	0.0	泥水3	2
10/17 143.65	134				175			
10/18 150.70	126	76	ダブルコアチューブ/ダイヤビット	40.0	190	0.0	泥水2	1
10/19 158.10	120							
10/20 163.40	125			45.0	170			
	142					0.0	泥水3	1

H19-No.16

柱状図(140.00m～175.00m)



1-28, 1-29(分類d)①
　記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-3(分類b)②
　報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
180				花崗斑岩	灰	Cg, Dg, Cg, Dg	IVg, IIIg, IVg, IIIg	bg, cg	α	2	深度172.78～173.26m：比較的節理が少ない。 深度173.92～175.58m：傾斜45度及び82度の平行した節理が10～20cm間隔で発達。 深度174.33m以深，密着した節理が多くなる。 深度175.00～176.69m：傾斜50～60度の平行した節理が5～15cm間隔で発達。	CM'	[CM]			10/23 171.45	142	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	45.0	170	0.0	泥水3	1
					黄灰	Cg	IVg	bg, cg				CL'					140			40.0		0.0	泥水2	0
					褐灰		IIg				比較的節理少ない。高角度の不明瞭な密着した節理あり。													
					にぶい褐	Cg					深度178.55m：幅5～8mm，傾斜75度の石英脈あり。 深度179.02m：幅10mmの石英脈あり。 深度179.13m：幅5～15mm，傾斜78度の石英脈あり。					10/24 179.50								
					褐灰		IIIg, IVg, Ig	bg																
					灰	Cg	IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IIg				深度181.57m：シーム。傾斜37度，幅8～10mmの礫状。正断層的構造有り。条線の方向90度。 深度181.67～185.00m：傾斜20～35度と傾斜70～80度の節理が発達。節理は数～20cm間隔で発達し，部分的に密集する。 高角度な節理には黄鉄鉱や厚さ1mm以下の砂～緑灰色シルトを挟む。	CM'					144							
					褐灰	Cg	IVg, IIIg, IVg, IIg, IIIg	bg			深度185.00～187.48m：密着した節理が発達。					10/25 185.50				45.0				
					灰白	Dg, Cg, Dg, Cg, Dg	Ig, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg	cg	α	3	深度187.48～220.00m：花崗斑岩。 径3～5mmの石英，カリ長石，黒雲母の斑晶を70%程度含む。石基は径0.5～1.0mm程度である。 深度187.48～190.65m：変質帯。上盤35度，岩質脆い。	CL'					152				165			
190					黄灰	Cg, Dg, Cg	IIg, IIIg, IVg, IIg	bg, cg, bg		2	深度190.37～193.00m：1～5cm間隔で密着した節理が発達する。	CM'												
					灰白	Dg	Vg, IVg, IIIg, IVg, IIIg	cg		3	深度193.00～195.55m：変質帯。下盤53度。変質を受け，黄鉄鉱点在。傾斜60～70度及び傾斜85～90度の連続した節理が発達。	CL'				10/26 193.60						0.0	泥水3	0
					褐灰	Cg, Dg, Cg, Cg	IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	bg, cg, bg		2	深度197.32m：シーム。傾斜85～90度，幅0.5mmの暗緑色シルト質砂状。傾斜50～60度の節理が1～2cmずれる。条線の方向ほぼ水平。	CM'					144			40.0				
200					灰白	Dg	VIg	cg, dg		3	深度199.22～200.00m：破砕帯(Hb)。傾斜75～80度。砂礫状。高角度の節理あり。 深度200.04m：シーム。傾斜58度，幅1～4mmの緑灰色固結シルト質砂状。	D'	[CL]			10/27 200.80								
					青灰	Cg	IVg	cg, bg		2	深度202.96～204.00m：節理に沿って砂～細礫状，一部土砂状。低角度な節理卓越。 深度203.78m：シーム。傾斜69度。幅1～4mm，緑灰色砂質シルト状。	CL'					144			45.0				
					灰		Vg, IVg	cg			深度205.00～206.08m：高角度な節理卓越し，一部細礫状をなす。													
					青灰		IIIg, IVg				深度206.08～206.44m：密着した節理卓越。 深度206.44～207.66m：節理多く，角礫状。					10/28 206.80	140			35.0		0.0	泥水3	1

No.16(6/7)

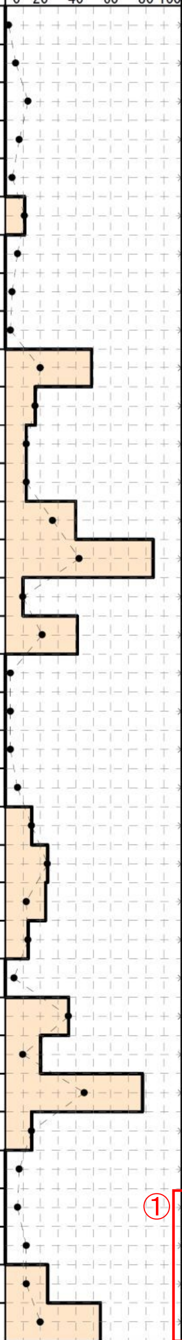
H19-No.16

柱状図(140.00m～175.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	岩種区分	色調	岩級区分
140～150～160～170～175	-80.15	154.63	花崗斑岩	褐灰	D'
	-86.09	160.57	アプライト	灰褐	CL'
			花崗斑岩	褐灰	D'
				灰	CL'
				にぶい褐	CM'
				灰褐	CL'
				褐灰	CM'
				灰褐	CL'
				褐灰	CM'
				灰	CL'
					CM'
					CL'
					CM'
					CL'
					CM'①

深度 (m)	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)
140～141	100	2	0
141～142	100	6	0
142～143	100	13	0
143～144	100	8	0
144～145	100	4	0
145～146	100	11	11
146～147	100	7	0
147～148	100	4	0
148～149	100	3	0
149～150	100	20	49
150～151	100	17	17
151～152	100	12	12
152～153	100	12	12
153～154	100	27	40
154～155	100	42	84
155～156	100	10	10
156～157	100	21	41
157～158	100	3	0
158～159	100	3	0
159～160	100	3	0
160～161	100	7	0
161～162	100	15	15
162～163	100	24	24
163～164	100	12	23
164～165	100	13	13
165～166	100	5	0
166～167	100	36	36
167～168	100	10	20
168～169	100	45	78
169～170	100	15	15
170～171	100	8	0
171～172	100	7	0
172～173	100	12	0
173～174	100	12	24
174～175	100	20	54

コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) RQD [%] 0 20 40 60 80 100



記事

●145.25～145.35m
・破砕部である。
・褐灰色の固結礫状部からなる。
・上端境界の傾斜は81°，下端境界の傾斜は85°である。

153.18～153.73m
・平行した割れ目が分布する。

154.63～160.57m
・アプライトである。
・158.00mまで褐色化している。

●154.74～154.81m(D-16破砕帯)
・破砕部である。
・褐灰色の固結礫状部からなる。
・上端境界の傾斜は30°，下端境界の傾斜は62°である。

157.47～157.80m
・連続した割れ目が，3cm程度の間隔で分布する。

●158.45～158.51m(D-17破砕帯)
・破砕部である。
・褐灰色の固結礫状部からなる。
・上端境界の傾斜は68°，下端境界の傾斜は60°である。

●159.23～159.62m(D-18破砕帯)
・破砕部である。
・褐灰色の固結礫状部からなる。
・上端境界の傾斜は55°である。

160.57～220.00m
・花崗斑岩である。

160.72～161.09m
・割れ目が2～5cm間隔で発達する。
・割れ目に沿って，砂～礫状を呈する。

161.09～162.50m
・高角度の割れ目が連続する。

163.64～164.30m
・割れ目が10～15cm間隔で分布する。

①164.30～164.88m
・割れ目・密着した割れ目が，5～10mm間隔で分布する。

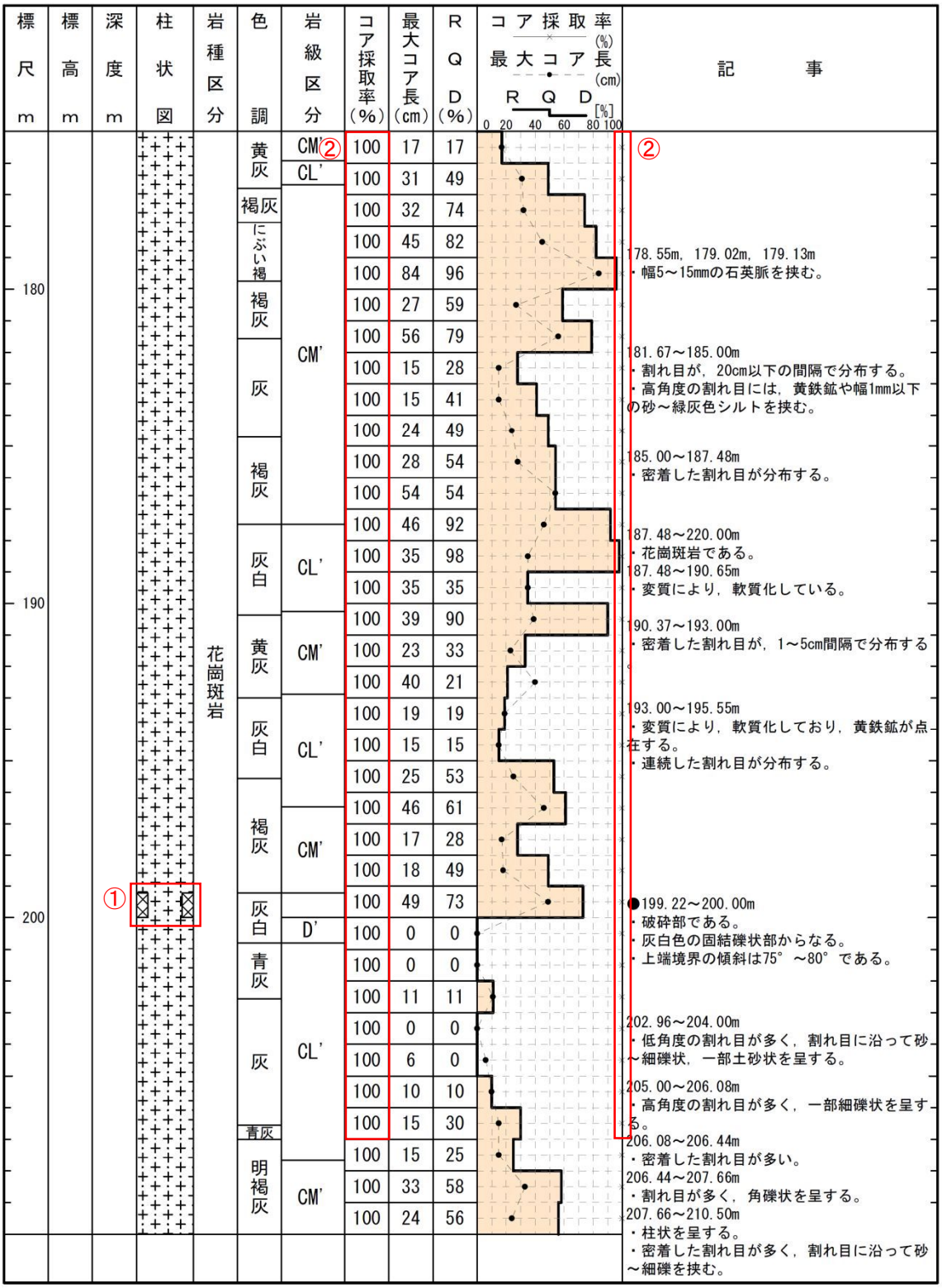
170.95～176.69m
・50～200mm間隔の平行した割れ目が多く分布する。

1-3(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（標準貫入試験）試験 N値	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
				花崗斑岩	灰	Cg Dg Cg Dg Cg	Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg	bg cg		2	深度172.78～173.26m：比較的節理が少ない。 深度173.92～175.58m：傾斜45度及び82度の平行した節理が10～20cm間隔で発達。 深度174.33m以深，密着した節理が多くなる。 深度175.00～176.69m：傾斜50～60度の平行した節理が5～15cm間隔で発達。	CM'						10／23 171.45	142		ダブルコアチューブ／ダイヤビット	45.0	170	0.0	泥水3	1
					黄灰	Cg	Ⅳg	bg cg				CL'							140			40.0		0.0	泥水2	0
					褐灰		Ⅱg	bg			比較的節理少ない。高角度の不明瞭な密着した節理あり。															
					にぶい褐	Cg	Ⅰg			2	深度178.55m：幅5～8mm，傾斜75度の石英脈あり。 深度179.02m：幅10mmの石英脈あり。 深度179.13m：幅5～15mm，傾斜78度の石英脈あり。							10／24 179.50								
180					褐灰		Ⅲg Ⅳg Ⅰg	bg																		
					灰		Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅱg Ⅲg				深度181.57m：シーム。傾斜37度，幅8～10mmの礫状。正断層的構造有り。条線の方向90度。 深度181.67～185.00m：傾斜20～35度と傾斜70～80度の節理が発達。節理は数～20cm間隔で発達し，部分的に密集する。 高角度な節理には黄鉄鉱や厚さ1mm以下の砂～緑灰色シルトを挟む。	CM'	[CM]						144							
					褐灰	Cg	Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅱg Ⅲg	bg			深度185.00～187.48m：密着した節理が発達。							10／25 185.50								
					灰白	Dg Cg Dg Cg Dg	Ⅰg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg	cg	α	3	深度187.48～220.00m：花崗斑岩。径3～5mmの石英，カリ長石，黒雲母の斑晶を70%程度含む。石基は径0.5～1.0mm程度である。 深度187.48～190.65m：変質帯。上盤35度，岩質脆い。	CL'							152	76		45.0	165			
190					黄灰	Cg Dg Cg	Ⅱg Ⅲg Ⅳg Ⅱg	bg cg bg		2	深度190.37～193.00m：1～5cm間隔で密着した節理が発達する。	CM'														
					灰白	Dg	Ⅴg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg	cg		3	深度193.00～195.55m：変質帯。下盤53度。変質を受け，黄鉄鉱点在。傾斜60～70度及び傾斜85～90度の連続した節理が発達。	CL'						10／26 193.60					165	0.0	泥水3	0
					褐灰	Cg Dg Cg Cg	Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg	bg cg bg		2	深度197.32m：シーム。傾斜85～90度，幅0.5mmの暗緑色シルト質砂状。傾斜50～60度の節理が1～2cmずれる。条線の方向ほぼ水平。	CM'							144			40.0				
200					灰白	Dg	Ⅵg	cg dg		3	深度199.22～200.00m：破砕帯(Hb)。傾斜75～80度。砂礫状。高角度の節理あり。 深度200.04m：シーム。傾斜58度，幅1～4mmの緑灰色固結シルト質砂状。	D'	[CL]					10／27 200.80								
					青灰		Ⅳg	cg bg																		
					灰	Cg	Ⅴg Ⅳg	cg		2	深度202.96～204.00m：節理に沿って砂～細礫状，一部土砂状。低角度な節理卓越。 深度203.78m：シーム。傾斜69度。幅1～4mm，緑灰色砂質シルト状。 深度205.00～206.08m：高角度な節理卓越し，一部細礫状をなす。	CL'							144			45.0				
					青灰		Ⅲg Ⅳg				深度206.08～206.44m：密着した節理卓越。 深度206.44～207.66m：節理多く，角礫状。							10／28 206.80	140			35.0		0.0	泥水3	1

H19-No.16

柱状図(175.00m～210.00m)

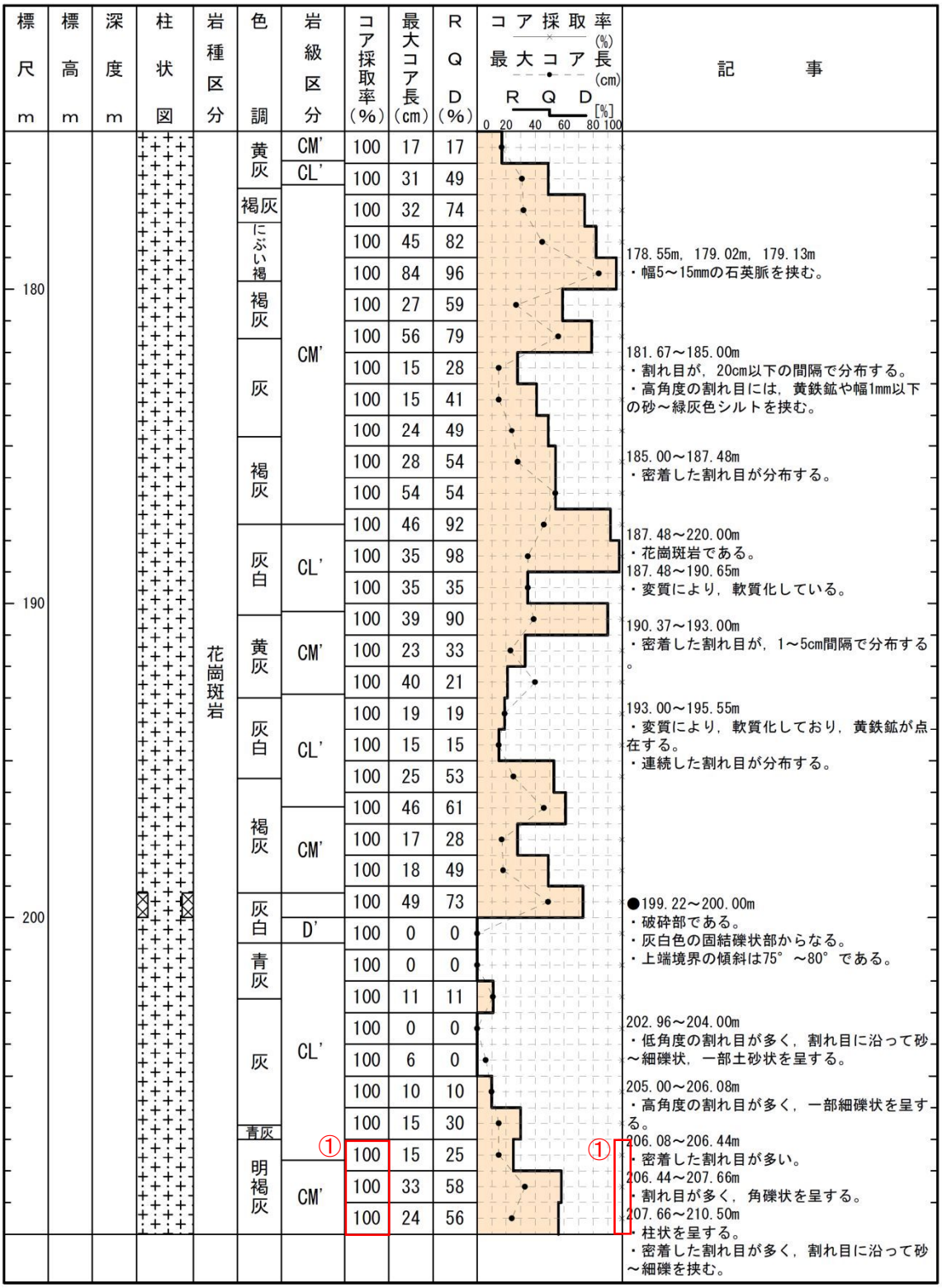


1-30(分類d)①
　記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-3(分類b)②
　報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（標準貫入試験）試験 （N）値	N値～深度	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
210	-145.52	220.00		花崗斑岩	明褐灰 褐灰 明褐灰 青灰 灰白 青灰 褐灰 青灰 褐灰	Cg Dg Cg Dg Cg Dg Cg Dg	IVg IIIg IVg IIg IIIg IVg IIIg IVg IIIg IVg IIIg IVg IIg IVg IIIg IVg	cg bg cg	α	2 3 2	深度207.66～210.50m：柱状コア。密着した節理多く，節理に沿って砂～細礫を挟む。 深度210.53m：シーム。傾斜84度，幅5～10mmの黒色シルト状。 深度210.50～212.52m：変質帯。上盤67度，下盤50度。全体に軟質化。含礫固結砂質シルト状で，網目状に細粒分を含む。指圧で変形。 深度212.52～215.45m：密着した節理多く，全体に変質を受け，礫状化する。 深度219.17～220.00m：斑晶は粗粒。変質により軟質化。		CL CM CL CM CL CM CL	[CL] [CM]								10/30 214.75 10/31 220.00	140 137	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0 40.0	165	0.0	泥水3	1

H19-No.16

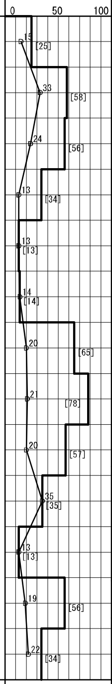
柱状図(175.00m～210.00m)



1-3(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
				花崗斑岩	明褐灰	Cg	IVg / IIIg / IVg / IIg	cg	α	2	深度207.66～210.50m：柱状コア。密着した節理多く，節理に沿って砂～細礫を挟む。
—210							IIIg	bg			
					褐灰	Dg	IVg	cg		3	深度210.53m：シーム。傾斜84度，幅5～10mmの黒色シルト状。 深度210.50～212.52m：変質帯。上盤67度，下盤50度。全体に軟質化。含礫固結砂質シルト状で，網目状に細粒分を含む。指圧で変形。
					明褐灰						
					青灰	Cg	IIIg / IVg / IIIg			2	深度212.52～215.45m：密着した節理多く，全体に変質を受け，礫状化する。
					灰白	Dg					
					青灰	Cg	IVg				
					褐灰	Dg	IIg				
					青灰	Cg	IVg / IIIg / IVg				深度219.17～220.00m：斑晶は粗粒。変質により軟質化。
	-145.52	220.00			褐灰	Dg					

コア採取率 (%) ／ 最大コア長 cm ／ RQD [%]



岩級区分	岩盤分類
CL'	[CL]
CM'	[CM]
CL'	
CM'	
CL'	
CM'	
CL'	

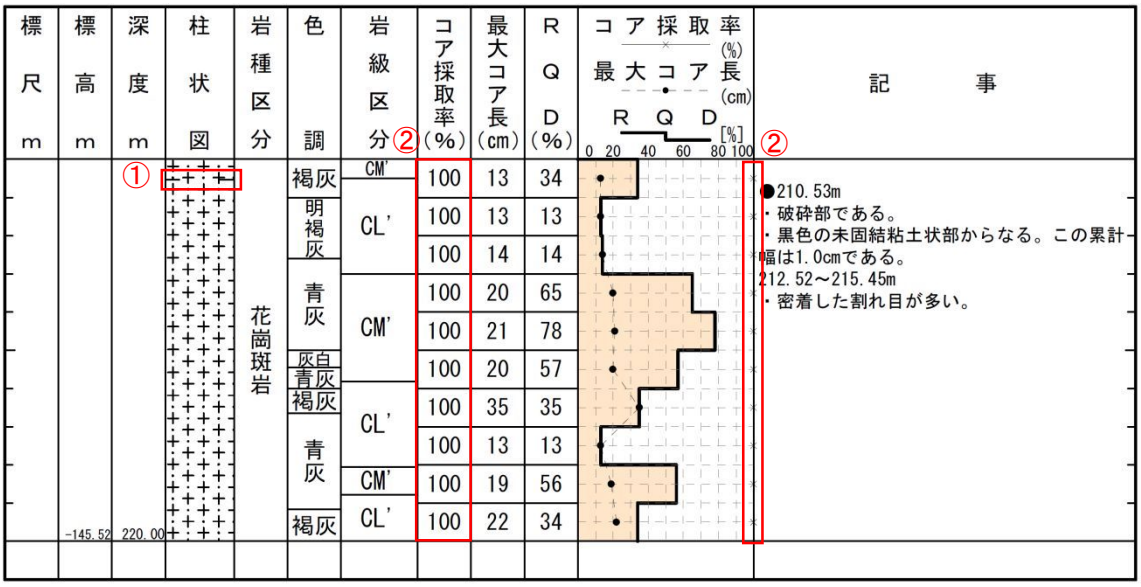
孔内水位(m)／測定月日	(N)値	(標準貫入試験)試験 (N値～深度) 0 10 20 30 40 50	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験

掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
10/30 214.75	140	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0	165	0.0	泥水3	1
10/31 220.00	137			40.0				

No.16(7/7)

H19-No.16

柱状図(210.00m～220.00m)



1-31(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-3(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

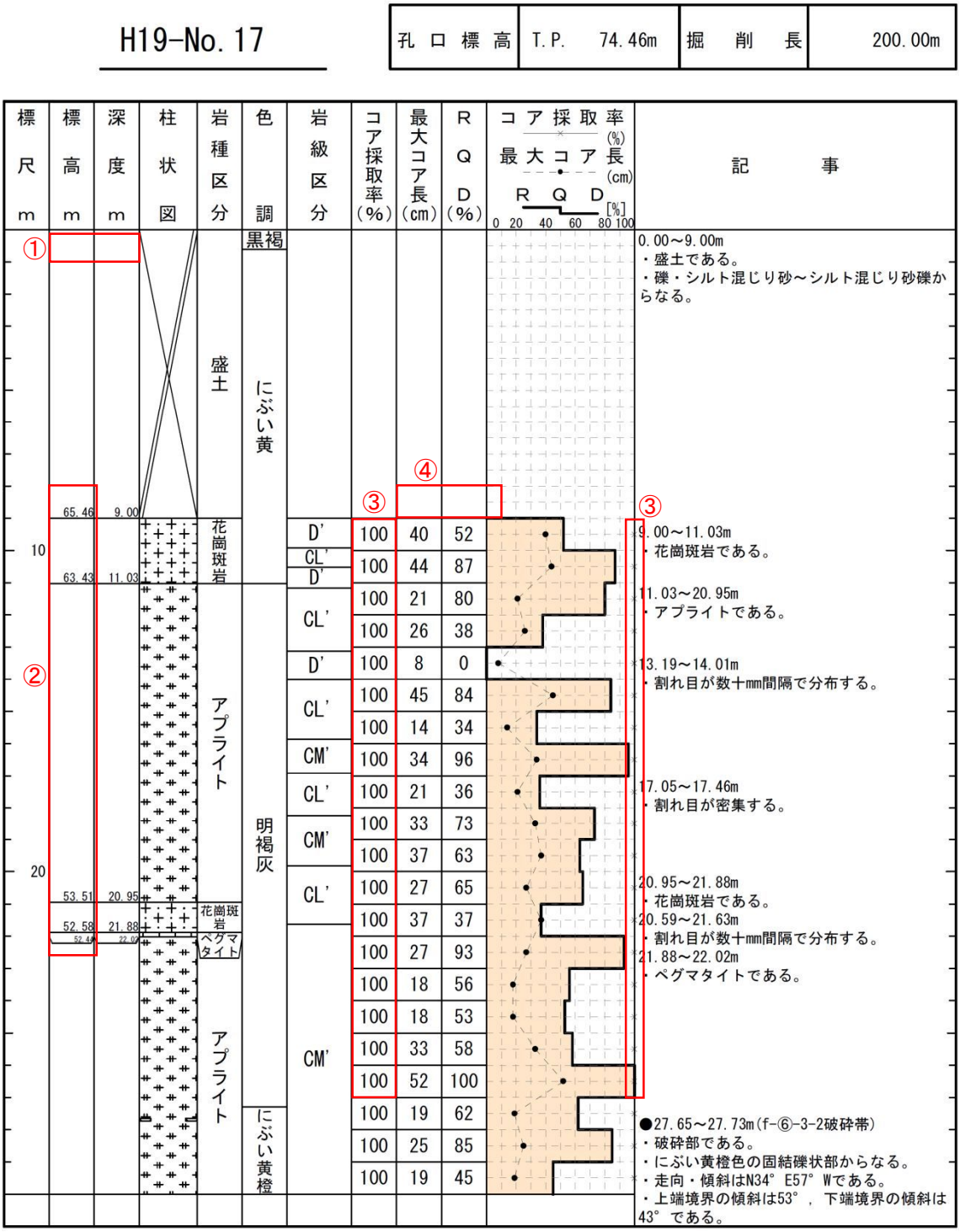
ボーリングNo.

ボーリング名	No.17	調査位置				北緯	
発注機関				調査期間		東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	+ 74.46 m	角度	180° 上 90° 下0° 25°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 59.8°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘削長	200.00 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	標準貫入試験 N値～深度	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
	73.91	0.61		盛土	黒褐						新期盛土。																
				盛土	にぶい黄						礫・シルト混じり細～中粒砂。									135	114／ケーシング	シングルコアチューブ／メタルビット		55	0.0	その他（不明含む）0	0
											礫混じり砂質シルト。																
											礫・シルト混じり中～粗粒砂。								11／13 7.00				15.0				
											シルト混じり砂礫。																
	66.30	9.00																									
10				花崗斑岩		Eg	Ⅲg Ⅳg	bg	δ		深度9.00～11.03m:花崗斑岩。径5～10mmの長石，石英の斑晶，径3mmの黒雲母の斑晶を20%程度含み，石基は径0.5mm程度である。	D'	[D]							136			190	0.0	泥水5	4
						Dg	Ⅱg																				
	64.46	11.03				Eg						CL'															
				アプライト	明褐灰	Dg	Ⅲg	cg	γ	2	アプライト，上位との境界傾斜30度。11.03～139.84m:アプライト。厚さ1.0～5.0m程度の花崗斑岩を挟む。																
						Eg	Ⅳg	bg			アプライトの石基は径0.1mm以下であり，流理が認められる。部分的に径3mm程度の斑晶が散在する（1%以下）。	CL'															
						Dg	Ⅲg																				
						Eg	Ⅳg	cg			深度12.85m,12.87m:節理に幅0.5～1.5mmの流入粘土を挟む。	D'	[CL]						11／14 13.70							
						Dg	Ⅲg	bg			深度13.19～14.01m：傾斜25～55度の節理が数cm間隔で発達。節理の周辺は変質により桃色を帯びる。	CL'															
						Cg	Ⅰg																				
						Dg	Ⅲg Ⅳg	cg																			
						Cg	Ⅲg Ⅱg	bg				CM'															
						Dg	Ⅳg	cg			深度17.05m：シーム。傾斜51度，幅1～3mm，明褐色軟質粘土状。深度17.05～17.46m：傾斜44～51度の節理が密集する。	CL'								146	83／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	25.0	165	0.0	泥水8	4
						Cg	Ⅲg																				
						Dg	Ⅳg	bg																			
						Cg	Ⅱg Ⅲg	cg				CM'															
20						Cg	Ⅳg	bg			深度20.59～21.63m：傾斜40～80度の節理が数cm間隔で発達，やや軟質。	CL'															
	55.47	20.95				Cg	Ⅲg	cg																			
				花崗斑岩		Dg	Ⅳg				花崗斑岩，上位との境界傾斜60度，下位との境界凹凸有り。		[CM]														
	54.63	21.88					Ⅰg	bg																			
	54.50	22.02		ペグマタイト		Cg	Ⅲg Ⅱg				ペグマタイトは，幅3cmの石英と周辺にカリ長石の結晶あり。																
				アプライト			Ⅲg												11／15 23.85								
							Ⅳg				深度23.87～23.88m：シーム。上盤20度，下盤30度。幅4～9mm，暗灰～暗褐灰色礫混じりシルト質砂状。正断層的センス。条線方向高角度。																
						Dg Cg	Ⅱg Ⅳg					CM'															
						Cg	Ⅲg													126			30.0	190	0.0	泥水8	0
						Dg	Ⅳg	cg																			
						Cg	Ⅲg Ⅳg				深度25～45m:節理の一部に流入粘土有り。																
							Ⅱg Ⅰg												11／16 27.00								

H19-No.17

柱状図(0.00m～30.00m)



1-32, 1-34(分類c)①
　岩種区分は同一のため削除。
1-33(分類a)②
　誤記。
1-35(分類b)③
　報告書の記載漏れを修正したため。
1-36, 1-37(分類c)④
　基盤上限の1m未満の区間を省いたため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
30				アプライト	にぶい黄橙	Cg	Ⅲg	cg	γ	2	深度27.65～27.73m：破砕帯(Hb)。上盤53度，下盤43度。幅35～65mm，砂礫状及び礫混じりシルト質砂状。上下盤で走向が異なる。 深度29.00～30.00m：開口した節理に流入粘土が認められる。 深度31.30～31.33m：変質により砂～礫状。	CM'			11/17 29.90	151	83／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	25.0	190	0.0	泥水 8	5
40	37.35	40.95		花崗斑岩	褐灰	Cg	Ⅲg	bg		4	深度32.54～32.65m：破砕帯(Hb)。上盤45度，下盤42～63度。幅50mm，明黄色礫混じりシルト質砂状～礫混じり砂質シルト状。 深度32.65～32.75m：破砕帯(Hb)。下盤45度。幅50mm，赤褐灰色礫・シルト混じり砂状。この破砕帯は上位の破砕帯に切られる。 深度32.75～37.00m：傾斜25～45度の節理が数cm程度の間隔で発達し，短柱～岩片状コアをなす。節理面およびその周辺は褐色を帯びる。 花崗斑岩，上位との境界傾斜65度，凹凸あり。 深度40.95～46.07m:暗灰色帯び，最大径5cm一般径1～2cmの亜円～亜角の捕獲岩を含む。 深度41.22～41.25m：幅18～20mm，褐灰色礫混じりシルト質砂状。 深度43.40～43.51m：節理密集する。 深度43.51～43.54m：幅25mm，暗灰色シルト・礫混じり砂状。部分的に葉片状。 安山岩に近い岩相と花崗斑岩の境界，約40度。	CL' CM' CL' CM' CL' CM'	[CM]		11/20 43.35	227					0.0	泥水 7	0
50	31.05	47.90		アプライト	にぶい橙	Cg	Ⅲg	cg	β	2	アプライト，上位との境界不明瞭。 深度48.31～48.45m：変質帯。上盤45度，下盤35度。明褐灰～灰色の細片状。 深度49.34～50.25m：黒褐色を帯びる高角度な節理発達。 深度51.83～51.86m：幅20mm，暗褐灰色砂礫状。 深度53.42～53.49m：幅25～30mm，節理密集する。 深度55.45～55.46m：破砕帯(Hb)。上盤45度，下盤46度。幅20mm，黄褐色砂混じりシルト状及びシルト混じり礫状。 花崗斑岩，上位との境界不明瞭。 やや暗緑色を帯び，ひん岩に近い岩相。	CL' CM'			11/21 53.35	145			35.0	165				
60	23.05	56.72		花崗斑岩	暗灰黄	Cg	Ⅲg	bg								142					0.0	泥水 6	0
	20.12	59.96		アプライト	灰褐	Cg	Ⅳg	bg	γ		アプライト，上位との境界不明瞭。 深度59.96～63.00m：全体に褐色化顕著。 深度61.89～62.22m：破砕帯(Hj)。傾斜36度。径3～10mmの角礫状。上面に幅1～4mmの黄褐色シルトを挟む。	CL' CM'											

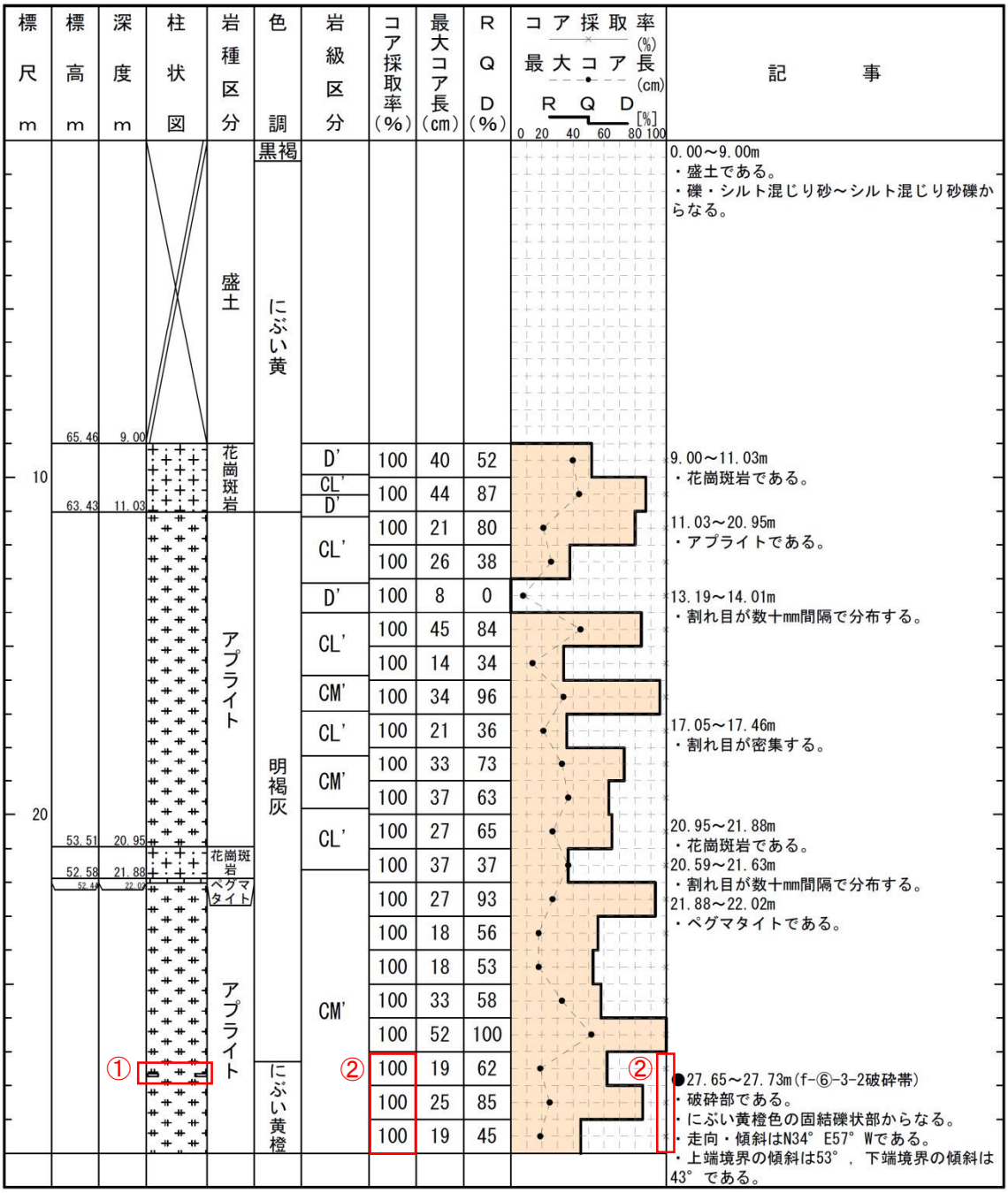
コア採取率 ☆（%） 最大コア長 cm RQD [%]

原位置試験（孔内水平載荷）　室内試験　（標準貫入試験）試験　（N値～深度 0 10 20 30 40 50）

H19-No.17

柱状図(0.00m～30.00m)

H19-No. 17	孔口標高	T.P. 74.46m	掘削長	200.00m

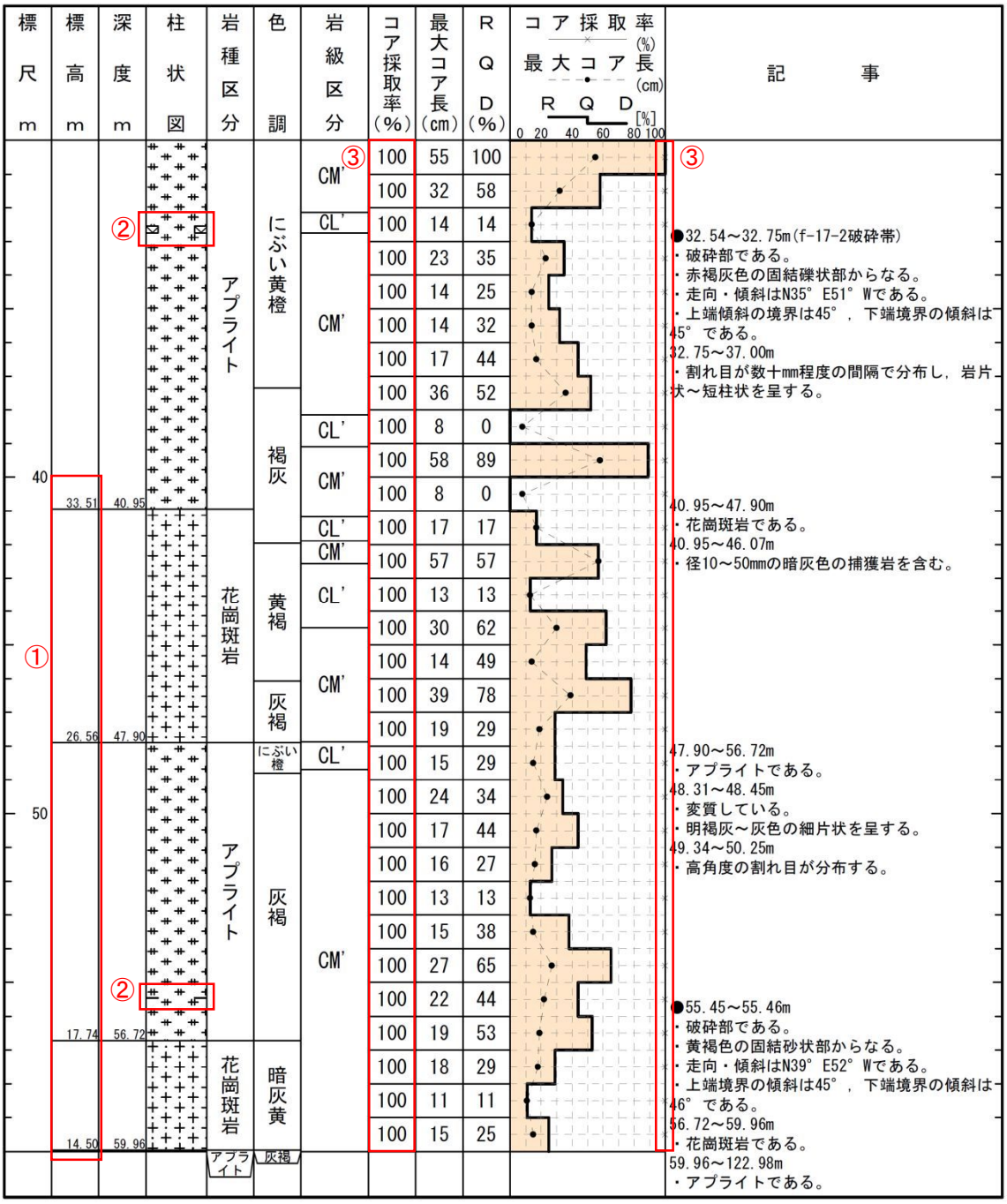


1-38(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-35(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（標準貫入試験）試験 N値	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
30				アプライト	明褐灰 にぶい黄橙	Cg	Ⅲg Ⅶg Ⅲg Ⅱg Ⅲg Ⅰg Ⅲg Ⅳg	cg	2		深度27.65～27.73m：破砕帯(Hb)。上盤53度，下盤43度。幅35～65mm，砂礫状及び礫混じりシルト質砂状。上下盤で走向が異なる。 深度29.00～30.00m：開口した節理に流入粘土が認められる。	CM'						11/17 29.90	151			25.0	190	0.0	泥水8	5
						Cg	Ⅲg Ⅳg	bg cg			深度31.30～31.33m：変質により砂～礫状。															
40	37.35	40.95		花崗斑岩	褐灰 黄褐 灰褐	Cg Bg Cg Dg Cg	Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅰg Ⅳg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅲg Ⅳg	bg cg	γ 4 2		深度32.54～32.65m：破砕帯(Hb)。上盤45度，下盤42～63度。幅50mm，明黄色礫混じりシルト質砂状～礫混じり砂質シルト状。 深度32.65～32.75m：破砕帯(Hb)。下盤45度。幅50mm，赤褐灰色礫・シルト混じり砂状。この破砕帯は上位の破砕帯に切られる。 深度32.75～37.00m：傾斜25～45度の節理が数cm程度の間隔で発達し，短柱～岩片状コアをなす。節理面およびその周辺は褐色を帯びる。 花崗斑岩，上位との境界傾斜65度，凹凸あり。 深度40.95～46.07m:暗灰色帯び，最大径5cm―般径1～2cmの亜円～亜角の捕獲岩を含む。 深度41.22～41.25m：幅18～20mm，褐灰色礫混じりシルト質砂状。 深度43.40～43.51m：節理密集する。 深度43.51～43.54m：幅25mm，暗灰色シルト・礫混じり砂状。部分的に葉片状。 安山岩に近い岩相と花崗斑岩の境界，約40度。	CL' CM' CL' CM' CL' CM' CL' CM'	[CM]					11/20 43.35	227	83／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0	165	0.0	泥水7	0
50	31.05	47.90		アプライト	にぶい橙 灰褐	Cg Dg Cg Dg Cg	Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg	cg bg cg bg cg bg	β 2 γ		アプライト，上位との境界不明瞭。 深度48.31～48.45m：変質帯。上盤45度，下盤35度。明褐灰～灰色の細片状。 深度49.34～50.25m：黒褐色を帯びる高角度な節理発達。 深度51.83～51.86m：幅20mm，暗褐灰色砂礫状。 深度53.42～53.49m：幅25～30mm，節理密集する。 深度55.45～55.46m：破砕帯(Hb)。上盤45度，下盤46度。幅20mm，黄褐色砂混じりシルト状及びシルト混じり礫状。 花崗斑岩，上位との境界不明瞭。 やや暗緑色を帯び，ひん岩に近い岩相。 アプライト，上位との境界不明瞭。 深度59.96～63.00m：全体に褐色化顕著。 深度61.89～62.22m：破砕帯(Hj)。傾斜36度。径3～10mmの角礫状。上面に幅1～4mmの黄褐色シルトを挟む。	CL' CM'						11/21 53.35	145							
	23.05	56.72		花崗斑岩	暗灰黄														142					0.0	泥水6	0
60	20.12	59.96		アプライト	灰褐	Dg Cg	Ⅴg Ⅳg																			

H19-No.17

柱状図(30.00m～60.00m)



1-33(分類a)①
誤記。
1-39, 1-40(分類d)②
記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-35(分類b)③
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	岩種区分	色調
30–40	37.35	40.95	アプライト	明褐灰 / にぶい黄橙 / 褐灰
40–47	31.05	47.90	花崗斑岩	褐灰 / 黄褐 / 灰褐
48–56	23.05	56.72	アプライト	にぶい橙 / 灰褐
57–59	20.12	59.96	花崗斑岩	暗灰黄
60–			アプライト	灰褐

記事

深度27.65～27.73m：破砕帯(Hb)。上盤53度，下盤43度。幅35～65mm，砂礫状及び礫混じりシルト質砂状。上下盤で走向が異なる。

深度29.00～30.00m：開口した節理に流入粘土が認められる。

深度31.30～31.33m：変質により砂～礫状。

深度32.54～32.65m：破砕帯(Hb)。上盤45度，下盤42～63度。幅50mm，明黄色礫混じりシルト質砂状～礫混じり砂質シルト状。
深度32.65～32.75m：破砕帯(Hb)。下盤45度。幅50mm，赤褐灰色礫・シルト混じり砂状。この破砕帯は上位の破砕帯に切られる。
深度32.75～37.00m：傾斜25～45度の節理が数cm程度の間隔で発達し，短柱～岩片状コアをなす。節理面およびその周辺は褐色を帯びる。

花崗斑岩，上位との境界傾斜65度，凹凸あり。
深度40.95～46.07m:暗灰色帯び，最大径5cm一般径1～2cmの亜円～亜角の捕獲岩を含む。
深度41.22～41.25m：幅18～20mm，褐灰色礫混じりシルト質砂状。

深度43.40～43.51m：節理密集する。
深度43.51～43.54m：幅25mm，暗灰色シルト・礫混じり砂状。部分的に葉片状。

安山岩に近い岩相と花崗斑岩の境界，約40度。

アプライト，上位との境界不明瞭。
深度48.31～48.45m：変質帯。上盤45度，下盤35度。明褐灰～灰色の細片状。

深度49.34～50.25m：黒褐色を帯びる高角度な節理発達。

深度51.83～51.86m：幅20mm，暗褐灰色砂礫状。

深度53.42～53.49m：幅25～30mm，節理密集する。

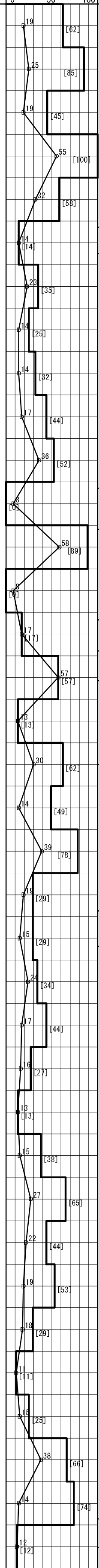
深度55.45～55.46m：破砕帯(Hb)。上盤45度，下盤46度。幅20mm，黄褐色砂混じりシルト状及びシルト混じり礫状。

花崗斑岩，上位との境界不明瞭。
やや暗緑色を帯び，ひん岩に近い岩相。

アプライト，上位との境界不明瞭。

深度59.96～63.00m：全体に褐色化顕著。

深度61.89～62.22m：破砕帯(Hj)。傾斜36度。径3～10mmの角礫状。上面に幅1～4mmの黄褐色シルトを挟む。



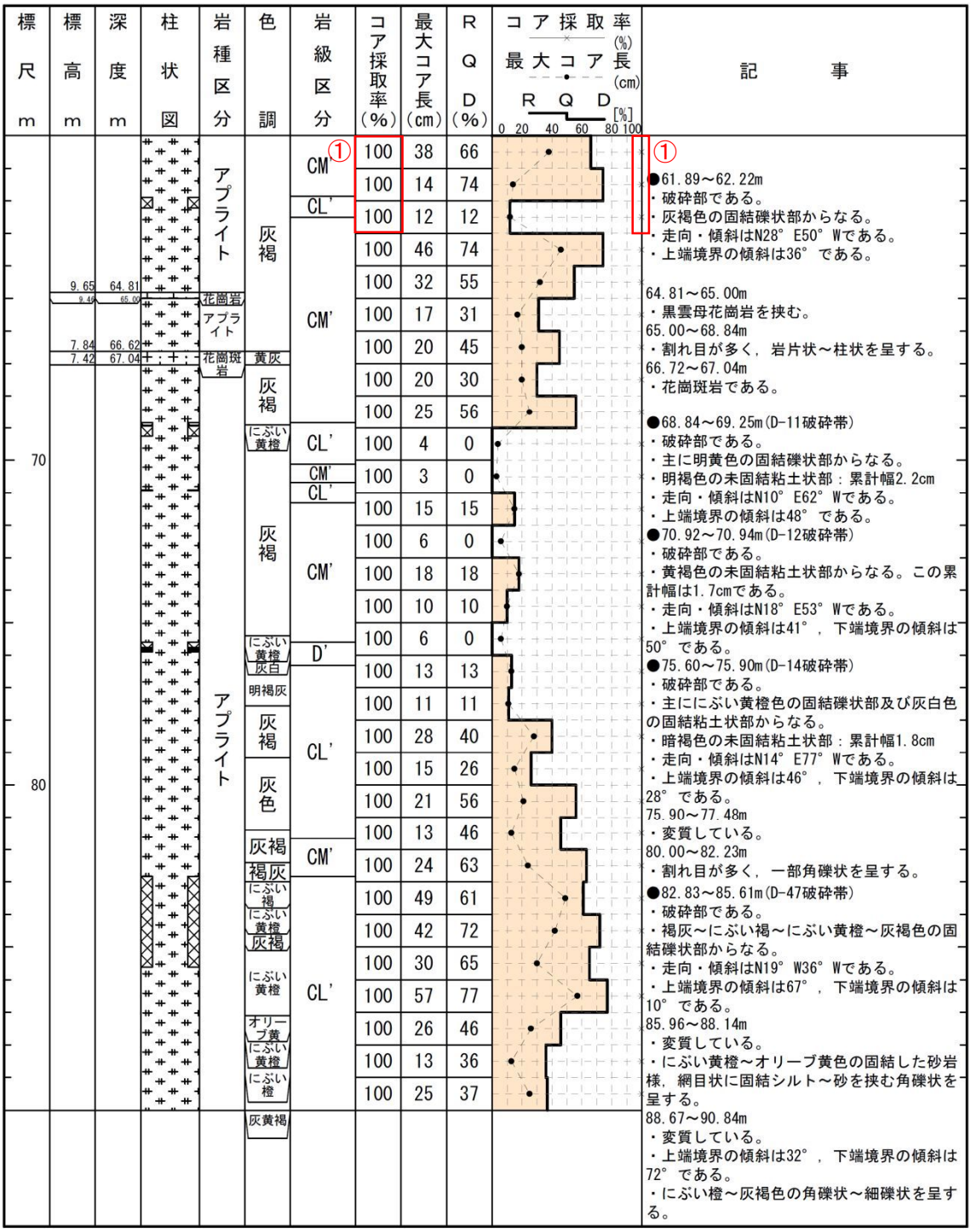
掘進記録

掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
11/17 (29.90)	151			25.0	190	0.0	泥水 8	5
11/20 (43.35)	227	83/ケーシング	ダブルコアチューブ/ダイヤビット			0.0	泥水 7	0
11/21 (53.35)	145			35.0	165			
	142					0.0	泥水 6	0

No.17(2/6)

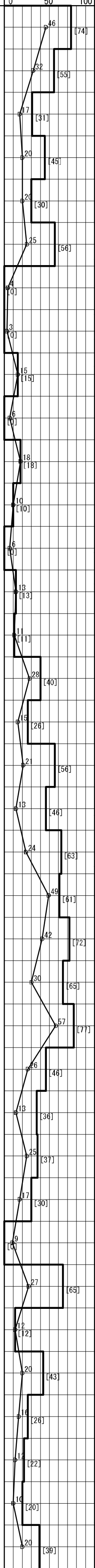
H19-No.17

柱状図(60.00m～90.00m)



1-35(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

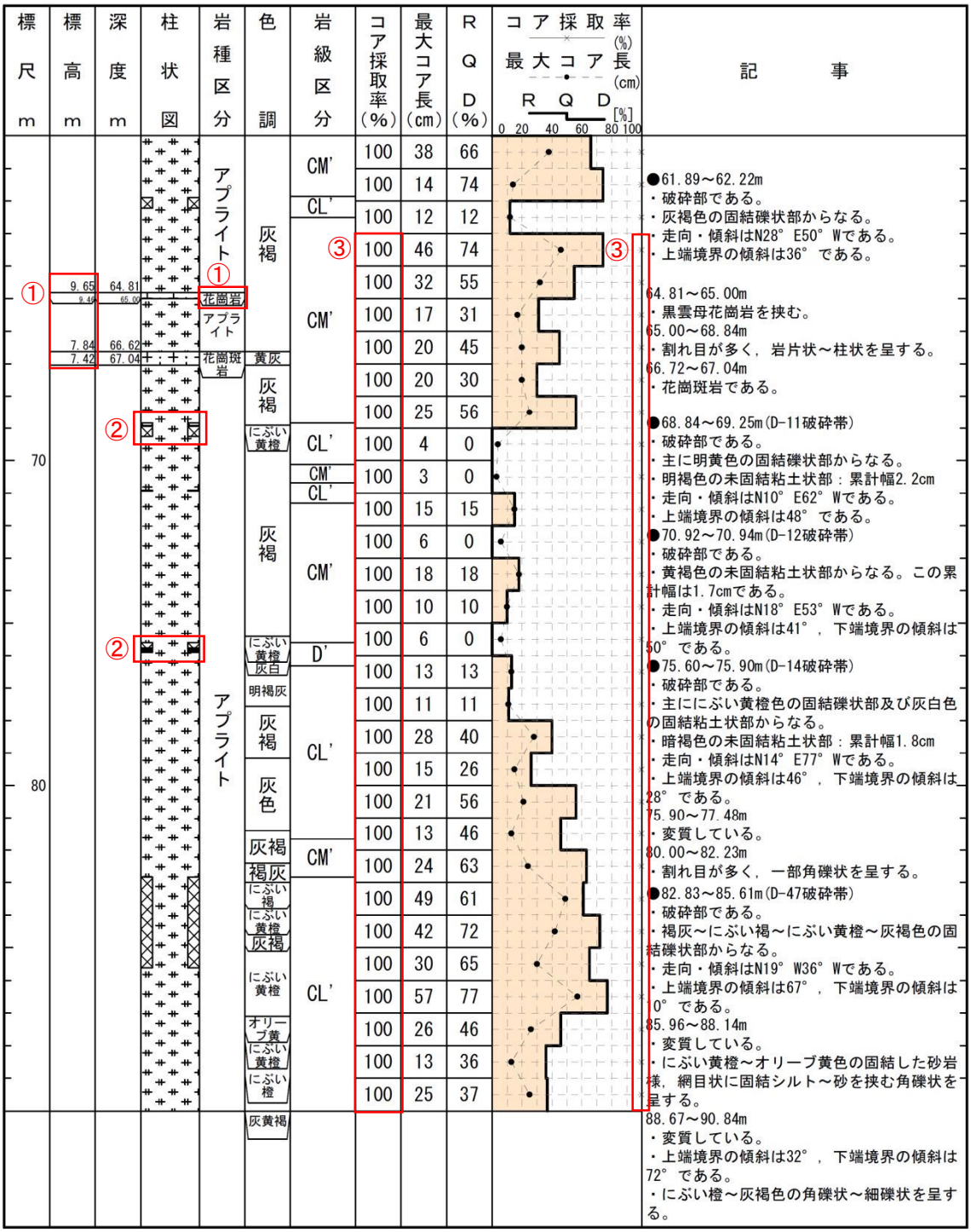
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)/測定月日	(N)値	(標準貫入試験)試験 (N値～深度)	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
				アプライト	灰褐	Cg	IVg													11/23 63.30	142	83/ケーシング		35.0		0.0	泥水	0
						Bg	IIg																					
	15.72	64.81				Cg	IIIg																					
	15.55	65.00		黒雲母花崗岩			IIIg				深度65.00～68.84m：比較的高角度な節理多く，岩片～柱状コア主体。																	
				アプライト			IVg																					
						Dg	IIIg	bg		2			CM'															
	14.08	66.62					IVg																					
	13.70	67.04		花崗斑岩	黄灰		IIg				花崗斑岩，上位，下位との境界傾斜65度。																	
					灰褐	Cg	IVg, IIIg, IVg, IIIg														141					0.0	泥水8	0
					にぶい黄橙	Eg	IVg	cg	γ	4	深度68.84～68.91m：破砕帯(Hb)。上盤48度，下盤3度。幅25～90mm，明黄色シルト混じり砂礫状。 深度68.91～69.11m：破砕帯(Hc)。上盤3度，下盤63度。幅3～20mm，明褐色礫混じりシルト状。 深度69.11～69.15m：破砕帯(Hc)。上盤63度，下盤不明。幅10mm，暗褐・灰白色縞状礫混じり砂質シルト状。 深度69.15～69.25m：破砕帯(Hj)。上盤63度，径10mm以下の角礫状。 深度70.92～70.94m：破砕帯(Hc)。上盤41度，下盤50度。幅5～17mm，黄褐色礫混じり砂質シルト状。 深度71.98～72.10m：幅110mm，黄褐色シルト・砂混じり礫状。		CL'	[CM]							76/セメンティング						
70					灰褐	Dg	Vg						CM'															
						Cg	IVg						CL'															
						Dg, Cg	Vg, IVg, IIIg, IVg	bg		2										11/24 72.10				30.0	165			
						Cg	IVg, IIIg						CM'								132					0.0	泥水7	0
							IVg													11/25 74.30								
						Cg, Dg																						
					にぶい黄橙		VIg			4			D'															
					灰白	Eg	Vg				深度75.60～75.72m：破砕帯(Hj)。上盤46度，下盤47度。幅90mm，節理密集部。 深度75.72～75.90m：破砕帯(Hc)。上盤47度，下盤28度。 幅110mmの明黄色シルト状。75.78m，幅18mmの暗褐色粘土(傾斜20度)を挟む。 深度75.90～77.48m：変質帯。 深度77.35m：シーム。傾斜45度。幅1～2mmの桃色粘土状。																	
					明褐灰	Dg	IVg	cg		3																		
						Eg	Vg																					
					灰褐	Cg	IVg, IIIg						CL'								142		ダブルコアチューブ/ダイヤビット			0.0	泥水9	0
						Cg, Dg	IVg	cg																				
80					灰色	Cg	IIIg			2	深度80.00～82.23m：節理多く，一部角礫状。密着した節理も多い。									11/27 81.60								
					灰褐		IVg						CM'							11/28 81.95	68					0.0	泥水8	0
				アプライト	褐灰		IIg																					
					にぶい褐, にぶい黄橙	Dg	IVg, IIg			3	深度82.83～85.61m：破砕帯(Hj)。上盤67度，下盤10度。角礫～細礫状，所々に砂・シルトを挟む。古い破砕帯。																	
					灰褐		IIIg			4																		
					にぶい黄橙	Cg	IVg			2											178	83/ケーシング		35.0	175			
							IIIg, Ig			4	深度85.96～86.86m：変質帯。下盤37度，固結しており砂岩様を示す。，原岩構造なし。			[CL]														
					オリーブ黄		IVg		β	3	深度86.86～87.56m：変質帯。上盤37度，下盤9度。角礫状，網目状に固結シルト～砂を挟む。 下面に幅20mmの暗褐色礫混じりシルトを挟む。																	
					にぶい黄橙		IIg			4, 3																		
					にぶい橙	Dg	IVg			2	深度87.56～87.83m：変質帯。上盤9度，下盤45度。固結しており砂岩様，原岩構造なし。 深度87.83～88.14m：変質帯。上盤45度，下盤40度。角礫状，網目状に固結シルト～砂を挟む。																	
90					灰黄褐		IIg	cg		3	深度88.67～90.84m：変質帯。上盤32度，下盤72度，角礫～細礫状。90.43mに幅1～2mmの褐色固結粘土を挟む。		CL'							11/29 89.95						0.0	泥水12	0
					灰褐	Cg	IVg			2																		
					にぶい黄橙		IIIg				深度91.52～95.80m：変質帯。上盤66度，下盤40度。高角度な節理により網目状をなす。節理密集する。																	
					灰黄褐	Dg	IVg, IIIg			3											172			30.0	165			
					褐灰	Cg	IVg			2	深度96.00～96.28m：節理密集する。																	
	-14.83	98.52		アプライト			IIIg	bg			アプライト，上位との境界傾斜60度。 深度98.52～102.50m：節理やや少なくなり，節理に沿って褐色化。		CM'	[CM]														



No.17(3/6)

H19-No.17

柱状図(60.00m～90.00m)



1-33, 1-43(分類a)①
　誤記。
1-41, 1-42(分類d)②
　記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-35(分類b)③
　報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)/測定月日	(標準貫入試験) 試験 (N)値 / (N値～深度) 0 10 20 30 40 50	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
	15.72	64.81		アプライト																							
	15.55	65.00		黒雲母花崗岩																							
	14.08	66.62		アプライト																							
	13.70	67.04		花崗斑岩																							
70				アプライト																							
80																											
90																											
	-14.83	98.52		アプライト																							

色調（上から順に）： 灰褐、黄灰、灰褐、にぶい黄橙、灰褐、にぶい黄橙、灰白、明褐灰、灰褐、灰色、灰褐、褐灰、にぶい褐、にぶい黄橙、灰褐、にぶい黄橙、オリーブ黄、にぶい黄橙、にぶい橙、灰黄褐、灰褐、にぶい黄橙、灰黄褐、褐灰

硬軟（上から順に）： Cg, Bg, Cg, Dg, Cg, Eg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Eg, Dg, Eg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg

コア形状（上から順に）： IVg, IIg, IIIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg, Vg, IVg, Vg, IVg, IIIg, IVg, Vg, IVg, IIIg, IVg, VIg, Vg, IVg, VIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg, IIg, IVg, IIg, IIIg, IVg, IIIg, Ig, IVg, IIg, IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg

割れ目の状態： bg, cg, bg, cg, cg, bg

風化： γ, β

変質： 2, 4, 2, 4, 3, 2, 3, 4, 2, 4, 3, 4, 3, 2, 3, 2, 3, 2

記事

深度65.00～68.84m：比較的高角度な節理多く，岩片～柱状コア主体。

花崗斑岩，上位，下位との境界傾斜65度。

深度68.84～68.91m：破砕帯(Hb)。上盤48度，下盤3度。幅25～90mm，明黄色シルト混じり砂礫状。
深度68.91～69.11m：破砕帯(Hc)。上盤3度，下盤63度。幅3～20mm，明褐色礫混じりシルト状。
深度69.11～69.15m：破砕帯(Hc)。上盤63度，下盤不明。幅10mm，暗褐・灰白色縞状礫混じり砂質シルト状。
深度69.15～69.25m：破砕帯(Hj)。上盤63度，径10mm以下の角礫状。
深度70.92～70.94m：破砕帯(Hc)。上盤41度，下盤50度。幅5～17mm，黄褐色礫混じり砂質シルト状。
深度71.98～72.10m：幅110mm，黄褐色シルト・砂混じり礫状。

深度75.60～75.72m：破砕帯(Hj)。上盤46度，下盤47度。幅90mm，節理密集部。
深度75.72～75.90m：破砕帯(Hc)。上盤47度，下盤28度。
幅110mmの明黄色シルト状。75.78m，幅18mmの暗褐色粘土(傾斜20度)を挟む。
深度75.90～77.48m：変質帯。
深度77.35m：シーム。傾斜45度。幅1～2mmの桃色粘土状。

深度80.00～82.23m：節理多く，一部角礫状。密着した節理も多い。

深度82.83～85.61m：破砕帯(Hj)。上盤67度，下盤10度。角礫～細礫状，所々に砂・シルトを挟む。古い破砕帯。

深度85.96～86.86m：変質帯。下盤37度，固結しており砂岩様を示す。，原岩構造なし。
深度86.86～87.56m：変質帯。上盤37度，下盤9度。角礫状，網目状に固結シルト～砂を挟む。
下面に幅20mmの暗褐色礫混じりシルトを挟む。
深度87.56～87.83m：変質帯。上盤9度，下盤45度。固結しており砂岩様，原岩構造なし。
深度87.83～88.14m：変質帯。上盤45度，下盤40度。角礫状，網目状に固結シルト～砂を挟む。
深度88.67～90.84m：変質帯。上盤32度，下盤72度，角礫～細礫状。90.43mに幅1～2mmの褐色固結粘土を挟む。

深度91.52～95.80m：変質帯。上盤66度，下盤40度。高角度な節理により網目状をなす。節理密集する。

深度96.00～96.28m:節理密集する。

アプライト，上位との境界傾斜60度。
深度98.52～102.50m：節理やや少なくなり，節理に沿って褐色化。

最大コア長 cm（上から順に）： 46, 32, 17, 20, 20, 25, 4, 3, 15, 6, 18, 10, 6, 13, 11, 28, 15, 21, 13, 24, 49, 42, 30, 57, 26, 13, 25, 17, 9, 27, 12, 20, 16, 12, 10, 20

RQD [%]（上から順に）： [74], [55], [31], [45], [30], [56], [0], [0], [15], [0], [18], [10], [0], [13], [11], [40], [26], [56], [46], [63], [61], [72], [65], [77], [46], [36], [37], [30], [0], [65], [12], [43], [26], [22], [20], [39]

岩級区分： CM', CL', CM', CL', CM', D', CL', CM', CL', CM'

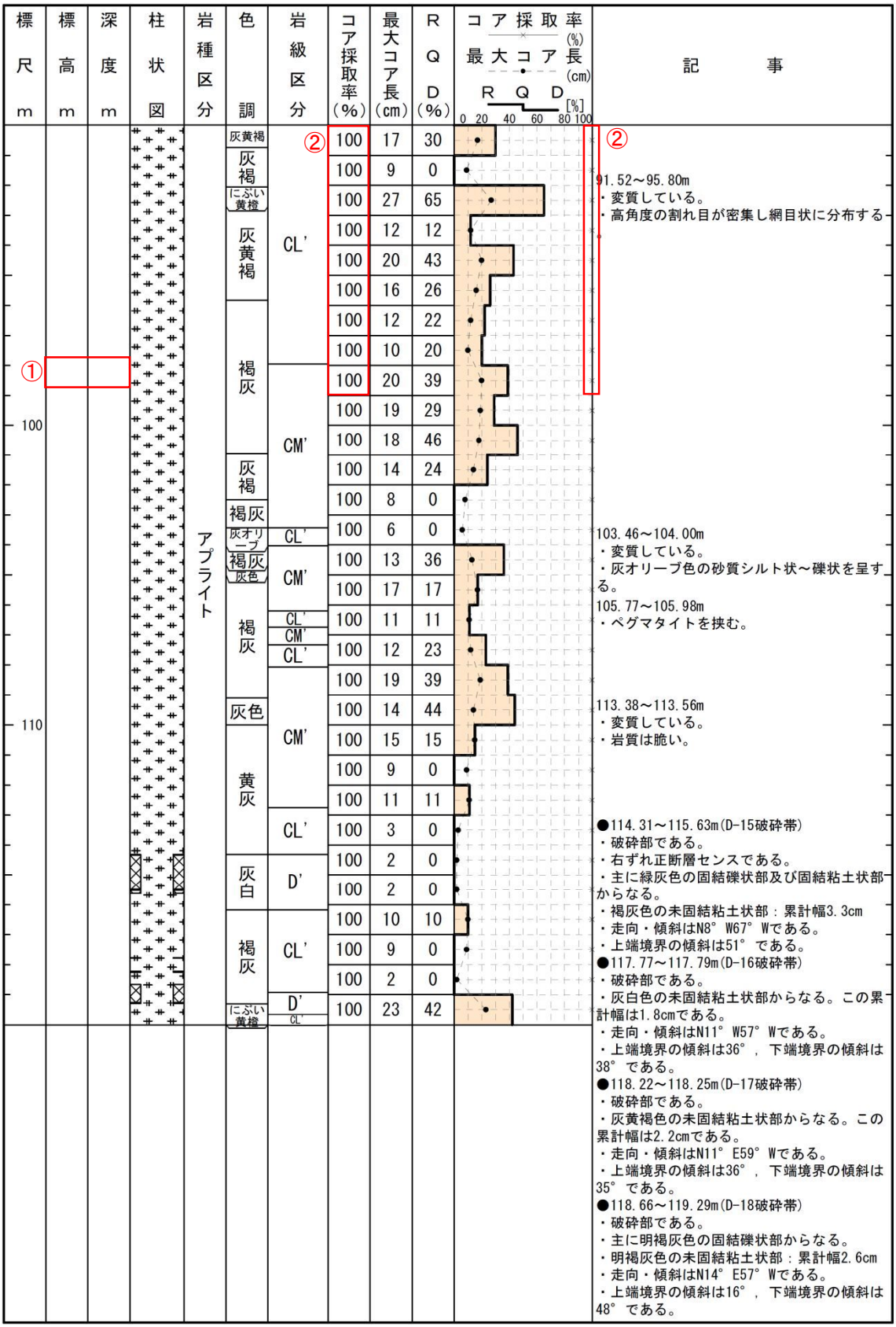
岩盤分類： [CM], [CL], [CM]

掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
11/23 63.30	142	83/ケーシング	ダブルコアチューブ/ダイヤビット	35.0		0.0	泥水6	0
	141	76/セメンティング				0.0	泥水8	0
11/24 72.10	132			30.0	165	0.0	泥水7	0
11/25 74.30	142					0.0	泥水9	0
11/27 81.50 / 28 81.95	68					0.0	泥水8	0
	178	83/ケーシング		35.0	175			
11/29 89.95	172			30.0	165	0.0	泥水12	0

No.17(3/6)

H19-No.17

柱状図(90.00m～120.00m)



1-44,1-45(分類c)①
岩種区分は同一のため削除。
1-35(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

参考3-378

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調
100				アプライト	褐灰、灰褐、褐灰、灰オリーブ、褐灰、灰色、褐灰、灰色、黄灰、灰白、褐灰、にぶい黄橙
110					
120	-37.00	122.98		花崗斑岩	にぶい黄橙、にぶい褐
	-40.24	126.56		アプライト	灰黄、にぶい橙、にぶい黄橙
130	-44.02	130.73		花崗斑岩	にぶい橙
	-46.36	133.31		アプライト	

記事

深度102.50～103.42m：やや変質強く，一部角礫～細礫状。

深度103.46～104.00m：変質帯。上盤45度。砂質シルト～礫状。

深度105.77～105.98m：ペグマタイト。

深度105.10～109.65m：全体に開口および密着した節理が多い。弱い変質を受け，黄鉄鉱，セリサイトを挟む。

深度113.38～113.56m：変質帯。上盤56度，下盤72度。岩質脆い。

深度114.31～114.32m：破砕帯(Hc)。上盤45度，下盤40度，幅1～10mm，褐灰色砂質シルト状。

深度144.32～114.77m：破砕帯(Hj)。傾斜20～55度，礫混じりシルト質砂状～シルト混じり砂礫状，114.55m:幅5～15mm程度の灰白色シルトを挟む。

深度114.77～115.24m：破砕帯(Hj)。上盤55度，下盤12度。原岩組織が残るシルト混じり砂礫状，緑灰色シルトが網目状に入る。

深度115.24～115.47m：破砕帯(Hb)。上盤12度，下盤4度。灰白色シルト混じり砂礫状。

深度115.47～115.51m：破砕帯(Hc)。傾斜3度。幅5～12mmの灰白～褐灰色砂混じり粘土状。

深度115.62～115.64m：破砕帯(Hc)。上盤70度，下盤不明，幅15～30mm，灰白色砂質シルト状。

深度115.98～116.18m：破砕帯(Hc)。上盤30度，下盤不明，灰白色礫混じり砂質シルト状。

深度117.55～117.56m：シーム。上盤38度，下盤27度，幅5～9mm，灰白色礫混じり砂質シルト状。

深度117.77～117.79m：破砕帯(Hc)。上盤36度，下盤38度。幅15～18mm，灰白色礫混じりシルト質砂状。

深度118.22～118.25m：破砕帯(Hc)。上盤36度，下盤35度。幅22mm，灰黄褐色礫混じりシルト質砂状。

深度118.66～119.26m：破砕帯(Hj)。上盤16度，下盤33度。幅10.5cm，明褐灰色礫混じり砂質シルト状。

深度119.18～119.21m：幅15～20mm，明褐灰色礫混じり砂質シルト状。

深度119.26～119.29m：破砕帯(Hc)。上盤33度，下盤48度。幅22～30mm，明褐灰色礫混じり砂質シルト状。

深度119.29～139.84m区間は褐色化顕著。

深度119.47～119.57m：幅90mm，黄橙色シルト混じり砂礫状。

深度120.31m：シーム。傾斜85～90度。幅1mmの灰白色粘土状。傾斜27～28度の密着した節理を見かけ1.0～1.5cm逆断層的にずらす。

深度120.65m：シーム。傾斜74度。幅1mmの灰白色粘土状。

深度120.80m：シーム。傾斜75度。両者とも傾斜35度の密着した節理を見かけ1cm程度逆断層的にずらす。

深度121.18～121.32m：変質帯。上盤21度，下盤75～90度。灰白色礫混じり固結粘土状。

深度121.45m：シーム。傾斜85度。幅3～5mmの明桃色粘土状。

深度121.85m：シーム。傾斜73度。幅1～3mmの灰白色固結粘土状。傾斜45度の密着した節理を見かけ0.5～1.0cm逆断層的にずらす。

深度122.75～122.92m：変質帯。上盤48度，下盤67度。幅9～16cm，明灰色シルト混じり砂礫状。

花崗斑岩，上位との境界傾斜67度。

深度126.04～126.27m：変質帯。上盤30度，下盤65度。径1cm以下の細片状，網目状に粘土細脈。

アプライト，上盤傾斜33度。

深度127.21～127.48m：幅約15cm，灰黄色シルト混じり固結砂・礫状。

掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
	172	83/ケーシング	ダブルコアチューブ/ダイヤビット	30.0	165	0.0	泥水12	0
11/30 (102.25)	138			35.0				
12/1 (109.05)	125			30.0		0.0	泥水13	0
12/2 (114.05)	151			25.0				
12/4 (121.35)	197			15.0		0.0	泥水10	0
12/5 (123.65)	139			20.0		0.0	泥水12	0
12/6 (125.85)	155			40.0		0.0	泥水10	3
12/22 (131.80)	161			35.0		0.0	泥水6	0

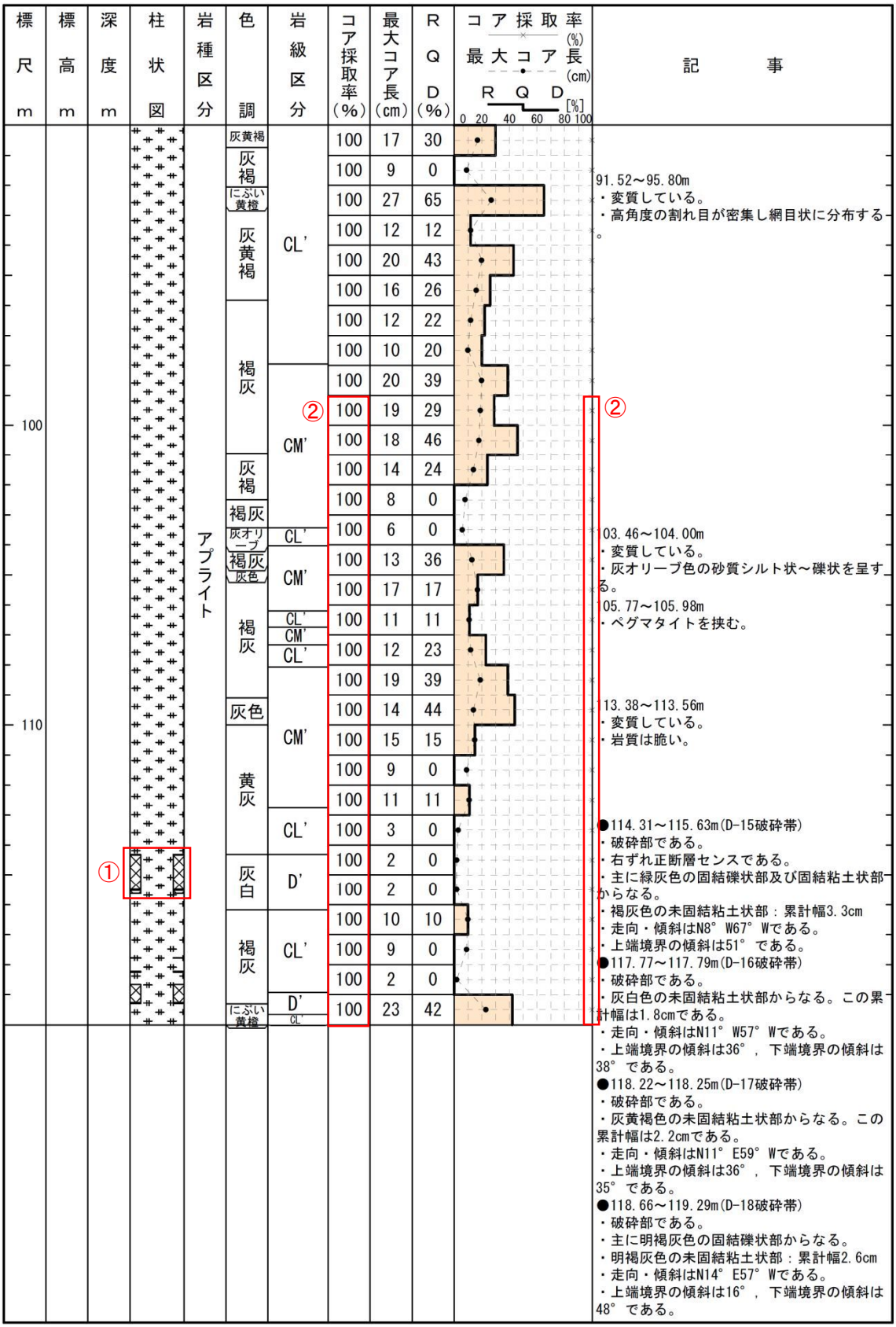
岩級区分: CM', CL', CM', CM', CL', CM', CL', CM', CL', D', CL', D', CL'　岩盤分類: [CM], [CL]

風化: β, α, γ　変質: 2, 4, 3, 2, 3, 2, 3, 2, 4, 3, 2, 3

No.17(4/6)

H19-No.17

柱状図(90.00m～120.00m)



1-46(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-35(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

参考3-378

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分
100				アプライト
110				アプライト
120	-37.00	122.98		アプライト
	-40.24	126.56		花崗斑岩
	-44.02	130.73		アプライト
130	-46.36	133.31		花崗斑岩
				アプライト

色調：褐灰, 灰褐, 褐灰, ※オリーブ, 褐灰, 灰色, 褐灰, 灰色, 黄灰, 灰白, 褐灰, にぶい黄橙, にぶい褐, 灰黄, にぶい橙, にぶい黄橙, にぶい橙

風化：β, α, γ

岩級区分：CM', CL', CM', CM', CL', CM', CL', CM', CL', D', CL', D', CL'

岩盤分類：[CM], [CL]

記事

深度102.50～103.42m：やや変質強く，一部角礫～細礫状。

深度103.46～104.00m：変質帯。上盤45度。砂質シルト～礫状。

深度105.77～105.98m：ペグマタイト。

深度105.10～109.65m：全体に開口および密着した節理が多い。弱い変質を受け，黄鉄鉱，セリサイトを挟む。

深度113.38～113.56m：変質帯。上盤56度，下盤72度。岩質脆い。

深度114.31～114.32m：破砕帯(Hc)。上盤45度，下盤40度，幅1～10mm，褐灰色砂質シルト状。

深度144.32～114.77m：破砕帯(Hj)。傾斜20～55度，礫混じりシルト質砂状～シルト混じり砂礫状，114.55m:幅5～15mm程度の灰白色シルトを挟む。

深度114.77～115.24m：破砕帯(Hj)。上盤55度，下盤12度。原岩組織が残るシルト混じり砂礫状，緑灰色シルトが網目状に入る。

深度115.24～115.47m：破砕帯(Hb)。上盤12度，下盤4度。灰白色シルト混じり砂礫状。

深度115.47～115.51m：破砕帯(Hc)。傾斜3度。幅5～12mmの灰白～褐灰色砂混じり粘土状。

深度115.62～115.64m：破砕帯(Hc)。上盤70度，下盤不明，幅15～30mm，灰白色砂質シルト状。

深度115.98～116.18m：破砕帯(Hc)。上盤30度，下盤不明，灰白色礫混じり砂質シルト状。

深度117.55～117.56m：シーム。上盤38度，下盤27度，幅5～9mm，灰白色礫混じり砂質シルト状。

深度117.77～117.79m：破砕帯(Hc)。上盤36度，下盤38度。幅15～18mm，灰白色礫混じりシルト質砂状。

深度118.22～118.25m：破砕帯(Hc)。上盤36度，下盤35度。幅22mm，灰黄褐色礫混じりシルト質砂状。

深度118.66～119.26m：破砕帯(Hj)。上盤16度，下盤33度。幅10.5cm，明褐灰色礫混じり砂質シルト状。

深度119.18～119.21m：幅15～20mm，明褐灰色礫混じり砂質シルト状。

深度119.26～119.29m：破砕帯(Hc)。上盤33度，下盤48度。幅22～30mm，明褐灰色礫混じり砂質シルト状。

深度119.29～139.84m区間は褐色化顕著。

深度119.47～119.57m：幅90mm，黄橙色シルト混じり砂礫状。

深度120.31m：シーム。傾斜85～90度。幅1mmの灰白色粘土状。傾斜27～28度の密着した節理を見かけ1.0～1.5cm逆断層的にずらす。

深度120.65m：シーム。傾斜74度。幅1mmの灰白色粘土状。

深度120.80m：シーム。傾斜75度。両者とも傾斜35度の密着した節理を見かけ1cm程度逆断層的にずらす。

深度121.18～121.32m：変質帯。上盤21度，下盤75～90度。灰白色礫混じり固結粘土状。

深度121.45m：シーム。傾斜85度。幅3～5mmの明桃色粘土状。

深度121.85m：シーム。傾斜73度。幅1～3mmの灰白色固結粘土状。傾斜45度の密着した節理を見かけ0.5～1.0cm逆断層的にずらす。

深度122.75～122.92m：変質帯。上盤48度，下盤67度。幅9～16cm，明灰色シルト混じり砂礫状。

花崗斑岩，上位との境界傾斜67度。

深度126.04～126.27m：変質帯。上盤30度，下盤65度。径1cm以下の細片状，網目状に粘土細脈。

アプライト，上盤傾斜33度。

深度127.21～127.48m：幅約15cm，灰黄色シルト混じり固結砂・礫状。

掘進記録

掘進月日 (深度m)	掘進速度 (cm/時)	給圧 (kN・MPa)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
11/30 (102.25)	172	30.0			
12/1 (109.05)	138	35.0	0.0	泥水12	0
12/2 (114.05)	125	30.0			
12/4 (121.35)	151	25.0	0.0	泥水13	0
12/5 (123.65)	197	15.0	0.0	泥水10	0
12/6 (125.85)	139	20.0	0.0	泥水12	0
12/22 (131.80)	155	40.0	0.0	泥水10	3
	161	35.0	0.0	泥水6	0

孔径(mm)/孔壁保護：83/ケーシング

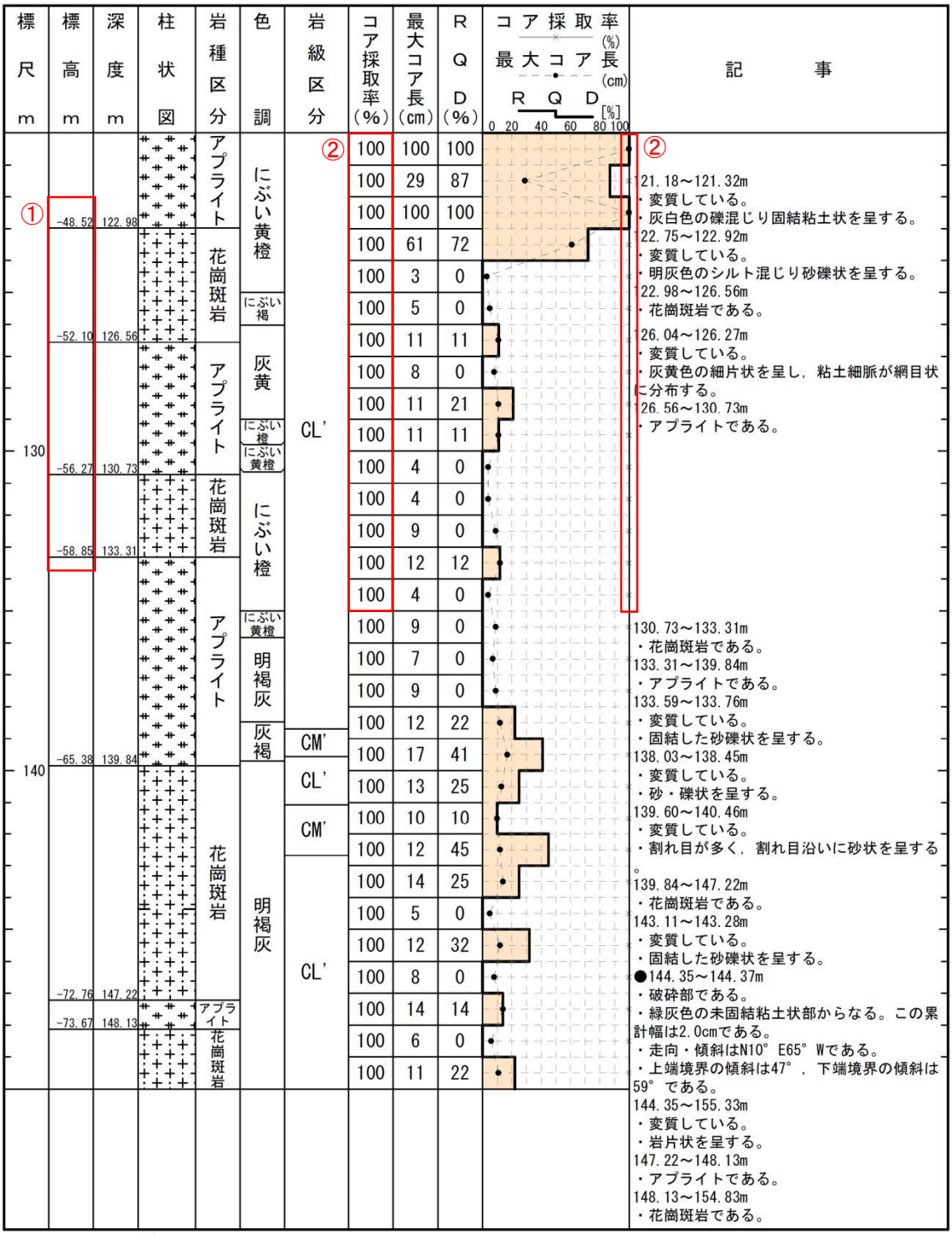
コアチューブ/ビット：ダブルコアチューブ/ダイヤビット

回転数：165 rpm

No.17(4/6)

H19-No.17

柱状図(120.00m～150.00m)



1-33(分類a)①
誤記。
1-35(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)/測定月日	(N)値	(標準貫入試験)試験 (N値～深度) 0 10 20 30 40 50	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
	-52.28	139.84		アプライト	にぶい黄橙 / 明褐灰 / 灰褐	Dg / Cg / Dg / Eg / Dg / Cg	IVg / Vg / IVg / IIIg / IVg / IIIg	cg		3 / 2		9[0] / 7[0] / 9[0] / 12[22] / 17[41]	CL' / CM'								161					0.0	泥水6	0
140				花崗斑岩	明褐灰	Dg / Cg / Dg / Cg / Cg / Dg / Cg / Dg / Cg / Dg / Cg / Dg / Cg	IVg / IIIg / IVg / Vg / IVg / Vg	cg / bg / cg		3 / 2 / 3 / 2 / 3		13[25] / 10[10] / 12[45] / 14[25] / 5[0] / 12[32] / 8[0]	CL' / CM' / CL'							12/23 (140.50)	183			35.0		0.0	泥水7	0
	-58.97	147.22		アプライト		Cg / Dg / Cg	IVg					14[14]													165			
	-59.79	148.13		花崗斑岩	明褐灰 / 浅黄	Dg / Cg / Dg / Cg / Dg / Cg / Dg / Cg / Dg / Cg / Dg	IVg / IIIg / IVg / IIIg / IVg	cg	γ	3		6[0] / 11[22] / 4[0] / 11[11] / 6[0] / 12[24] / 9[0]	CL'	[CL]						12/25 (150.70)		83/ケーシング	ダブルコアチューブ/ダイヤビット					
150	-65.86	154.83		アプライト	明褐灰 / にぶい褐 / 明褐灰 / にぶい橙	Cg / Dg / Cg / Dg / Cg	IIIg / IVg / IIIg / IVg / IIIg / IVg / Vg / IVg / IIIg	bg / cg / bg		2 / 3		16[31] / 14[36] / 9[0] / 13[13] / 10[10]	CM' / CL'								179			25.0		0.0	泥水8	0
160	-70.41	159.85		花崗斑岩	明褐灰	Dg / Cg / Dg	IVg	cg		3		12[12] / 3[0]	CL'							12/26 (160.10)								
	-71.89	161.48		アプライト	明褐灰 / 明黄褐 / 灰黄 / 灰黄褐	Cg / Dg / Cg / Dg / Cg / Dg / Cg / Dg / Cg / Dg / Cg / Dg / Eg / Dg / Eg / Dg / Cg	IIIg / IVg / IIIg / IVg / IIg / IIIg / Ig / IIIg / IIg / IVg	cg / ag	α	2 / 3 / 2 / 3 / 4 / 3 / 2		12[23] / 24[47] / 22[72] / 12[12] / 26[26] / 64[79] / 19[75] / 29[69] / 6[0]	CM' / CL' / D' / CL' / CM'							1/8 (166.30)	191 / 175			35.0	175	0.0 / 0.0	泥水7 / 泥水10	0 / 0
170																												

記事

深度128.56～128.58m：変質帯。上盤42度，下盤30度。固結砂状。
深度129.25～129.30m：変質帯。上盤38度，下盤32度。固結砂状。
深度129.76～129.79m：変質帯。下盤29度，固結砂状。
花崗斑岩，上位との境界漸移的。
深度132.07～132.18m：変質帯。上盤42度，下盤35度。暗黄灰色砂礫状。
深度132.25m：シーム。傾斜31度。幅1～3mmの灰オリーブ色固結シルト状。
深度132.52～132.62m：変質帯。上盤52度，下盤25度。砂礫状。
アプライト，上位との境界漸移的。
深度133.31～133.33m：幅約16mm，灰白色シルト混じり固結砂礫状。
深度133.43m：シーム。傾斜40度。幅0～3mm，灰白色シルト質砂状。
深度133.59～133.76m：変質帯。下盤85度，固結砂礫状。
深度135.00～138.45m：亀裂多く，コアは岩片～短柱状をなす。
深度138.03～138.45m：変質帯。上盤6度，下盤50度。砂・礫状。
深度138.22～139.60m：比較的節理少なく，柱状コア主体。
深度139.60～140.46m：変質帯。上盤52度，下盤68度。節理発達し，砂状化。
花崗斑岩，上位との境界不明瞭。
深度139.84～154.83m:花崗斑岩。
花崗斑岩は褐色化，変質が強い。
径3～5mmの石英，長石及び黒雲母の斑晶を5～30%程度含み，石基は径0.1～0.2mm程度で黒雲母を含む。
深度143.11～143.28m：変質帯。上盤56度，下盤36度。固結砂礫状。
深度144.35～144.37m：破砕帯(Hc)。上盤47度，下盤59度，幅20mm，固結黄褐色砂混じりシルト状。古い破砕帯。
深度144.35～155.33m：変質帯。上盤破砕帯，下盤39度。岩片状。
深度146.04～146.96m：全体に傾斜40～60度の節理が1～3cm間隔で発達し，コアは岩片状を主体とする。
アプライト，上位，下位との境界漸移的。

深度150.00～151.51m：傾斜40～65度の節理が5～6cm以下の間隔で密集し，岩片～細片状を呈する。

深度152.95～153.86m：部分的に変質により砂・礫状を呈するが，一般に節理が少なく，短柱～柱状をなす。

アプライト，上位との境界傾斜10～20度。
深度154.83～187.52m：アプライト。
アプライトは深度159.15mまで褐色化するが，これ以深，褐色化していない。
アプライトの石基は径0.2mm程度で組織はほぼ均質である。斑晶の量は非常に少ない。
深度155.33～156.95m：比較的節理少なく，短柱～柱状をなす。
深度156.97～162.43m：変質帯。上盤87度，下盤65度。
傾斜30～50度および85度程度の節理が発達し，砂質シルト状～岩片状を呈する。
深度159.31～159.39m：変質帯。幅32mm，黄灰色砂質シルト状。
深度159.39m:シーム。傾斜39度。幅5～8mmの黒灰色シルト状。
花崗斑岩，上位,下位との境界不明瞭。

深度162.57m：シーム。傾斜63度。幅2～3mm，暗灰色礫混じり砂状。

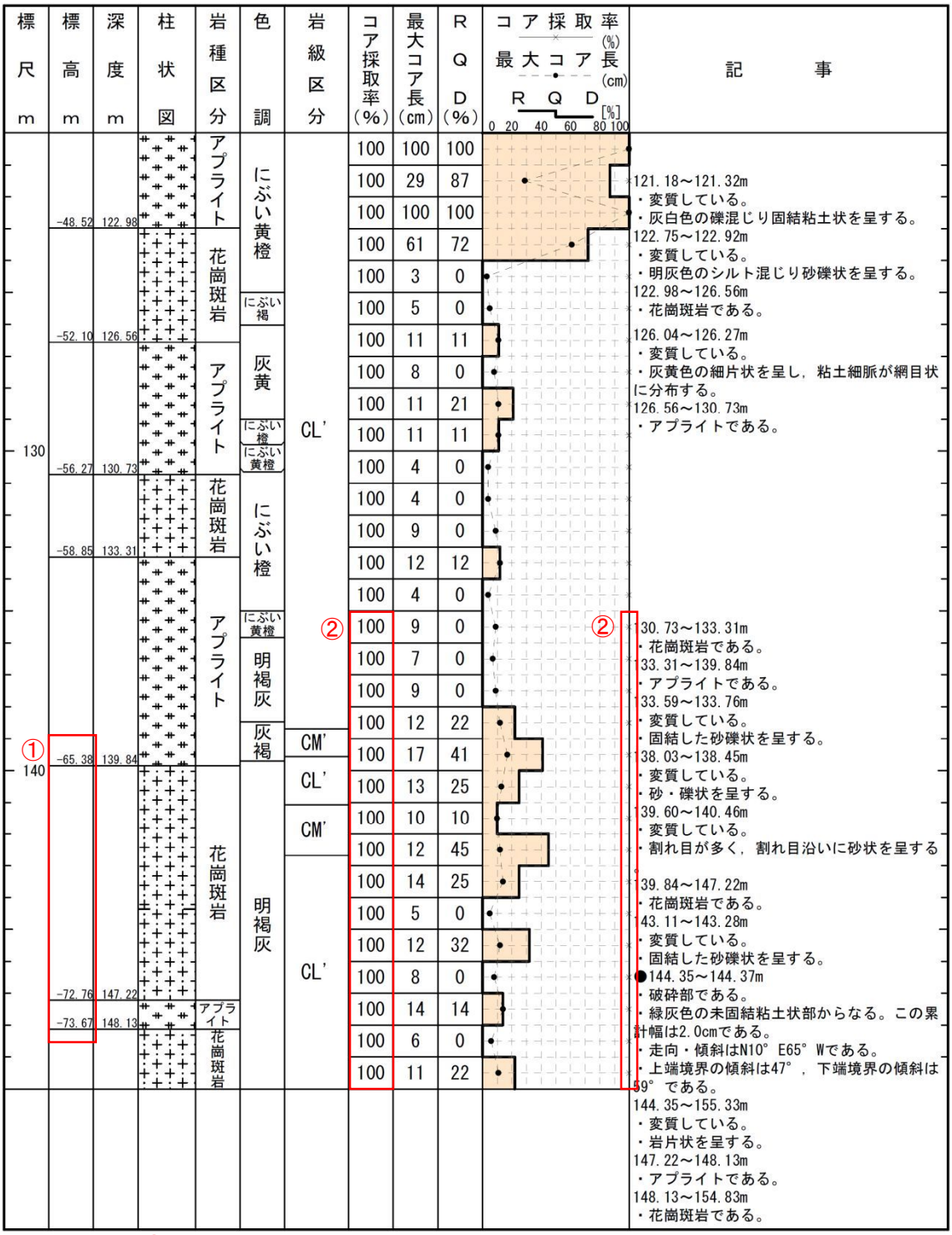
深度164.52～165.06m：変質帯。上盤52度，下盤55度。砂礫状。
深度165.60～165.61m：シーム。上盤59度，下盤56度。幅5～8mmの暗灰色礫混じりシルト状。
深度165.61～170.14m：変質帯。上盤56度，下盤50度。全体に固結砂状を呈する。酸化し明黄褐色を帯びる。

深度169.72m：シーム。傾斜55度。幅1～3mm，灰色シルト状。
深度169.74m：シーム。傾斜56度。幅2mm，灰色シルト状。

No.17(5/6)

H19-No.17

柱状図(120.00m～150.00m)



1-33(分類a)①
誤記。
1-35(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 ―△― （%） 最大コア長 ―○― cm RQD ┓[%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	（標準貫入試験）試験 （N値～深度） 0 10 20 30 40 50	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）

標高・深度・岩種区分

標尺	標高 (m)	深度 (m)	岩種区分
	−52.28	139.84	アプライト
140			
	−58.97	147.22	花崗斑岩
	−59.79	148.13	アプライト
150			
	−65.86	154.83	花崗斑岩
	−70.41	159.85	アプライト
160			
	−71.89	161.48	花崗斑岩
170			アプライト

色調（上から）

にぶい黄橙 / 明褐灰 / 灰褐 / 明褐灰 / 浅黄 / 明褐灰 / にぶい褐 / 明褐灰 / にぶい橙 / 明褐灰 / 明黄褐 / 灰黄 / 灰黄褐

硬軟（上から）

Dg, Cg, Dg, Eg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Dg, Cg, Eg, Dg, Eg, Dg, Cg

コア形状（上から）

Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅲg, Ⅰg, Ⅲg, Ⅱg, Ⅳg

割れ目の状態（上から）

cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, ag

風化

γ, α

変質（上から）

3, 2, 3, 2, 3, 2, 3, 2, 3, 2, 3, 2, 3, 4, 3, 2

記事

深度128.56～128.58m：変質帯。上盤42度，下盤30度。固結砂状。
深度129.25～129.30m：変質帯。上盤38度，下盤32度。固結砂状。
深度129.76～129.79m：変質帯。下盤29度，固結砂状。
花崗斑岩，上位との境界漸移的。
深度132.07～132.18m：変質帯。上盤42度，下盤35度。暗黄灰色砂礫状。
深度132.25m：シーム。傾斜31度。幅1～3mmの灰オリーブ色固結シルト状。
深度132.52～132.62m：変質帯。上盤52度，下盤25度。砂礫状。
アプライト，上位との境界漸移的。
深度133.31～133.33m：幅約16mm，灰白色シルト混じり固結砂礫状。
深度133.43m：シーム。傾斜40度。幅0～3mm，灰白色シルト質砂状。
深度133.59～133.76m：変質帯。下盤85度，固結砂礫状。
深度135.00～138.45m：亀裂多く，コアは岩片～短柱状をなす。
深度138.03～138.45m：変質帯。上盤6度，下盤50度。砂･礫状。
深度138.22～139.60m：比較的節理少なく，柱状コア主体。
深度139.60～140.46m：変質帯。上盤52度，下盤68度。節理発達し，砂状化。
花崗斑岩，上位との境界不明瞭。
深度139.84～154.83m:花崗斑岩。
花崗斑岩は褐色化，変質が強い。
径3～5mmの石英，長石及び黒雲母の斑晶を5～30%程度含み，石基は径0.1～0.2mm程度で黒雲母を含む。
深度143.11～143.28m：変質帯。上盤56度，下盤36度。固結砂礫状。
深度144.35～144.37m：破砕帯(Hc)。上盤47度，下盤59度，幅20mm，固結黄褐色砂混じりシルト状。古い破砕帯。
深度144.35～155.33m：変質帯。上盤破砕帯，下盤39度。岩片状。
深度146.04～146.96m：全体に傾斜40～60度の節理が1～3cm間隔で発達し，コアは岩片状を主体とする。
アプライト，上位，下位との境界漸移的。

深度150.00～151.51m：傾斜40～65度の節理が5～6cm以下の間隔で密集し，岩片～細片状を呈する。

深度152.95～153.86m：部分的に変質により砂・礫状を呈するが，一般に節理が少なく，短柱～柱状をなす。

アプライト，上位との境界傾斜10～20度。
深度154.83～187.52m：アプライト。
アプライトは深度159.15mまで褐色化するが，これ以深，褐色化していない。
アプライトの石基は径0.2mm程度で組織はほぼ均質である。斑晶の量は非常に少ない。
深度155.33～156.95m：比較的節理少なく，短柱～柱状をなす。
深度156.97～162.43m：変質帯。上盤87度，下盤65度。
傾斜30～50度および85度程度の節理が発達し，砂質シルト状～岩片状を呈する。
深度159.31～159.39m：変質帯。幅32mm，黄灰色砂質シルト状。
深度159.39m:シーム。傾斜39度。幅5～8mmの黒灰色シルト状。
花崗斑岩，上位,下位との境界不明瞭。

深度162.57m：シーム。傾斜63度。幅2～3mm，暗灰色礫混じり砂状。

深度164.52～165.06m：変質帯。上盤52度，下盤55度。砂礫状。
深度165.60～165.61m：シーム。上盤59度，下盤56度。幅5～8mmの暗灰色礫混じりシルト状。
深度165.61～170.14m：変質帯。上盤56度，下盤50度。全体に固結砂状を呈する。酸化し明黄褐色を帯びる。

深度169.72m：シーム。傾斜55度。幅1～3mm，灰色シルト状。
深度169.74m：シーム。傾斜56度。幅2mm，灰色シルト状。

コア採取率・最大コア長（cm）・RQD（%）（上から）

最大コア長 (cm)	RQD (%)
9	0
7	0
9	0
12	22
17	41
13	25
10	10
12	45
14	25
5	0
12	32
8	0
14	14
6	0
11	22
4	0
11	11
6	0
12	24
9	0
16	31
14	36
9	0
13	13
10	10
12	12
3	0
12	23
24	47
22	72
12	12
26	26
64	79
19	75
29	69
6	0

岩級区分（上から）

CL', CM', CL', CM', CL', CM', CL', CM', CL', D', CL', CM'

岩盤分類

[CL]

掘進記録

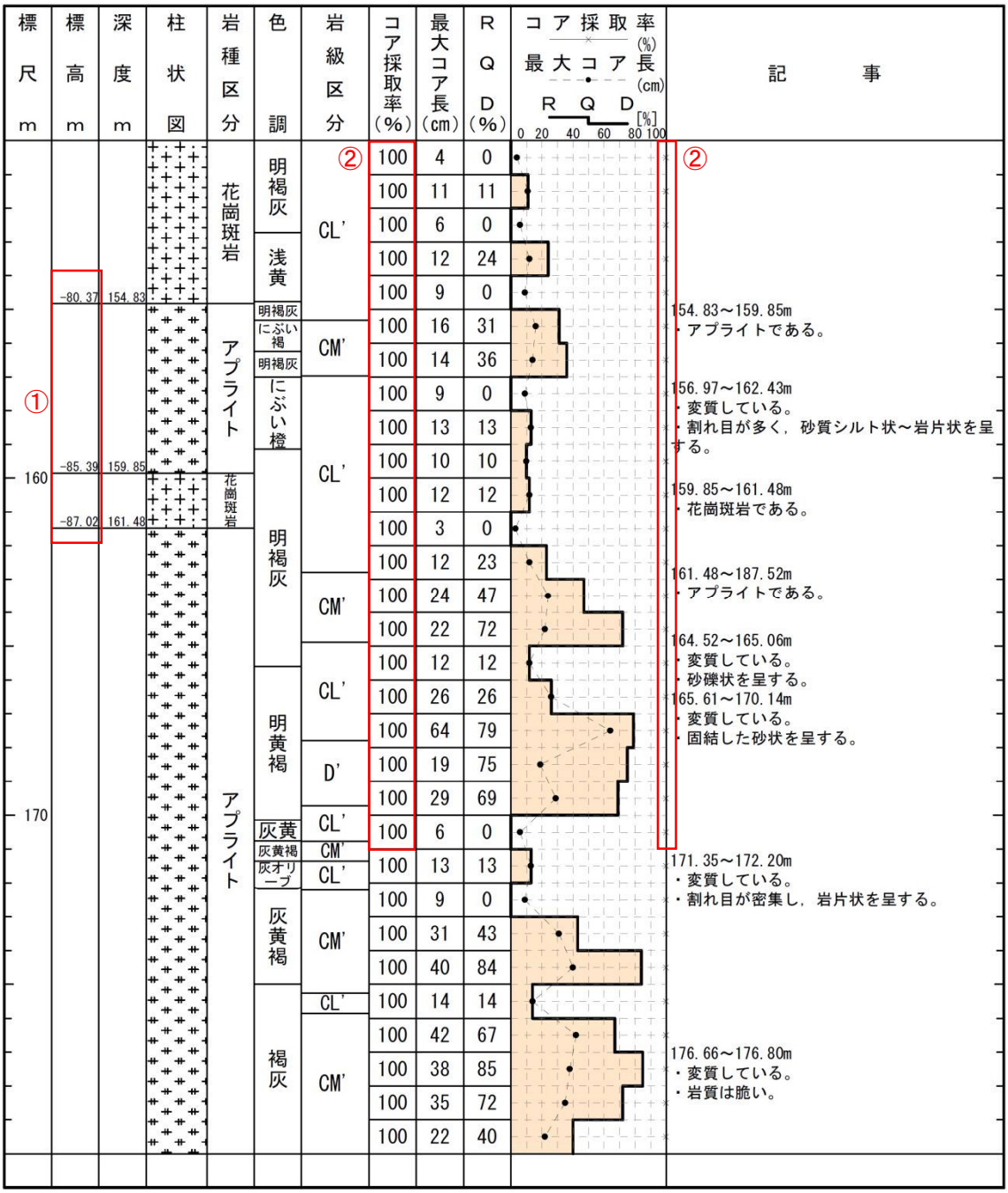
掘進月日	掘進速度 (cm/時)	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
	161			0.0	泥水6	0
12/23 (140.50)	183	35.0	165	0.0	泥水7	0
12/25 (150.70)	179	25.0		0.0	泥水8	0
12/26 (160.10)	191	35.0	175	0.0	泥水7	0
1/8 (166.30)	175			0.0	泥水10	0

孔径(mm)／孔壁保護：83／ケーシング

コアチューブ／ビット：ダブルコアチューブ／ダイヤビット

H19-No.17

柱状図(150.00m～180.00m)



1-33(分類a)①
誤記。
1-35(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	岩種区分	色調
			アプライト	灰黄褐
				灰オリーブ
				灰黄褐
180				褐灰
	-95.49	187.52	花崗斑岩	灰黄褐
190				褐灰
	-106.80	200.00		にぶい黄橙

風化: α

記事

深度171.35～172.20m：変質帯。上盤66度，下盤47度。傾斜60度，90度および20度程度の節理が密集し，径1～3cm程度の岩片状コアをなす。

深度173.18～175.00m：節理少なく岩片も比較的新鮮。

深度176.66～176.80m：変質帯。上盤76度，下盤80度。岩質脆い。
深度176.74m：シーム。傾斜55～75度。幅0.2mmの緑灰色シルト状。傾斜38度の節理が見かけ0.7cm正断層的にずれる。

深度180.42～181.92m：節理多く，短柱状コア主体。

深度181.92～185.02m：比較的節理少なく，柱状～長柱状コアを主体とする。

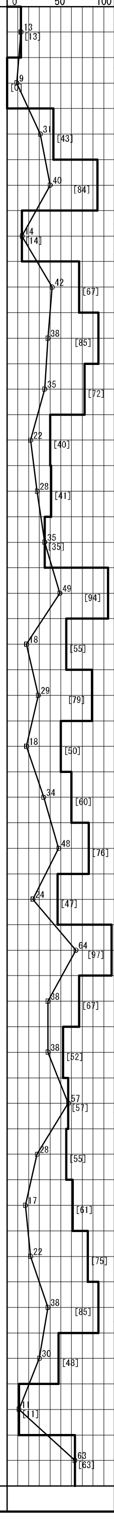
深度185.02～185.62m：傾斜20～50度および80度の節理が多く発達する。

花崗斑岩，上位との境界傾斜50度。
深度187.52～200.00m:花崗斑岩。
径3～5mmの石英斑晶と径10mm程度のカリ長石及び径2～3mmの黒雲母の斑晶を60%程度含み，石基は径0.5mm程度で，組織は全体に均質である。
深度188.38～188.55m：変質帯。傾斜79度の節理に沿って変質。岩片脆い。

深度190.25～191.50m：高角度な節理発達。

深度195.85～200.00m：変質帯。上盤76度。灰白色粘土細脈が網目状に入る。

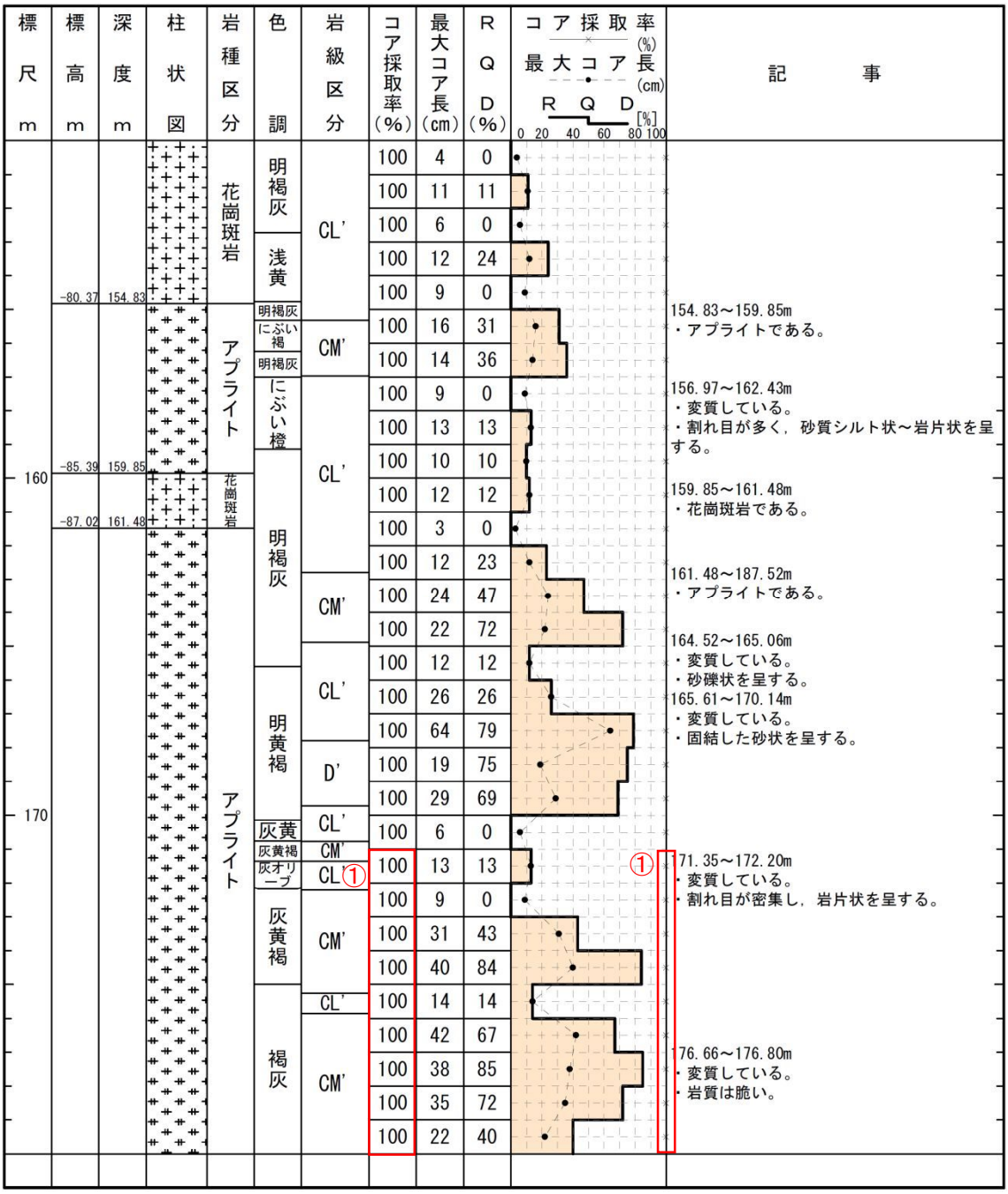
コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]



掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
1/9 (173.60)	175	83 / ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0		0.0	泥水 10	0
1/12 (179.80)	140			40.0	175	0.0	泥水 6	0
1/15 (186.25)	133	76		45.0		0.0	泥水 8	0
1/16 (194.40)	166			55.0	165	0.0	泥水 7	0
1/17 (200.00)	182			40.0	170	0.0	泥水 8	0

H19-No.17

柱状図(150.00m～180.00m)



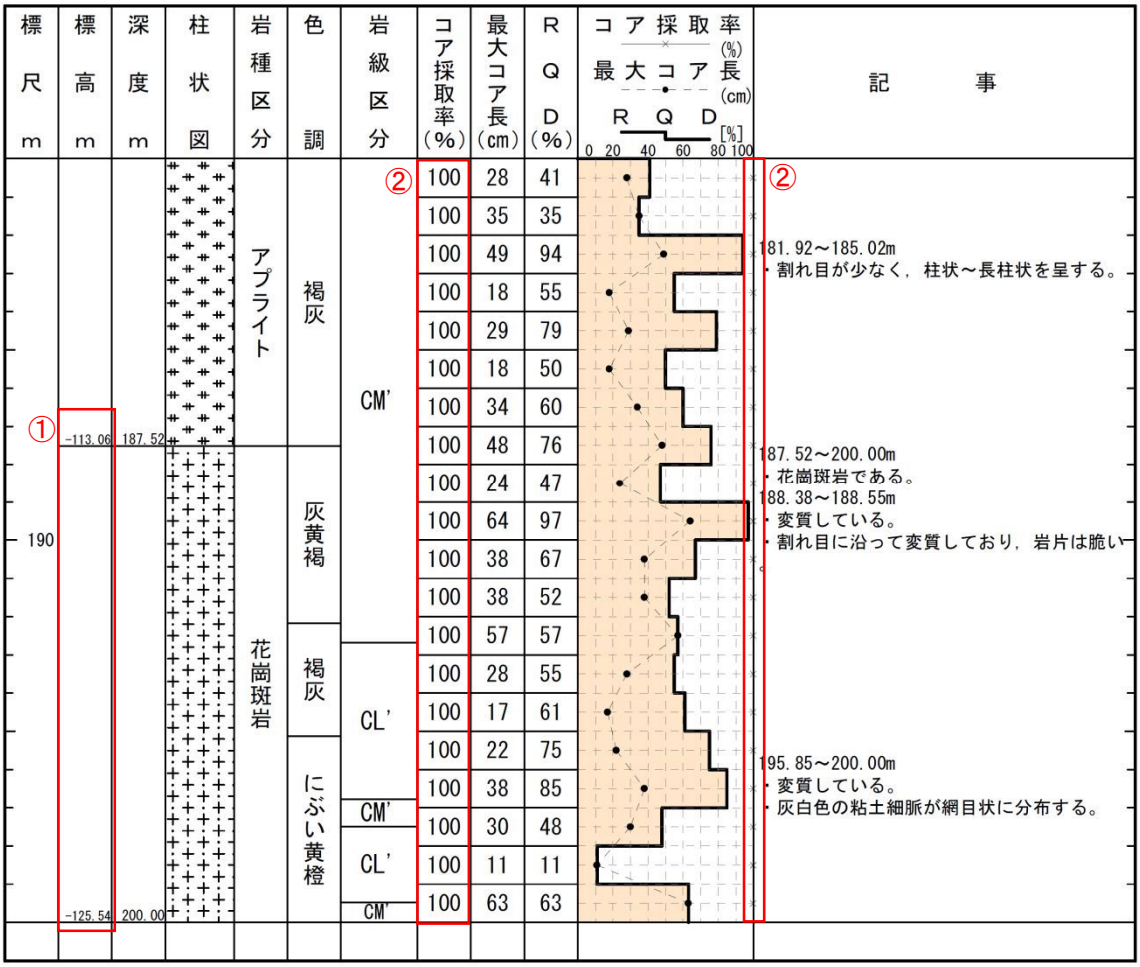
1-35(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
180	-95.49	187.52		アプライト	灰黄褐 (ポチリーフ) 灰黄褐 褐灰	Cg Dg Cg Cg	IVg Vg IVg IIg IIIg IIg IIIg IVg IIg IVg IIIg IIg IIIg IIg IVg IIIg IVg IIg IVg IIg IVg IIg IIIg IIg IIIg IIg IVg IIIg IVg IIIg IIIg IIIg	ag cg ag cg ag cg ag cg bg cg bg cg bg	2 3 2 3 2 3 2 3	深度171.35～172.20m：変質帯。上盤66度，下盤47度。傾斜60度，90度および20度程度の節理が密集し，径1～3cm程度の岩片状コアをなす。 深度173.18～175.00m：節理少なく岩片も比較的新鮮。 深度176.66～176.80m：変質帯。上盤76度，下盤80度。岩質脆い。 深度176.74m：シーム。傾斜55～75度。幅0.2mmの緑灰色シルト状。傾斜38度の節理が見かけ0.7cm正断層的にずれる。 深度180.42～181.92m：節理多く，短柱状コア主体。 深度181.92～185.02m：比較的節理少なく，柱状～長柱状コアを主体とする。 深度185.02～185.62m：傾斜20～50度および80度の節理が多く発達する。	CM' CL' CM' CL' [CM] CM' CL' CM'	[CL] [CL]			1/9 173.60 1/12 179.80 1/15 186.25	175 140 133	83／ケーシング 76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0 40.0 45.0	175	0.0 0.0 0.0	泥水10 泥水6 泥水8	0 0 0
190		200.00		花崗斑岩	灰黄褐 褐灰 にぶい黄橙	Cg Dg Cg Dg Cg Dg Cg Dg Cg Dg Cg	IIIg Ig IVg IIg Ig IIIg IVg IIIg IVg IIg IVg Ig IVg IIg IIIg IIg IVg IIg IIIg IIg IVg Ig	bg cg bg cg	α 2 3	花崗斑岩，上位との境界傾斜50度。 深度187.52～200.00m：花崗斑岩。径3～5mmの石英斑晶と径10mm程度の カリ長石及び径2～3mmの黒雲母の斑晶を60%程度含み，石基は径0.5mm程度で，組織は全体に均質である。 深度188.38～188.55m：変質帯。傾斜79度の節理に沿って変質。岩片脆い。 深度190.25～191.50m：高角度な節理発達。 深度195.85～200.00m：変質帯。上盤76度。灰白色粘土細脈が網目状に入る。	CL' CM' CL' CM'	[CL]			1/16 194.40 1/17 200.00	166 182			55.0 40.0	165 170	0.0 0.0	泥水7 泥水8	0 0

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

H19-No.17

柱状図(180.00m～200.00m)



1-33(分類a)①
誤記。
1-35(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	No.19	調査位置				北緯	
発注機関				調査期間		東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	+14.21 m	角度	180°上 90° 0°下 20°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南 240°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘削長	170.00 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
				盛土	灰色 黄褐						深度0.30～3.59m：盛土。礫混じりシルト質砂で植物片を含む。							140／ケーシング	ダブルコアチューブ／メタルビット	30.0	50	0.0	泥水5	0
	10.84	3.59		花崗斑岩	橙	Dg Cg Dg	Ⅲg Ⅴg Ⅳg Ⅴg	cg	γ	2	深度3.59～68.15m：花崗斑岩。径10mm程度の石英，長石及び黒雲母の斑晶を1～3%程度含み，石基は径0.1mm程度である。深度3.59～6.00m：柱状・短柱状部分と節理密集部の繰り返し。	CL'				12/4 5.20	116	115／ケーシング			50	0.0	泥水5	5
					にぶい褐	Cg	Ⅳg				深度6.00～6.44m：変質帯。下盤65度，半固結砂～細礫状。													
					明黄褐	Dg	Ⅵg Ⅳg		γ	3	深度6.62～6.90m：変質帯。上盤50度，下盤15度。やや軟質。											0.0	泥水5	0
					にぶい橙	Cg	Ⅲg Ⅳg			2	深度6.90～9.46m：柱状コアをなすが，変質をうけ，酸化マンガンを斑状に含む。やや軟質で密着性節理多い。	CM'					105							
					明黄褐	Dg	Ⅲg Ⅳg Ⅵg Ⅲg		δ γ	3 2	深度9.46～10.12m：変質帯。下盤25度，半固結砂～細礫状。原岩組織不明瞭。下盤付近に幅15mmの褐色粘土挟む。	CL'												
					明黄褐	Cg Eg	Ⅳg Ⅵg		δ	3	深度11.52～11.96m：変質帯。上盤50度，下盤57度。全体に黄褐色を呈し，礫混じり固結シルト質砂状。節理に灰白色シルトを挟む。原岩組織不明瞭。上盤付近に幅5～10mmの灰白色粘土、深度11.68mに幅20mmの灰白色粘土挟む。					12/5 12.00										
					灰褐	Dg Cg	Ⅲg Ⅳg		γ	2			[CL]				90	95／ケーシング						
					灰黄	Eg	Ⅴg Ⅵg		δ	3 4	深度14.23～17.49m：変質帯。網目状を呈し、細礫～角礫状。深度14.73～14.86m：破砕帯(Hc)。上盤28度，下盤27度。幅130mm，褐色粘土と灰白色粘土の互層状。	D'												
					にぶい黄橙	Dg	Ⅴg			3		CL'				12/6 16.20								
					灰白 にぶい黄橙	Eg	Ⅵg	dg		4	深度17.49～17.94m：破砕帯(Hb)。上盤35度。砂質シルト状，褐色粘土を礫状に挟む。深度17.94～18.17m：破砕帯(Hc)。下盤39度。灰白色粘土状。深度18.17～18.20m：破砕帯(Hc)。上盤39度，下盤36度。幅23mmの褐色粘土。深度18.20～18.35m：破砕帯(Hc)。上盤36度，下盤58度。黄灰と褐色粘土の互層状。下盤に幅2mmの褐色粘土を挟む。深度18.35～19.70m：破砕帯(Hb)。傾斜は26～75度，30～50度程度が主体。全体に黄橙色細礫混じり砂質シルト状。褐色粘土を縞状に挟む。深度19.25m：幅2mmの暗灰色粘土、深度19.31m：幅3mmの褐色粘土を挟む。深度19.70～21.46m：変質・破砕弱くなり，原岩明瞭。深度21.46～23.70m：変質帯。上盤35度，下盤58度。礫混じりシルト質砂状をなす。礫径3～5cm程度の原岩が残る網目状構造をなす。深度22.44～22.46m：破砕帯(Hc)。上盤46度，下盤49度。幅20mmの黄灰・褐色粘土互層状。深度23.70～24.03m：破砕帯(Hb)。上盤58度，下盤32度。やや締まったシルト質砂状。深度24.03～24.67m：変質帯。やや締まったシルト質砂状。深度24.67～25.50m：破砕帯(Hb)。上盤19度，下盤38度。やや締まった黄橙色シルト質砂状。原岩明瞭。	D'												
					にぶい黄橙	Dg Cg	Ⅳg	cg	γ	2							118							
					にぶい褐	Dg Eg	Ⅴg Ⅵg	dg	δ	3 4		CL'												
					にぶい黄橙	Dg Eg	Ⅴg Ⅵg			3 4		D'	[D]											
					にぶい褐											12/7 26.40	126							

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

No.19(1/5)

H19－No. 19

柱状図(0.00m～35.00m)

H19-No. 19	孔口標高	T.P. 14.21m	掘削長	170.00m

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率(%)	最大コア長(cm)	RQD(%)	コア採取率(%)・最大コア長(cm)・RQD[%] 0 20 40 60 80 100	記事
				盛土	灰色 黄褐	②	100	0	0		0.00～3.59m ・盛土である。
							100				
							100				
	10.84	3.59			橙	CL'	100	12	12		3.59～43.49m ・花崗斑岩である。
							100	10	10		
					にぶい褐		100	17	27		
					明黄褐		100	10	10		
					にぶい橙	CM'	100	18	49		
					明黄褐	CL'	100	17	41		
							100	23	23		
10					にぶい黄褐		100	26	51		9.46～10.12m ・変質している。 ・半固結砂～細礫状を呈する。
					明黄褐		100	9	0		
					にぶい黄褐		100	18	41		11.52～11.96m ・変質している。 ・黄褐色を呈し，礫混じり固結シルト質砂状を呈する。
					灰褐		100	16	16		
					灰黄	D'	100	5	0		14.23～17.49m ・変質している。 ・細礫～角礫状を呈する。
					にぶい黄橙	CL'	100	0	0		
							100	10	10		●14.73～14.86m(f-19-1破砕帯) ・破砕部である。 ・褐色の未固結粘土状部からなる。この累計幅は13.0cmである。 ・走向・傾斜はN42° W63° Eである。 ・上端境界の傾斜は28°，下端境界の傾斜は27°である。
			①				100	5	0		
					灰白	D'	100	0	0		
				花崗斑岩	にぶい黄橙		100	11	11		
20					にぶい褐	CL'	100	11	21		●17.49～19.70m(D-26破砕帯) ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部からなる。 ・褐色の未固結粘土状部：累計幅2.3cm ・走向・傾斜はN36° W65° Eである。
							100	9	0		
					にぶい黄橙		100	0	0		
			①				100	0	0		21.46～23.70m ・変質している。 ・礫混じりシルト質砂状を呈する。
							100	0	0		
							100	0	0		●22.44～22.46m ・破砕部である。 ・黄灰色の未固結粘土状部からなる。この累計幅は2.0cmである。 ・走向・傾斜はN34° W72° Eである。 ・上端境界の傾斜は46°，下端境界の傾斜は49°である。
							100	0	0		
					にぶい褐	D'	100	0	0		
							100	0	0		
30							100	0	0		●23.70～35.14m(浦底断層) ・破砕部である。 ・左ずれ逆断層センスである。 ・主に褐色の固結礫状部及び固結粘土状部からなる。 ・褐色の未固結粘土状部：累計幅1.8cm ・走向・傾斜はN41° W87° NEである。
							100	0	0		
							100	0	0		
					にぶい黄橙		100	0	0		
					にぶい黄		100	0	0		
					浅黄		100	0	0		

1-47, 1-48(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-49(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

標高 (m)	深度 (m)	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	岩級区分	岩盤分類
		花崗斑岩	にぶい褐	Eg	Ⅵg	dg	δ	4	D'	[D]
				Dg	Ⅴg	cg	γ	3		
			にぶい黄橙	Eg	Ⅵg	dg	δ	4		
			にぶい黄							
			浅黄							
			にぶい黄	Dg	Ⅴg	cg	γ	3	CL'	[CL]
			黄褐					2		
			灰黄褐	Cg	Ⅳg					
				Dg	Ⅴg					
				Cg	Ⅳg					
-26.66	43.49			Dg						
		アプライト	にぶい黄橙	Cg						
				Dg	Ⅴg					
-31.39	48.53		にぶい橙	Cg	Ⅳg					
-32.46	49.67	花崗斑岩								
		アプライト			Ⅴg					
			にぶい黄橙		Ⅳg					
					Ⅴg					
			にぶい褐		Ⅳg					
			にぶい黄橙	Dg	Ⅴg					
			灰黄褐	Cg	Ⅳg					
-43.50	61.41	花崗斑岩	明褐							
			褐灰			bg			CM'	

記事

深度25.50～29.26m：破砕帯(Hj)。上盤38度，下盤34度。礫混じりシルト質砂状。網目状に褐色シルトを挟む。

深度29.26～29.50m：破砕帯(Hb)。上盤34度，下盤55度。褐色粘土を挟む灰白色砂質シルト状。
深度29.50～31.30m：破砕帯(Hj)。上盤55度，下盤18度。礫混じりシルト質砂状。深度30.53m，幅5mm褐色粘土状。
深度31.30～31.71m：破砕帯(Hb)。上盤18度，下盤25度。黄橙色砂質シルト状～シルト質砂状。
深度31.71～31.75m：破砕帯(Hc)。上盤25度，下盤20度。幅45mmの灰色と褐色のシルトの互層状。
深度31.75～32.04m：破砕帯(Hb)。上盤20度，下盤16度。砂質シルト状～シルト質砂状。
深度32.32～35.11m：破砕帯(Hb)。上盤29度,下盤59度。にぶい黄色を呈する砂質シルト状。石英粒子が多く残る。
深度32.49m，幅15mmの褐色シルト、深度34.13m幅3～5mmの灰白色シルトを挟む。
深度35.11～35.14m：破砕帯(Hc)。上盤59度，下盤66度。幅15～18mmの褐色粘土状。
深度35.14～35.33m：変質帯。傾斜50～66度。浅黄色と黒褐色を帯びた半固結シルト状。
深度35.33～36.25m：変質帯。上盤50度，下盤40度。原岩を礫状に残し，網目状に褐色・灰白色シルト～粘土を挟む。
深度36.25～38.85m：変質帯。上盤40度，下盤53度。角礫～細礫状，シームを挟む。
深度37.72m：シーム。傾斜50度，幅1mmの褐色粘土状。
深度38.06m：シーム。傾斜55度。幅2mmの褐色粘土状。
深度38.85m：シーム。傾斜53度。幅0.5mmの灰白色粘土状。
深度38.85～40.62m：黄褐色を呈する変質の弱い花崗斑岩。含礫固結砂状を呈する。
深度41.53～43.49m：細礫～角礫状コア。一部変質を受け砂状をなし，節理に沿って黒褐色化が進む。

アプライト，上位との境界不明瞭。節理の発達したアプライト。角礫～細礫状。全体に褐色化し，一部黄橙色を呈する。
深度43.60～43.75m：ペグマタイトを挟む。
深度45.00～45.55m：高角度な節理あり。白色鉱物を挟む。
深度45.55～47.31m：全体に弱く変質をうけ，やや軟質化。
深度46.50～47.00m：高角度な節理あり。節理に沿って幅10～15mm変質する。
深度47.31～48.53m：短柱～角礫状を呈し，節理に沿って褐色化著しく，一部砂～細礫状をなす。

花崗斑岩，上位との境界不明瞭，下位との境界傾斜77度。

深度49.67～53.70m：角礫状をなし，節理に沿って白色鉱物を挟む。

深度53.70～55.77m：黒褐色化し，やや変質を受けている。

深度54.52～55.77m：高角度な節理多く，一部細礫状をなす。

深度55.49～55.56m：破砕帯(Hc)。上盤75度，下盤79度。幅15mmの緑灰～灰白色シルト状。
深度55.77～56.56m：短柱状コアをなす。
深度56.56～61.65m：細礫～角礫状コア。節理に沿って砂～土砂状部を挟む。

深度59.25～59.50m：土砂状コア，基質に細砂～シルトを挟む。

花崗斑岩，上位との境界傾斜30度。
深度61.41～68.15m:花崗斑岩。
径2～10mmの石英及び径1～3mmの長石，黒雲母の斑晶を1～3%程度含み，石基は径0.1mm程度。
深度61.65～63.50m：短柱状。節理に沿って褐色，黒褐色化進む。

コア採取率・最大コア長(cm)・RQD[%]：0[0]（25～38m各深度），0[0]，7[0]，0[0]，0[0]，8[0]，0[0]，0[0]，6[0]，5[0]，3[0]，5[0]，3[0]，8[0]，12[12]，9[0]，6[0]，10[20]，0[0]，2[0]，3[0]，12[12]，5[0]，11[11]

掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
12/8 35.40	126	95/ケーシング	ダブルコアチューブ/ダイヤビット	35.0	100			
				30.0				
12/11 42.80	117			40.0		0.0	泥水5	5
12/13 50.15	90	76						
		76/セメンティング						
12/14 57.20	103			35.0		0.0	泥水5	0
12/15 58.80	107	76						
12/16 61.00	110					0.0	泥水5	5
	104							

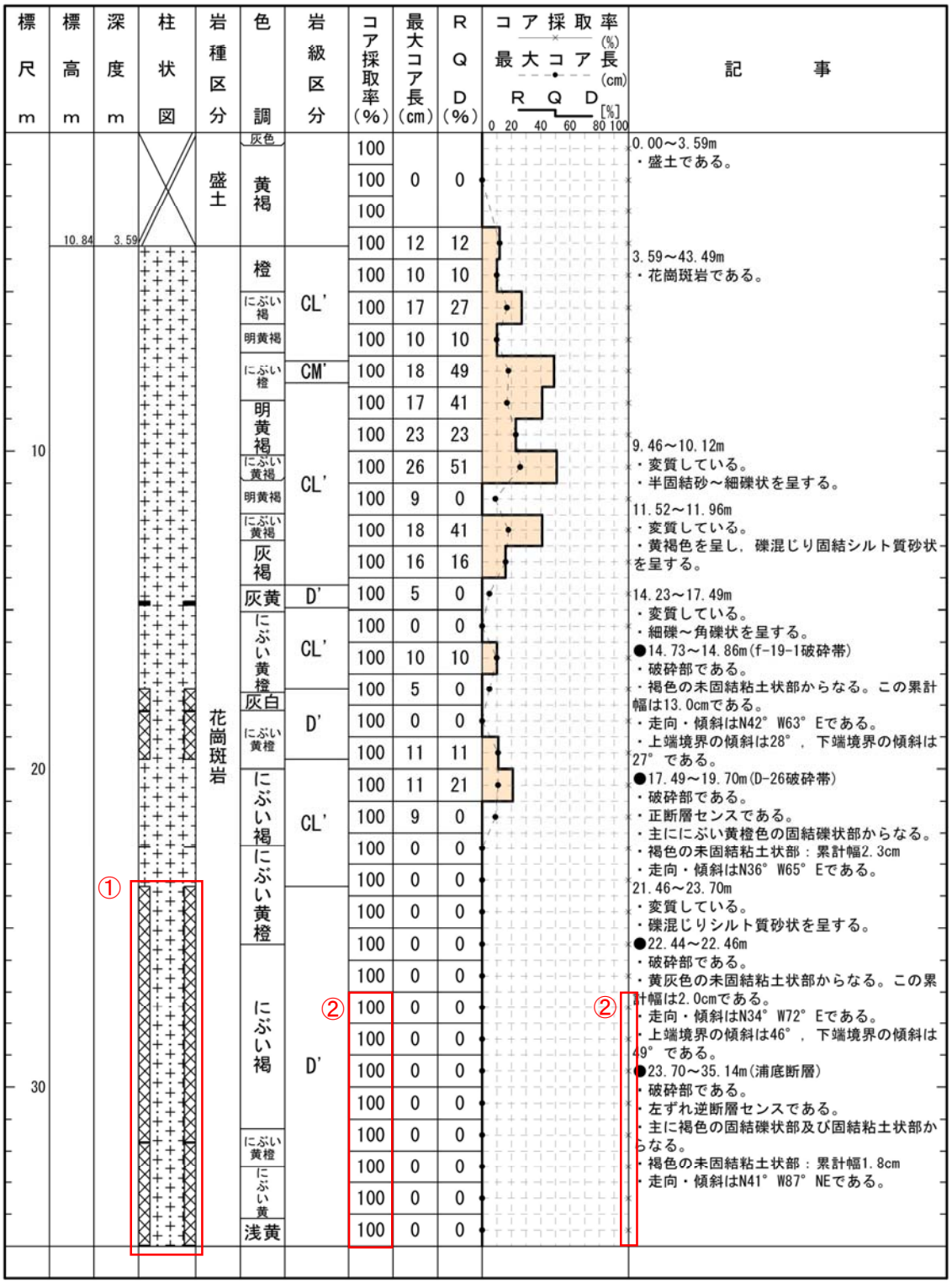
No.19(2/5)

H19－No. 19

柱状図(0.00m～35.00m)

H19-No. 19

孔口標高	T.P. 14.21m	掘削長	170.00m



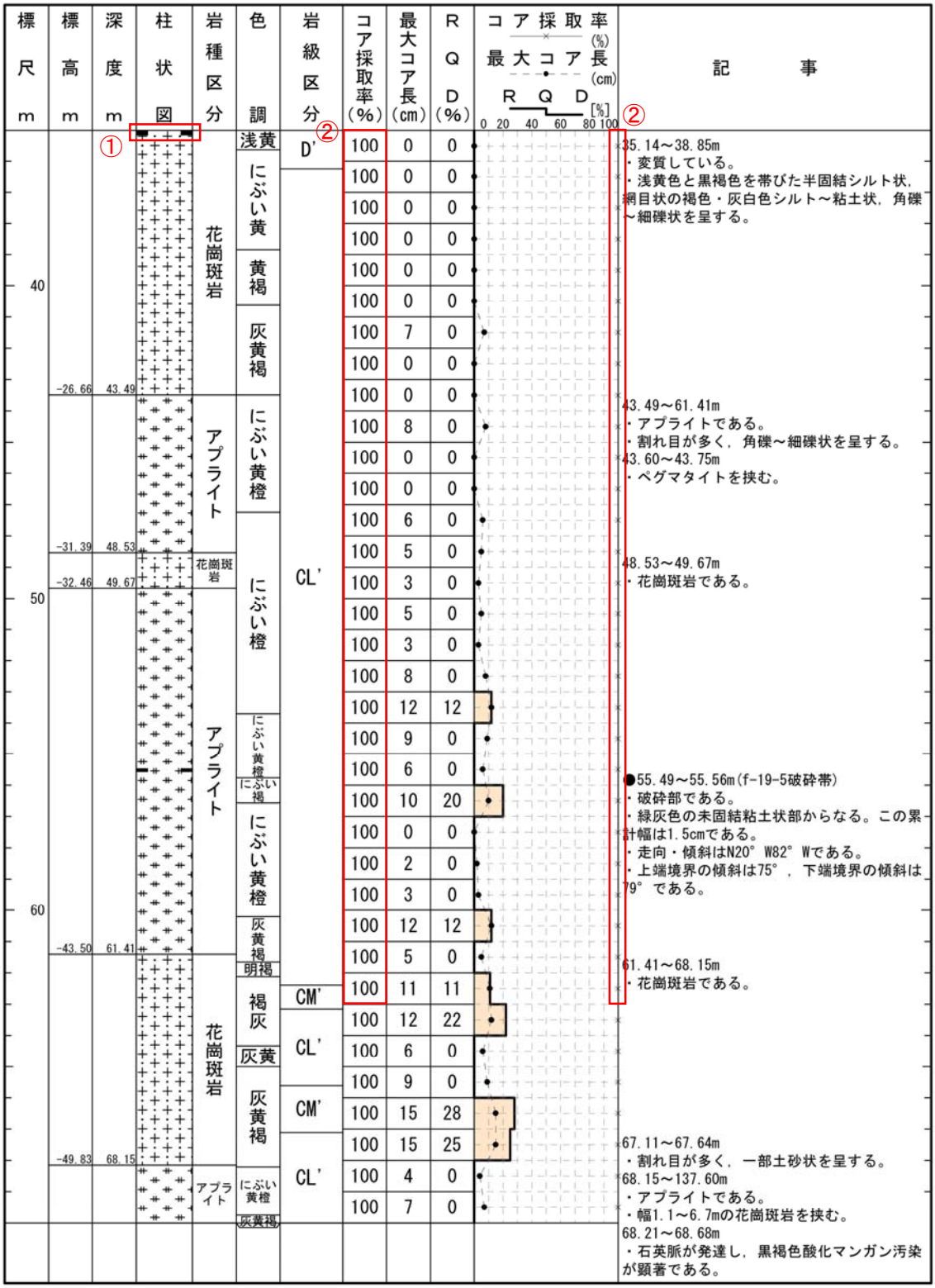
1-48(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-49(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)/測定月日	(N)値	(標準貫入試験)試験 (N値～深度)	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
30				花崗斑岩	にぶい褐	Eg	Ⅵg	dg	δ	4	深度25.50～29.26m：破砕帯(Hj)。上盤38度，下盤34度。礫混じりシルト質砂状。網目状に褐色シルトを挟む。	0 [0]	D'	[D]							126	95/ケーシング		35.0				
						Dg	Ⅴg	cg	γ	3	深度29.26～29.50m：破砕帯(Hb)。上盤34度，下盤55度。褐色粘土を挟む灰白色砂質シルト状。	0 [0]																
					にぶい黄橙	Eg	Ⅵg	dg	δ	4	深度29.50～31.30m：破砕帯(Hj)。上盤55度，下盤18度。礫混じりシルト質砂状。深度30.53m，幅5mm褐色粘土状。	0 [0]																
					にぶい黄						深度31.30～31.71m：破砕帯(Hb)。上盤18度，下盤25度。黄橙色砂質シルト状～シルト質砂状。	0 [0]																
					浅黄						深度31.71～31.75m：破砕帯(Hc)。上盤25度，下盤20度。幅45mmの灰色と褐色のシルトの互層状。	0 [0]								12/8 35.40				30.0				
					にぶい黄	Dg	Ⅴg	cg	γ	3	深度31.75～32.04m：破砕帯(Hb)。上盤20度，下盤16度。砂質シルト状～シルト質砂状。	0 [0]	CL'	[CL]							117							
40					黄褐					2	深度32.32～35.11m：破砕帯(Hb)。上盤29度,下盤59度。にぶい黄色を呈する砂質シルト状。石英粒子が多く残る。	0 [0]												40.0		0.0	泥水5	5
					灰黄褐	Cg	Ⅳg				深度32.49m，幅15mmの褐色シルト、深度34.13m幅3～5mmの灰白色シルトを挟む。	7 [0]																
						Dg	Ⅴg				深度35.11～35.14m：破砕帯(Hc)。上盤59度，下盤66度。幅15～18mmの褐色粘土状。	0 [0]																
						Cg	Ⅳg				深度35.14～35.33m：変質帯。傾斜50～66度。浅黄色と黒褐色を帯びた半固結シルト状。																	
	-26.66	43.49				Dg					深度35.33～36.25m：変質帯。上盤50度，下盤40度。原岩を礫状に残し，網目状に褐色・灰白色シルト～粘土を挟む。	0 [0]								12/11 42.80		76	ダブルコアチューブ/ダイヤビット					
				アプライト	にぶい黄橙	Cg	Ⅳg				深度36.25～38.85m：変質帯。上盤40度，下盤53度。角礫～細礫状，シームを挟む。	8 [0]													100			
						Dg	Ⅴg				深度37.72m：シーム。傾斜50度，幅1mmの褐色粘土状。	0 [0]									90							
											深度38.06m：シーム。傾斜55度。幅2mmの褐色粘土状。	0 [0]																
	-31.39	48.53									深度38.85m：シーム。傾斜53度。幅0.5mmの灰白色粘土状。	6 [0]																
				花崗斑岩	にぶい橙	Cg	Ⅳg				深度38.85～40.62m：黄褐色を呈する変質の弱い花崗斑岩。含礫固結砂状を呈する。	5 [0]																
50	-32.46	49.67		アプライト							深度41.53～43.49m：細礫～角礫状コア。一部変質を受け砂状をなし，節理に沿って黒褐色化が進む。	3 [0]								12/13 50.15		76/セメンティング						
							Ⅴg				アプライト，上位との境界不明瞭。節理の発達したアプライト。角礫～細礫状。全体に褐色化し，一部黄橙色を呈する。	5 [0]																
											深度43.60～43.75m：ペグマタイトを挟む。	3 [0]																
											深度45.00～45.55m：高角度な節理あり。白色鉱物を挟む。	8 [0]												35.0				
					にぶい黄橙		Ⅳg				深度45.55～47.31m：全体に弱く変質をうけ，やや軟質化。	12 [12]									103							
							Ⅴg				深度46.50～47.00m：高角度な節理あり。節理に沿って幅10～15mm変質する。	9 [0]																
					にぶい褐		Ⅳg				深度47.31～48.53m：短柱～角礫状を呈し，節理に沿って褐色化著しく，一部砂～細礫状をなす。	6 [0]														0.0	泥水5	0
					にぶい黄橙	Dg	Ⅴg				花崗斑岩，上位との境界不明瞭，下位との境界傾斜77度。	10 [20]								12/14 57.20	107	76						
						Cg					深度49.67～53.70m：角礫状をなし，節理に沿って白色鉱物を挟む。	0 [0]								12/15 58.80	110							
60					灰黄褐		Ⅳg				深度53.70～55.77m：黒褐色化し，やや変質を受けている。	2 [0]																
	-43.50	61.41		花崗斑岩	明褐						深度54.52～55.77m：高角度な節理多く，一部細礫状をなす。	3 [0]								12/16 61.00	104					0.0	泥水5	5
					褐灰			bg			深度55.49～55.56m：破砕帯(Hc)。上盤75度，下盤79度。幅15mmの緑灰～灰白色シルト状。	12 [12]	CM'															
											深度55.77～56.56m：短柱状コアをなす。	5 [0]																
											深度56.56～61.65m：細礫～角礫状コア。節理に沿って砂～土砂状部を挟む。	11 [11]																
											深度59.25～59.50m：土砂状コア，基質に細砂～シルトを挟む。																	
											花崗斑岩，上位との境界傾斜30度。深度61.41～68.15m:花崗斑岩。径2～10mmの石英及び径1～3mmの長石，黒雲母の斑晶を1～3%程度含み，石基は径0.1mm程度。																	
											深度61.65～63.50m：短柱状。節理に沿って褐色，黒褐色化進む。																	

No.19(2/5)

H19－No. 19

柱状図(35.00m～70.00m)

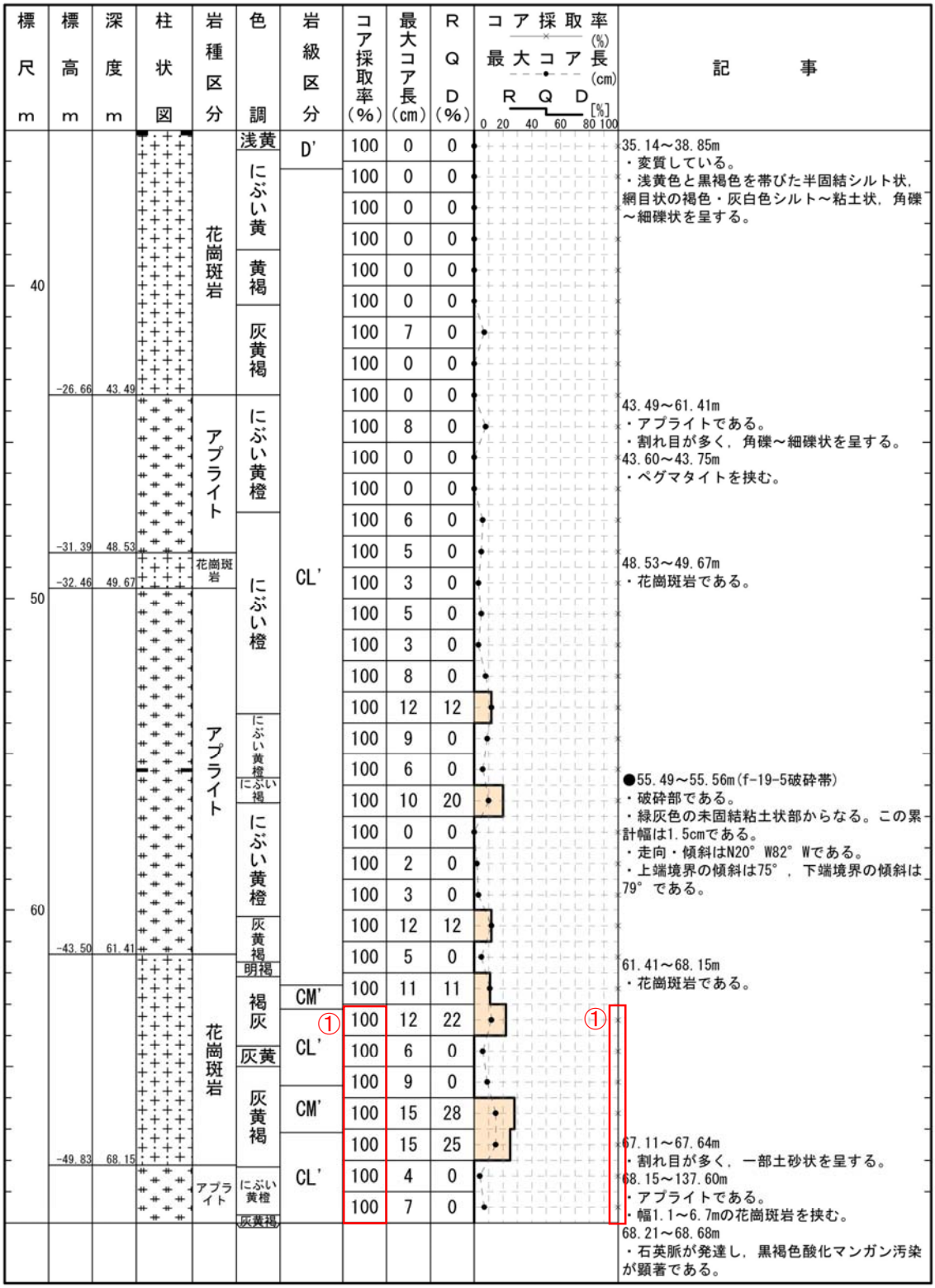


1-48(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-49(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
70	-49.83	68.15		花崗斑岩	褐灰	Cg	Ⅳg	bg	γ	2	深度63.50～63.97m：土砂状コア。	CM				12/18 67.60	104	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0	100	0.0	泥水5	5
						Dg	Vg	cg				CL'												
					灰黄		Ⅳg				深度64.60～65.00m：高角度な節理発達。角礫～細礫状コアを呈する。 深度65.00～68.21m：短柱～角礫状コア。													
					灰黄褐	Cg																		
						Dg	Vg																	
						Cg	Ⅳg	bg				CM'												
						Dg	Vg	cg			深度67.11～67.64m：変質受け，高角度な節理発達し，一部土砂状を呈する。	CL'											
						Cg	Ⅳg																	
					にぶい黄橙	Dg	Vg				アプライト，上位との境界不明瞭。 深度68.15～154.80m：アプライト。 厚さ1.1～6.7mの花崗斑岩を挟む。 アプライトの石基は径0.1～0.2mmであり，斑晶は不明瞭である。 深度68.21～68.68m：石英脈発達，黒褐色酸化マンガン汚染顕著。													
							Ⅳg	cg																
					灰黄褐	Cg	Ⅲg				深度68.68～69.75m：節理に沿って褐色シルトを挟む。	CM'	[CL]											
							Ⅳg				深度69.75～72.00m：節理少なく，柱状～短柱状コアをなす。一部変質部を挟む。 深度71.31～71.34m：シーム。上盤69度，下盤67度。幅8mmの礫混じりシルト状。													
								bg																
								cg			深度72.00～74.03m：節理が多い，一部変質を受ける。	CL'					99	76／セメンティング				0.0	泥水5	0
							Vg																	
								bg			深度74.03m以深，斑状に褐色～黒褐色を帯びるが，岩芯は新鮮岩。	CM'												
					にぶい黄橙		Ⅳg																	
					褐灰			cg																
					にぶい黄	Dg	Vg				深度76.16～77.11m：高角度な節理があり，細片状コアをなす。	CL'				12/19 77.00								
80					にぶい橙	Cg	Ⅳg				深度77.11～81.41m：全体に褐色化し，節理に沿って褐色化強く，一部黒褐色を帯びる。													
							Ⅲg					CM'												
						Bg						CH'					79							
							Ⅳg	bg																
											深度81.41～83.34m：節理間隔が広く，柱状コアをなす。岩芯まで斑状に褐色を帯びる。	CM'				12/22 81.90				10.0	120	0.0	泥水5	0
					にぶい褐		Ⅲg																	
							Ⅳg				深度83.34～84.38m：節理密集し角礫～細礫状，一部土砂状をなす。	CL'	[CM]				57							
						Cg	Vg	cg																
							Ⅲg				深度84.38～85.18m：硬質柱状コア。													
							Ⅳg	bg			深度85.18～86.63m：傾斜30～60度の密着した節理発達。径3～5cm程度の礫状を呈する。	CM'				12/23 85.80								
					灰褐		Vg	cg			深度86.63～87.81m：節理密集し角礫～細礫，一部土砂状をなす。	CL'												
								bg			深度87.81～88.68m：密着した節理が発達。	CM'						76						
																	89							
					灰黄褐	Dg	Ⅳg	cg			深度88.68～91.79m：やや変質をうけ，岩質脆い。密着した節理が発達し，一部細礫状をなす。節理に沿って褐色・灰白色シルト～砂を挟む。	CL'												
90																12/25 91.30								
						Eg	Ⅵg	dg		3	深度91.79～92.50m：変質帯。上盤50度，下盤84度。網目状にシルト質砂状を呈する。	D'								35.0	100	0.0	泥水5	0
					灰褐	Cg	Ⅳg	cg		2	深度92.25m：シーム。幅2～3mmの褐色粘土を挟む。 深度92.50m：シーム。幅1mmの褐色粘土を挟む。 深度92.50～95.04m：角礫～短柱状コア。節理に沿って砂や褐色シルトを挟む。 深度93.70m以深，節理に沿って褐色化顕著。 深度95.04～95.47m：節理多く，一部土砂状。	CL'	[CL]				91							
								bg			深度96.58～97.09m：節理多く一部角礫状。節理に沿ってわずかに砂を挟む。 深度98.79～99.73m：変質帯。上盤60度，下盤57度。黄褐色を呈し，やや軟質。 深度99.73m：シーム。傾斜57度。幅2mmの褐色粘土状。	CM'												
					にぶい黄橙	Dg		cg		3		CL				12/26 99.00								

H19－No. 19

柱状図(35.00m～70.00m)



1-49(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分
70, 80, 90	-49.83	68.15		花崗斑岩（〜68.15m）／アプライト（68.15m〜）

色調（上から）：褐灰、灰黄、灰黄褐、にぶい黄橙、灰黄褐、にぶい黄橙、褐灰、にぶい黄、にぶい橙、にぶい褐、灰褐、灰黄褐、灰褐、にぶい黄橙

硬軟（上から）：Cg、Dg、Cg、Dg、Cg、Dg、Cg、Dg、Cg、Dg、Cg、Bg、Cg、Dg、Eg、Cg、Dg

コア形状（上から）：Ⅳg、Ⅴg、Ⅳg、Ⅴg、Ⅳg、Ⅴg、Ⅳg、Ⅴg、Ⅳg、Ⅲg、Ⅳg、Ⅴg、Ⅳg、Ⅴg、Ⅳg、Ⅲg、Ⅳg、Ⅲg、Ⅳg、Ⅲg、Ⅳg、Ⅴg、Ⅲg、Ⅳg、Ⅴg、Ⅳg、Ⅵg、Ⅳg

割れ目の状態（上から）：bg、cg、bg、cg、bg、cg、bg、cg、bg、cg、bg、cg、bg、cg、bg、cg、dg、cg、bg、cg

風化：γ　**変質**：2、3、2、3

記事

深度63.50〜63.97m：土砂状コア。

深度64.60〜65.00m：高角度な節理発達。角礫〜細礫状コアを呈する。
深度65.00〜68.21m：短柱〜角礫状コア。

深度67.11〜67.64m：変質受け，高角度な節理発達し，一部土砂状を呈する。

アプライト，上位との境界不明瞭。
深度68.15〜154.80m:アプライト。
厚さ1.1〜6.7mの花崗斑岩を挟む。
アプライトの石基は径0.1〜0.2mmであり，斑晶は不明瞭である。
深度68.21〜68.68m：石英脈発達，黒褐色酸化マンガン汚染顕著。
深度68.68〜69.75m：節理に沿って褐色シルトを挟む。
深度69.75〜72.00m：節理少なく，柱状〜短柱状コアをなす。一部変質部を挟む。
深度71.31〜71.34m:シーム。上盤69度，下盤67度。幅8mmの礫混じりシルト状。
深度72.00〜74.03m：節理が多い，一部変質を受ける。

深度74.03m以深，斑状に褐色〜黒褐色を帯びるが，岩芯は新鮮岩。

深度76.16〜77.11m：高角度な節理があり，細片状コアをなす。

深度77.11〜81.41m：全体に褐色化し，節理に沿って褐色化強く，一部黒褐色を帯びる。

深度81.41〜83.34m：節理間隔が広く，柱状コアをなす。岩芯まで斑状に褐色を帯びる。

深度83.34〜84.38m：節理密集し角礫〜細礫状，一部土砂状をなす。

深度84.38〜85.18m：硬質柱状コア。

深度85.18〜86.63m：傾斜30〜60度の密着した節理発達。径3〜5cm程度の礫状を呈する。

深度86.63〜87.81m：節理密集し角礫〜細礫，一部土砂状をなす。

深度87.81〜88.68m：密着した節理が発達。

深度88.68〜91.79m：やや変質をうけ，岩質脆い。密着した節理が発達し，一部細礫状をなす。節理に沿って褐色・灰白色シルト〜砂を挟む。

深度91.79〜92.50m：変質帯。上盤50度，下盤84度。網目状にシルト質砂状を呈する。
深度92.25m：シーム。幅2〜3mmの褐色粘土を挟む。
深度92.50m：シーム。幅1mmの褐色粘土を挟む。
深度92.50〜95.04m：角礫〜短柱状コア。節理に沿って砂や褐色シルトを挟む。
深度93.70m以深，節理に沿って褐色化顕著。
深度95.04〜95.47m：節理多く，一部土砂状。

深度96.58〜97.09m：節理多く一部角礫状。節理に沿ってわずかに砂を挟む。
深度98.79〜99.73m：変質帯。上盤60度，下盤57度。黄褐色を呈し、やや軟質。
深度99.73m：シーム。傾斜57度。幅2mmの褐色粘土状。

コア採取率（%）／最大コア長（cm）／RQD [%]（0〜100）：12[22]、6[0]、9[0]、15[28]、15[25]、4[0]、7[0]、20[46]、12[22]、10[10]、5[0]、10[10]、15[25]、3[0]、9[0]、15[41]、20[35]、9[0]、11[32]、13[25]、16[16]、22[44]、10[10]、7[0]、7[0]、8[0]、4[0]、10[10]、10[10]、8[0]、10[10]、10[10]、20[30]、15[37]、9[0]、15[15]

岩級区分（上から）：CM'、CL'、CM'、CL'、CM'、CL'、CM'、CL'、CM'、CH'、CM'、CL'、CM'、CL'、CM'、CL'、D'、CL'、CM'、CL'

岩盤分類：[CL]、[CM]、[CL]

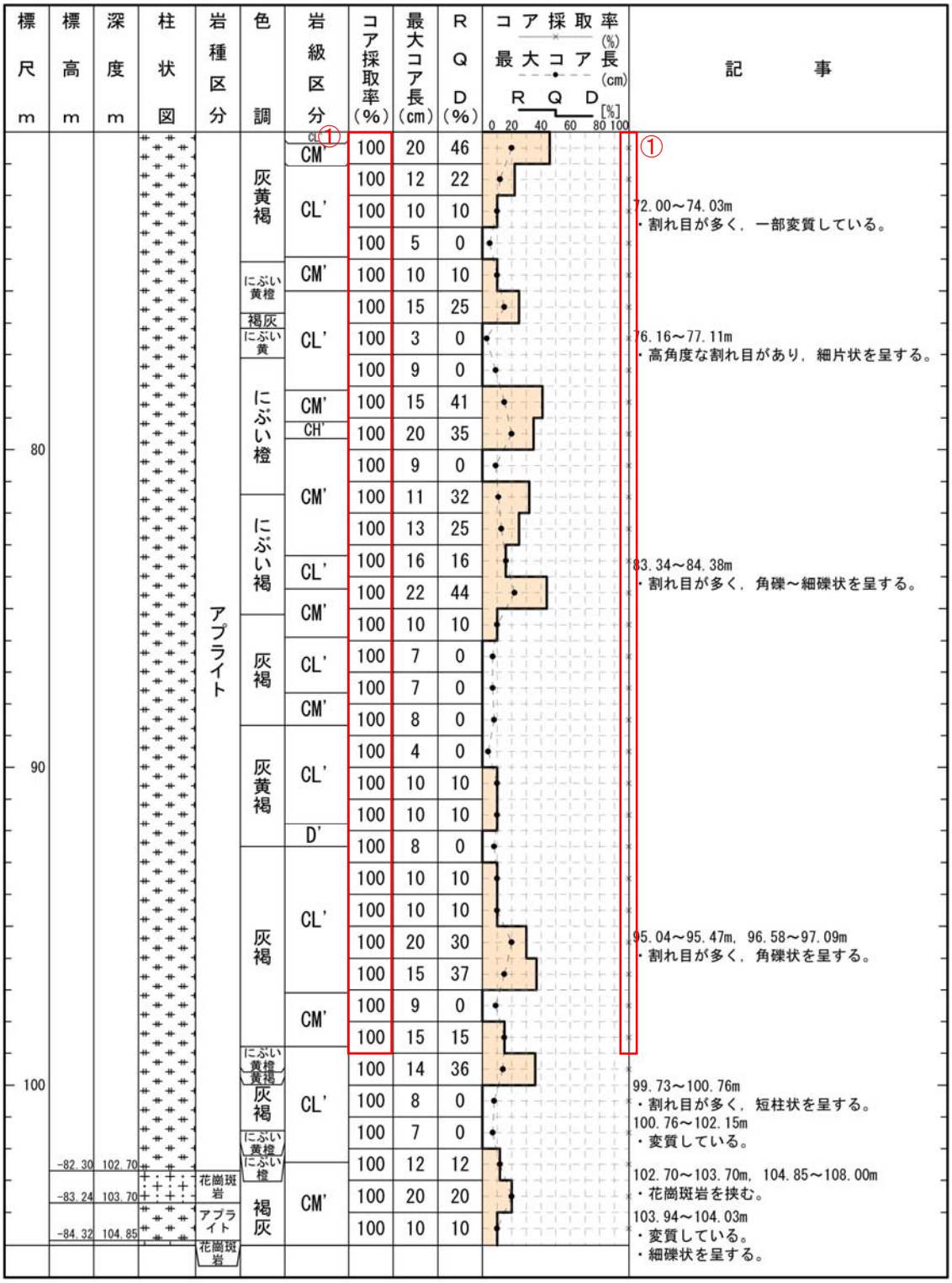
孔内水位(m)／測定月日：—　（標準貫入試験）試験 N値〜深度（0 10 20 30 40 50）：—　原位置試験（孔内水平載荷）：—　室内試験：—

掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
12/18 67.60	104	76	ダブルコアチューブ/ダイヤビット			0.0	泥水5	5
12/19 77.00	99	76/セメンティング		35.0	100	0.0	泥水5	0
12/22 81.90	79			10.0	120	0.0	泥水5	0
12/23 85.80	57							
12/25 91.30	89	76		35.0	100	0.0	泥水5	0
12/26 99.00	91							

No.19(3/5)

H19－No. 19

柱状図(70.00m～105.00m)



1-49(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 ─△─ (%) 最大コア長 ─○─ cm RQD ┐_ [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)/測定月日	(N)値	(標準貫入試験)試験 (N値～深度) 0 10 20 30 40 50	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
100, 110, 120, 130												0 50 100																

標高・深度

標高 (m)	深度 (m)
-82.30	102.70
-83.24	103.70
-84.32	104.85
-87.28	108.00

岩種区分

深度 (m)	岩種区分
～102.70	アプライト
102.70～103.70	花崗斑岩
103.70～104.85	アプライト
104.85～108.00	花崗斑岩
108.00～	アプライト

色調（上から）：にぶい黄橙、黄褐、灰褐、にぶい黄橙、にぶい橙、褐灰、灰黄、褐灰、にぶい黄橙、褐灰、灰黄褐、褐灰、にぶい黄橙、黄灰、にぶい褐灰、にぶい黄橙、褐灰、灰黄、褐灰、灰黄、灰黄褐

硬軟（上から）：Dg、Cg、Dg、Cg、Eg、Dg、Cg、Dg、Cg、Dg、Eg、Dg、Cg、Dg、Cg、Dg、Cg、Dg、Cg

コア形状（上から）：IVg、IIIg、IVg、IIIg、VIg、IVg、IIIg、IVg、IIIg、IVg、IIIg、IVg、IIIg、IVg、Vg、VIg、Vg、IVg、IIIg、IVg、Vg、IVg、Vg、IVg

割れ目の状態（上から）：cg、bg、dg、cg、bg、cg、bg、cg、bg、cg、dg、cg、bg、cg、bg、cg、bg、cg

風化（上から）：γ、δ、γ、δ、γ

変質（上から）：3、2、3、2、3、2、3、2、3、2

記事

深度99.73～100.76m：節理多く，一部変質により軟質化する。

深度100.76～102.15m：変質をうけ，全体に脆い。高角度な節理発達し，節理に沿って褐色・灰白色シルトを挟む。

花崗斑岩，上位との境界不明瞭。
深度102.70～108.00m:花崗斑岩。径2～10mmの石英，長石，黒雲母の斑晶を1～10%程度含み，石基は径0.1mm以下である。
深度103.94～104.03m：変質をうけ軟質化し，細礫状をなす。

花崗斑岩，上位との境界傾斜41度。

深度106.16m：シーム。傾斜28度。幅1～2mmの褐色粘土状。
深度106.16～106.84m：変質帯。上盤28度，下盤45度。灰黄色を呈しやや軟質。
深度106.16～106.27m：礫混じり砂質シルト状。
アプライト，上位との境界傾斜45度。
深度108.00～137.60m:アプライト。石基は径0.1～0.2mm程度。

深度108.91～：弱く変質をうけ節理に沿って灰白色シルトを挟む。
深度109.52～109.72m：変質帯。上盤76度，下盤73度。軟質化，深度109.60mに幅2mmの灰白色シルトを挟む。
深度110.39～114.34m：節理の多い，短柱～角礫状コア。

深度112.70～113.48m：やや変質を受けている。深度113.06mに幅10mmの灰白色シルトを挟む。

深度114.34～115.00m：変質を受け節理に灰白色シルトを挟む。
深度115.00～116.85m：やや節理の少ない柱状～短柱状コア。傾斜20～40度の節理主体。

深度116.85～118.56m：変質帯。上盤79度，下盤76度。節理に沿って高角度に灰白色固結シルト～砂を挟む。細かな密着した節理が多い。
深度118.14～118.37m：変質帯。上盤38度，下盤45度。固結シルト質砂状。原岩組織を残さない。
深度118.37m：シーム。傾斜45度。幅1mmの褐色粘土状。

深度120.65～122.00m：柱状～短柱状，一部角礫状コア。

深度122.00～124.00m：節理に沿って黄褐色化，高角度な密着した節理あり。

深度124.00～126.68m：柱状～短柱状コア。所々節理に沿って砂～細礫状部分を挟む。

深度127.30～127.37m：幅25mm,黄灰色砂状。

深度131.74～132.16m：変質帯。上盤61度，下盤54度。シルト質砂が網目状を呈する。
深度132.52～136.26m：全体に弱く変質を受けたアプライト。節理多く，一部細礫～角礫状コア。

コア採取率・最大コア長 [RQD]（上から）：14 [36]、8 [0]、7 [0]、12 [12]、20 [20]、10 [10]、20 [60]、10 [10]、14 [38]、4 [0]、10 [10]、20 [43]、12 [33]、11 [11]、14 [27]、8 [0]、23 [53]、25 [41]、6 [0]、9 [0]、8 [0]、18 [18]、12 [12]、9 [0]、28 [28]、13 [24]、11 [11]、13 [13]、8 [0]、11 [11]、9 [0]、7 [0]、10 [10]、8 [0]、8 [0]、12 [12]

岩級区分（上から）：CL'、CM'、D'、CM'、CL'、CM'、CL'、CM'、CL'、CM'、CL'

岩盤分類（上から）：[CL]、[CM]、[CL]

掘進月日・掘進速度

掘進月日	深度 (m)
12/27	102.70
1/6	104.40
1/8	109.00
1/9	116.70
1/10	124.90
1/11	132.80

掘進速度 (cm/時)（上から）：82、113、84、94、96、105、104

孔径 (mm)：76

コアチューブ/ビット：ダブルコアチューブ/ダイヤビット

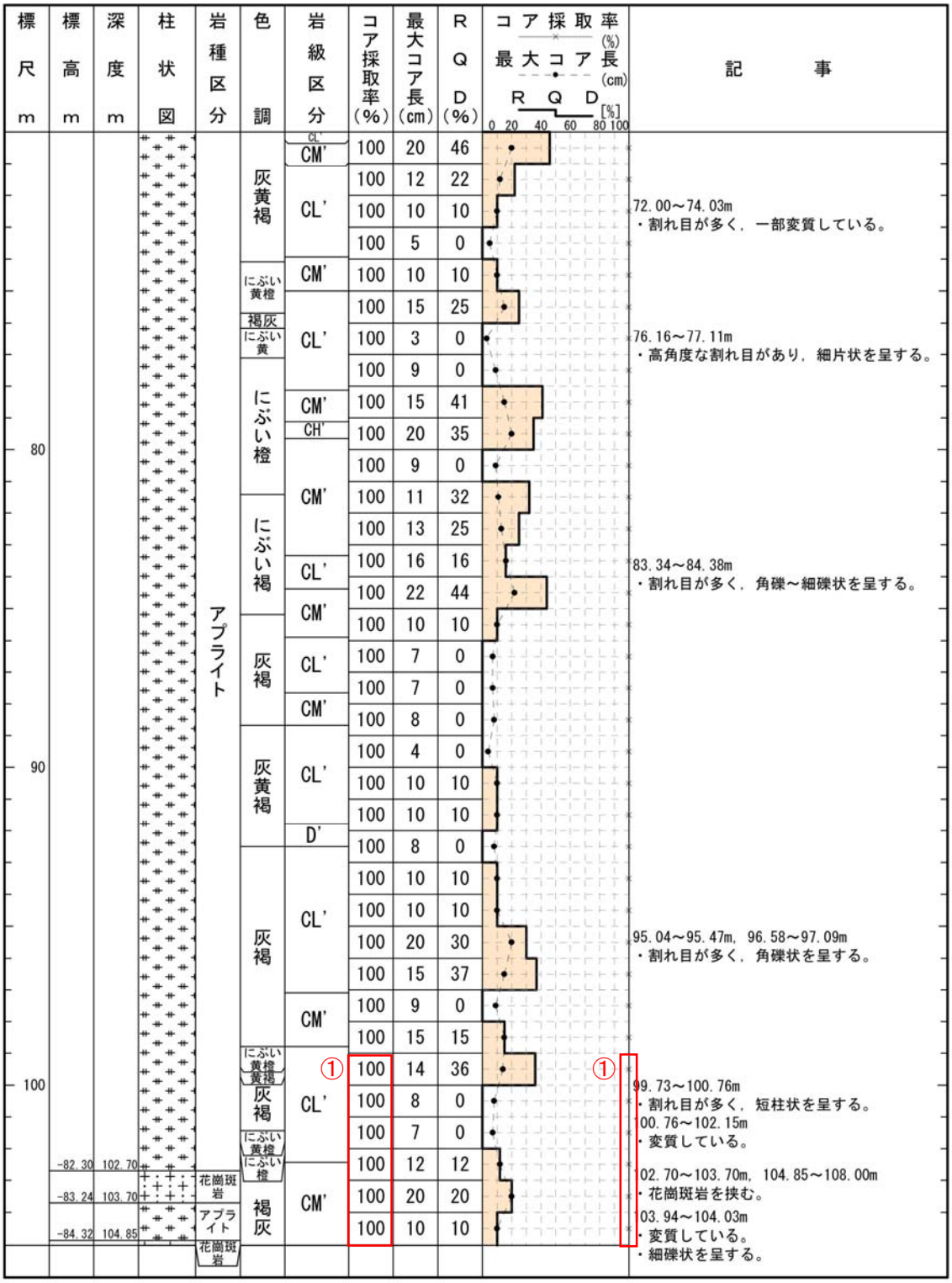
給圧：35.0　回転数：100

送水・排水

送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
0.0	泥水 5	0
0.0	泥水 5	3
0.0	泥水 5	2
0.0	泥水 5	5

H19－No. 19

柱状図(70.00m～105.00m)



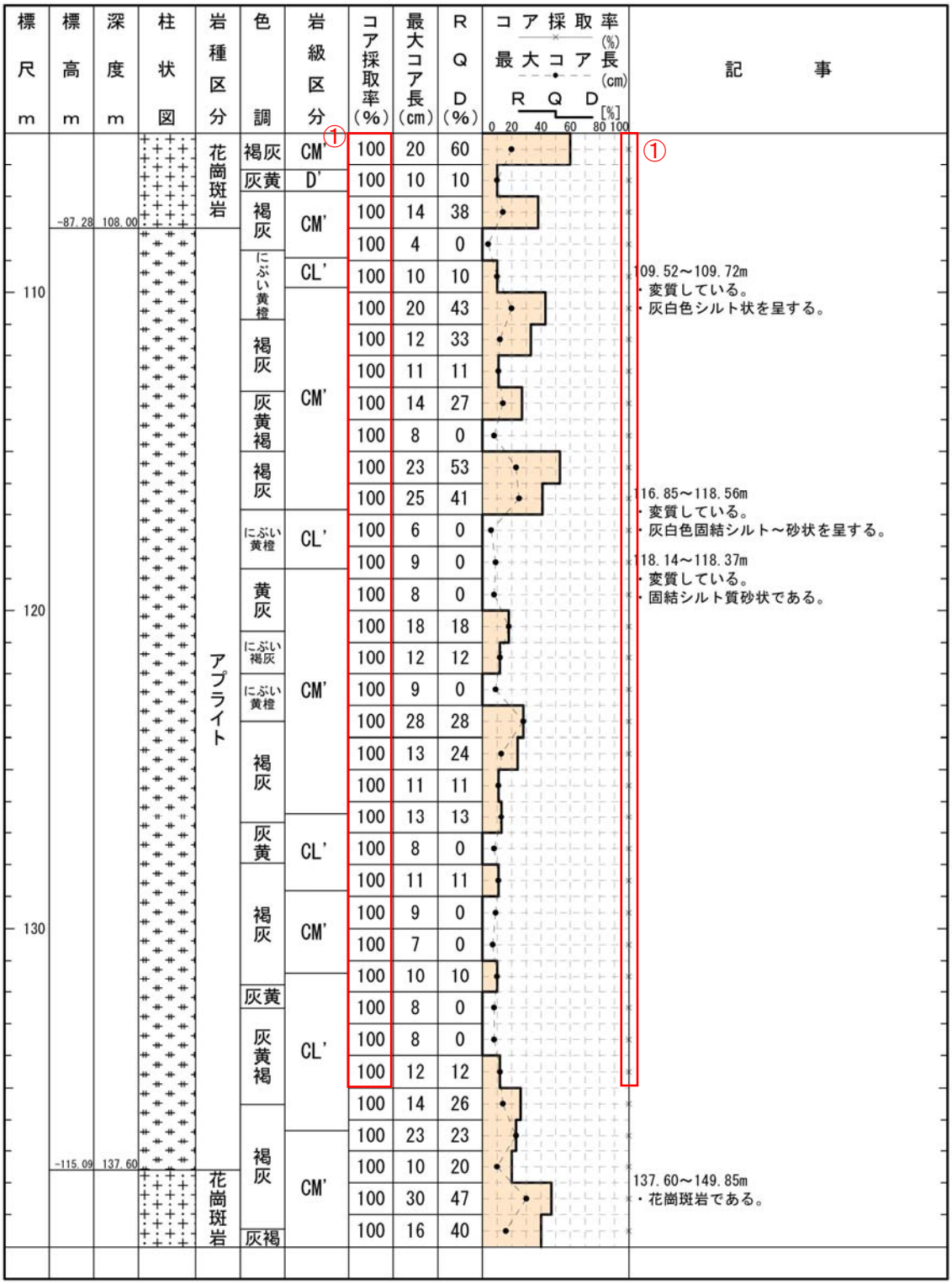
1-49(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
100				アプライト	にぶい黄橙 黄褐 灰褐 にぶい黄橙 にぶい橙	Dg Cg Dg	IVg IIIg	cg	γ	3	深度99.73～100.76m：節理多く，一部変質により軟質化する。 深度100.76～102.15m：変質をうけ，全体に脆い。高角度な節理発達し，節理に沿って褐色・灰白色シルトを挟む。	CL'	[CL]			12/27 102.70	82	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0	100			
	-82.30	102.70		花崗斑岩							花崗斑岩，上位との境界不明瞭。													
	-83.24	103.70		アプライト	褐灰	Cg	IVg IIIg	bg		2	深度102.70～108.00m:花崗斑岩。径2～10mmの石英，長石，黒雲母の斑晶を1～10%程度含み，石基は径0.1mm以下である。 深度103.94～104.03m：変質をうけ軟質化し，細礫状をなす。 花崗斑岩，上位との境界傾斜41度。	CM'				1/6 104.40	113					0.0	泥水5	0
	-84.32	104.85		花崗斑岩																				
	-87.28	108.00		アプライト	灰黄	Eg Dg	VIg	dg cg	δ	3	深度106.16m：シーム。傾斜28度。幅1～2mmの褐色粘土状。	D'												
					褐灰	Cg	IVg IIIg	bg	γ	2	深度106.16～106.84m：変質帯。上盤28度，下盤45度。灰黄色を呈しやや軟質。 深度106.16～106.27m：礫混じり砂質シルト状。 アプライト，上位との境界傾斜45度。 深度108.00～137.60m:アプライト。石基は径0.1～0.2mm程度。	CM'					84							
					にぶい黄橙	Dg	IVg	cg		3	深度108.91～：弱く変質をうけ節理に沿って灰白色シルトを挟む。 深度109.52～109.72m：変質帯。上盤76度，下盤73度。軟質化，深度109.60mに幅2mmの灰白色シルトを挟む。	CL'				1/8 109.60								
110					褐灰	Cg	IIIg IVg	bg			深度110.39～114.34m：節理の多い，短柱～角礫状コア。													
					灰黄褐		IIIg IVg	cg		2	深度112.70～113.48m：やや変質を受けている。深度113.06mに幅10mmの灰白色シルトを挟む。 深度114.34～115.00m：変質を受け節理に灰白色シルトを挟む。	CM'					94							
					褐灰		IIIg IVg	bg			深度115.00～116.85m：やや節理の少ない柱状～短柱状コア。傾斜20～40度の節理主体。					1/9 116.70								
					にぶい黄橙	Dg Eg	Vg VIg	cg dg	δ	3	深度116.85～118.56m：変質帯。上盤79度，下盤76度。節理に沿って高角度に灰白色固結シルト～砂を挟む。細かな密着した節理が多い。 深度118.14～118.37m：変質帯。上盤38度，下盤45度。固結シルト質砂状。原岩組織を残さない。	CL'	[CM]											
					黄灰	Dg	Vg	cg bg cg		2	深度118.37m：シーム。傾斜45度。幅1mmの褐色粘土状。													
120					にぶい褐灰 にぶい黄橙	Cg	IVg IIIg	bg			深度120.65～122.00m：柱状～短柱状，一部角礫状コア。 深度122.00～124.00m：節理に沿って黄褐色化，高角度な密着した節理あり。	CM'					96							
					褐灰						深度124.00～126.68m：柱状～短柱状コア。所々節理に沿って砂～細礫状部分を挟む。					1/10 124.90								
					灰黄		IVg	cg	γ		深度127.30～127.37m：幅25mm，黄灰色砂状。	CL'					105				0.0	泥水5	2	
130					褐灰			bg				CM'												
					灰黄	Dg	Vg	cg		3	深度131.74～132.16m：変質帯。上盤61度，下盤54度。シルト質砂が網目状を呈する。					1/11 132.80					0.0	泥水5	5	
					灰黄褐	Cg Dg Cg Dg Cg	IVg Vg IVg	cg		2	深度132.52～136.26m：全体に弱く変質を受けたアプライト。節理多く，一部細礫～角礫状コア。	CL'	[CL]				104							

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

H19－No. 19

柱状図(105.00m～140.00m)



1-49(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標高 (m)	深度 (m)	岩種区分	色調
115.09	137.60	アプライト	灰黄褐、褐灰
126.60	149.85	花崗斑岩	褐灰、灰褐、灰黄褐、灰褐
131.25	154.80	アプライト	褐灰、明褐灰、褐灰、灰褐
133.93	157.65	花崗斑岩	褐灰
136.14	160.00	アプライト	灰褐、明褐灰
145.54	170.00	花崗斑岩	灰黄褐、灰黄、灰黄褐

記事

深度136.26～136.34m：砂質シルト状，褐色粘土を挟む。

花崗斑岩，上位との境界傾斜28度。
深度137.60～149.85m:花崗斑岩。
径2～10mmの石英及び径1～2mmの長石，黒雲母の斑晶を1～10%程度含み，石基は径0.1mm以下である。
深度138.23～138.46m：傾斜60～70度の節理多く，変質により珪化し，節理に灰白色粘土挟む。

深度140.26～140.80m：やや変質を受け節理多く軟質。深度140.26mに幅3～10mmの灰白色シルトを挟む。

深度141.95～142.34m：やや変質を受け節理多く軟質。
深度142.34mに桃白色シルトを挟む。
深度142.34～144.38m：傾斜0～30度の低角度な節理が多い。

深度144.38～146.35m：全体に節理多く，角礫～細礫状をなす。

深度146.35～147.40m：節理の多い硬質な花崗斑岩。傾斜60度程度の節理主体。

深度147.93～148.05m：破砕帯(Hb)。傾斜37度。幅120mm,灰褐色礫混じりシルト質砂状。
深度148.05～148.12m：破砕帯(Hc)。傾斜37度。幅70mm,灰色粘土と黄灰色粘土の互層状。
アプライト，上位との境界傾斜48度。
深度150.52～151.52m:変質帯。上盤15度，下盤29度。網目状に灰白色シルトを挟む。
深度150.58m：シーム。傾斜51度。幅3～7mmの褐色粘土を挟む。
深度151.39m：シーム。傾斜53度。幅3mmの褐色粘土を挟む。

花崗斑岩，上位との境界不明瞭。
深度154.80～170.00m：花崗斑岩。
厚さ2.3m程度のアプライトを挟む。
花崗斑岩は，径2～3mmの石英，長石，黒雲母の斑晶を10%程度含み，石基は径0.1mm以下で，組織は全体に不均質である。
深度154.95～155.26m：節理密集し，細礫～角礫状をなす。節理に灰白色シルトを挟む。
アプライト，上位との境界傾斜44度，下位との境界不明瞭。

深度159.13m：シーム。傾斜60度，幅1～2mmの褐色粘土状。

深度161.49～161.55m：幅50～90mmの灰黄色シルト混じり砂・礫状。破砕帯の会合部の可能性あり。
深度162.43m：シーム。傾斜20度，幅1mmの褐色粘土を挟む。
深度162.43～163.15m:変質帯。灰白色砂状。
深度162.52m:傾斜10度のマンガン脈が正断層的に0.5cmずれる。条線方向は10度左。
深度163.15m：シーム。傾斜57度。幅2～3mm，白色粘土状。
深度163.92～168.02m：高角度な密着した節理主体，開口した節理少ない。

深度168.28～168.32m：破砕帯(Hc)。上盤63度，下盤45度。幅20～30mm，礫混じりシルト状～砂質シルト状。
深度168.84～168.88m：幅23～40mm，桃色シルト混じり砂状。

コア採取率 (%) / RQD [%]

14 [26], 23 [23], 10 [20], 30 [47], 16 [40], 10 [10], 10 [10], 8 [0], 12 [22], 8 [0], 6 [0], 6 [0], 4 [0], 21 [21], 18 [50], 2 [0], 12 [12], 8 [0], 7 [0], 15 [15], 8 [0], 42 [64], 14 [26], 8 [0], 4 [0], 4 [0], 3 [0], 12 [12], 15 [30], 46 [93], 14 [38], 26 [96], 18 [80], 28 [28], 35 [61]

岩級区分：CL'，CM'，CL'，CM'，CL'，CM'，CL'，CM'，CL'，CM'，CL'，CM'，CL'，CM'，CL'，CM'，D'，CL'，CM'，CL'，CM'

岩盤分類：[CL]，[CM]，[CL]，[CM]

掘進記録

掘進月日 (深度)	掘進速度 (cm/時)
1/12 (140.60)	104
1/13 (148.00)	111
1/15 (155.80)	111
1/16 (157.00)	80
1/17 (163.50)	98
1/18 (170.00)	98

孔径(mm)/孔壁保護：76，76/セメンティング，76
コアチューブ/ビット：ダブルコアチューブ/ダイヤビット
給圧 (kN・MPa)：35.0
回転数 (rpm)：100，150，100
送水圧 (MPa)：0.0
送水量 (l/分)：泥水5
排水量 (l/分)：5，0，5，3，0

H19－No. 19

柱状図(105.00m～140.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率(%)	最大コア長(cm)	RQD(%)	記事
				花崗斑岩	褐灰	CM'	100	20	60	
					灰黄	D'	100	10	10	
	-87.28	108.00			褐灰	CM'	100	14	38	
				アプライト			100	4	0	
					にぶい黄橙	CL'	100	10	10	109.52～109.72m ・変質している。 ・灰白色シルト状を呈する。
110						CM'	100	20	43	
					褐灰		100	12	33	
							100	11	11	
					灰黄褐		100	14	27	
							100	8	0	
					褐灰		100	23	53	
							100	25	41	116.85～118.56m ・変質している。 ・灰白色固結シルト～砂状を呈する。
					にぶい黄橙	CL'	100	6	0	
							100	9	0	118.14～118.37m ・変質している。 ・固結シルト質砂状である。
					黄灰	CM'	100	8	0	
120							100	18	18	
					にぶい褐灰		100	12	12	
					にぶい黄橙		100	9	0	
							100	28	28	
					褐灰		100	13	24	
							100	11	11	
							100	13	13	
					灰黄	CL'	100	8	0	
					褐灰		100	11	11	
						CM'	100	9	0	
130							100	7	0	
							100	10	10	
					灰黄	CL'	100	8	0	
					灰黄褐		100	8	0	
							100	12	12	
							① 100	14	26	①
					褐灰		100	23	23	
	-115.09	137.60				CM'	100	10	20	
				花崗斑岩			100	30	47	137.60～149.85m ・花崗斑岩である。
					灰褐		100	16	40	

1-49(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	岩種区分
			アプライト
	115.09	137.60	花崗斑岩
140			
150	126.60	149.85	アプライト
	131.25	154.80	花崗斑岩
	133.93	157.65	アプライト
160	136.14	160.00	花崗斑岩
	145.54	170.00	

色調: 灰黄褐, 褐灰, 灰褐, 灰黄褐, 灰褐, 褐灰, 明褐灰, 褐灰, 灰褐, 褐灰, 灰褐, 明褐灰, 灰黄褐, 灰黄, 灰黄褐

硬軟: Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Eg, Cg, Dg, Eg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Eg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg

コア形状: Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅵg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅲg, Ⅵg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅰg, Ⅲg, Ⅱg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg

割れ目の状態: cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, dg, bg, cg, ag, cg, ag

風化: γ

変質: 2, 4, 2, 3, 2, 3, 4, 2

記事

深度136.26～136.34m：砂質シルト状，褐色粘土を挟む。

花崗斑岩，上位との境界傾斜28度。
深度137.60～149.85m:花崗斑岩。
径2～10mmの石英及び径1～2mmの長石，黒雲母の斑晶を1～10%程度含み，石基は径0.1mm以下である。
深度138.23～138.46m：傾斜60～70度の節理多く，変質により珪化し，節理に灰白色粘土挟む。

深度140.26～140.80m：やや変質を受け節理多く軟質。深度140.26mに幅3～10mmの灰白色シルトを挟む。

深度141.95～142.34m：やや変質を受け節理多く軟質。
深度142.34mに桃白色シルトを挟む。
深度142.34～144.38m：傾斜0～30度の低角度な節理が多い。

深度144.38～146.35m：全体に節理多く，角礫～細礫状をなす。

深度146.35～147.40m：節理の多い硬質な花崗斑岩。傾斜60度程度の節理主体。

深度147.93～148.05m：破砕帯(Hb)。傾斜37度。幅120mm,灰褐色礫混じりシルト質砂状。
深度148.05～148.12m：破砕帯(Hc)。傾斜37度。幅70mm,灰色粘土と黄灰色粘土の互層状。
アプライト，上位との境界傾斜48度。
深度150.52～151.52m:変質帯。上盤15度，下盤29度。網目状に灰白色シルトを挟む。
深度150.58m：シーム。傾斜51度。幅3～7mmの褐色粘土を挟む。
深度151.39m：シーム。傾斜53度。幅3mmの褐色粘土を挟む。

花崗斑岩，上位との境界不明瞭。
深度154.80～170.00m：花崗斑岩。
厚さ2.3m程度のアプライトを挟む。
花崗斑岩は，径2～3mmの石英，長石，黒雲母の斑晶を10%程度含み，石基は径0.1mm以下で，組織は全体に不均質である。
深度154.95～155.26m：節理密集し，細礫～角礫状をなす。節理に灰白色シルトを挟む。
アプライト，上位との境界傾斜44度，下位との境界不明瞭。

深度159.13m：シーム。傾斜60度，幅1～2mmの褐色粘土状。

深度161.49～161.55m：幅50～90mmの灰黄色シルト混じり砂・礫状。破砕帯の会合部の可能性あり。
深度162.43m：シーム。傾斜20度，幅1mmの褐色粘土を挟む。
深度162.43～163.15m:変質帯。灰白色砂状。
深度162.52m:傾斜10度のマンガン脈が正断層的に0.5cmずれる。条線方向は10度左。
深度163.15m：シーム。傾斜57度。幅2～3mm，白色粘土状。
深度163.92～168.02m：高角度な密着した節理主体，開口した節理少ない。

深度168.28～168.32m：破砕帯(Hc)。上盤63度，下盤45度。幅20～30mm，礫混じりシルト状～砂質シルト状。
深度168.84～168.88m：幅23～40mm，桃色シルト混じり砂状。

コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]

最大コア長 (cm)	RQD [%]	岩級区分
14	[26]	CL'
23	[23]	CM'
10	[20]	CM'
30	[47]	CM'
16	[40]	CM'
10	[10]	CL'
10	[10]	CM'
8	[0]	CM'
12	[22]	CM'
8	[0]	CL'
6	[0]	CL'
6	[0]	CM'
4	[0]	CL'
21	[21]	CL'
18	[50]	CM'
2	[0]	CL'
12	[12]	CM'
8	[0]	CM'
7	[0]	CM'
15	[15]	CL'
8	[0]	CM'
42	[64]	CM'
14	[26]	CM'
8	[0]	CM'
4	[0]	CL'
4	[0]	CL'
3	[0]	CL'
12	[12]	D'
15	[30]	CL'
46	[93]	CM'
14	[38]	CM'
26	[96]	CM'
18	[80]	CM'
28	[28]	CL'
35	[61]	CM'

岩盤分類: [CL], [CM], [CL], [CM]

(標準貫入試験) 試験 (N値～深度): 0 10 20 30 40 50

掘進・送水

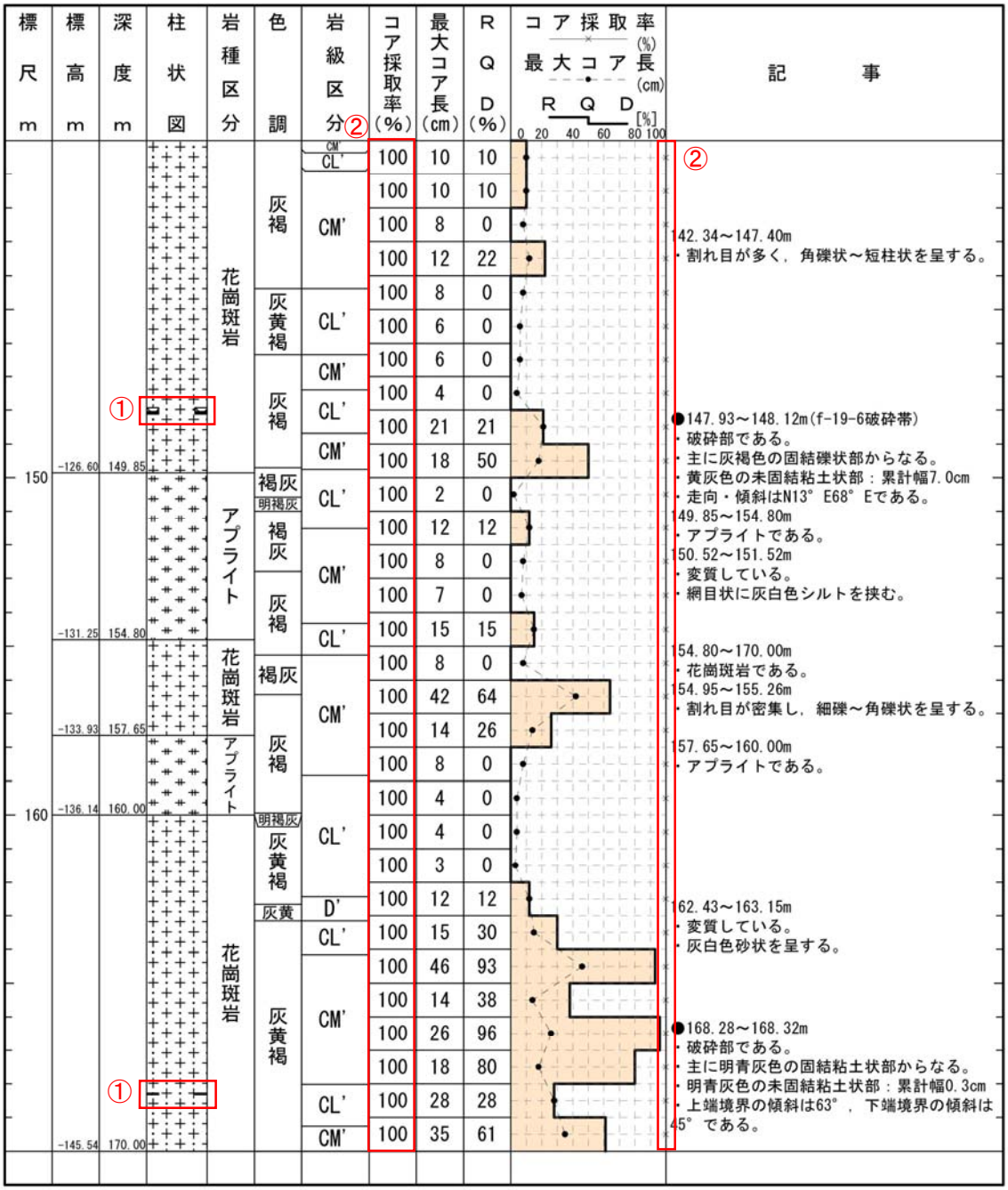
掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
1/12 140.60	104	76	100 / 150	0.0	泥水5	5
1/13 148.00	111	76／セメンティング		0.0	泥水5	0
1/15 155.80	111		100			
1/16 157.00	80			0.0	泥水5	5
1/17 163.50	98	76		0.0	泥水5	3
1/18 170.00	98			0.0	泥水5	0

コアチューブ/ビット: ダブルコアチューブ／ダイヤビット

給圧 (kN・MPa): 35.0

H19－No. 19

柱状図(140.00m～170.00m)



1-50, 1-51(分類d)①
　記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-49(分類b)②
　報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNo.										

ボーリング名	No.8	調査位置				北緯	
発注機関				調査期間		東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	+19.14 m	角度	180° 上 / 90° / 下 0° / 30°	方向	北 0° / 東 90° / 南 180° / 西 270° / 59.8°	地盤勾配	水平 0° / 鉛直 90°
総掘削長	200.00 m	使用機種	試錐機		エンジン	ハンマー落下用具	ポンプ

標高 (m)	深度 (m)	岩種区分	色調	記事
19.07	0.08	表土	黒褐	
18.94	0.23	有機質土混り中砂	褐	
18.78	0.42	砂質シルト	赤褐	
18.62	0.60	中砂	褐灰～灰白	
17.98	1.34	細砂有機質土混り砂質シルト互層	褐灰	細～中粒砂と腐植混じり砂質シルトの互層。木炭が点在する。
17.33	2.09	中砂	褐灰 / 明赤褐	中～粗粒砂。木炭を1%程度含む。
16.67	2.85	砂質シルト	にぶい黄橙・斑状に橙	木炭が点在する。
15.68	4.00	粗砂	橙 / 明褐 / 灰白	塊状。
14.91	4.89	細砂	灰白	粗粒砂が混じる。
14.46	5.40	砂礫	にぶい黄橙	径0.2～6cmの亜角礫を含む。
13.08	7.00	礫混り・砂利混り中砂	にぶい黄橙	粗粒砂が混じる。
8.81	11.93	砂礫	にぶい黄橙 / 橙	礫は径0.2～26cm，亜角～角礫，礫種は花崗斑岩，アプライト。基質はシルト混じり細～中粒砂。 深度8.56～8.60m：土壌を挟む。
4.07	17.40	花崗斑岩	にぶい黄橙 / にぶい橙 / にぶい黄橙 / にぶい橙 / 浅黄橙	深度11.93～61.10m:花崗斑岩。 厚さ0.4～2.0mの黒雲母花崗岩を挟む。 花崗斑岩は，径5～10mm程度の石英，カリ長石，一部斜長石，径1～2mmの黒雲母の斑晶を10～30%程度含み，石基は径0.1mm程度である。 深度13.02～13.16m：長石の粘土化著しい。 深度13.10～13.16m：幅6cm，軟質化。 深度13.34～13.61m：長石の粘土化著しい。 深度15.26m：傾斜32～16度，幅30mm砂礫状。 深度15.41m：傾斜32～38度，幅30mm砂礫状。 深度15.81m：石英脈，傾斜69度，幅5～10mm。 深度16.43～17.80m：長石が変質。
2.08	19.70	黒雲母花崗岩	橙 / 淡橙 / 浅黄橙	黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜64度。 深度18.30～20.00m：長石が変質。
		花崗斑岩	黄橙 / にぶい黄橙 / にぶい橙 / にぶい黄橙 / にぶい橙 / 明黄褐 / にぶい橙	花崗斑岩，上位との境界傾斜57度。 深度20.10～20.16m：幅40mm，シルト混じり砂礫状，幅10mmの礫混じり褐色粘土を挟む。 深度23.40～23.55m：酸化マンガンが細脈網目状に入る。 深度23.82～23.90m：節理に酸化マンガンを挟む。 深度25.40～25.90m：変質を受け，節理に沿って灰白色粘土を挟む。

硬軟（上から）: Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Eg, Dg, Cg

コア形状（上から）: Ⅳg, Ⅲg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅱg, Vg, Ⅲg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg

割れ目の状態（上から）: bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg

風化: δ, γ

変質: 2

コア採取率（%）[RQD %]: 22 [37], 45 [89], 34 [56], 14 [14], 30 [47], 25 [25], 24 [40], 36 [81], 28 [74], 54 [100], 24 [70], 35 [84], 65 [65], 35 [45], 20 [40]

岩級区分: 11.94 / CL' / 13.81 / CM' / 15.26 / CL' / 17.81 / CM' / 18.80 / CL' / 25.90 / CM' / 27.00

岩盤分類: 11.93 / [CL] / 25.90 / [CM] / 27.00

掘進月日	9/16 (2.60)	9/19 (5.00)	9/20 (11.00)	9/21 (18.50)	9/22 (26.80)
掘進速度 (cm/時)	195	131	88	102	128 / 103

孔径(mm)／孔壁保護: 140／ケーシング, 115／ケーシング, 76

コアチューブ／ビット: ダブルコアチューブ／メタルビット, ダブルコアチューブ／ダイヤビット

給圧 (kN・MPa): 30.0　回転数 (rpm): 60, 100　送水圧 (MPa): 0.0　送水量 (l/分): 泥水5　排水量 (l/分): 5

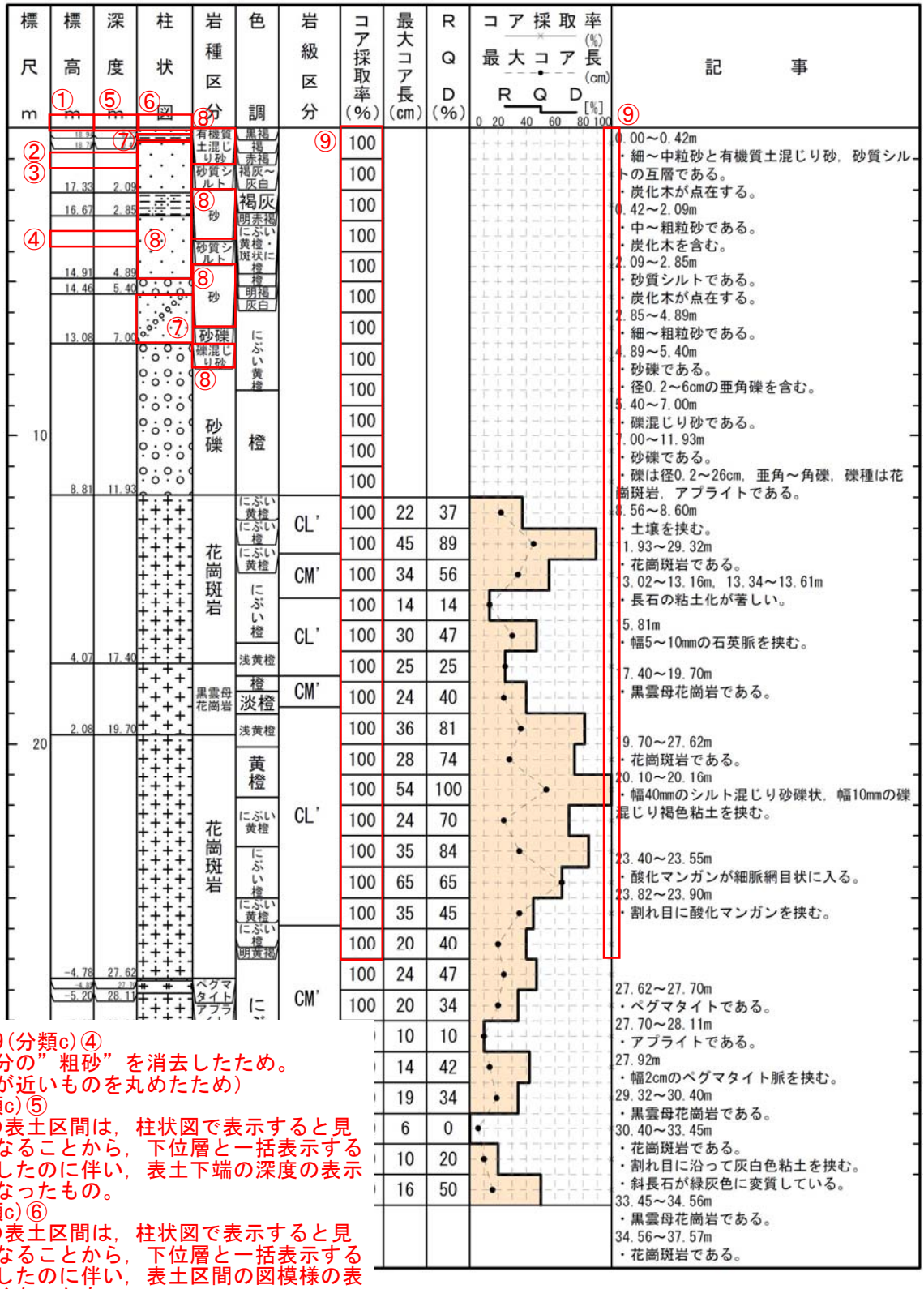
H19－No. 8

1-52(分類c)①
幅8cmの表土区間は，柱状図で表示すると見づらくなることから，下位層と一括表示することとしたのに伴い，表土下端の標高の表示がなくなったもの。
1-53,1-57(分類c)②
岩種区分の”中砂”を消去したため。（性状が近いものを丸めたため）
1-54,1-58(分類c)③
岩種区分の”細砂有機質土混り砂質シルト互層”を消去したため。（性状が近いものを丸めたため）

柱状図(0.00m～35.00m)

H19-No. 8

孔口標高	T.P. 19.14m	掘削長	200.00m



1-55,1-59(分類c)④
岩種区分の”粗砂”を消去したため。（性状が近いものを丸めたため）
1-56(分類c)⑤
幅8cmの表土区間は，柱状図で表示すると見づらくなることから，下位層と一括表示することとしたのに伴い，表土下端の深度の表示がなくなったもの。
1-60(分類c)⑥
幅8cmの表土区間は，柱状図で表示すると見づらくなることから，下位層と一括表示することとしたのに伴い，表土区間の図模様の表示がなくなったもの。
1-61,1-65(分類c)⑦
審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-62～1-64,1-66～1-73(分類c)⑧
性状が近いものを丸めたため。
1-74(分類b)⑨
報告書の記載漏れを修正したため。

参考3-419

標高 (m)	深度 (m)	岩種区分	色調
-4.78	27.62	花崗斑岩	にぶい橙
-4.85	27.70	ペグマタイト	にぶい橙
-5.20	28.11	アプライト	にぶい橙
-6.25	29.32	花崗斑岩	にぶい橙
-7.19	30.40	黒雲母花崗岩	にぶい橙
-9.83	33.45	花崗斑岩	にぶい橙／にぶい褐
-10.79	34.56	黒雲母花崗岩	にぶい褐
-13.40	37.57	花崗斑岩	にぶい橙
-15.15	39.60	黒雲母花崗岩	橙
-18.88	43.90	花崗斑岩	明黄褐／にぶい橙／浅黄
-19.63	44.77	黒雲母花崗岩	にぶい橙
-33.77	61.10	花崗斑岩	黄橙／にぶい黄橙／浅黄橙／にぶい橙／にぶい赤褐
	63.00	黒雲母花崗岩	灰黄褐

硬軟（上から）：Cg, Bg, Cg, Dg, Cg, Bg, Cg, Bg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Bg, Cg, Dg, Cg

コア形状（上から）：Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅵg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg

割れ目の状態（上から）：bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg

風化：γ　変質：2, 3, 2, 3, 2

コア採取率（最大コア長 cm）[RQD %]（上から）：24 [47], 20 [34], 10 [10], 14 [42], 19 [34], 6 [0], 10 [20], 16 [50], 15 [38], 12 [24], 22 [80], 12 [22], 27 [27], 9 [0], 12 [12], 7 [0], 27 [27], 78 [100], 12 [23], 38 [62], 36 [70], 14 [14], 14 [26], 19 [52], 9 [0], 13 [23], 53 [53], 30 [30], 24 [100], 20 [76], 26 [37], 8 [0], 7 [0], 13 [26], 10 [10], 8 [0]

深度 (m)	岩級区分	岩盤分類
27.00～30.68	CM'	[CM]
30.68～31.46	CL'	[CM]
31.46～41.15	CM'	[CM]
41.15～46.92	CL'	[CL]
46.92～52.24	CM'	[CM]
52.24～54.43	CL'	[CM]
54.43～61.41	CM'	[CM]
61.41～63.00	CL'	[CL]

記事

深度27.62～27.70m：ペグマタイト，上位との境界傾斜20度。
深度27.92m：ペグマタイト脈，傾斜20度，幅2cm。

黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜40度。

花崗斑岩，上位との境界不明瞭。
深度30.70～31.45m：変質を受け，節理に沿って灰白色粘土を挟む。
深度31.46～33.91m：斜長石が緑灰色に変質している。

黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜37度。

花崗斑岩，上位との境界傾斜16度。

深度36.45～37.54m：節理に沿って酸化マンガン付着。

黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜45度。
深度38.28m：傾斜62度の節理に沿って上盤側が幅10mm軟質劣化。
深度38.28～38.54m：斜長石が緑灰色に変質している。

花崗斑岩,上位との境界傾斜ほぼ水平。

深度41.87～42.65m：節理が多く，角礫～細礫状。

深度43.07～43.40m：節理が多く，角礫～細礫状。

深度43.44～43.65m：破砕帯(Hb)。上盤54度，下盤63度。全体幅100mm，シルト混じり砂礫状。礫径は7mm以下。下盤側幅20mm礫質灰白色粘土状。
黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜70度，下位との境界傾斜37度。

深度48.62～48.79m：節理が多い。

深度51.04～51.06m：傾斜11～33度，砂状を呈する。
深度51.19～51.23m：傾斜44～71度，砂礫状を呈する。
深度52.24～54.40m：変質を受け，節理に灰白色粘土を挟む。

深度53.09～53.29m：破砕帯(Hj)。上盤52度，下盤62度，全体幅200mm。傾斜約60度の面構造発達。
深度53.29m：傾斜62度，幅2～3mm，褐色粘土状，直線的でシャープな面。
深度53.29～53.41m：破砕帯(Hj)，傾斜約60度の面構造発達，正断層の変位センスあり。
深度55.00～59.20m：弱風化している。
深度56.15～56.18m：節理が多い。

深度57.05～57.21m：変質のためやや軟質。

深度58.00m：酸化マンガン脈，傾斜62度，幅0.1～0.2mm。

深度58.95～59.36m：節理が多い。

黒雲母花崗岩，上位との境界不明瞭。
深度61.10～131.65m:黒雲母花崗岩。厚さ1.0～7.3m程度の花崗斑岩やアプライトを挟む。
黒雲母花崗岩は，径5～10mm程度の石英，カリ長石一部斜長石の斑晶と径2～3mm程度の黒雲母の斑晶からなる。
深度61.19～61.57m：節理に酸化マンガン多い。

掘進記録

掘進月日	深度 (m)
9/25	33.50
9/26	40.50
9/27	49.40
9/29	58.60

掘進速度（cm/時）：103, 82, 107, 110, 104
孔径 (mm)：76
コアチューブ／ビット：ダブルコアチューブ／ダイヤビット

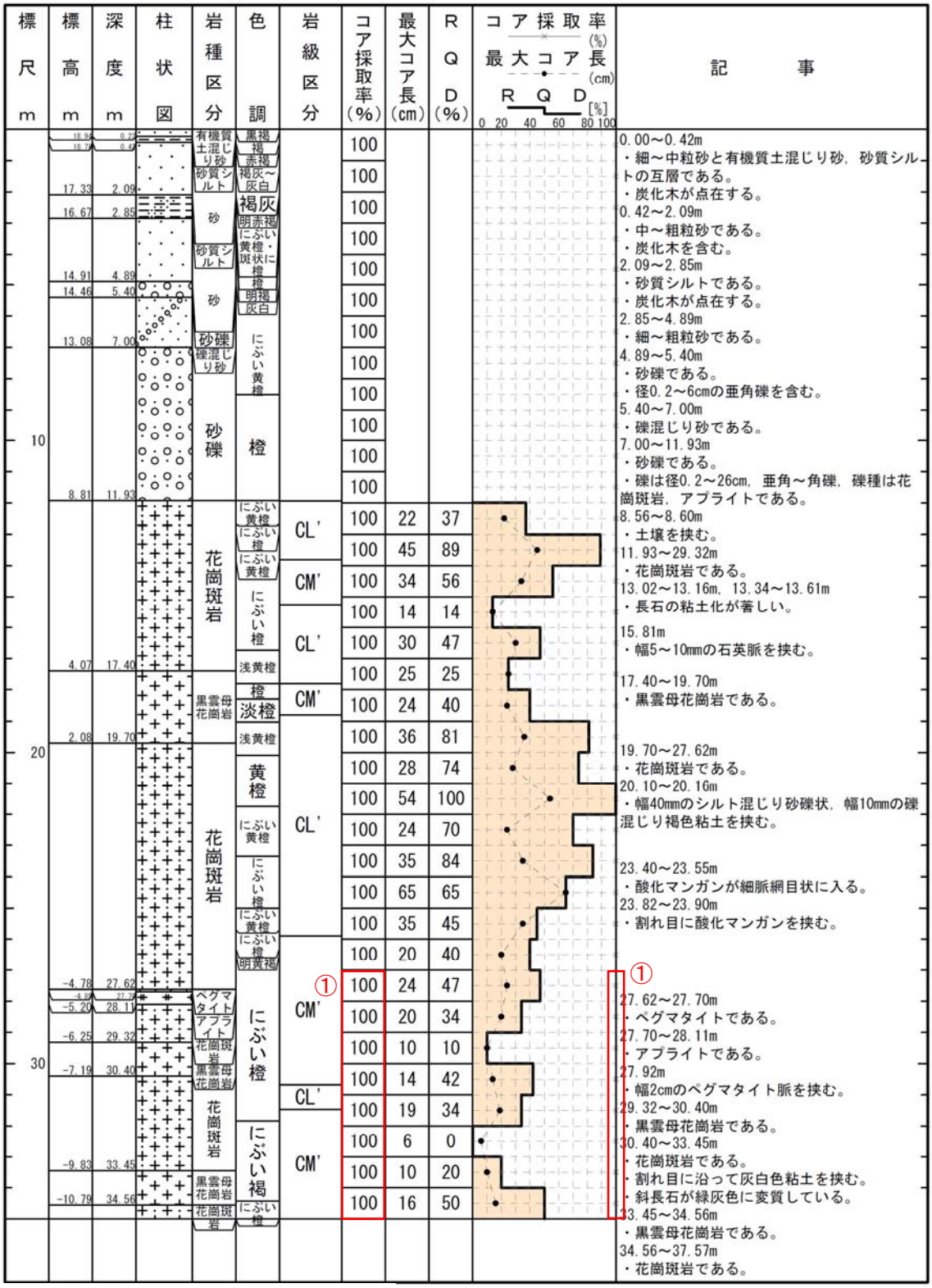
給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
30.0	100	0.0	泥水5	5
40.0	130			
30.0				
50.0	150	0.0	泥水5	3
35.0	130	0.0	泥水5	0
	100			

H19－No. 8

柱状図(0.00m～35.00m)

H19-No. 8

孔口標高	T.P. 19.14m	掘削長	200.00m



1-74(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	岩種区分	色調
	-4.78	27.62	花崗斑岩	にぶい橙
	-4.85	27.70	ペグマタイト	
	-5.20	28.11	アプライト	
	-6.25	29.32	花崗斑岩	
30	-7.19	30.40	黒雲母花崗岩	
	-9.83	33.45	花崗斑岩	にぶい褐
	-10.79	34.56	黒雲母花崗岩	
	-13.40	37.57	花崗斑岩	にぶい橙
	-15.15	39.60	黒雲母花崗岩	橙
40	-18.88	43.90	花崗斑岩	明黄褐 / にぶい橙 / 浅黄
	-19.63	44.77	黒雲母花崗岩	にぶい橙 / 黄橙
50 / 60	-33.77	61.10	花崗斑岩	にぶい黄橙 / 浅黄橙 / にぶい橙 / にぶい赤褐
			黒雲母花崗岩	灰黄褐

硬軟: Cg, Bg, Cg, Dg, Cg, Bg, Cg, Bg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Bg, Cg, Dg, Cg

コア形状: Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅵg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg

割れ目の状態: bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg

風化: γ

変質: 2, 3, 2, 3, 2

記事:

深度27.62～27.70m：ペグマタイト，上位との境界傾斜20度。
深度27.92m：ペグマタイト脈，傾斜20度，幅2cm。

黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜40度。

花崗斑岩，上位との境界不明瞭。
深度30.70～31.45m：変質を受け，節理に沿って灰白色粘土を挟む。
深度31.46～33.91m：斜長石が緑灰色に変質している。

黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜37度。

花崗斑岩，上位との境界傾斜16度。

深度36.45～37.54m：節理に沿って酸化マンガン付着。

黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜45度。
深度38.28m：傾斜62度の節理に沿って上盤側が幅10mm軟質劣化。
深度38.28～38.54m：斜長石が緑灰色に変質している。

花崗斑岩,上位との境界傾斜ほぼ水平。

深度41.87～42.65m：節理が多く，角礫～細礫状。

深度43.07～43.40m：節理が多く，角礫～細礫状。

深度43.44～43.65m：破砕帯(Hb)。上盤54度，下盤63度。全体幅100mm，シルト混じり砂礫状。礫径は7mm以下。下盤側幅20mm礫質灰白色粘土状。
黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜70度，下位との境界傾斜37度。

深度48.62～48.79m：節理が多い。

深度51.04～51.06m：傾斜11～33度，砂状を呈する。
深度51.19～51.23m：傾斜44～71度，砂礫状を呈する。
深度52.24～54.40m：変質を受け，節理に灰白色粘土を挟む。
深度53.09～53.29m：破砕帯(Hj)。上盤52度，下盤62度，全体幅200mm。傾斜約60度の面構造発達。
深度53.29m：傾斜62度，幅2～3mm，褐色粘土状，直線的でシャープな面。
深度53.29～53.41m：破砕帯(Hj)，傾斜約60度の面構造発達，正断層の変位センスあり。
深度55.00～59.20m：弱風化している。
深度56.15～56.18m：節理が多い。

深度57.05～57.21m：変質のためやや軟質。

深度58.00m：酸化マンガン脈，傾斜62度，幅0.1～0.2mm。

深度58.95～59.36m：節理が多い。

黒雲母花崗岩，上位との境界不明瞭。
深度61.10～131.65m:黒雲母花崗岩。厚さ1.0～7.3m程度の花崗斑岩やアプライトを挟む。
黒雲母花崗岩は，径5～10mm程度の石英，カリ長石一部斜長石の斑晶と径2～3mm程度の黒雲母の斑晶からなる。
深度61.19～61.57m：節理に酸化マンガン多い。

コア採取率（%）／最大コア長（cm）／RQD［%］（0 50 100）:
24 [47], 20 [34], 10 [10], 14 [42], 19 [34], 6 [0], 10 [20], 16 [50], 15 [38], 12 [24], 22 [80], 12 [22], 27 [27], 9 [0], 12 [12], 7 [0], 27 [27], 78 [100], 12 [23], 38 [62], 36 [70], 14 [14], 14 [26], 19 [52], 9 [0], 13 [23], 53 [53], 30 [30], 24 [100], 20 [76], 26 [37], 8 [0], 7 [0], 13 [26], 10 [10], 8 [0]

岩級区分	深度
CM'	～30.68
CL'	30.68～31.46
CM'	31.46～41.15
CL'	41.15～46.92
CM'	46.92～52.24
CL'	52.24～54.43
CM'	54.43～61.41
CL'	61.41～63.00

岩盤分類	深度
[CM]	27.00～41.15
[CL]	41.15～46.92
[CM]	46.92～61.41
[CL]	61.41～63.00

孔内水位(m)／測定月日、（標準貫入試験）試験 N値～深度（0 10 20 30 40 50）、原位置試験（孔内水平載荷）、室内試験：記載なし

掘進月日	掘進速度 (cm/時)
	103
9/25 (33.50)	82
9/26 (40.50)	107
9/27 (49.40)	110
9/29 (58.60)	104

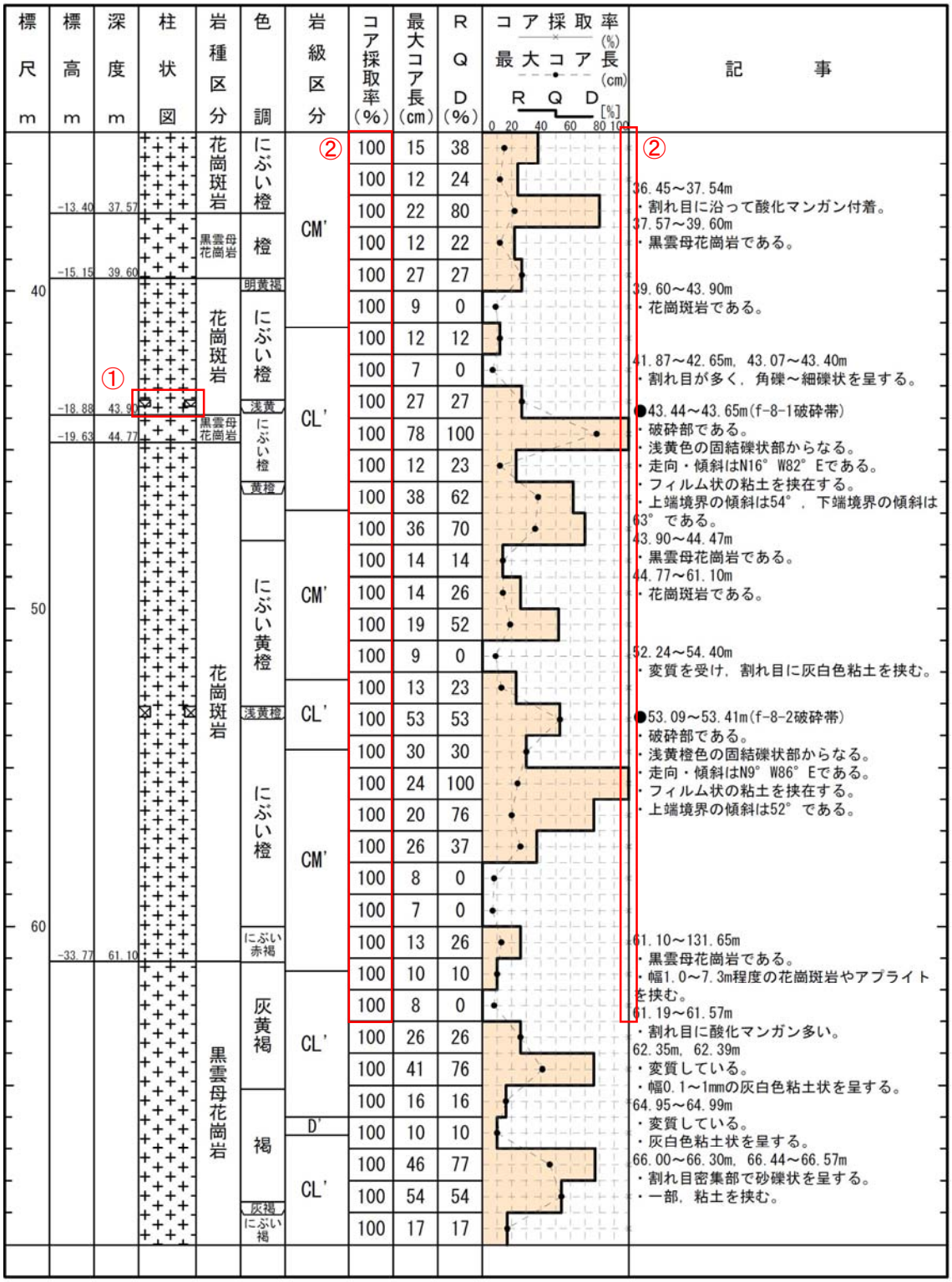
孔径(mm)／孔壁保護: 76

コアチューブ／ビット: ダブルコアチューブ／ダイヤビット

給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
30.0	100	0.0	泥水5	5
40.0 / 30.0	130			
50.0	150	0.0	泥水5	3
35.0	130 / 100	0.0	泥水5	0

H19－No. 8

柱状図(35.00m～70.00m)



1-75(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-74(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)/測定月日	(N)値	(標準貫入試験)試験 (N値～深度) 0 10 20 30 40 50	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
												0 50 100		63.00														

岩種区分・深度

標高 (m)	深度 (m)	岩種区分
		黒雲母花崗岩
-48.46	78.06	花崗斑岩
-49.88	79.70	黒雲母花崗岩
-52.74	83.00	花崗斑岩
-59.11	90.35	黒雲母花崗岩
-61.53	93.15	花崗斑岩
-62.33	94.07	黒雲母花崗岩

標尺：70, 80, 90

色調：灰黄褐、褐、灰褐、にぶい褐、にぶい黄褐、灰褐、にぶい黄橙、暗褐、にぶい黄橙、にぶい橙、にぶい黄橙、淡黄、明黄褐、浅黄、浅黄橙、明黄褐、にぶい黄褐、浅黄橙、黄褐、黄褐、明黄褐

硬軟：Cg, Dg, Cg, Dg, Eg, Cg, Eg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Eg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Eg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Eg, Dg, Cg, Dg, Cg, Eg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg

コア形状：Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅵg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅰg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅵg, Ⅲg, Ⅰg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅲg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅱg, Ⅰg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅴg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅴg, Ⅵg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅴg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅰg, Ⅱg, Ⅳg

割れ目の状態：bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg

風化：γ

変質：2, 3, 2, 3, 2, 3, 2, 3, 2

記事

深度62.35m, 62.39m：シーム。幅0.1～1mmの灰白色粘土状。逆断層のセンスあり。

深度64.95～64.99m：変質帯。上盤55度，下盤62度，全体幅20～30mm。灰白色粘土状。

深度66.00～66.30m：節理密集部で砂礫状をなす，一部粘土を挟む。

深度66.44～66.57m：砂礫状部。

深度71.90～72.19m：変質帯。上盤14度，下盤30度。原岩組織は不明瞭，一部砂状。

深度74.70m：方解石脈，傾斜55度，幅5～10mm。

深度75.34～77.75m：破砕帯(Hb)。上盤48度，下盤89度。一部に灰白色粘土幅1～10mm，褐色粘土幅0.1～1mmを挟む。非対称変形構造からみかけ正断層の変位センスあり。

花崗斑岩，上位との境界波打つ。

黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜54度。

深度80.45～81.46m：変質帯。上盤72度，下盤42度。節理に灰白色粘土を挟む。

花崗斑岩，上位との境界傾斜20度。

深度83.94～85.71m:変質帯。上盤18度，礫状，節理に沿って灰白色粘土を挟む。石英脈あり。

深度84.76m：石英脈，傾斜64度，幅40～50mm。

深度85.27m：石英脈，傾斜80度，幅1～10mm。

深度85.71～90.00m：全体に節理多く，節理に沿って粘土を挟む。

深度90.00～91.08m：節理に粘土を挟み軟質。

黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜75度。

深度92.02～92.89m：節理に酸化マンガン多い。

花崗斑岩，上位との境界傾斜20度。

黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜40度。

深度95.55～95.61m：砂礫状。

コア採取率・最大コア長 [RQD]：26 [26], 41 [76], 16 [16], 10 [10], 46 [77], 54 [54], 17 [17], 34 [80], 12 [22], 21 [38], 17 [17], 12 [12], 36 [36], 95 [95], 53 [88], 53 [88], 31 [63], 12 [22], 32 [41], 44 [85], 17 [17], 26 [70], 85 [85], 6 [6], 32 [53], 10 [10], 16 [16], 45 [82], 18 [31], 32 [45], 19 [35], 20 [43], 25 [61], 15 [41], 85 [99], 31 [44]

岩級区分

深度 (m)	岩級区分
～66.00	CL'
66.00～66.57	D'
66.57～75.34	CL'
75.34～77.75	D'
77.75～78.90	CL'
78.90～80.27	CM'
80.27～88.18	CL'
88.18～88.91	CM'
88.91～93.39	CL'
93.39～95.44	CM'
95.44～97.56	CL'
97.56～99.00	CM'

岩盤分類：[CL]（63.00～99.00）

掘進月日・掘進速度

掘進月日	深度 (m)	掘進速度 (cm/時)
9/30	65.00	104
10/2	70.60	86
10/3	77.60	89
10/4	83.00	81
10/5	90.10	89
10/6	93.10	82
10/7	96.90	67
		93

孔径 (mm)：76

コアチューブ/ビット：ダブルコアチューブ/ダイヤビット

給圧：35.0

回転数 (rpm)：100, 130, 100

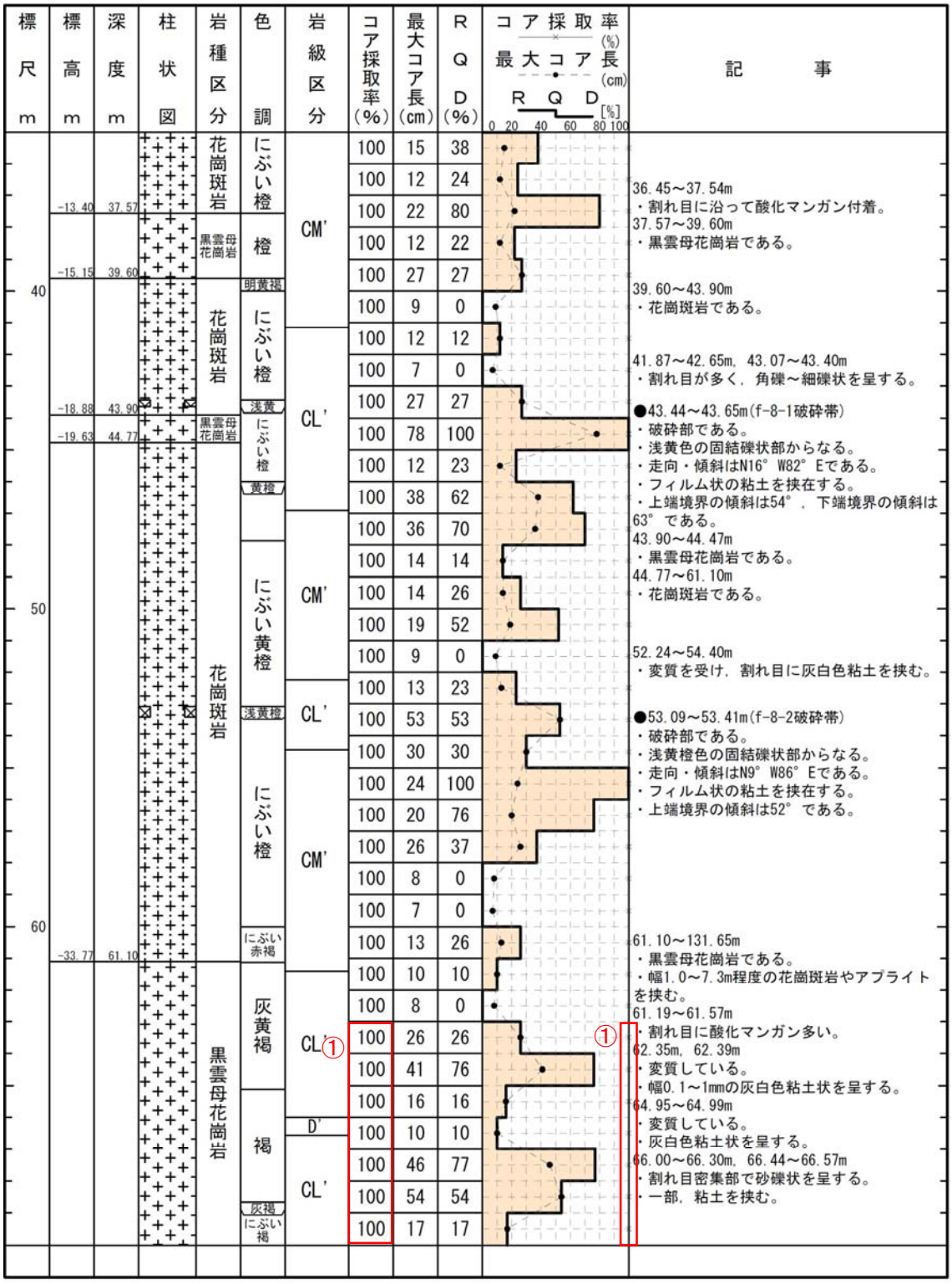
送水圧：0.0

送水量：泥水5

排水量：0

H19－No. 8

柱状図(35.00m～70.00m)



1-74(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	岩種区分
		(〜78.06)	黒雲母花崗岩
	-48.46	78.06	花崗斑岩
80	-49.88	79.70	黒雲母花崗岩
	-52.74	83.00	花崗斑岩
90	-59.11	90.35	黒雲母花崗岩
	-61.53	93.15	花崗斑岩
	-62.33	94.07	黒雲母花崗岩

色調（上から）: 灰黄褐, 褐, 灰褐, にぶい褐, にぶい黄橙, 灰褐, にぶい黄橙／褐灰, にぶい黄橙, にぶい橙, にぶい黄橙, 浅黄, 明黄褐, 浅黄, 浅黄橙, 明黄褐, にぶい黄褐, 浅黄橙, 黄褐, 黄褐, 明黄褐

硬軟: Cg, Dg, Eg　コア形状: Ⅰg〜Ⅵg　割れ目の状態: bg, cg　風化: γ　変質: 2, 3

記事
深度62.35m, 62.39m：シーム。幅0.1〜1mmの灰白色粘土状。逆断層のセンスあり。
深度64.95〜64.99m：変質帯。上盤55度，下盤62度，全体幅20〜30mm。灰白色粘土状。
深度66.00〜66.30m：節理密集部で砂礫状をなす，一部粘土を挟む。
深度66.44〜66.57m：砂礫状部。
深度71.90〜72.19m：変質帯。上盤14度，下盤30度。原岩組織は不明瞭，一部砂状。
深度74.70m：方解石脈，傾斜55度，幅5〜10mm。
深度75.34〜77.75m：破砕帯(Hb)。上盤48度，下盤89度。一部に灰白色粘土幅1〜10mm，褐色粘土幅0.1〜1mmを挟む。非対称変形構造からみかけ正断層の変位センスあり。
花崗斑岩，上位との境界波打つ。
黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜54度。
深度80.45〜81.46m：変質帯。上盤72度，下盤42度。節理に灰白色粘土を挟む。
花崗斑岩，上位との境界傾斜20度。
深度83.94〜85.71m：変質帯。上盤18度，礫状，節理に沿って灰白色粘土を挟む。石英脈あり。
深度84.76m：石英脈，傾斜64度，幅40〜50mm。
深度85.27m：石英脈，傾斜80度，幅1〜10mm。
深度85.71〜90.00m：全体に節理多く，節理に沿って粘土を挟む。
深度90.00〜91.08m：節理に粘土を挟み軟質。
黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜75度。
深度92.02〜92.89m：節理に酸化マンガン多い。
花崗斑岩，上位との境界傾斜20度。
黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜40度。
深度95.55〜95.61m：砂礫状。

コア採取率（%）・最大コア長（cm）・RQD［%］（上から）: 26[26], 4[76], 16[16], 10[10], 46[77], 54[54], 17[17], 34[80], 12[22], 21[38], 17[17], 12[12], 36[36], 95[95], 43[58], 53[58], 31[63], 12[22], 37[41], 44[85], 17[17], 26[70], 65[85], 6[0], 32[53], 10[10], 16[16], 45[82], 18[31], 32[45], 19[35], 20[43], 25[61], 15[41], 85[89], 31[44]

岩級区分	深度 (m)
CL'	63.00〜66.00
D'	66.00〜66.57
CL'	66.57〜75.34
D'	75.34〜77.75
CL'	77.75〜78.90
CM'	78.90〜80.27
CL'	80.27〜88.18
CM'	88.18〜88.91
CL'	88.91〜93.39
CM'	93.39〜95.44
CL'	95.44〜97.56
CM'	97.56〜99.00

岩盤分類: [CL]（63.00〜99.00）

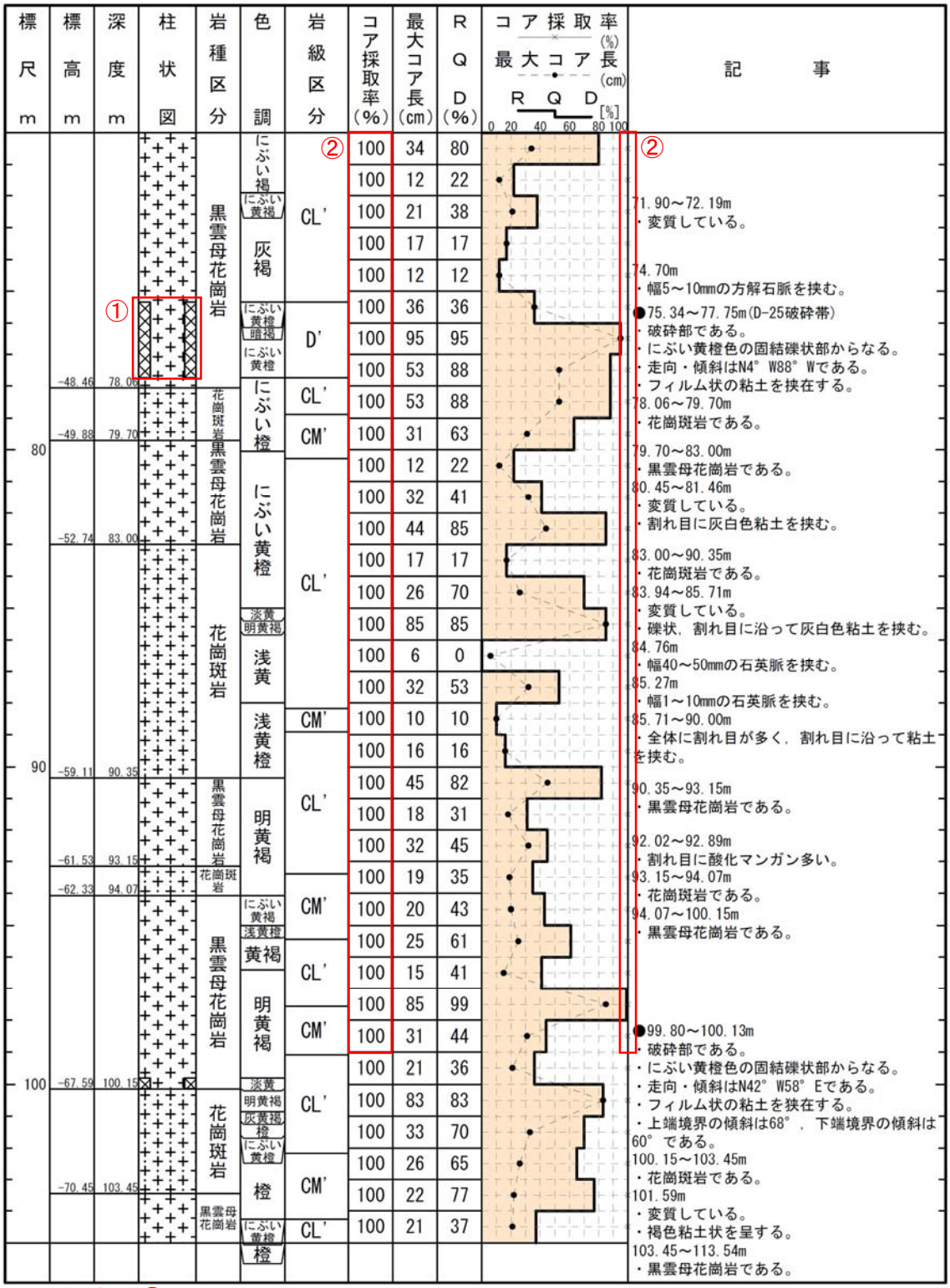
標準貫入試験（N値〜深度）: 記載なし

掘進月日	深度 (m)	掘進速度 (cm/時)
9/30	65.00	104
10/2	70.60	86
10/3	77.60	89
10/4	83.00	81
10/5	90.10	89
10/6	93.10	82
10/7	96.90	67
		93

孔径(mm)／孔壁保護: 76
コアチューブ／ビット: ダブルコアチューブ／ダイヤビット
給圧（kN・MPa）: 35.0
回転数（rpm）: 100, 130, 100
送水圧（MPa）: 0.0
送水量（l／分）: 泥水5
排水量（l／分）: 0

H19－No. 8

柱状図(70.00m～105.00m)



1-76(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-74(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

標高 (m)	深度 (m)	岩種区分
	〜100.15	黒雲母花崗岩
-67.59	100.15	花崗斑岩
-70.45	103.45	黒雲母花崗岩
-79.19	113.54	アプライト
-79.99	114.47	黒雲母花崗岩
-94.87	131.65	アプライト

標尺 (m): 100, 110, 120, 130

記事

深度99.80〜100.13m：破砕帯(Hj)。上盤68度，下盤60度。幅10mm，粘土細脈網目状。
花崗斑岩，上位との境界は破砕帯，傾斜60度。

深度101.59m：シーム。56度，幅2〜5mm褐色粘土状。

黒雲母花崗岩，上位との境界漸移的。

深度104.72m：酸化マンガン・石英脈，傾斜58度，幅1〜10mm。
深度105.27m：酸化マンガン脈，傾斜12度，幅1〜10mm。

深度107.55m：酸化マンガン脈，傾斜25度，幅1〜10mm。

深度107.99m：酸化マンガン脈，傾斜28度，幅2〜5mm，2条あり。
深度108.22m：石英脈，上盤57度，下盤36度，幅0〜80mm，閉じる。
深度108.46m：シーム。傾斜63度，幅0.1〜2mmの灰白色粘土状。
深度108.85m：シーム。傾斜34度，幅2〜5mmの褐色粘土状。

深度112.30〜112.61m，112.95〜113.24m：砂礫状コア。

アプライト，上位との境界傾斜67度。

黒雲母花崗岩，上位との境界は破砕帯，傾斜48度。
深度114.47〜114.67m：破砕帯(Hj)。上盤48度，下盤18度。傾斜67度，幅2〜10mmの褐色粘土状。

深度120.37〜120.43m：破砕帯(Hc)。上盤56度，下盤20度。幅30mm灰白色粘土状。
深度120.43〜121.21m：破砕帯(Hb)。上・下盤20度。砂礫状。

深度124.30〜124.31m：破砕帯(Hc)。上盤18度，下盤23度。幅10〜15mm褐色粘土状。
深度124.35〜124.37m：破砕帯(Hc)。上盤46度，下盤56度。幅10〜15mm褐色粘土状。
深度124.37〜124.61m：破砕帯(Hj)。上盤56度，下盤55度。礫状。

深度124.61〜124.62m：破砕帯(Hc)。上盤55度，下盤57度。幅5〜10mmの褐色粘土状。
深度124.62〜125.00m：破砕帯(Hj)。上盤57度，下盤不明。礫状。
深度125.00〜125.11：破砕帯(Hc)。上盤不明。下盤19度。礫混じり固結シルト状。
深度125.11〜125.12m：破砕帯(Hc)。上盤19度，下盤21度。幅5〜15mm褐色粘土状。
深度125.12〜125.19m：破砕帯(Hc)。上盤21度，下盤10度。浅黄橙色固結シルト状。
深度125.19〜125.20m：破砕帯(Hc)。上盤10度，下盤12度。幅5〜15mm褐色粘土状。
深度125.20〜125.43m：破砕帯(Hb)。上盤12度，下盤32度。シルト質礫状。
深度125.43〜125.52m：破砕帯(Hc)。上盤32度，下盤27度。幅90mmの褐色粘土状。
深度125.52〜127.45m：破砕帯(Hj)。上盤27度，下盤58度。礫状，部分的に原岩残す。
深度128.46〜131.65m：破砕帯(Hb)。上盤16度，下盤48度。幅0.1〜20mm。原岩組織不明。
深度131.65〜131.68m：破砕帯(Hc)。上盤48度，下盤56度。全幅15〜20mm。上盤から幅0.1〜10mmの褐色粘土状，幅0〜3mmの灰白色粘土状，幅10〜15mmの灰白色粘土状，幅1〜12mmの褐色粘土状，直線的でシャープである。
深度131.68〜132.09m：破砕帯(Hb)。上盤56度。下盤6度。
深度131.68〜131.90m：固結灰白色粘土状。
深度131.90〜132.09m：固結砂礫状。
深度131.65〜136.53m：アプライト
全体に変質受けて暗オリーブ灰〜灰オリーブ色帯びる。細粒緻密で斑晶は認められない。全体に破砕状で，頻繁に方解石脈を挟む。
深度133.89〜133.92m：変質帯。上盤19度，下盤30度。幅40mm，緑灰色シルト質細礫状。方解石脈に平行。

風化：γ

岩級区分 (深度 m)	岩級
99.00〜102.16	CL'
102.16〜104.26	CM'
104.26〜106.47	CL'
106.47〜108.46	CM'
108.46〜110.53	D'
110.53〜112.30	CM'
112.30〜113.24	D'
113.24〜114.67	CL'
114.67〜115.40	CM'
115.40〜118.59	CL'
118.59〜121.62	D'
121.62〜123.15	CL'
123.15〜123.69	D'
123.69〜124.30	CL'
124.30〜127.45	D'
127.45〜128.46	CL'
128.46〜132.09	D'
132.09〜135.00	CL'

岩盤分類 (深度 m)	分類
99.00〜124.30	[CL]
124.30〜132.09	[D]
132.09〜135.00	[CL]

コア採取率・最大コア長 (cm)・RQD [%]：21 [36], 83 [83], 33 [70], 26 [65], 22 [77], 21 [37], 34 [65], 23 [44], 21 [51], 22 [56], 9 [0], 42 [42], 5 [78], 14 [27], 14 [28], 19 [37], 17 [29], 21 [32], 24 [64], 54 [86], 36 [36], 11 [22], 22 [22], 19 [19], 11 [22], 18 [36], 100 [100], 100 [100], 31 [56], 58 [100], 28 [65], 100 [100], 65 [85], 12 [12], 8 [0], 5 [28]

掘進月日	深度 (m)	掘進速度 (cm/時)
	〜105.00	93
10/10	105.00	88
10/11	111.60	67
10/13	114.40	70
10/14	119.55	76
10/16	123.50	77
10/17	129.00	65
10/18	131.80	66
10/19	135.00	

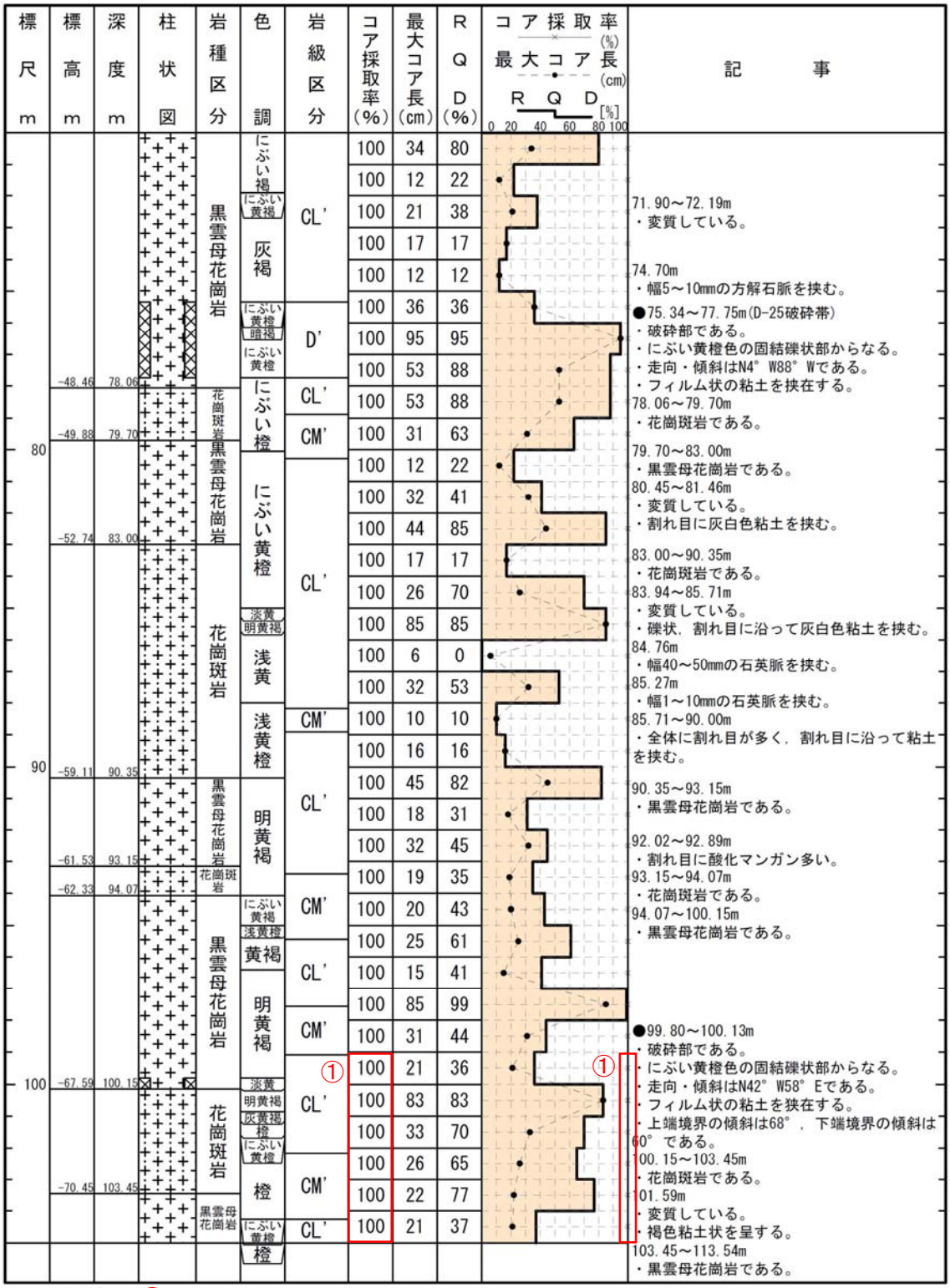
孔径(mm)/孔壁保護：76；76/セメンティング；76

コアチューブ/ビット：ダブルコアチューブ/ダイヤビット

給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
35.0	100	0.0	泥水 5	0

H19－No. 8

柱状図(70.00m～105.00m)



1-74(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	変質
100	-67.59	100.15	黒雲母花崗岩	明黄褐 / 淡黄	Cg / Dg	IVg / IIIg / IVg / VIg	bg	2 / 3
	-70.45	103.45	花崗斑岩	明黄褐 / 灰黄褐 / 橙 / にぶい黄橙 / 橙	Dg / Cg / Dg / Cg	I g / IVg / IIIg / I g / IIIg / IVg / II g / IVg / IIIg	cg / bg / cg / bg	3
110	-79.19	113.54	黒雲母花崗岩	にぶい黄橙 / 橙 / 黄 / 明黄褐 / にぶい黄橙 / 明黄褐 / 橙	Dg / Cg / Dg / Cg / Dg / Eg / Dg / Eg / Dg / Cg / Dg / Eg / Dg / Eg	IVg / IIIg / II g / IVg / IIIg / IVg / IIIg / VIg / IVg / VIg / IVg / VIg / II g / IVg / IIIg / VIg / IVg / VIg	bg / cg / bg / cg / bg / dg / bg / cg / bg	2
	-79.99	114.47	アプライト	明黄褐	Dg	IVg / IIIg	bg	2
120 / 130	-94.87	131.65	黒雲母花崗岩	浅黄橙 / 明黄褐 / 橙 / 明黄褐 / 橙 / にぶい黄褐 / 橙 / 褐 / 黒褐～にぶい黄橙 / 明黄褐 / 淡黄 / 浅黄 / にぶい黄橙 / 浅黄 / にぶい黄橙 / 浅黄 / 浅黄橙	Eg / Cg / Dg / Cg / Dg / Eg / Dg / Eg / Cg / Eg / Dg / Eg / Cg / Eg / Dg / Eg / Dg / Eg / Dg / Eg	VIg / IVg / IIIg / IVg / VIg / IVg / IIIg / I g / II g / Vg / VIg / IVg / IIIg / VIg / IVg / VIg / II g / IVg / IIIg / IVg / VIg / IVg / VIg / IVg / VIg / IVg / I g / IVg / II g / I g / VIg / II g / I g	dg / bg / dg / bg / dg / bg / dg / bg / dg / bg / cg / dg	3 / 2 / 3 / 2 / 3 / 2 / 4
		135.00	アプライト	灰白～暗褐 / 灰白 / 灰黄 / 灰オリーブ / オリーブ黒 / オリーブ灰 / 暗オリーブ灰 / オリーブ灰 / 灰白 / 暗オリーブ灰 / 黄褐	Dg / Cg	VIg / IVg / Vg / IVg	cg / bg / cg / bg	3 / 2

風化：γ

記事

深度99.80～100.13m：破砕帯(Hj)。上盤68度，下盤60度。幅10mm,粘土細脈網目状。
花崗斑岩，上位との境界は破砕帯，傾斜60度。

深度101.59m：シーム。56度，幅2～5mm褐色粘土状。

黒雲母花崗岩，上位との境界漸移的。

深度104.72m：酸化マンガン・石英脈，傾斜58度，幅1～10mm。
深度105.27m：酸化マンガン脈，傾斜12度，幅1～10mm。

深度107.55m：酸化マンガン脈，傾斜25度，幅1～10mm。

深度107.99m：酸化マンガン脈，傾斜28度，幅2～5mm，2条あり。
深度108.22m：石英脈，上盤57度，下盤36度，幅0～80mm，閉じる。
深度108.46m：シーム。傾斜63度，幅0.1～2mmの灰白色粘土状。
深度108.85m：シーム。傾斜34度，幅2～5mmの褐色粘土状。

深度112.30～112.61m,112.95～113.24m:砂礫状コア。

アプライト，上位との境界傾斜67度。

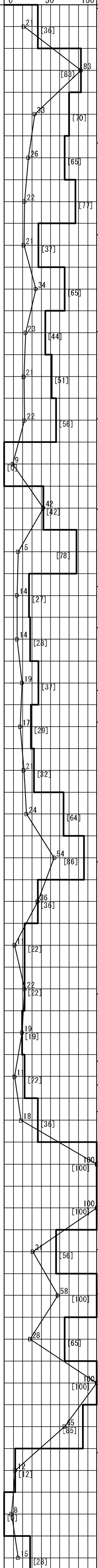
黒雲母花崗岩，上位との境界は破砕帯，傾斜48度。
深度114.47～114.67m：破砕帯(Hj)。上盤48度，下盤18度。傾斜67度,幅2～10mmの褐色粘土状。

深度120.37～120.43m：破砕帯(Hc)。上盤56度，下盤20度。幅30mm灰白色粘土状。
深度120.43～121.21m:破砕帯(Hb)。上・下盤20度。砂礫状。

深度124.30～124.31m：破砕帯(Hc)。上盤18度，下盤23度。幅10～15mm褐色粘土状。
深度124.35～124.37m：破砕帯(Hc)。上盤46度，下盤56度。幅10～15mm褐色粘土状。
深度124.37～124.61m:破砕帯(Hj)。上盤56度,下盤55度。礫状。

深度124.61～124.62m：破砕帯(Hc)。上盤55度，下盤57度。幅5～10mmの褐色粘土状。
深度124.62～125.00m:破砕帯(Hj)。上盤57度,下盤不明。礫状。
深度125.00～125.11:破砕帯(Hc)。上盤不明。下盤19度。礫混じり固結シルト状。
深度125.11～125.12m:破砕帯(Hc)。上盤19度,下盤21度。幅5～15mm褐色粘土状。
深度125.12～125.19m:破砕帯(Hc)。上盤21度,下盤10度。浅黄橙色固結シルト状。
深度125.19～125.20m：破砕帯(Hc)。上盤10度，下盤12度。幅5～15mm褐色粘土状。
深度125.20～125.43m:破砕帯(Hb)。上盤12度,下盤32度。シルト質礫状。
深度125.43～125.52m：破砕帯(Hc)。上盤32度，下盤27度。幅90mmの褐色粘土状。
深度125.52～127.45m：破砕帯(Hj)。上盤27度,下盤58度。礫状,部分的に原岩残す。
深度128.46～131.65m：破砕帯(Hb)。上盤16度，下盤48度。幅0.1～20mm。原岩組織不明。
深度131.65～131.68m：破砕帯(Hc)。上盤48度，下盤56度。全幅15～20mm。上盤から幅0.1～10mmの褐色粘土状，幅0～3mmの灰白色粘土状，幅10～15mmの灰白色粘土状，幅1～12mmの褐色粘土状，直線的でシャープである。
深度131.68～132.09m：破砕帯(Hb)。上盤56度。下盤6度。
深度131.68～131.90m：固結灰白色粘土状。
深度131.90～132.09m：固結砂礫状。
深度131.65～136.53m:アプライト
全体に変質受けて暗オリーブ灰～灰オリーブ色帯びる。細粒緻密で斑晶は認められない。全体に破砕状で，頻繁に方解石脈を挟む。
深度133.89～133.92m：変質帯。上盤19度，下盤30度。幅40mm,緑灰色シルト質細礫状。方解石脈に平行。

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]



岩級区分 (深度 m)	岩級
99.00～102.16	CL'
102.16～104.26	CM'
104.26～106.47	CL'
106.47～108.46	CM'
108.46～110.53	D'
110.53～112.30	CM'
112.30～113.24	D'
113.24～114.67	CL'
114.67～115.40	CM'
115.40～118.59	CL'
118.59～121.62	D'
121.62～123.15	CL'
123.15～123.69	D'
123.69～124.30	CL'
124.30～127.45	D'
127.45～128.46	CL'
128.46～132.09	D'
132.09～135.00	CL'

岩盤分類 (深度 m)	分類
99.00～124.30	[CL]
124.30～132.09	[D]
132.09～135.00	[CL]

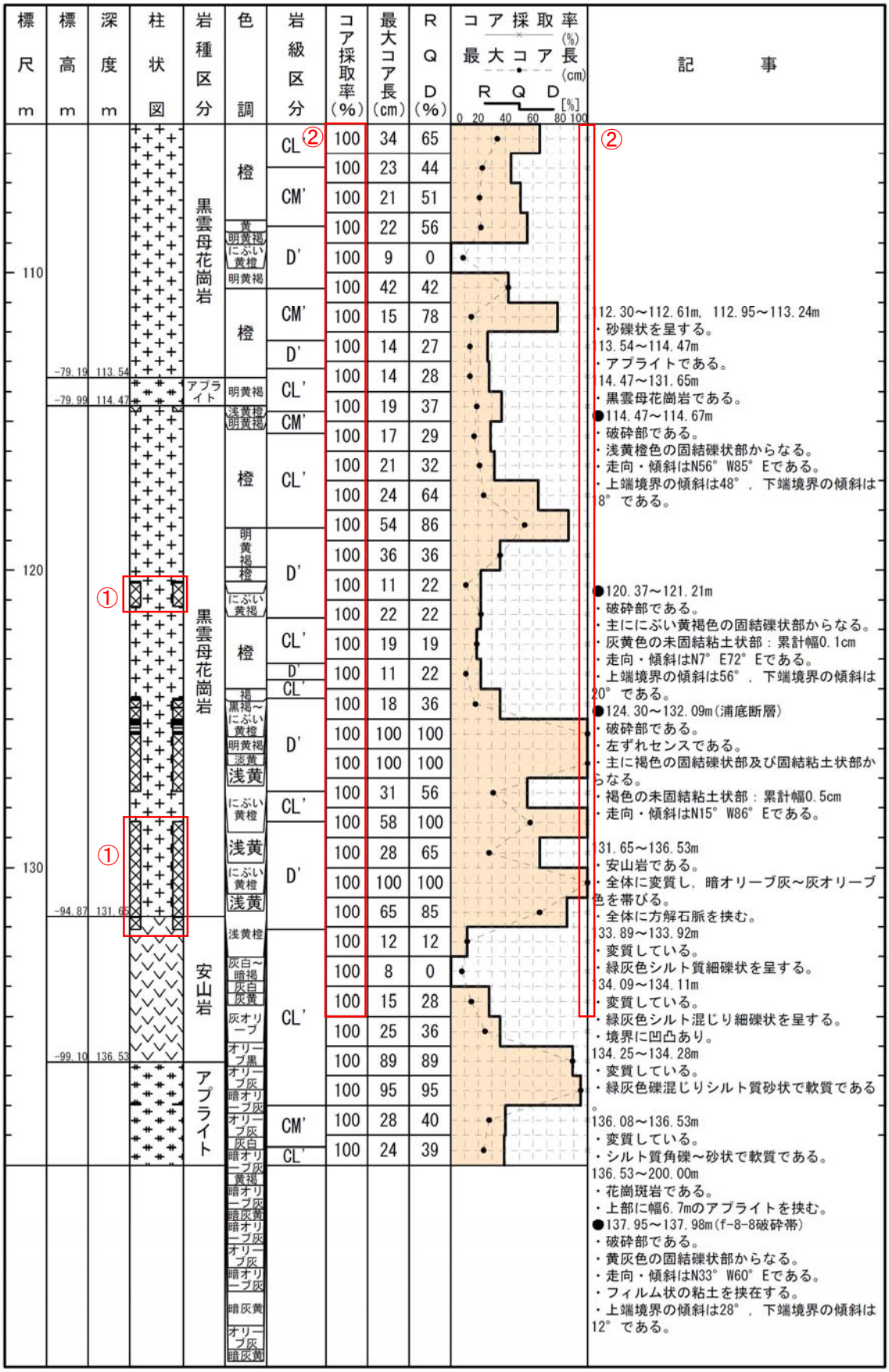
（ 標準貫入試験 ）試験　（N値～深度）　0 10 20 30 40 50

掘進月日	深度 (m)	掘進速度 (cm/時)
10/10	105.00	93
10/11	111.60	88
10/13	114.40	67
10/14	119.55	70
10/16	123.50	76
10/17	129.00	77
10/18	131.80	65
10/19	135.00	66

孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
76 / 76/セメンティング / 76	ダブルコアチューブ/ダイヤビット	35.0	100	0.0	泥水 5	0

柱状図(105.00m～140.00m)

1-77, 1-78(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-74(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。



参考3-422

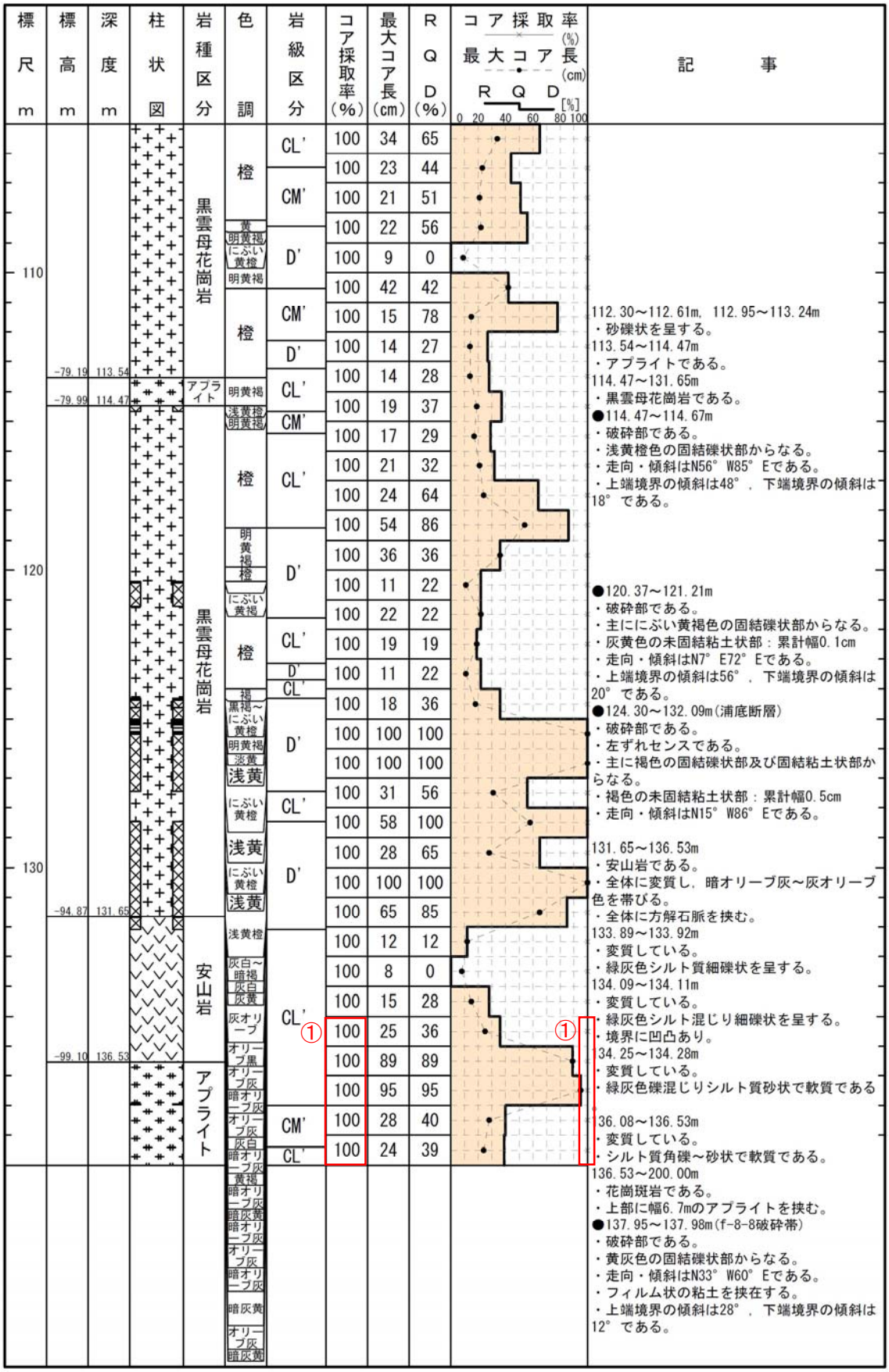
標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
140	104.87	143.20		アプライト	暗灰黄	Dg	Ⅳg	cg	γ	2	深度134.09～134.11m：変質帯。上盤25度，下盤16度。幅10～30mm，緑灰色シルト混じり細礫状。方解石脈に平行。境界凹凸あり。
					暗灰黄	Dg	Ⅱg				
					オリーブ灰	Eg	Ⅰg			3	深度134.25～134.28m：変質帯。傾斜17度，幅30mm，緑灰色礫混じりシルト質砂状。軟質，境界不明瞭。
					暗オリーブ	Dg					深度135.19m：シーム。傾斜20度，幅2～5mmの緑灰色粘土状。
					暗オリーブ	Cg					深度135.96m：シーム。傾斜17度，幅3～4mmの緑灰色粘土状。
					暗灰黄	Dg	Ⅱg				深度136.08～136.53m：変質帯。上盤10度，下盤28度。
						Cg	Ⅲg			2	シルト質角礫～シルト質砂状。軟質。厚さ1～4cmの方解石脈を挟む。
					オリーブ灰		Ⅳg				深度136.53～200.00m：花崗斑岩。上部に厚さ6.7mのアプライトを挟む。花崗斑岩は，径3～15mmの石英，カリ長石，斜長石，黒雲母の斑晶を1～3%程度含み，石基は径0.1mm程度である。斜長石の斑晶は径3mm程度であり，部分的に黒雲母の斑晶が多くなる。
						Cg	Ⅲg				
					暗灰黄	Dg	Ⅳg				
						Cg					
						Dg					深度137.95～137.98m：破砕帯(Hb)。上盤28度，下盤12度。幅25mmの黄灰色礫混じりシルト質砂状。下盤に幅4～8mmの灰白色シルトを挟む。
					灰黄褐		Ⅴg				
							Ⅲg				
						Eg	Ⅵg			3	深度139.55m：シーム。傾斜62度，幅0.2mmの砂質シルト状。
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	Ⅰg				深度139.73m：シーム。傾斜15度，幅4～10mmの黄灰色砂質シルト状。
							Ⅱg				深度139.92m：シーム。傾斜50度。幅3～4mmの黄灰色シルト状。
						Eg	Ⅵg				深度139.92～139.96m：傾斜50度。幅20mmの黄灰色礫混じりシルト状。
						Dg	Ⅱg				深度139.96m：シーム。傾斜50度。幅1～2mmの黄灰・褐色シルト状。
						Cg					
						Dg	Ⅳg				深度141.15～141.20m：破砕帯(Hb)。上盤44度，下盤30度。幅35～45mm，礫混じり砂状。上盤に幅2～5mmの黄灰色シルトを挟む。
						Cg	Ⅲg				深度141.51m：シーム。傾斜75度。幅2～3mmの黄灰色シルト状。
					灰黄褐	Dg	Ⅳg	bg			深度143.12～143.24m：破砕帯(Hb)。上盤20度，下盤15度。礫混じり砂状。
						Cg					深度142.19～142.20m：破砕帯(Hc)。下盤13度，幅13～16mmの砂質シルト状。
							Ⅲg				
					にぶい黄橙	Dg	Ⅳg	cg			深度143.24～144.16m：破砕帯(Hb)。上盤15度，下盤33度。径1～3cmの固結した礫状。網目状にシルトを挟む。
						Cg	Ⅲg				
150					灰黄褐	Dg		bg			深度144.16～144.21m：破砕帯(Hb)。上盤33度，下盤65度。幅10～50mm，黄灰色礫混じりシルト質砂状。上下盤で走向に相違あり。
						Cg	Ⅳg	cg			深度144.69～144.93m：変質帯。上盤18度。径1～3cm程度の礫状。網目状にシルトを挟む。
							Ⅲg	bg			深度146.49m。シーム。傾斜60度，幅4～10mmの黄灰色シルト混じり砂状。
						Dg		cg			深度149.78m：シーム。傾斜60度，幅3～5mmの暗褐～明黄色粘土状。
						Cg		bg			深度150.00～151.97m：高角度の密着した節理が1～3cm間隔で発達。部分的に開口し角礫状となる。
					にぶい黄橙	Dg	Ⅳg				深度151.97～153.13m：傾斜20～40度の節理が数～10数cm間隔で発達。
						Cg		cg			深度153.20m：シーム。傾斜64度，幅2～4mmの暗褐色粘土状。
						Dg	Ⅱg				深度153.65～154.48m：節理に沿って幅1～3cm程度変質強く，全体に明黄色を帯びる。
					暗灰黄		Ⅲg				
						Cg	Ⅳg	bg			深度155.50～155.55m：破砕帯(Hb)。上盤45度，下盤62度。幅40～50mmの黄灰色シルト混じり砂礫状。下面に幅3～7mmの暗褐色砂質シルトを挟む。
							Ⅴg	cg			
						Cg		bg			
						Dg		cg			
					灰黄褐	Cg		bg			
						Dg	Ⅳg	cg		2	
						Cg		bg			
								cg			
						Dg					深度158.89m：シーム。傾斜56度，幅8～10mm，明黄色礫混じりシルト質砂状。
						Cg					
160					にぶい黄橙	Dg					
						Cg	Ⅱg	bg			深度159.89～159.90m：シーム。上盤55度，下盤50度。幅5～10mmの橙褐色砂質シルト状。
							Ⅳg				
							Ⅱg				深度160.00～164.40m：密着した節理が網目状に発達。節理に沿って黒褐を帯びる。
							Ⅲg				
							Ⅳg				
						Dg	Ⅲg				
							Ⅳg	cg			
							Ⅱg				
							Ⅱg				
							Ⅳg	bg			深度165.00～166.00m：網目状に節理発達し，節理に沿って褐色を帯びる。
							Ⅲg				
						Cg	Ⅳg				
							Ⅱg	cg			深度166.10～166.65m：斜長石が淡黄色を帯び，粘土化している。深度166.60m以深，網目状に節理発達。
							Ⅳg				深度167.91m：シーム。傾斜40度。幅2mmの黒褐色シルト状。
						Cg					
					浅黄橙	Dg	Ⅲg				深度169.20～169.45m，169.62～169.85m：網目状に低角度の節理が発達。
						Cg		bg			
170					灰白	Dg					
						Cg					

岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
	135.00						92					0.0	泥水5	0
CL'						10／20								
						137.00								
138.90														
CM'							90							
139.38														
	[CL]					10／30								
						140.00								
							57							
						10／31								
						142.20								
CL'														
146.37	146.37													
						11／1								
						147.30								
CM'														
148.51														
CL'							75							
	[CM]													
150.10														
							91							
CM'														
						11／2								
						152.00								
153.12	153.12							76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0	100	0.0	泥水5	5
CL'							116							
						11／3								
157.39						158.00								
CM'														
157.97														
CL'	[CL]													
159.90														
CM'							100							
161.42														
						11／4								
						163.00								
CL'														
165.00	165.00													
							88							
CM'														
						11／6								
						166.80								
167.40														
CL'	[CM]													
168.10														
							91				130			
CM'														
171.00	171.00													

H19－No. 8

柱状図(105.00m～140.00m)

1-74(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。



参考3-422

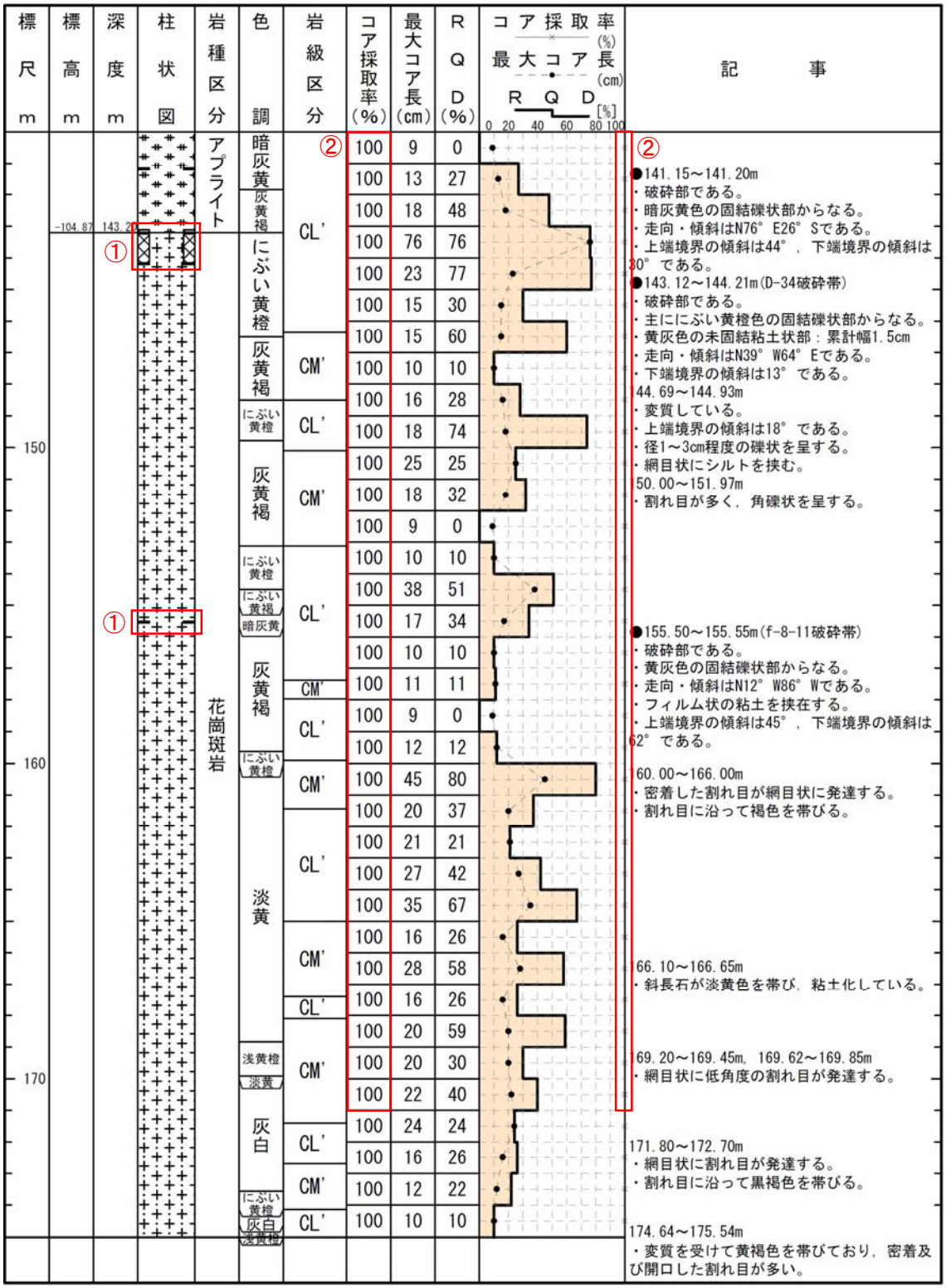
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 ─△─ (%) 最大コア長 ─○─ cm RQD ┐_ [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)/測定月日	(標準貫入試験)試験 (N)値	(N値～深度) 0 10 20 30 40 50	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
140	104.87	143.20		アプライト	暗オリーブ灰, 暗灰黄, 暗オリーブ灰, オリーブ灰, 暗オリーブ灰, 暗灰黄, オリーブ灰, 暗灰黄, 灰黄褐	Dg, Eg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Eg	Ⅳg, Ⅱg, Ⅰg, Ⅱg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅲg, Ⅵg	cg		2, 3, 2, 3		25 [36], 89 [89], 95 [95], 28 [40], 24 [39], 9 [0], 13 [27], 18 [48], 76 [76]	CL' 138.00 CM' 139.39 CL'	[CL]						10/20 137.00, 10/30 140.00, 10/31 142.20	92, 90, 57					0.0	泥水 5	0
150				花崗斑岩	にぶい黄橙, 灰黄褐, にぶい黄橙, 灰黄褐, にぶい黄橙, にぶい黄褐, 暗灰黄, 灰黄褐, にぶい黄橙	Dg, Eg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg	Ⅰg, Ⅱg, Ⅵg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg, Ⅳg	bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg, bg, cg	γ	2		23 [77], 15 [30], 15 [60], 10 [10], 16 [28], 18 [74], 25 [25], 18 [32], 9 [0], 10 [10], 38 [51], 17 [34], 10 [10], 11 [11], 9 [0], 12 [12]	146.37 CM' 148.51 CL' 150.10 CM' 153.13 CL' 157.39 CM' 157.97 CL' 159.90	146.37 [CM] 153.13 [CL]						11/1 147.30, 11/2 152.00, 11/3 158.00	75, 91, 116	76	ダブルコアチューブ/ダイヤビット	35.0	100	0.0	泥水 5	5
160 / 170					淡黄, 浅黄橙, 淡黄, 灰白	Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg	Ⅱg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅵg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅱg, Ⅳg, Ⅲg	bg, cg, bg, cg, bg				45 [80], 20 [37], 21 [21], 27 [42], 35 [67], 16 [26], 28 [58], 16 [26], 20 [59], 20 [30], 22 [40]	CM' 161.43 CL' 165.00 CM' 167.40 CL' 168.10 CM' 171.00	165.00 [CM] 171.00						11/4 163.00, 11/6 166.80	100, 88, 91				130			

記事:

深度134.09～134.11m：変質帯。上盤25度，下盤16度。幅10～30mm，緑灰色シルト混じり細礫状。方解石脈に平行。境界凹凸あり。
深度134.25～134.28m：変質帯。傾斜17度，幅30mm，緑灰色礫混じりシルト質砂状。軟質，境界不明瞭。
深度135.19m：シーム。傾斜20度，幅2～5mmの緑灰色粘土状。
深度135.96m：シーム。傾斜17度，幅3～4mmの緑灰色粘土状。
深度136.08～136.53m：変質帯。上盤10度，下盤28度。
シルト質角礫～シルト質砂状。軟質。厚さ1～4cmの方解石脈を挟む。
深度136.53～200.00m：花崗斑岩。
上部に厚さ6.7mのアプライトを挟む。花崗斑岩は，径3～15mmの石英，カリ長石，斜長石，黒雲母の斑晶を1～3%程度含み，石基は径0.1mm程度である。斜長石の斑晶は径3mm程度であり，部分的に黒雲母の斑晶が多くなる。
深度137.95～137.98m：破砕帯(Hb)。上盤28度，下盤12度。幅25mmの黄灰色礫混じりシルト質砂状。下盤に幅4～8mmの灰白色シルトを挟む。
深度139.55m：シーム。傾斜62度，幅0.2mmの砂質シルト状。
深度139.73m：シーム。傾斜15度，幅4～10mmの黄灰色砂質シルト状。
深度139.92m：シーム。傾斜50度。幅3～4mmの黄灰色シルト状。
深度139.92～139.96m：傾斜50度。幅20mmの黄灰色礫混じりシルト状。
深度139.96m：シーム。傾斜50度。幅1～2mmの黄灰・褐色シルト状。
深度141.15～141.20m：破砕帯(Hb)。上盤44度，下盤30度。幅35～45mm，礫混じり砂状。上盤に幅2～5mmの黄灰色シルトを挟む。
深度141.51m：シーム。傾斜75度。幅2～3mmの黄灰色シルト状。
深度143.12～143.24m：破砕帯(Hb)。上盤20度，下盤15度。礫混じり砂状。
深度142.19～142.20m：破砕帯(Hc)。下盤13度，幅13～16mmの砂質シルト状。
深度143.24～144.16m：破砕帯(Hb)。上盤15度，下盤33度。径1～3cmの固結した礫状。網目状にシルトを挟む。
深度144.16～144.21m：破砕帯(Hb)。上盤33度，下盤65度。幅10～50mm，黄灰色礫混じりシルト質砂状。上下盤で走向に相違あり。
深度144.69～144.93m：変質帯。上盤18度。径1～3cm程度の礫状。網目状にシルトを挟む。
深度146.49m。シーム。傾斜60度，幅4～10mmの黄灰色シルト混じり砂状。
深度149.78m：シーム。傾斜60度，幅3～5mmの暗褐～明黄色粘土状。
深度150.00～151.97m：高角度の密着した節理が1～3cm間隔で発達。部分的に開口し角礫状となる。
深度151.97～153.13m：傾斜20～40度の節理が数～10数cm間隔で発達。
深度153.20m：シーム。傾斜64度，幅2～4mmの暗褐色粘土状。
深度153.65～154.48m：節理に沿って幅1～3cm程度変質強く，全体に明黄色を帯びる。
深度155.50～155.55m：破砕帯(Hb)。上盤45度，下盤62度。幅40～50mmの黄灰色シルト混じり砂礫状。下面に幅3～7mmの暗褐色砂質シルトを挟む。
深度158.89m：シーム。傾斜56度，幅8～10mm，明黄色礫混じりシルト質砂状。
深度159.89～159.90m：シーム。上盤55度，下盤50度。幅5～10mmの橙褐色砂質シルト状。
深度160.00～164.40m：密着した節理が網目状に発達。節理に沿って黒褐を帯びる。
深度165.00～166.00m：網目状に節理発達し，節理に沿って褐色を帯びる。
深度166.10～166.65m：斜長石が淡黄色を帯び，粘土化している。
深度166.60m以深，網目状に節理発達。
深度167.91m：シーム。傾斜40度。幅2mmの黒褐色シルト状。
深度169.20～169.45m，169.62～169.85m：網目状に低角度の節理が発達。

H19－No. 8

柱状図(140.00m～175.00m)



1-79, 1-80(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。（破砕部模様の変更）
1-74(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

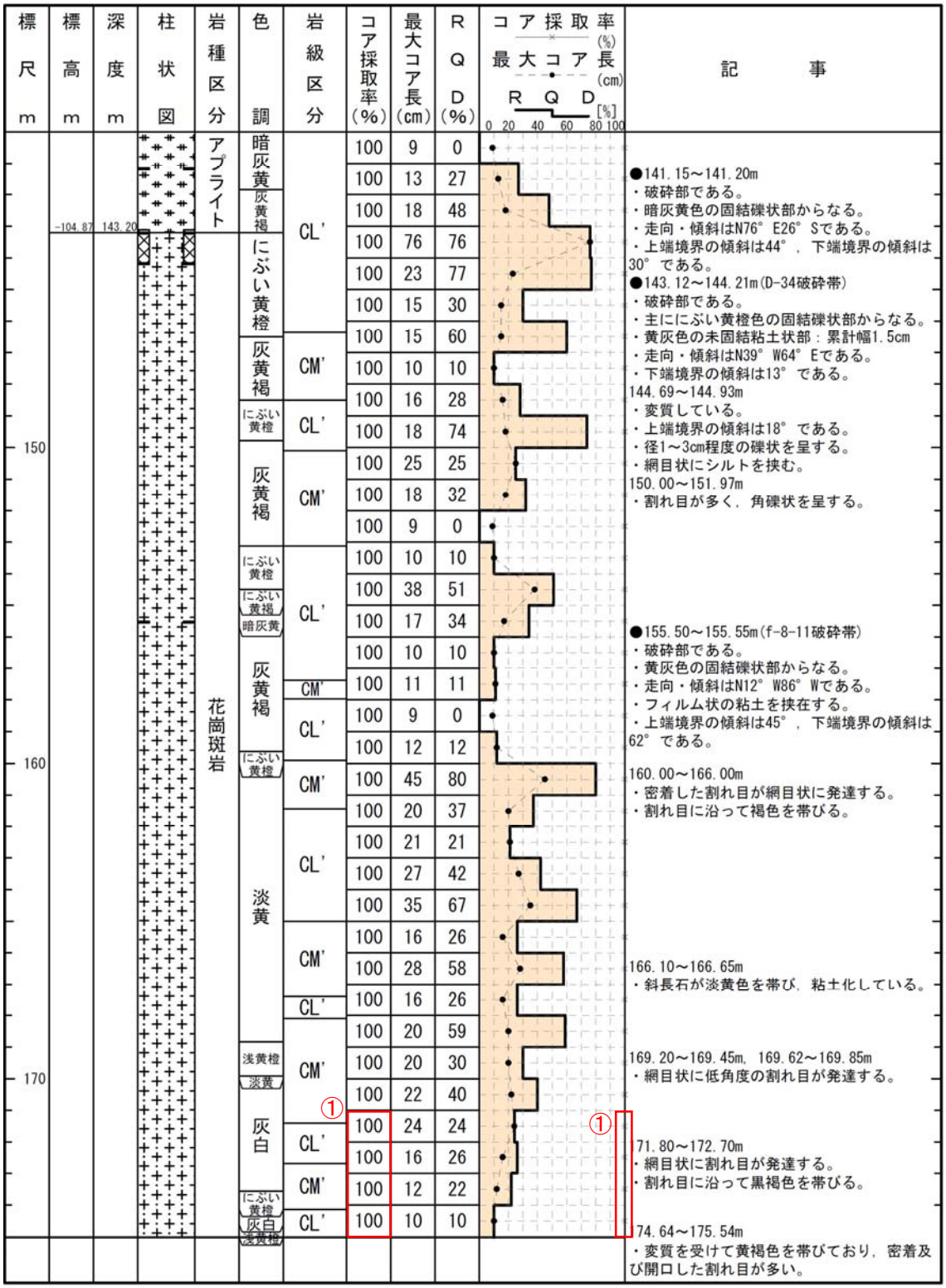
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
180				花崗斑岩	灰白	Cg, Dg, Bg	Ⅳg, Ⅴg, Ⅲg, Ⅱg	bg, cg, tg	γ	2	深度171.58m：幅2mの黒褐色粘土付着。 深度171.80～172.70m：網目状に節理発達。節理に沿って黒褐色を帯びる。 深度174.64～175.54m：変質を受けて黄褐色を帯びる。密着及び開口した節理が多い。 深度175.80～180.00m：傾斜60度以上の高角度な節理が主体。密着した節理は少ない。 深度180.00～182.10m：傾斜50度以上の高角度な節理が10～20cm間隔で発達。 深度180.41m：シーム。傾斜58度。幅2～4mmの暗褐色シルト質砂状。 深度183.21m：シーム。傾斜65度。幅2～5mmの黒褐色礫混じりシルト質砂状。 深度185.00～190.00m：全体に傾斜70度以上の高角度節理が10～20cm間隔で発達。 深度186.01～187.17m：節理が密集し，短柱～角礫状コア。
190					にぶい黄橙	Cg, Dg, Bg	Ⅳg, Ⅲg, Ⅱg	bg, cg			深度190.00～192.31m：変質弱く，比較的硬質で良好な岩盤。 深度191.49m：シーム。傾斜70度。幅1～2mmの砂状。傾斜約90度，幅1mmの石英脈を見かけ1.5cm正断層的にずらす。条線方向はほぼ垂直。 深度192.31～194.81m：変質の影響を受けて黄褐色を帯び，岩質はやや脆い。 深度192.86m：シーム。傾斜73度。幅2～3mm暗褐色礫混じりシルト質砂状。下盤に厚さ0.2～0.3cmの石英脈を伴う。破砕部に径3mmの石英角粒を伴う。 深度194.42m：シーム。傾斜72度。幅2～4mmの褐灰色シルト状。下盤側は，変質により明黄色を帯び，マンガン汚染により，黄，黒の縞状を呈する。 深度196.39m：シーム。傾斜67度。幅2～4mmの砂～礫状。上盤に厚さ0.1～0.2cmの石英脈付着。破砕部に径0.3cm程度の角礫化した石英脈を含む。
-154.06	200.00										

岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
CM' 171.40	171.00				11/7 172.40	91	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0	130	0.0	泥水5	5
CL' 172.70													
CM' 174.14													
CL' 175.62						84							
CM'					11/8 178.00					150	0.0	泥水5	0
CM'						96			45.0				
CL' 186.06	[CM]				11/9 185.70								
CM' 187.17						97							
CL' 192.31					11/10 193.00								
CM' 194.81						100							
CM' 200.00	200.00				11/11 198.50								
					11/12 200.00	100							

コア採取率 △（%）　最大コア長 ○ cm　RQD ┐［%］

H19－No. 8

柱状図(140.00m～175.00m)



1-74(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

項目	内容
標尺 (m)	180, 190
標高 (m)	-154.06
深度 (m)	200.00
岩種区分	花崗斑岩
色調	灰白、にぶい黄橙、灰白、浅黄橙、にぶい黄橙、灰黄褐、にぶい黄橙、灰黄、にぶい黄橙、にぶい黄、明黄褐、にぶい黄橙
硬軟	Cg, Dg, Bg
コア形状	Ⅱg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅴg
割れ目の状態	bg, cg
風化	γ
変質	2
岩盤分類	[CM] (171.00～200.00)
孔径 (mm)／孔壁保護	76
コアチューブ／ビット	ダブルコアチューブ／ダイヤビット

記事

深度171.58m：幅2mの黒褐色粘土付着。

深度171.80～172.70m：網目状に節理発達。節理に沿って黒褐色を帯びる。

深度174.64～175.54m：変質を受けて黄褐色を帯びる。密着及び開口した節理が多い。

深度175.80～180.00m：傾斜60度以上の高角度な節理が主体。密着した節理は少ない。

深度180.00～182.10m：傾斜50度以上の高角度な節理が10～20cm間隔で発達。

深度180.41m：シーム。傾斜58度。幅2～4mmの暗褐色シルト質砂状。

深度183.21m：シーム。傾斜65度。幅2～5mmの黒褐色礫混じりシルト質砂状。

深度185.00～190.00m：全体に傾斜70度以上の高角度節理が10～20cm間隔で発達。

深度186.01～187.17m：節理が密集し，短柱～角礫状コア。

深度190.00～192.31m：変質弱く，比較的硬質で良好な岩盤。

深度191.49m：シーム。傾斜70度。幅1～2mmの砂状。傾斜約90度，幅1mmの石英脈を見かけ1.5cm正断層的にずらす。条線方向はほぼ垂直。

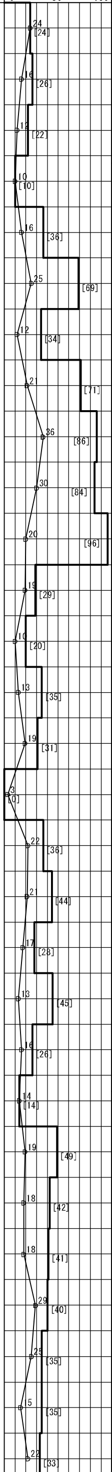
深度192.31～194.81m：変質の影響を受けて黄褐色を帯び，岩質はやや脆い。

深度192.86m：シーム。傾斜73度。幅2～3mm暗褐色礫混じりシルト質砂状。下盤に厚さ0.2～0.3cmの石英脈を伴う。破砕部に径3mmの石英角粒を伴う。

深度194.42m：シーム。傾斜72度。幅2～4mmの褐灰色シルト状。下盤側は，変質により明黄色を帯び、マンガン汚染により、黄、黒の縞状を呈する。

深度196.39m：シーム。傾斜67度。幅2～4mmの砂～礫状。上盤に厚さ0.1～0.2cmの石英脈付着。破砕部に径0.3cm程度の角礫化した石英脈を含む。

コア採取率（%）／最大コア長（cm）／RQD［%］



岩級区分

深度 (m)	岩級区分
～171.40	CM'
171.40～172.70	CL'
172.70～174.14	CM'
174.14～175.62	CL'
175.62～186.06	CM'
186.06～187.17	CL'
187.17～192.31	CM'
192.31～194.81	CL'
194.81～200.00	CM'

掘進記録

掘進月日	深度 (m)	掘進速度 (cm/時)
11/7	172.40	91
11/8	178.00	84
11/9	185.70	96
11/10	193.00	97
11/11	198.50	100
11/12	200.00	100

給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
35.0	130	0.0	泥水5	5
45.0	150	0.0	泥水5	0